

大学番号：国066

注3

[平成28年度設置]

計画の区分：研究科の設置

注1

事前伺い

山口大学大学院 創成科学研究科

注2

## 【事前伺い】設置に係る設置計画履行状況報告書

国立大学法人 山口大学  
平成28年5月1日現在

### 作成担当者

担当部局（課）名 企画戦略部企画・評価課企画係

職名・氏名 キカクカカリチョウ 企画係長 ツチダ 土田 マコト 誠

電話番号 083-933-5956

（夜間） 083-933-5956

F A X 083-933-5959

e-mail sh041@yamaguchi-u.ac.jp

(注) 1 「計画の区分」は設置時の基本計画書「計画の区分」と同様に記載してください。

2 大学院の場合は、表題を「〇〇大学大学院・・・」と記入してください。

設置時から対象学部等の名称変更があった場合には、表題には設置時の旧名称を記載し、その下欄に（ ）書きにて、現在の名称を記載してください。

例) 〇〇大学 △△学部 □□学科

(◇◇学部(平成◇◇年度より学部名称変更))

表題は「計画の区分」に従い、記入してください。

例)

- ・学部の設置の場合：「〇〇大学 △△学部」
- ・学部の学科の設置の場合：「〇〇大学 △△学部 □□学科」
- ・大学院の研究科の設置の場合：「〇〇大学大学院 〇〇研究科」
- ・通信教育課程の開設の場合：「〇〇大学 △△学部 □□学科(通信教育課程)」

# 目次

## 創成科学研究科

＜基盤科学系専攻（博士前期課程）＞	ページ
1. 調査対象大学等の概要等	1
2. 授業科目の概要	5
3. 施設・設備の整備状況、経費	9
4. 既設大学等の状況	10
5. 教員組織の状況	13
6. 留意事項等に対する履行状況等	15
7. その他全般的事項	16

＜地球圏生命物質科学系専攻（博士前期課程）＞	ページ
1. 調査対象大学等の概要等	18
2. 授業科目の概要	22
3. 施設・設備の整備状況、経費	26
4. 既設大学等の状況	27
5. 教員組織の状況	30
6. 留意事項等に対する履行状況等	31
7. その他全般的事項	32

＜化学系専攻（博士前期課程）＞	ページ
1. 調査対象大学等の概要等	34
2. 授業科目の概要	38
3. 施設・設備の整備状況、経費	42
4. 既設大学等の状況	43
5. 教員組織の状況	46
6. 留意事項等に対する履行状況等	47
7. その他全般的事項	48

＜電気電子情報系専攻（博士前期課程）＞	ページ
1. 調査対象大学等の概要等	50
2. 授業科目の概要	54
3. 施設・設備の整備状況、経費	59
4. 既設大学等の状況	60
5. 教員組織の状況	63
6. 留意事項等に対する履行状況等	64
7. その他全般的事項	65

＜機械工学系専攻（博士前期課程）＞	ページ
1. 調査対象大学等の概要等	67
2. 授業科目の概要	71
3. 施設・設備の整備状況、経費	74
4. 既設大学等の状況	75
5. 教員組織の状況	78
6. 留意事項等に対する履行状況等	79
7. その他全般的事項	80

＜建設環境系専攻（博士前期課程）＞	ページ
1. 調査対象大学等の概要等	82
2. 授業科目の概要	86
3. 施設・設備の整備状況、経費	90
4. 既設大学等の状況	91
5. 教員組織の状況	94
6. 留意事項等に対する履行状況等	95
7. その他全般的事項	96

<農学系専攻（博士前期課程）>	ページ
1. 調査対象大学等の概要等	98
2. 授業科目の概要	102
3. 施設・設備の整備状況、経費	105
4. 既設大学等の状況	106
5. 教員組織の状況	109
6. 留意事項等に対する履行状況等	110
7. その他全般的事項	111
<自然科学系専攻（博士後期課程）>	ページ
1. 調査対象大学等の概要等	113
2. 授業科目の概要	117
3. 施設・設備の整備状況、経費	120
4. 既設大学等の状況	121
5. 教員組織の状況	124
6. 留意事項等に対する履行状況等	125
7. その他全般的事項	126
<物質工学系専攻（博士後期課程）>	ページ
1. 調査対象大学等の概要等	128
2. 授業科目の概要	132
3. 施設・設備の整備状況、経費	135
4. 既設大学等の状況	136
5. 教員組織の状況	139
6. 留意事項等に対する履行状況等	140
7. その他全般的事項	141
<システム・デザイン工学系専攻（博士後期課程）>	ページ
1. 調査対象大学等の概要等	143
2. 授業科目の概要	147
3. 施設・設備の整備状況、経費	150
4. 既設大学等の状況	151
5. 教員組織の状況	154
6. 留意事項等に対する履行状況等	155
7. その他全般的事項	156
<環境共生系専攻（博士後期課程）>	ページ
1. 調査対象大学等の概要等	158
2. 授業科目の概要	162
3. 施設・設備の整備状況、経費	165
4. 既設大学等の状況	166
5. 教員組織の状況	169
6. 留意事項等に対する履行状況等	170
7. その他全般的事項	171
<ライフサイエンス系専攻（博士後期課程）>	ページ
1. 調査対象大学等の概要等	173
2. 授業科目の概要	177
3. 施設・設備の整備状況、経費	179
4. 既設大学等の状況	180
5. 教員組織の状況	183
6. 留意事項等に対する履行状況等	184
7. その他全般的事項	185

# 1 調査対象大学等の概要等

## (1) 設置者

国立大学法人 山口大学

## (2) 大学名

山口大学

## (3) 大学の位置

〒753-8511  
山口県山口市吉田1677-1

〒755-8611  
山口県宇部市常盤台2丁目16番1号

- (注) ・対象学部等の位置が大学本部の位置と異なる場合、本部の位置を( )書きで記入してください。  
・対象学部等が複数のキャンパスに所在する場合には、複数のキャンパスの所在地をそれぞれ記載してください。

## (4) 管理運営組織

職名	設置時	変更状況	備考
事前伺いのため該当なし			

- (注) ・「変更状況」は、変更があった場合に記入し、併せて「備考」に変更の理由と変更年月日、報告年度を( )書きで記入してください。
- (例) 平成26年度に報告済の内容 → (26)  
平成28年度に報告する内容 → (28)
- ・昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更があれば、「変更状況」に赤字にて記載(昨年度までに報告された記載があれば、そこに赤字で見え消し修正)するとともに、上記と同様に、「備考」に変更理由等を記入してください。
  - ・大学院の場合には、「職名」を「研究科長」等と修正して記入してください。
  - ・「事前伺い」により設置された学部等については、本項目を記載する必要はありません。

(5) 調査対象研究科等の名称, 定員, 入学者の状況等

- (注) ・ 当該調査対象の学部の学科または研究科の専攻等, 定員を定めている組織ごとに記入してください。  
 (入試区分ごとではありません)。  
 ・ 様式は, 平成26年度開設の博士後期課程の場合(平成28年度までの3年間)ですが, 開設年度・  
 修業年限に合わせて作成してください。(修業年限が2年以下の場合には欄を削除し, 4年以上の場合  
 には, 欄を設けてください。)

(5) - ① 調査対象研究科等の名称, 定員

調査対象研究科等の 名称(学位)	設置時の計画			備 考
	修業年限	入学定員	收容定員	
創成科学研究科 基盤科学系専攻 (博士前期課程)  修士(理学)	2 年	38 人	76 人	基礎となる学部等  理学部

- (注) ・ 「備考」に基礎となる学部等の名称を記入してください。  
 ・ 定員を変更した場合は, 「備考」に変更前的人数, 変更年月及び報告年度を( )書きで記入してください。  
 ・ 学生募集停止を予定している場合は, 「備考」にその旨記載してください。

(5) - ② 調査対象研究科等の入学者の状況

区 分	報告年度		平成28年度		平成29年度		平均入 学定員 超 過 率	備 考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期		
A 入学定員	38人		人		人		0.92倍	
	( )	( )	( )	( )	( )	( )		
	[ ]	[ ]	[ ]	[ ]	[ ]	[ ]		
志願者数	37	( )	( )	( )	( )	( )		
	( )	( )	( )	( )	( )	( )		
	[ ]	[ ]	[ ]	[ ]	[ ]	[ ]		
受験者数	36	( )	( )	( )	( )	( )		
	( )	( )	( )	( )	( )	( )		
	[ ]	[ ]	[ ]	[ ]	[ ]	[ ]		
合格者数	36	( )	( )	( )	( )	( )		
	( )	( )	( )	( )	( )	( )		
	[ ]	[ ]	[ ]	[ ]	[ ]	[ ]		
B 入学者数	35	( )	( )	( )	( )	( )		
	( )	( )	( )	( )	( )	( )		
	[ ]	[ ]	[ ]	[ ]	[ ]	[ ]		
入学定員超過率 B/A	0.92							

- (注) ・ 数字は, 平成28年5月1日現在の数字を記入してください。  
 ・ ( ) 内には, 社会人の状況について**内数**で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。  
 ・ 「社会人」については, 設置計画書において貴学が定める社会人の定義に従って記入してください。  
 ・ [ ] 内には, 留学生の状況について**内数**で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。  
 ・ 留学生については, 「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格(いわゆる「留学ビザ」)により, 我が国の大学(大学院を含む), 短期大学, 高等専門学校, 専修学校(専門課程)及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。  
 ・ 短期交換留学生など, 定員内に含めていない学生については記入しないでください。  
 ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は, 春季入学とその他の学期(春季入学以外の学期区分を設けている場合)に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は, その他の学期欄は「-」を記入してください。また, その他の学期に入学定員を設けている場合は, 備考欄にその人数を記入してください。  
 ・ 「入学定員超過率」については, **各年度の春季入学とその他を合計した入学定員, 入学者数で算出**してください。なお, 計算の際は小数点以下第3位を切り捨て, 小数点以下第2位まで記入してください。  
 ・ 「平均入学定員超過率」には, 開設年度から提出年度までの入学定員超過率の平均を記入してください。なお, 計算の際は「入学定員超過率」と同様にしてください。

(5) - ③ 調査対象研究科等の在学者の状況

学 年	報告年度		平成28年度		平成29年度		備 考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	
1年次	[ - ] ( - ) 35	[ ] ( )	[ ] ( )	[ ] ( )	[ ] ( )	[ ] ( )	
2年次	/		[ ] ( )	[ ] ( )	[ ] ( )	[ ] ( )	
計	[ - ] ( - ) 35	[ ] ( )	[ ] ( )	[ ] ( )	[ ] ( )	[ ] ( )	

- (注) ・ 数字は、平成28年5月1日現在の数字を記入してください。
- ・ [ ]内には、留学生の状況について内数で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。
  - ・ 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格（いわゆる「留学ビザ」）により、我が国の大学（大学院を含む。）、短期大学、高等専門学校、専修学校（専門課程）及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
  - ・ 短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。
  - ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期（春季入学以外の学期区分を設けている場合）に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「-」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
  - ・ 「計」については、**各年度の春季入学とその他の学期を合計した在学者数、留学生数**を記入してください。
  - ・ ( )内には、**留年者の状況**について、内数で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。

(5) -④ 調査対象学部等の退学者等の状況

区分 対象年度	入学者数(b)	退学者数(a)	退学者数(内訳)			主な退学理由	入学者数に 対する退学者数 の割合 (a/b)
			退学した年度	退学者数	退学者数の うち留学生数		
平成28年度 入学者	35 人	0 人	平成28年度	人	人		0 %
			平成29年度	人	人		
平成29年度 入学者	人	0 人	平成29年度	人	人		#DIV/0! %
合 計	35 人	0 人					0 %

(注)・数字は、平成28年5月1日現在の数字を記入してください。

- ・各年度の入学者数については、該当年度当初に入学した人数を記入してください。(途中で退学者がいた場合でも、その退学者数を減らす必要はありません。)
- ・各年度の退学者数については、退学年度ごとに記入してください。また、留学生数欄の人数については、退学者数の内数を記入してください。
- ・留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格(いわゆる「留学ビザ」)により、我が国の大学(大学院を含む。)、短期大学、高等専門学校、専修学校(専門課程)及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記入してください。
- ・短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。
- ・「入学者数に対する退学者数の割合」は、【当該対象年度の入学者のうち、平成28年5月1日現在までに退学した学生数の合計】を、【当該対象年度の入学者数】で除した割合(%)を記入してください。その際、小数点以下第2位を四捨五入し、小数点以下第1位までを記入してください。
- ・「主な退学理由」は、下の項目を参考に記入してください。その際、「就学意欲の低下(○人)」というように、その人数も含めて記入してください。  
 (記入項目例)・就学意欲の低下   ・学力不足   ・他の教育機関への入学・転学   ・海外留学  
                   ・就職   ・学生個人の心身に関する事情   ・家庭の事情   ・除籍   ・その他

## 2 授業科目の概要

<創成科学研究科 基盤科学系専攻（博士前期課程）>

### (1) 授業科目表

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					備考	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
研究科共通科目	【研究基盤科目】											
	研究者行動規範特論	1前	1			1					兼2	
	知的財産特論	1後	1			1					兼2	
	サイエンティフィック・ライティング	1前		1		1					兼2	
	プレゼンテーション特論	1後		1		1					兼2	
	【イノベーション教育科目】											
	研究開発戦略論	1・2前	2			1					兼2	
	企業経営と財務	1・2後		2		1					兼2	
	【キャリア教育科目】											
キャリアデザインⅠ	1後		1		1					兼2		
学外特別研修Ⅰ	1・2前・後		1~2		1							
長期インターンシップⅠ	1・2前・後		6		1							
専攻基盤科目	専門英語特別演習	1・2前・後	1			17 18	12 11	4 5	4		兼1	オムニバス 担当教員の退職及び昇任に伴う変更 (28)
	基盤科学系特論	1前	2			3 18	4 11	5	4			オムニバス 具体的な担当教員の確定による変更 (28)
	数理科学特別講義Ⅰ	1通		2		8	7	3 5				開設クラスの確定による変更 (28)
	数理科学特別講義Ⅱ	2通		2		8	7	3 5				開設クラスの確定による変更 (28)
	数理科学ゼミナールⅠ	1通		2		8	7	3 5				開設クラスの確定による変更 (28)
	数理科学ゼミナールⅡ	2通		2		8	7	3 5				開設クラスの確定による変更 (28)
	物理学特別講義Ⅰ	1通		2		4	2 3	1	1 2		兼1	担当教員の昇任及び開設クラスの確定による変更 (28)
	物理学特別講義Ⅱ	2通		2		4	2 3	1	1 2		兼1	担当教員の昇任及び開設クラスの確定による変更 (28)
	物理学ゼミナールⅠ	1通		2		4	2 3	1	1 2		兼1	共同 担当教員の昇任及び開設クラスの確定による変更 (28)
	物理学ゼミナールⅡ	2通		2		4	2 3	1	1 2		兼1	共同 担当教員の昇任及び開設クラスの確定による変更 (28)
	情報科学特別講義Ⅰ	1通		2		5 4	2 4		2 1			教育効果充実のため担当教員を変更 (28)
	情報科学特別講義Ⅱ	2通		2		5 4	2 4		2 1			教育効果充実のため担当教員を変更 (28)
	情報科学ゼミナールⅠ	1通		2		5 4	2 4		2 1			共同 教育効果充実のため担当教員を変更 (28)
	情報科学ゼミナールⅡ	2通		2		5 4	2 4		2 1			共同 教育効果充実のため担当教員を変更 (28)



	サイエンス特別実習 I	1・2通 1・2前 →後		1		17 18	12 11	4 5	4	兼 1	担当教員の退職及び昇任による変更。また、教育効果充実のため開講期を変更 (28)	
	サイエンス特別実習 II	1・2通 1・2前 →後		1		17 18	12 11	4 5	4	兼 1	担当教員の退職及び昇任による変更。また、教育効果充実のため開講期を変更 (28)	
専 門 科 目	解析学特論 I	1・2前		2		1						
	解析学特論 II	1・2前 1・2後		2		1					教育効果充実のため、開講期を変更 (28)	
	解析学特論 III	1・2前		2			1					
	解析学特論 IV	1・2後		2			1					
	代数学特論 I	1・2後 1・2前		2		1					教育効果充実のため、開講期を変更 (28)	
	代数学特論 II	1・2後		2			1					
	代数学特論 III	1・2前		2				1				
	代数学特論 IV	1・2後		2				1				
	微分幾何学特論 I	1・2前		2			1		1		教育効果充実のため、担当教員を変更 (28)	
	微分幾何学特論 II	1・2後		2		1						
	微分幾何学特論 III	1・2後 1・2前		2		1		1			教育効果充実のため、担当教員及び開講期を変更 (28)	
	位相幾何学特論 I	1・2後 1・2前		2		1		1			教育効果充実のため、担当教員及び開講期を変更 (28)	
	位相幾何学特論 II	1・2後		2				1				
	応用数学特論 I	1・2前		2			1					
	応用数学特論 II	1・2後		2			1		1		教育効果充実のため、担当教員を変更 (28)	
	基礎数理工学特論 I	1・2後 1・2前		2			1				教育効果充実のため、開講期を変更 (28)	
	基礎数理工学特論 II	1・2後		2		1		1			教育効果充実のため、担当教員を変更 (28)	
	基礎数理解析学特論 I	1・2前		2		1						
	基礎数理解析学特論 II	1・2前 1・2後		2		1		1			教育効果充実のため、担当教員及び開講期を変更 (28)	
	数理科学特別講義	1・2前・後		1~2 2							兼 4	集中 教育効果充実のため、開講形式を弾力化 (28)
	統計物理学特論	1・2前		2				1				
	重力場理論特論	1・2前		2		1						
	素粒子物理学特論	1・2後		2		1						
	磁性体物理学特論	1・2前 1・2後		2					1	1		担当教員の昇任及び教育効果充実のため、担当教員及び開講期を変更 (28)
	ソフトマター物理学特論	1・2前		2		1						
	誘電体物理学特論	1・2前		2		1						
	回折結晶物理学特論	1・2前		2				1				
	固体電子論特論	1・2後		2							兼 1	
	凝縮系物理学特論	1・2後		2						1		
	宇宙物理学特論	1・2前		2							兼 1	
電波天文学特論	1・2後		2				1					
物理学特別講義	1・2前・後		1~2 2							兼 1	集中 教育効果充実のため、開講形式を弾力化 (28)	
確率信号解析特論	1・2前		2		1							
計算構造学特論	1・2後		2		1							
自然情報科学特論	1・2後		2		1							
知的画像処理特論	1・2前		2				1					
計算物理学特論	1・2後		2		1							
情報伝達特論	1・2前		2				1					
シミュレーション科学特論	1・2前		2				1					
数理情報モデル特論	1・2前		2				1					
応用シミュレーション特論	1・2後		2						1			
情報科学特別講義	1・2前・後		1~2 2							兼 1	集中 教育効果充実のため、開講形式を弾力化 (28)	
特別研究	1~2通		6			17 18	12 11	4 5	4	0	兼 1	担当教員の退職及び昇任に伴う変更 (28)

- (注) ・ 設置計画書の様式第2号(その2の1)に準じて作成してください。
- ・ 設置時の授業科目全て(兼任、兼担教員が担当する科目を含む。)を黒字で記載してください。その上で、前年度報告時(平成28年度に設置された大学等は設置時)より変更されているものは赤字で見え直し修正し、「備考」に赤字で理由・変更年月等を記入してください。
  - ・ なお、昨年度の報告書において赤字で見え消した部分については、見え消しのまま黒字にしてください。
  - ・ 兼任、兼担の教員が担当する授業科目については、備考欄に担当する教員数を「兼〇」と記入してください。
  - ・ 授業科目を追加又は内容を変更する場合で、専任教員が担当するため教員審査が必要なものについては、「専任教員採用等設置計画変更書」の審査予定年月等を「備考」に記入してください。(今後審査を受ける場合には、「平成〇年〇月 提出予定」と記入してください。)
  - ・ 「配当年次」について、設置計画時に開講時期を記入する必要がなかった学部等(平成19年度設置以前)についても、設置時の状況を黒字で記入してください。また、前年度報告時より修正があれば、赤字で見え直し修正をしてください。
  - ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目についても記入してください。

(2) 授業科目数

設置時の計画				変更状況				備考
必修	選択	自由	計	必修	選択	自由	計	
科目 6	科目 62	科目	科目 68	科目 6	科目 62	科目	科目 68	
				[ ]	[ ]	[ ]	[ ]	

- (注) ・ 未開講科目も含めた教育課程上の授業科目数を記入するとともに、[ ]内に、設置時の計画からの増減を記入してください。(記入例：1科目減の場合：△1)
- ・ 資格に関する課程など、別課程としている授業科目については算入する必要はありません。

(3) 未開講科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	未開講の理由, 代替措置の有無
1	該当なし					
2						
3						

- (注) ・ 設置時の計画にあった授業科目が配当年次に達しているにも関わらず、何らかの理由で未開講となっている授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
- ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目については、記入しないでください。
  - ・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」と修正して記入してください。

(4) 廃止科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	廃止の理由, 代替措置の有無
1	該当なし					
2						
3						

- (注) ・ 設置時の計画にあり、何らかの理由で廃止（教育課程から削除）した授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
- ・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」と修正して記入してください。

(5) 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

該当なし
------

- (注) ・ 授業科目を未開講又は廃止としたことによる学生の履修への影響に関する「大学の所見」及び「学生への周知方法」を記入してください。

(6) 「設置時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

$$\frac{\text{未開講科目と廃止科目の計}}{\text{設置時の計画の授業科目数の計}} = \text{該当なし}$$

- (注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位までを記入してください。

### 3 施設・設備の整備状況, 経費

区分	内容	備考
(1) 校地等	<p>事前伺いのため該当なし</p>	
(2)		
(3)		
(4)		
(5) 図書・設備		
(6)		
(7)		
(8) 経費 積り 維持 の 概 要		

- (注) ・ 設置時の計画を, 設置計画書の様式第2号(その1の1)に準じて作成してください。(複数のキャンパスに分かれている場合, 複数の様式に分ける必要はありません。なお, 「(1)校地等」及び「(2)校舎」は大学全体の数字を, その他の項目は AC対象学部等の数値を記入してください。)
- ・ 運動場用地が校舎敷地と別地にある場合は, その旨(所要時間・距離等)を「備考」に記入してください。
  - ・ 「(5)図書・設備」については, 上段に完成年度の予定数値を, 下段には平成28年5月1日現在の数値を記入してください。
  - ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更のあったものについては, 変更部分を赤字で見え消し修正するとともに, その理由及び報告年度「(28)」を「備考」に赤字で記入してください。  
 なお, 昨年度の報告において赤字で見え消した部分については, 見え消しのまま黒字にしてください。
  - ・ 「事前伺い」により設置された学部等については, 本項目を記載する必要はありません。

#### 4 既設大学等の状況

大学の名称	山 口 大 学						備 考		
既設学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学員定員	収容定員	学位又は称号	平均入学定員超過率	開 設 年 度	所 在 地	
	年	人	年次人	人		倍			
人文学部								山口県山口市吉田1677番地 1	
人文学科	4	185	-	740	学士（文学）	1.00	平成28年度		
人文社会学科	4	-	-	-	学士（文学）	-	平成5年度		平成28年度より学生募集停止
言語文化学科	4	-	-	-	学士（文学）	-	平成5年度		平成28年度より学生募集停止
教育学部								山口県山口市吉田1677番地 1	
学校教育教員養成課程	4	180	-	620	学士（教育学）	1.04	平成10年度		
実践臨床教育課程	4	-	-	-	学士（教育学）	-	平成10年度		平成27年度より学生募集停止
情報科学教育課程	4	-	-	-	学士（教育学）	-	平成10年度		平成27年度より学生募集停止
健康科学教育課程	4	-	-	-	学士（教育学）	-	平成10年度		平成27年度より学生募集停止
総合文化教育課程	4	-	-	-	学士（教育学）	-	平成元年度		平成27年度より学生募集停止
経済学部						1.03		山口県山口市吉田1677番地 1	
経済学科	4	130	-	440	学士（経済学）	-	昭和24年度		
経営学科	4	165	-	590	学士（経済学）	-	昭和24年度		
国際経済学科	4	-	-	-	学士（経済学）	-	昭和52年度		平成27年度より学生募集停止
経済法学科	4	-	-	-	学士（法学）	-	昭和55年度		平成27年度より学生募集停止
観光政策学科	4	50	-	160	学士（経済学）	-	平成17年度		
商業教員養成課程	4	-	-	-	学士（経済学）	-	昭和29年度		平成27年度より学生募集停止
理学部								山口県山口市吉田1677番地 1	
数理科学科	4	50	-	200	学士（理学）	1.05	平成7年度		
物理・情報科学科	4	60	-	240	学士（理学）	1.02	平成18年度		
生物・化学科	4	80	-	320	学士（理学）	1.01	平成18年度		
地球圏システム科学科	4	30	-	120	学士（理学）	1.05	平成18年度		
医学部								山口県宇部市南小串1丁目1番1号	
医学科	6	107	2年次 10	692	学士（医学）	1.00	昭和39年度		
保健学科	4	120	3年次 15	510	学士（看護学、保健学）	1.03	平成12年度		
工学部								山口県宇部市常盤台2丁目16番1号	
機械工学科	4	90	3年次 5	370	学士（工学）	1.03	平成2年度		
社会建設工学科	4	80	-	320	学士（工学）	1.03	平成2年度		
応用化学科	4	90	-	360	学士（工学）	1.04	平成19年度		
電気電子工学科	4	80	3年次 5	330	学士（工学）	1.03	平成2年度		
知能情報工学科	4	80	3年次 10	340	学士（工学）	1.03	平成19年度		
感性デザイン工学科	4	55	-	220	学士（工学）	1.05	平成8年度		
循環環境工学科	4	55	-	220	学士（工学）	1.05	平成19年度		
農学部								山口県山口市吉田1677番地 1	
生物資源環境科学科	4	50	-	200	学士（農学）	1.03	平成13年度		
生物機能科学科	4	50	-	200	学士（農学）	1.01	平成13年度		
獣医学科	6	-	-	-	学士（獣医学）	-	昭和24年度		平成24年度より学生募集停止
共同獣医学部								山口県山口市吉田1677番地 1	
獣医学科	6	30	-	150	学士（獣医学）	1.01	平成24年度		
国際総合科学部								山口県山口市吉田1677番地 1	
国際総合科学科	4	100	-	200	学士（学術）	1.04	平成27年度		

人文科学研究科							山口県山口市吉田1677番地 1	
人文科学専攻	2	8	-	8	修士(文学)	0.25	平成28年度	
地域文化専攻	2	-	-	-	修士(文学)	-	昭和60年度	平成28年度より学生募集停止
言語文化専攻	2	-	-	-	修士(文学)	-	昭和60年度	平成28年度より学生募集停止
教育学研究科							山口県山口市吉田1677番地 1	
学校教育専攻	2	10	-	23	修士(教育学)	1.10	平成3年度	
教科教育専攻	2	17	-	45	修士(教育学)	1.05	平成3年度	
教職実践高度化専攻	2	14	-	14	教職修士(専門職)	1.07	平成28年度	
経済学研究科							山口県山口市吉田1677番地 1	
経済学専攻	2	16	-	32	修士(経済学)	0.24	昭和50年度	
企業経営専攻	2	10	-	20	修士(経済学)	0.50	平成7年度	
医学系研究科(医学博士)							山口県宇部市南小串1丁目1番1号	
医学専攻	4	33	-	33	博士(医学)	1.09	平成28年度	
システム統御医学系専攻	4	-	-	-	博士(医学)	-	平成18年度	平成28年度より学生募集停止
情報解析医学系専攻	4	-	-	-	博士(医学)	-	平成18年度	平成28年度より学生募集停止
医学系研究科(博士前期)							山口県宇部市南小串1丁目1番1号	
応用医工学系専攻	2	-	-	-	修士(医工学)	-	平成13年度	平成28年度より学生募集停止
応用分子生命科学系専攻	2	-	-	-	修士(生命科学、学術)	-	平成18年度	平成28年度より学生募集停止
保健学専攻	2	12	-	24	修士(保健学)	1.37	平成17年度	
医学系研究科(博士後期)							山口県宇部市南小串1丁目1番1号	
応用医工学系専攻	3	-	-	-	博士(医工学)	-	平成13年度	平成28年度より学生募集停止
応用分子生命科学系専攻	3	-	-	-	博士(生命科学、学術)	-	平成18年度	平成28年度より学生募集停止
保健学専攻	3	5	-	15	博士(保健学)	0.80	平成19年度	
創成科学研究科(博士前期)							山口県山口市吉田1677番地 1	
基盤科学系専攻	2	38	-	38	修士(理学)	0.92	平成28年度	山口県宇部市常盤台2丁目16番1号
地球圏生物物質科学系専攻	2	42	-	42	修士(理学)	0.80	平成28年度	
化学系専攻	2	83	-	83	修士(工学、学術)	0.87	平成28年度	
電気電子情報系専攻	2	107	-	107	修士(工学)	1.00	平成28年度	
機械工学系専攻	2	60	-	60	修士(工学)	1.01	平成28年度	
建設環境系専攻	2	74	-	74	修士(工学、学術)	0.74	平成28年度	
農学系専攻	2	42	-	42	修士(農学、生命科学)	0.71	平成28年度	
創成科学研究科(博士後期)							山口県山口市吉田1677番地 1	
自然科学系専攻	3	7	-	7	博士(理学、学術)	0.28	平成28年度	山口県宇部市常盤台2丁目16番1号
物質工学系専攻	3	8	-	8	博士(工学、学術)	0.12	平成28年度	
システム・デザイン工学系専攻	3	10	-	10	博士(工学、学術)	0.70	平成28年度	
環境共生系専攻	3	12	-	12	博士(工学、学術)	0.66	平成28年度	
ライフサイエンス系専攻	3	7	-	7	博士(工学、学術)	0.85	平成28年度	
理工学研究科(博士前期)							山口県山口市吉田1677番地 1	平成28年度より学生募集停止
数理科学専攻	2	-	-	-	修士(理学)	-	平成9年度	山口県宇部市常盤台2丁目16番1号
物理・情報科学専攻	2	-	-	-	修士(理学)	-	平成18年度	
地球科学専攻	2	-	-	-	修士(理学)	-	平成18年度	
機械工学専攻	2	-	-	-	修士(工学)	-	昭和41年度	
社会建設工学専攻	2	-	-	-	修士(工学)	-	平成9年度	
物質化学専攻	2	-	-	-	修士(工学)	-	平成18年度	
電子デバイス工学専攻	2	-	-	-	修士(工学)	-	平成18年度	
電子情報システム工学専攻	2	-	-	-	修士(工学)	-	平成18年度	
感性デザイン工学専攻	2	-	-	-	修士(工学)	-	平成12年度	
環境共生系専攻	2	-	-	-	修士(工学、理学)	-	平成18年度	

理工学研究科（博士後期）								山口県山口市吉田1677番地1	平成28年度より学生募集停止
自然科学基盤系専攻	3	-	-	-	博士（理学、工学、学術）	-	平成18年度	山口県宇部市常盤台2丁目16番1号	
システム設計工学系専攻	3	-	-	-	博士（工学、学術）	-	平成18年度		
物質工学系専攻	3	-	-	-	博士（工学、学術）	-	平成18年度		
情報・デザイン工学系専攻	3	-	-	-	博士（工学、学術）	-	平成18年度		
環境共生系専攻	3	-	-	-	博士（工学、理学、学術）	-	平成18年度		
農学研究科								山口県山口市吉田1677番地1	平成28年度より学生募集停止
生物資源科学専攻	2	-	-	-	修士（農学）	-	平成7年度		
東アジア研究科								山口県山口市吉田1677番地1	
東アジア専攻	3	10	-	30	博士（学術）	1.26	平成13年度		
技術経営研究科								山口県宇部市常盤台2丁目16番1号	
技術経営専攻	2	15	-	30	技術経営修士（専門職）	1.10	平成17年度		
連合獣医学研究科								【山口大学】	
獣医学専攻	4	12	-	48	博士（獣医学）	1.56	平成2年度	山口県山口市吉田1677番地1	
								【鳥取大学】	
								鳥取県鳥取市湖山町南4丁目101	
								【鹿児島大学】	
								鹿児島県鹿児島市都元1丁目21番24号	

- (注) ・ 本調査の対象となっている大学等の設置者（国立大学法人）が設置している全ての大学（学部、学科）及び大学院（専攻）（AC対象学部等含む）について、それぞれの学校種ごとに、平成28年5月1日現在の上記項目の情報を記入してください。
- ・ 学部の学科または研究科の専攻等、「入学定員を定めている組織」ごとに記入してください。
  - ※「入学定員を定めている組織ごと」には、課程認定等によりコース・専攻に入学定員を定めている場合を含めず、履修上の区分としてコース・専攻を設けている場合は含めません。
  - ※なお、課程認定等によりコースや専攻に入学定員を定めている場合は、法令上規定されている組織上の最小単位（大学であれば「学科」、短期大学であれば「専攻課程」）でも記載してください。
  - ・ 専攻科に係るものについては、記入する必要はありません。
  - ・ AC対象学部等についても必ず記入してください。
  - ・ 「平均入学定員超過率」には、標準修業年限に相当する期間における入学定員に対する入学者の割合の平均の小数点以下第2位まで（小数点以下第3位を切り捨て）を記入してください。
  - ・ 学生募集を停止している学部等がある場合、入学定員・収容定員・平均入学定員超過率は「-」とし、「備考」に「平成〇〇年より学生募集停止」と記入してください。

## 5 教員組織の状況

<創成科学研究科 基盤科学系専攻（博士前期課程）>

### (1) 担当教員表

事前伺いのため該当なし

- (注) ・ 設置計画書の様式第3号（その2の1）に準じて作成してください。
- なお、当該設置に係る研究科等に所属しない教員であって、全学共通、学部共通などの授業科目を担当する教員組織に所属している場合は、〈○○研究科 ○○専攻（○○課程）〉の箇所を「共通」とし、表を分けて作成してください。
- ・ 後任が決まっていない場合には、「後任未定」と記入してください。
  - ・ 辞任者は「備考」に退職年月、氏名、理由を記入してください。
  - ・ 年齢は、「**設置時の計画**」には当該学部等の就任時における満年齢を、「**変更状況**」には平成28年5月1日現在の満年齢を記入してください。
  - ・ 教員を学年進行中に変更した又は変更する予定の場合（「新規採用」、「担当授業科目の変更」又は「昇格」をいう。）は、変更後の状況を記入するとともに、その理由、後任者が決まっていない場合は、「変更状況」の「氏名」に「後任未定」と記入し、及び今後の採用計画を「備考」に記入してください。
  - ・ **意見伺いで設置された学部等の専任教員を変更する場合は**、当該専任教員が授業を開始する前に必ず「専任教員採用等設置計画変更書」を提出し、大学設置・学校法人審議会による教員資格審査（AC教員審査）を受けてください。**AC教員審査を受けずに専任教員として授業等を担当することは出来ません。**
  - ・ 「専任教員採用等変更書（AC）」を提出し「可」の教員判定を受けている場合は「○年○月教員審査済」、変更書を提出予定の場合は「○年○月変更書提出予定」と記入してください。  
なお、設置審査時に教員審査省略となっている場合は、「備考」に「（教員審査省略）」及びその変更の理由、変更年度（ ）書き等のみを記入してください。
  - ・ **「事前伺い」により設置された学部等については、本項目を記載する必要はありません。**



(2) 専任教員数等

(2) - ① 専任教員数

設置時の計画					現在（報告書提出時）の状況					現在（報告書提出時）の完成年度時の計画				
教授	准教授	講師	助教	計	教授	准教授	講師	助教	計 (A)	教授	准教授	講師	助教	計 (B)
18	11	5	4	38	17	12	4	4	37	17	12	4	4	37
(17)	(12)	(4)	(4)	(37)						[Δ1]	[1]	[Δ1]	[0]	[Δ1]
研究指導教員数	研究指導補助教員数	講義のみ担当の教員数		研究指導教員数	研究指導補助教員数	講義のみ担当の教員数		研究指導教員数	研究指導補助教員数	講義のみ担当の教員数				
22	15	1		21	15	1		21	15	1				
(21)	(15)	(1)						[Δ1]	[0]	[0]				

- (注) ・「設置時の計画」には、設置時に予定されていた完成年度時の人数を記入するとともに、( ) 内に開設時の状況を記入してください。  
 ・「現在（報告書提出時）の状況」には、報告書提出年度の5月1日の教員数（実人数）を記入してください。  
 ・「現在（報告書提出時）の完成年度時の計画」には、報告書提出年度の5月1日現在、完成年度時に計画している教員数を記入するとともに、[ ] 内に設置時の計画との増減数を記入してください。（記入例：1名減の場合：Δ1）

(2) - ② 年齢構成

年齢構成		
定年規定の定める定年年齢（歳）	報告書提出時（上記(A)）の教員のうち、定年を延長して採用している教員数	完成年度時（上記(B)）の教員うち、定年を延長して採用している教員数
65	0	0

- (注) ・「年齢構成」には、当該学部における教員の定年に関する規定に基づく定年年齢（特例等による定年年齢ではありません）、および、平成28年5月1日現在、定年に関する規定に基づく特例等により定年を超えて専任教員として採用されている教員数および完成年度時に定年を超えて専任教員として採用する教員数を記入してください。  
 ・なお、職位等によって定年年齢が異なる場合には、職位ごとの定年年齢を「定年規定の定める定年年齢」に二段書きで記入し、「定年を延長している教員数」には合算した数を記入してください。  
 ・専門職大学院の場合は、「研究指導教員」を「研究者教員」と、「研究指導補助教員」を「実務家教員」と修正して記入してください。

## 6 留意事項等に対する履行状況等

区 分	留 意 事 項 等	履 行 状 況	未履行事項について の実施計画
設 計	<p>事前伺いのため該当なし</p>		
設 計			
設 計			

- (注) ・ 「設置時」には、当該大学等の設置時に付された留意事項と、それに対する履行状況等について、具体的に記入し、報告年度を（ ）書きで付記してください。
- ・ 「設置計画履行状況調査時」には、当該設置計画履行状況調査の結果、付された意見に対する履行状況等について、具体的に記入するとともに、その履行状況等を裏付ける資料があれば、添付してください。
  - ・ 定員管理に係る留意事項への履行状況は、指摘を受けた学科等についてのみ記入してください。
  - ・ 該当がない場合には、「該当なし」と記入してください。
  - ・ 「事前伺い」により設置された学部等については、本項目を記載する必要はありません。

## 7 その他全般的事項

<創成科学研究科 基盤科学系専攻（博士前期課程）>

### (1) 設置計画変更事項等

設置時の計画	変更内容・状況, 今後の見通しなど
<p>記 ①</p> <p>②</p> <h1>事前伺いのため該当なし</h1> <p>冊</p>	

- (注) ・ 1～6の項目に記入した事項以外で、設置時の計画より変更のあったもの（未実施を含む。）及び法令適合性に関して生じた留意すべき事項について記入してください。
- ・ 設置時の「設置の趣旨等を記載した書類」の項目に沿って作成し、それ以外の事柄については適宜項目を設けてください。（記入例参照）
  - ・ 「事前伺い」により設置された学部等については、当該項目を記載する必要はありません。

### (2) 教員の資質の維持向上の方策（FD活動含む）

①	実施体制
<p>②</p> <h1>事前伺いのため該当なし</h1> <p>③</p>	

- (注) ・ 「①a 委員会の設置状況」には、関係規程等を転載又は添付すること。
- 「②実施状況」には、実施されている取組を全て記載すること。（記入例参照）
- ・ 「事前伺い」により設置された学部等については、本項目を記載する必要はありません。

(3) 自己点検・評価等に関する事項

① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見

②

事前伺いのため該当なし

③

- (注) ・ 設置時の計画の変更(又は未実施)の有無に関わらず記入してください。  
また、「① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見」については、できるだけ具体的な根拠を含めて記入してください。  
なお、「② 自己点検・評価報告書」については、当該調査対象の組織に関する評価内容を含む報告書について記入してください。  
・ 「事前伺い」により設置された学部等については、本項目を記載する必要はありません。

(4) 情報公表に関する事項

○ 設置計画履行状況報告書

a ホームページに公表の有無 (  有 ・  無 )

b 公表時期(未公表の場合は予定時期) ( 28 年 9 月 1 日 )

# 1 調査対象大学等の概要等

## (1) 設置者

国立大学法人 山口大学

## (2) 大学名

山口大学

## (3) 大学の位置

〒753-8511  
山口県山口市吉田1677-1

〒755-8611  
山口県宇部市常盤台2丁目16番1号

- (注) ・対象学部等の位置が大学本部の位置と異なる場合、本部の位置を( )書きで記入してください。  
・対象学部等が複数のキャンパスに所在する場合には、複数のキャンパスの所在地をそれぞれ記載してください。

## (4) 管理運営組織

職名	設置時	変更状況	備考
事前伺いのため該当なし			

- (注) ・「変更状況」は、変更があった場合に記入し、併せて「備考」に変更の理由と変更年月日、報告年度を( )書きで記入してください。
- (例) 平成26年度に報告済の内容 → (26)  
平成28年度に報告する内容 → (28)
- ・昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更があれば、「変更状況」に赤字にて記載(昨年度までに報告された記載があれば、そこに赤字で見え消し修正)するとともに、上記と同様に、「備考」に変更理由等を記入してください。
  - ・大学院の場合には、「職名」を「研究科長」等と修正して記入してください。
  - ・「事前伺い」により設置された学部等については、本項目を記載する必要はありません。

(5) 調査対象研究科等の名称, 定員, 入学者の状況等

- (注) ・ 当該調査対象の学部の学科または研究科の専攻等, 定員を定めている組織ごとに記入してください。  
 (入試区分ごとではありません)。  
 ・ 様式は, 平成26年度開設の博士後期課程の場合(平成28年度までの3年間)ですが, 開設年度・  
 修業年限に合わせて作成してください。(修業年限が2年以下の場合には欄を削除し, 4年以上の場合  
 には, 欄を設けてください。)

(5) - ① 調査対象研究科等の名称, 定員

調査対象研究科等の 名称(学位)	設置時の計画			備 考
	修業年限	入学定員	收容定員	
創成科学研究科 地球圏生命物質科学系専攻 (博士前期課程)  修士(理学)	2 年	42 人	84 人	基礎となる学部等  理学部

- (注) ・ 「備考」に基礎となる学部等の名称を記入してください。  
 ・ 定員を変更した場合は, 「備考」に変更前の人数, 変更年月及び報告年度を( )書きで記入してください。  
 ・ 学生募集停止を予定している場合は, 「備考」にその旨記載してください。

(5) - ② 調査対象研究科等の入学者の状況

区 分	報告年度		平成28年度		平成29年度		平均入 学定員 超 過 率	備 考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期		
A 入学定員	42人		人		人		0.80倍	
	( )	( )	( )	( )	( )	( )		
	[ ]	[ ]	[ ]	[ ]	[ ]	[ ]		
志願者数	40	( )	( )	( )	( )	( )		
	( - )	( )	( )	( )	( )	( )		
	[ - ]	[ ]	[ ]	[ ]	[ ]	[ ]		
受験者数	40	( )	( )	( )	( )	( )		
	( - )	( )	( )	( )	( )	( )		
	[ - ]	[ ]	[ ]	[ ]	[ ]	[ ]		
合格者数	38	( )	( )	( )	( )	( )		
	( - )	( )	( )	( )	( )	( )		
	[ - ]	[ ]	[ ]	[ ]	[ ]	[ ]		
B 入学者数	34	( )	( )	( )	( )	( )		
	( - )	( )	( )	( )	( )	( )		
	[ - ]	[ ]	[ ]	[ ]	[ ]	[ ]		
入学定員超過率 B/A	0.80							

- (注) ・ 数字は, 平成28年5月1日現在の数字を記入してください。  
 ・ ( ) 内には, 社会人の状況について**内数**で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。  
 ・ 「社会人」については, 設置計画書において貴学が定める社会人の定義に従って記入してください。  
 ・ [ ] 内には, 留学生の状況について**内数**で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。  
 ・ 留学生については, 「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格(いわゆる「留学ビザ」)により, 我が国の大学(大学院を含む。), 短期大学, 高等専門学校, 専修学校(専門課程)及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。  
 ・ 短期交換留学生など, 定員内に含めていない学生については記入しないでください。  
 ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は, 春季入学とその他の学期(春季入学以外の学期区分を設けている場合)に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は, その他の学期欄は「-」を記入してください。また, その他の学期に入学定員を設けている場合は, 備考欄にその人数を記入してください。  
 ・ 「入学定員超過率」については, **各年度の春季入学とその他を合計した入学定員, 入学者数で算出**してください。なお, 計算の際は小数点以下第3位を切り捨て, 小数点以下第2位まで記入してください。  
 ・ 「平均入学定員超過率」には, 開設年度から提出年度までの入学定員超過率の平均を記入してください。なお, 計算の際は「入学定員超過率」と同様にしてください。

(5) - ③ 調査対象研究科等の在学者の状況

学 年	報告年度		平成28年度		平成29年度		備 考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	
1年次	[ ] ( ) 34	[ ] ( )	[ ] ( )	[ ] ( )	[ ] ( )	[ ] ( )	
2年次	/		[ ] ( )	[ ] ( )	[ ] ( )	[ ] ( )	
計			[ ] ( ) 34	[ ] ( )	[ ] ( )	[ ] ( )	[ ] ( )

- (注) ・ 数字は、平成28年5月1日現在の数字を記入してください。
- ・ [ ]内には、留学生の状況について内数で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。
  - ・ 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格（いわゆる「留学ビザ」）により、我が国の大学（大学院を含む。）、短期大学、高等専門学校、専修学校（専門課程）及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
  - ・ 短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。
  - ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期（春季入学以外の学期区分を設けている場合）に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「-」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
  - ・ 「計」については、**各年度の春季入学とその他の学期を合計した在学者数、留学生数**を記入してください。
  - ・ ( )内には、**留年者の状況**について、内数で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。

(5) -④ 調査対象学部等の退学者等の状況

区分 対象年度	入学者数(b)	退学者数(a)	退学者数(内訳)			主な退学理由	入学者数に 対する退学者数 の割合 (a/b)
			退学した年度	退学者数	退学者数の うち留学生数		
平成28年度 入学者	34 人	0 人	平成28年度	人	人		0 %
			平成29年度	人	人		
平成29年度 入学者	人	0 人	平成29年度	人	人		#DIV/0! %
合 計	34 人	0 人					0 %

(注)・数字は、平成28年5月1日現在の数字を記入してください。

- 各年度の入学者数については、該当年度当初に入学した人数を記入してください。(途中で退学者がいた場合でも、その退学者数を減らす必要はありません。)
- 各年度の退学者数については、退学年度ごとに記入してください。また、留学生数欄の人数については、退学者数の内数を記入してください。
- 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格（いわゆる「留学ビザ」）により、我が国の大学（大学院を含む。）、短期大学、高等専門学校、専修学校（専門課程）及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記入してください。
- 短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。
- 「入学者数に対する退学者数の割合」は、【当該対象年度の入学者のうち、平成28年5月1日現在までに退学した学生数の合計】を、【当該対象年度の入学者数】で除した割合(%)を記入してください。その際、小数点以下第2位を四捨五入し、小数点以下第1位までを記入してください。
- 「主な退学理由」は、下の項目を参考に記入してください。その際、「就学意欲の低下(○人)」というように、その人数も含めて記入してください。  
 (記入項目例)・就学意欲の低下   ・学力不足   ・他の教育機関への入学・転学   ・海外留学  
                   ・就職   ・学生個人の心身に関する事情   ・家庭の事情   ・除籍   ・その他



## 2 授業科目の概要

<創成科学研究科 地球圏生命物質科学系専攻（博士前期課程）>

### (1) 授業科目表

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					備考	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
研究科共通科目	【研究基盤科目】											
	研究者行動規範特論	1前	1			1						兼 2
	知的財産特論	1後	1			1						兼 2
	サイエンティフィック・ライティング	1前		1		1						兼 2
	プレゼンテーション特論	1後		1		1						兼 2
	【イノベーション教育科目】											
	研究開発戦略論	1・2前	2			1						兼 2
	企業経営と財務	1・2後		2		1						兼 2
	【キャリア教育科目】											
	キャリアデザインⅠ	1後		1		1						兼 2
学外特別研修Ⅰ	1・2前・後		1~2		1							
長期インターンシップⅠ	1・2前・後		6		1							
専攻基盤科目	専門英語特別演習	1・2前・後	1			16 15	13	1 2	2			オムニバス 具体的な担当教員の確定による変更及び教育効果充実のため教員(助教1名)を追加(28)
	地球圏生命物質科学系特論	1前	2			7 15	1 13	2	2			オムニバス 具体的な担当教員の確定による変更(28)
	生物科学特別講究Ⅰ	1通		2		5	5 7		2 1		兼 1	開設クラスの確定による変更及び教育効果充実のため教員(助教1名)を追加(28)
	生物科学特別講究Ⅱ	2通		2		5	5 7		2 1		兼 1	開設クラスの確定による変更及び教育効果充実のため教員(助教1名)を追加(28)
	生物科学ゼミナールⅠ	1通		2		5	5 7		2 1		兼 1	開設クラスの確定による変更及び教育効果充実のため教員(助教1名)を追加(28)
	生物科学ゼミナールⅡ	2通		2		5	5 7		2 1		兼 1	開設クラスの確定による変更及び教育効果充実のため教員(助教1名)を追加(28)
	化学特別講究Ⅰ	1通		2		5	6 4	+	1 2		兼 2	担当教員の昇任に伴う変更(28)
	化学特別講究Ⅱ	2通		2		5	6 4	+	1 2		兼 2	担当教員の昇任に伴う変更(28)
	化学ゼミナールⅠ	1通		2		5	6 4	+	1 2		兼 2	担当教員の昇任に伴う変更(28)
	化学ゼミナールⅡ	2通		2		5	6 4	+	1 2		兼 2	担当教員の昇任に伴う変更(28)
	地球科学特別講究Ⅰ	1通		2		6 5	4 6		1			開設クラスの確定による変更及び教育効果充実のため担当教員を変更(28)
	地球科学特別講究Ⅱ	2通		2		6 5	4 6		1			開設クラスの確定による変更及び教育効果充実のため担当教員を変更(28)
	地球科学ゼミナールⅠ	1通		2		6 5	4 6		1			開設クラスの確定による変更及び教育効果充実のため担当教員を変更(28)
	地球科学ゼミナールⅡ	2通		2		6 5	4 6		1			開設クラスの確定による変更及び教育効果充実のため担当教員を変更(28)

	サイエンス特別実習Ⅰ	1・2通 1・2前	1		16 15	16	1 2	3		具体的な担当教員確定による変更。また、教育効果充実のため開講期を変更(28)	
	サイエンス特別実習Ⅱ	1・2通 1・2後	1		16 15	16	1 2	3		具体的な担当教員確定による変更。また、教育効果充実のため開講期を変更(28)	
専 門 科 目	微生物細胞機能学特論	1・2後	2		1					集中 教育効果充実のため授業形式を集中講義に変更(28)	
	分子遺伝学特論	1・2後	2			1					
	時間生物学特論	1・2後	2		1						
	分子生殖生物学特論	1・2前	2		1						
	発生遺伝学特論	1・2後	2		1						
	分子細胞生理学特論	1・2前	2		1						
	環境生物学特論	1・2後	2				1				
	細胞生物物理学特論	1・2前	2				1				
	分子細胞機能学特論	1・2後	2				1				
	細胞増殖分化学特論	1・2前	2				1				
	生物学特論Ⅰ	1・2前	2		2 1	3 5					兼 1 オムニバス 担当教員の昇任及び、具体的な担当教員の確定による変更(28)
	生物学特論Ⅱ	1・2前	2		3	2		1			兼 1 オムニバス 集中 教育効果充実のため、開講形式を弾力化(28)
	生物学特別講義	1・2前・後	1~2 2								兼 1
	分析化学特論	1・2後	2				1				兼 1
	応用分析化学特論	1・2前	2								兼 1
	光化学特論	1・2後	2		1						兼 1
	機能表面化学特論	1・2前	2				1				兼 1
	物理有機化学特論	1・2前	2		1						兼 1
	物性化学特論	1・2後	2		1						兼 1
	生命有機金属化学特論	1・2前	2		1	1					兼 1
	界面電子化学特論	1・2後	2		1						兼 1
	計算化学特論	1・2後	2				1	+			兼 1 担当教員の昇任に伴う変更(28)
	有機金属反応化学特論	1・2後	2								兼 1
	固体化学特論	1・2前	2				1				兼 1
	先端化学特論	1・2後	2			5	6 4	+	1 2		兼 2 オムニバス 担当教員の昇任に伴う変更(28)
	化学特別講義	1・2前・後	1~2 2								兼 1 集中 教育効果充実のため、開講形式を弾力化(28)
	岩石学特論	1・2前	2		1						兼 1
	堆積学特論	1・2前	2		1						兼 1
	岩石化学特論	1・2前	2		1						兼 1
	資源物質学特論	1・2後 1・2前	2				1				兼 1 教育効果充実のため、開講期を変更(28)
結晶成長学特論	1・2前	2				1			兼 1		
鉱物科学特論	1・2後	2				1			兼 1		
海洋底地質学特論	1・2前 1・2後	2				1			兼 1 教育効果充実のため、開講期を変更(28)		
地質情報学特論	1・2後	2		1					兼 1		
変成岩岩石学特論	1・2前 1・2後	2		1					兼 1 教育効果充実のため、開講期を変更(28)		
実験岩石力学特論	1・2前	2						1	兼 1		
付加体地質学特論	1・2後	2				1			兼 1		

最先端地球科学特論Ⅰ	1・2前・後		2		6 5	4 6	1			共同	オムニバス 具体的な担当教員の確定による 変更 (28)
最先端地球科学特論Ⅱ	1・2前・後		2		6 5	4 6	1			共同	オムニバス 具体的な担当教員の確定による 変更 (28)
地球科学特別講義	1・2前・後		1~2 2							兼 1	集中 教育効果充実のため、開講形式 を弾力化(28)
特別研究	1~2通	6			16 15	16	1 2	2 3	0		開設クラスの確定及び担当教員 の昇任による変更 (28)

- (注) ・ 設置計画の様式第2号(その2の1)に準じて作成してください。
- ・ 設置時の授業科目全て(兼任、兼任教員が担当する科目を含む。)を黒字で記載してください。その上で、前年度報告時(平成28年度に設置された大学等は設置時)より変更されているものは赤字で見え消し修正し、「備考」に赤字で理由・変更年月等を記入してください。  
なお、昨年度の報告書において赤字で見え消しした部分については、見え消しのまま黒字にしてください。
  - ・ 兼任、兼担の教員が担当する授業科目については、備考欄に担当する教員数を「兼〇」と記入してください。
  - ・ 授業科目を追加又は内容を変更する場合、専任教員が担当するため教員審査が必要なものについては、「専任教員採用等設置計画変更書」の審査予定年月等を「備考」に記入してください。(今後審査を受ける場合には、「平成〇年〇月 提出予定」と記入してください。)
  - ・ 「配当年次」について、設置計画時に開講時期を記入する必要がなかった学部等(平成19年度設置以前)についても、設置時の状況を黒字で記入してください。また、前年度報告時より修正があれば、赤字で見え消し修正をしてください。
  - ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目についても記入してください。

## (2) 授業科目数

設置時の計画				変更状況				備 考
必修	選択	自由	計	必修	選択	自由	計	
科目	科目	科目	科目	科目	科目	科目	科目	
6	60		66	6	60		66	
				[ ]	[ ]	[ ]	[ ]	

- (注) ・ 未開講科目も含めた教育課程上の授業科目数を記入するとともに、[ ]内に、設置時の計画からの増減を記入してください。(記入例：1科目減の場合：△1)
- ・ 資格に関する課程など、別課程としている授業科目については算入する必要はありません。

(3) 未開講科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	未開講の理由, 代替措置の有無
1	該当なし					
2						
3						

- (注) ・ 設置時の計画にあった授業科目が配当年次に達しているにも関わらず、何らかの理由で未開講となっている授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
- ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目については、記入しないでください。
  - ・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」と修正して記入してください。

(4) 廃止科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	廃止の理由, 代替措置の有無
1	該当なし					
2						
3						

- (注) ・ 設置時の計画にあり、何らかの理由で廃止（教育課程から削除）した授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
- ・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」と修正して記入してください。

(5) 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

該当なし
------

- (注) ・ 授業科目を未開講又は廃止としたことによる学生の履修への影響に関する「大学の所見」及び「学生への周知方法」を記入してください。

(6) 「設置時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

$$\frac{\text{未開講科目と廃止科目の計}}{\text{設置時の計画の授業科目数の計}} = \text{該当なし}$$

- (注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位までを記入してください。

### 3 施設・設備の整備状況, 経費

区分	内容	備考
(1) 校地等	<p>事前伺いのため該当なし</p>	
(2)		
(3)		
(4)		
(5) 図書・設備		
(6)		
(7)		
(8) 経費 積り 維持 の 概 要		
学生納付金以外の維持方法の概要		

- (注) ・ 設置時の計画を, 設置計画書の様式第2号(その1の1)に準じて作成してください。(複数のキャンパスに分かれている場合, 複数の様式に分ける必要はありません。なお, 「(1)校地等」及び「(2)校舎」は大学全体の数字を, その他の項目は AC対象学部等の数値を記入してください。)
- ・ 運動場用地が校舎敷地と別地にある場合は, その旨(所要時間・距離等)を「備考」に記入してください。
  - ・ 「(5)図書・設備」については, 上段に完成年度の予定数値を, 下段には平成28年5月1日現在の数値を記入してください。
  - ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更のあったものについては, 変更部分を赤字で見え消し修正するとともに, その理由及び報告年度「(28)」を「備考」に赤字で記入してください。  
 なお, 昨年度の報告において赤字で見え消した部分については, 見え消しのまま黒字にしてください。
  - ・ 「事前伺い」により設置された学部等については, 本項目を記載する必要はありません。

#### 4 既設大学等の状況

大学の名称	山 口 大 学						備 考		
既設学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学員定員	収容定員	学位又は称号	平均入学定員超過率	開 設 年 度	所 在 地	
	年	人	年次人	人		倍			
人文学部								山口県山口市吉田1677番地 1	
人文学科	4	185	-	740	学士（文学）	1.00	平成28年度		
人文社会学科	4	-	-	-	学士（文学）	-	平成5年度		平成28年度より学生募集停止
言語文化学科	4	-	-	-	学士（文学）	-	平成5年度		平成28年度より学生募集停止
教育学部								山口県山口市吉田1677番地 1	
学校教育教員養成課程	4	180	-	620	学士（教育学）	1.04	平成10年度		
実践臨床教育課程	4	-	-	-	学士（教育学）	-	平成10年度		平成27年度より学生募集停止
情報科学教育課程	4	-	-	-	学士（教育学）	-	平成10年度		平成27年度より学生募集停止
健康科学教育課程	4	-	-	-	学士（教育学）	-	平成10年度		平成27年度より学生募集停止
総合文化教育課程	4	-	-	-	学士（教育学）	-	平成元年度		平成27年度より学生募集停止
経済学部						1.03		山口県山口市吉田1677番地 1	
経済学科	4	130	-	440	学士（経済学）	-	昭和24年度		
経営学科	4	165	-	590	学士（経済学）	-	昭和24年度		
国際経済学科	4	-	-	-	学士（経済学）	-	昭和52年度		平成27年度より学生募集停止
経済法学科	4	-	-	-	学士（法学）	-	昭和55年度		平成27年度より学生募集停止
観光政策学科	4	50	-	160	学士（経済学）	-	平成17年度		
商業教員養成課程	4	-	-	-	学士（経済学）	-	昭和29年度		平成27年度より学生募集停止
理学部								山口県山口市吉田1677番地 1	
数理科学科	4	50	-	200	学士（理学）	1.05	平成7年度		
物理・情報科学科	4	60	-	240	学士（理学）	1.02	平成18年度		
生物・化学科	4	80	-	320	学士（理学）	1.01	平成18年度		
地球圏システム科学科	4	30	-	120	学士（理学）	1.05	平成18年度		
医学部								山口県宇部市南小串1丁目1番1号	
医学科	6	107	2年次 10	692	学士（医学）	1.00	昭和39年度		
保健学科	4	120	3年次 15	510	学士（看護学、保健学）	1.03	平成12年度		
工学部								山口県宇部市常盤台2丁目16番1号	
機械工学科	4	90	3年次 5	370	学士（工学）	1.03	平成2年度		
社会建設工学科	4	80	-	320	学士（工学）	1.03	平成2年度		
応用化学科	4	90	-	360	学士（工学）	1.04	平成19年度		
電気電子工学科	4	80	3年次 5	330	学士（工学）	1.03	平成2年度		
知能情報工学科	4	80	3年次 10	340	学士（工学）	1.03	平成19年度		
感性デザイン工学科	4	55	-	220	学士（工学）	1.05	平成8年度		
循環環境工学科	4	55	-	220	学士（工学）	1.05	平成19年度		
農学部								山口県山口市吉田1677番地 1	
生物資源環境科学科	4	50	-	200	学士（農学）	1.03	平成13年度		
生物機能科学科	4	50	-	200	学士（農学）	1.01	平成13年度		
獣医学科	6	-	-	-	学士（獣医学）	-	昭和24年度		平成24年度より学生募集停止
共同獣医学部								山口県山口市吉田1677番地 1	
獣医学科	6	30	-	150	学士（獣医学）	1.01	平成24年度		
国際総合科学部								山口県山口市吉田1677番地 1	
国際総合科学科	4	100	-	200	学士（学術）	1.04	平成27年度		

人文科学研究科							山口県山口市吉田1677番地 1	
人文科学専攻	2	8	-	8	修士(文学)	0.25	平成28年度	
地域文化専攻	2	-	-	-	修士(文学)	-	昭和60年度	平成28年度より学生募集停止
言語文化専攻	2	-	-	-	修士(文学)	-	昭和60年度	平成28年度より学生募集停止
教育学研究科							山口県山口市吉田1677番地 1	
学校教育専攻	2	10	-	23	修士(教育学)	1.10	平成3年度	
教科教育専攻	2	17	-	45	修士(教育学)	1.05	平成3年度	
教職実践高度化専攻	2	14	-	14	教職修士(専門職)	1.07	平成28年度	
経済学研究科							山口県山口市吉田1677番地 1	
経済学専攻	2	16	-	32	修士(経済学)	0.24	昭和50年度	
企業経営専攻	2	10	-	20	修士(経済学)	0.50	平成7年度	
医学系研究科(医学博士)							山口県宇部市南小串1丁目1番1号	
医学専攻	4	33	-	33	博士(医学)	1.09	平成28年度	
システム統御医学系専攻	4	-	-	-	博士(医学)	-	平成18年度	平成28年度より学生募集停止
情報解析医学系専攻	4	-	-	-	博士(医学)	-	平成18年度	平成28年度より学生募集停止
医学系研究科(博士前期)							山口県宇部市南小串1丁目1番1号	
応用医工学系専攻	2	-	-	-	修士(医工学)	-	平成13年度	平成28年度より学生募集停止
応用分子生命科学系専攻	2	-	-	-	修士(生命科学、学術)	-	平成18年度	平成28年度より学生募集停止
保健学専攻	2	12	-	24	修士(保健学)	1.37	平成17年度	
医学系研究科(博士後期)							山口県宇部市南小串1丁目1番1号	
応用医工学系専攻	3	-	-	-	博士(医工学)	-	平成13年度	平成28年度より学生募集停止
応用分子生命科学系専攻	3	-	-	-	博士(生命科学、学術)	-	平成18年度	平成28年度より学生募集停止
保健学専攻	3	5	-	15	博士(保健学)	0.80	平成19年度	
創成科学研究科(博士前期)							山口県山口市吉田1677番地 1	
基盤科学系専攻	2	38	-	38	修士(理学)	0.92	平成28年度	山口県宇部市常盤台2丁目16番1号
地球圏生物物質科学系専攻	2	42	-	42	修士(理学)	0.80	平成28年度	
化学系専攻	2	83	-	83	修士(工学、学術)	0.87	平成28年度	
電気電子情報系専攻	2	107	-	107	修士(工学)	1.00	平成28年度	
機械工学系専攻	2	60	-	60	修士(工学)	1.01	平成28年度	
建設環境系専攻	2	74	-	74	修士(工学、学術)	0.74	平成28年度	
農学系専攻	2	42	-	42	修士(農学、生命科学)	0.71	平成28年度	
創成科学研究科(博士後期)							山口県山口市吉田1677番地 1	
自然科学系専攻	3	7	-	7	博士(理学、学術)	0.28	平成28年度	山口県宇部市常盤台2丁目16番1号
物質工学系専攻	3	8	-	8	博士(工学、学術)	0.12	平成28年度	
システム・デザイン工学系専攻	3	10	-	10	博士(工学、学術)	0.70	平成28年度	
環境共生系専攻	3	12	-	12	博士(工学、学術)	0.66	平成28年度	
ライフサイエンス系専攻	3	7	-	7	博士(工学、学術)	0.85	平成28年度	
理工学研究科(博士前期)							山口県山口市吉田1677番地 1	平成28年度より学生募集停止
数理科学専攻	2	-	-	-	修士(理学)	-	平成9年度	山口県宇部市常盤台2丁目16番1号
物理・情報科学専攻	2	-	-	-	修士(理学)	-	平成18年度	
地球科学専攻	2	-	-	-	修士(理学)	-	平成18年度	
機械工学専攻	2	-	-	-	修士(工学)	-	昭和41年度	
社会建設工学専攻	2	-	-	-	修士(工学)	-	平成9年度	
物質化学専攻	2	-	-	-	修士(工学)	-	平成18年度	
電子デバイス工学専攻	2	-	-	-	修士(工学)	-	平成18年度	
電子情報システム工学専攻	2	-	-	-	修士(工学)	-	平成18年度	
感性デザイン工学専攻	2	-	-	-	修士(工学)	-	平成12年度	
環境共生系専攻	2	-	-	-	修士(工学、理学)	-	平成18年度	

理工学研究科（博士後期）								山口県山口市吉田1677番地1	平成28年度より学生募集停止
自然科学基盤系専攻	3	-	-	-	博士（理学、工学、学術）	-	平成18年度	山口県宇部市常盤台2丁目16番1号	
システム設計工学系専攻	3	-	-	-	博士（工学、学術）	-	平成18年度		
物質工学系専攻	3	-	-	-	博士（工学、学術）	-	平成18年度		
情報・デザイン工学系専攻	3	-	-	-	博士（工学、学術）	-	平成18年度		
環境共生系専攻	3	-	-	-	博士（工学、理学、学術）	-	平成18年度		
農学研究科								山口県山口市吉田1677番地1	平成28年度より学生募集停止
生物資源科学専攻	2	-	-	-	修士（農学）	-	平成7年度		
東アジア研究科								山口県山口市吉田1677番地1	
東アジア専攻	3	10	-	30	博士（学術）	1.26	平成13年度		
技術経営研究科								山口県宇部市常盤台2丁目16番1号	
技術経営専攻	2	15	-	30	技術経営修士（専門職）	1.10	平成17年度		
連合獣医学研究科								【山口大学】	
獣医学専攻	4	12	-	48	博士（獣医学）	1.56	平成2年度	山口県山口市吉田1677番地1	
								【鳥取大学】	
								鳥取県鳥取市湖山町南4丁目101	
								【鹿児島大学】	
								鹿児島県鹿児島市都元1丁目21番24号	

- (注) ・ 本調査の対象となっている大学等の設置者（国立大学法人）が設置している全ての大学（学部、学科）及び大学院（専攻）（AC対象学部等含む）について、それぞれの学校種ごとに、平成28年5月1日現在の上記項目の情報を記入してください。
- ・ 学部の学科または研究科の専攻等、「入学定員を定めている組織」ごとに記入してください。
  - ※「入学定員を定めている組織ごと」には、課程認定等によりコース・専攻に入学定員を定めている場合を含めず、履修上の区分としてコース・専攻を設けている場合は含めません。
  - ※なお、課程認定等によりコースや専攻に入学定員を定めている場合は、法令上規定されている組織上の最小単位（大学であれば「学科」、短期大学であれば「専攻課程」）でも記載してください。
  - ・ 専攻科に係るものについては、記入する必要はありません。
  - ・ AC対象学部等についても必ず記入してください。
  - ・ 「平均入学定員超過率」には、標準修業年限に相当する期間における入学定員に対する入学者の割合の平均の小数点以下第2位まで（小数点以下第3位を切り捨て）を記入してください。
  - ・ 学生募集を停止している学部等がある場合、入学定員・収容定員・平均入学定員超過率は「-」とし、「備考」に「平成〇〇年より学生募集停止」と記入してください。



5 教員組織の状況

<創成科学研究科 地球圏生命物質科学系専攻（博士前期課程）>

(1) 担当教員表

設置時の計画					変更状況					備考
専任・兼任	職名	氏名(年齢)	就任予定年月	担当授業科目名	専任・兼任	職名	氏名(年齢)	就任予定年月	担当授業科目名	
<p>事前伺いのため該当なし</p>										

- 後任が決まっていなかった場合には、「後任未定」と記入してください。
- ・ 辞任者は「備考」に退職年月、氏名、理由を記入してください。
  - ・ 年齢は、「設置時の計画」には当該学部等の就任時における満年齢を、「変更状況」には平成28年5月1日現在の満年齢を記入してください。
  - ・ 教員を学年進行中に変更した又は変更する予定の場合（「新規採用」、「担当授業科目の変更」又は「昇格」をいう。）は、変更後の状況を記入するとともに、その理由、後任者が決まっていない場合は、「変更状況」の「氏名」に「後任未定」と記入し、及び今後の採用計画を「備考」に記入してください。
  - ・ **意見伺いで設置された学部等の専任教員を変更する場合は、当該専任教員が授業を開始する前に必ず「専任教員採用等設置計画変更書」を提出し、大学設置・学校法人審議会による教員資格審査（AC教員審査）を受けてください。AC教員審査を受けずに専任教員として授業等を担当することは出来ません。**
  - ・ 「専任教員採用等変更書（AC）」を提出し「可」の教員判定を受けている場合は「〇年〇月教員審査済」、変更書を提出予定の場合は「〇年〇月変更書提出予定」と記入してください。
  - ・ なお、設置審査時に教員審査省略となっている場合は、「備考」に「（教員審査省略）」及びその変更の理由、変更年度（ ）書き等のみを記入してください。
  - ・ 「事前伺い」により設置された学部等については、本項目を記載する必要はありません。

(2) 専任教員数等

(2) - ① 専任教員数

設置時の計画					現在（報告書提出時）の状況					現在（報告書提出時）の完成年度時の計画				
教授	准教授	講師	助教	計	教授	准教授	講師	助教	計(A)	教授	准教授	講師	助教	計(B)
15	16	2	3	36	16	16	1	3	36	16	17	1	3	37
(16)	(16)	(1)	(3)	(36)						[1]	[1]	[△1]	[0]	[1]
研究指導教員数	研究指導補助教員数	講義のみ担当の教員数			研究指導教員数	研究指導補助教員数	講義のみ担当の教員数			研究指導教員数	研究指導補助教員数	講義のみ担当の教員数		
15	20	1			16	19	1			16	20	1		
(16)	(19)	(1)								[1]	[0]	[0]		

- (注) ・ 「設置時の計画」には、設置時に予定されていた完成年度時の人数を記入するとともに、( ) 内に開設時の状況を記入してください。
- ・ 「現在（報告書提出時）の状況」には、報告書提出年度の5月1日の教員数（実人数）を記入してください。
- ・ 「現在（報告書提出時）の完成年度時の計画」には、報告書提出年度の5月1日現在、完成年度時に計画している教員数を記入するとともに、[ ] 内に設置時の計画との増減数を記入してください。（記入例：1名減の場合：△1）

(2) - ② 年齢構成

年齢構成		
定年規定の定める定年年齢(歳)	報告書提出時(上記(A))の教員のうち、定年を延長して採用している教員数	完成年度時(上記(B))の教員のうち、定年を延長して採用する教員数
65	0	0

- (注) ・ 「年齢構成」には、当該学部における教員の定年に関する規定に基づく定年年齢（特例等による定年年齢ではありません）、および、平成28年5月1日現在、定年に関する規定に基づく特例等により定年を超えて専任教員として採用されている教員数および完成年度時に定年を超えて専任教員として採用する教員数を記入してください。
- ・ なお、職位等によって定年年齢が異なる場合には、職位ごとの定年年齢を「定年規定の定める定年年齢」に二重書きで記入し、「定年を延長している教員数」には合算した数を記入してください。
- ・ 専門職大学院の場合は、「研究指導教員」を「研究者教員」と、「研究指導補助教員」を「実務家教員」と修正して記入してください。

## 6 留意事項等に対する履行状況等

区 分	留 意 事 項 等	履 行 状 況	未履行事項について の実施計画
設 計  設 計  設 計	<p>事前伺いのため該当なし</p>		

- (注) ・ 「設置時」には、当該大学等の設置時に付された留意事項と、それに対する履行状況等について、具体的に記入し、報告年度を（ ）書きで付記してください。
- ・ 「設置計画履行状況調査時」には、当該設置計画履行状況調査の結果、付された意見に対する履行状況等について、具体的に記入するとともに、その履行状況等を裏付ける資料があれば、添付してください。
  - ・ 定員管理に係る留意事項への履行状況は、指摘を受けた学科等についてのみ記入してください。
  - ・ 該当がない場合には、「該当なし」と記入してください。
  - ・ 「事前伺い」により設置された学部等については、本項目を記載する必要はありません。

## 7 その他全般的事項

<創成科学研究科 地球圏生命物質科学系専攻（博士前期課程）>

### (1) 設置計画変更事項等

設置時の計画	変更内容・状況, 今後の見通しなど
<div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <div style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">記 ①</div> <div style="text-align: center; font-size: 2em; font-weight: bold;">事前伺いのため該当なし</div> <div style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">②</div> </div>	

- (注) ・ 1～6の項目に記入した事項以外で、設置時の計画より変更のあったもの（未実施を含む。）及び法令適合性に関して生じた留意すべき事項について記入してください。
- ・ 設置時の「設置の趣旨等を記載した書類」の項目に沿って作成し、それ以外の事柄については適宜項目を設けてください。（記入例参照）
  - ・ 「事前伺い」により設置された学部等については、当該項目を記載する必要はありません。

### (2) 教員の資質の維持向上の方策（FD活動含む）

①	実施体制
<div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <div style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">②</div> <div style="text-align: center; font-size: 2em; font-weight: bold;">事前伺いのため該当なし</div> <div style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">③</div> </div>	

- (注) ・ 「①a 委員会の設置状況」には、関係規程等を転載又は添付すること。
- 「②実施状況」には、実施されている取組を全て記載すること。（記入例参照）
- ・ 「事前伺い」により設置された学部等については、本項目を記載する必要はありません。

(3) 自己点検・評価等に関する事項

① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見

②

事前伺いのため該当なし

③

- (注) ・ 設置時の計画の変更（又は未実施）の有無に関わらず記入してください。  
また、「① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見」については、できるだけ具体的な根拠を含めて記入してください。  
なお、「② 自己点検・評価報告書」については、当該調査対象の組織に関する評価内容を含む報告書について記入してください。  
・ 「事前伺い」により設置された学部等については、本項目を記載する必要はありません。

(4) 情報公表に関する事項

○ 設置計画履行状況報告書

a ホームページに公表の有無 (  有 ・  無 )

b 公表時期（未公表の場合は予定時期） ( 28 年 9 月 1 日 )

## 1 調査対象大学等の概要等

### (1) 設置者

国立大学法人 山口大学

### (2) 大学名

山口大学

### (3) 大学の位置

〒753-8511  
山口県山口市吉田1677-1

〒755-8611  
山口県宇部市常盤台2丁目16番1号

- (注) ・対象学部等の位置が大学本部の位置と異なる場合、本部の位置を( )書きで記入してください。  
・対象学部等が複数のキャンパスに所在する場合には、複数のキャンパスの所在地をそれぞれ記載してください。

### (4) 管理運営組織

職名	設置時	変更状況	備考
事前伺いのため該当なし			

- (注) ・「変更状況」は、変更があった場合に記入し、併せて「備考」に変更の理由と変更年月日、報告年度を( )書きで記入してください。
- (例) 平成26年度に報告済の内容 → (26)  
平成28年度に報告する内容 → (28)
- ・昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更があれば、「変更状況」に赤字にて記載(昨年度までに報告された記載があれば、そこに赤字で見え消し修正)するとともに、上記と同様に、「備考」に変更理由等を記入してください。
  - ・大学院の場合には、「職名」を「研究科長」等と修正して記入してください。
  - ・「事前伺い」により設置された学部等については、本項目を記載する必要はありません。

(5) 調査対象研究科等の名称, 定員, 入学者の状況等

- (注) ・ 当該調査対象の学部の学科または研究科の専攻等, 定員を定めている組織ごとに記入してください。  
 (入試区分ごとではありません)。  
 ・ 様式は, 平成26年度開設の博士後期課程の場合(平成28年度までの3年間)ですが, 開設年度・  
 修業年限に合わせて作成してください。(修業年限が2年以下の場合には欄を削除し, 4年以上の場合  
 には, 欄を設けてください。)

(5) - ① 調査対象研究科等の名称, 定員

調査対象研究科等 の名称(学位)	設置時の計画			備 考
	修業年限	入学定員	収容定員	
創成科学研究科 化学系専攻 (博士前期課程)  修士(工学) 修士(学術)	2年	83人	166人	基礎となる学部等  工学部

- (注) ・ 「備考」に基礎となる学部等の名称を記入してください。  
 ・ 定員を変更した場合は, 「備考」に変更前的人数, 変更年月及び報告年度を( )書きで記入してください。  
 ・ 学生募集停止を予定している場合は, 「備考」にその旨記載してください。

(5) - ② 調査対象研究科等の入学者の状況

区 分	報告年度		平成28年度		平成29年度		平均入 学定員 超 過 率	備 考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期		
A 入学定員	83人		( )	( )	( )	( )	0.87倍	
志願者数	75 (-) [2]	( ) [ ]	( ) [ ]	( ) [ ]	( ) [ ]	( ) [ ]		
受験者数	74 (-) [2]	( ) [ ]	( ) [ ]	( ) [ ]	( ) [ ]	( ) [ ]		
合格者数	74 (-) [2]	( ) [ ]	( ) [ ]	( ) [ ]	( ) [ ]	( ) [ ]		
B 入学者数	73 (-) [2]	( ) [ ]	( ) [ ]	( ) [ ]	( ) [ ]	( ) [ ]		
入学定員超過率 B/A	0.87							

- (注) ・ 数字は, 平成28年5月1日現在の数字を記入してください。  
 ・ ( )内には, 社会人の状況について**内数**で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。  
 ・ 「社会人」については, 設置計画書において貴学が定める社会人の定義に従って記入してください。  
 ・ [ ]内には, 留学生の状況について**内数**で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。  
 ・ 留学生については, 「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格(いわゆる「留学ビザ」)により, 我が国の大学(大学院を含む), 短期大学, 高等専門学校, 専修学校(専門課程)及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。  
 ・ 短期交換留学生など, 定員内に含めていない学生については記入しないでください。  
 ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は, 春季入学とその他の学期(春季入学以外の学期区分を設けている場合)に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は, その他の学期欄は「-」を記入してください。また, その他の学期に入学定員を設けている場合は, 備考欄にその人数を記入してください。  
 ・ 「入学定員超過率」については, **各年度の春季入学とその他を合計した入学定員, 入学者数で算出**してください。なお, 計算の際は小数点以下第3位を切り捨て, 小数点以下第2位まで記入してください。  
 ・ 「平均入学定員超過率」には, 開設年度から提出年度までの入学定員超過率の平均を記入してください。なお, 計算の際は「入学定員超過率」と同様にしてください。

(5) - ③ 調査対象研究科等の在学者の状況

学 年	報告年度		平成28年度		平成29年度		備 考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	
1年次	[2] ( - ) 73	[ ] ( )	[ ] ( )	[ ] ( )	[ ] ( )	[ ] ( )	
2年次	/		[ ] ( )	[ ] ( )	[ ] ( )	[ ] ( )	
計			[ 2 ] ( - ) 73	[ ] ( )	[ ] ( )	[ ] ( )	[ ] ( )

- (注) ・ 数字は、平成28年5月1日現在の数字を記入してください。
- ・ [ ]内には、留学生の状況について内数で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。
  - ・ 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格（いわゆる「留学ビザ」）により、我が国の大学（大学院を含む。）、短期大学、高等専門学校、専修学校（専門課程）及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
  - ・ 短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。
  - ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期（春季入学以外の学期区分を設けている場合）に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「-」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
  - ・ 「計」については、**各年度の春季入学とその他の学期を合計した在学者数、留学生数**を記入してください。
  - ・ ( )内には、**留年者の状況**について、内数で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。

(5) -④ 調査対象学部等の退学者等の状況

区分 対象年度	入学者数(b)	退学者数(a)	退学者数(内訳)			主な退学理由	入学者数に 対する退学者数 の割合 (a/b)
			退学した年度	退学者数	退学者数の うち留学生数		
平成28年度 入学者	73 人	0 人	平成28年度	人	人		0 %
			平成29年度	人	人		
平成29年度 入学者	人	0 人	平成29年度	人	人		#DIV/0! %
合 計	73 人	0 人					0 %

(注)・数字は、平成28年5月1日現在の数字を記入してください。

- ・各年度の入学者数については、該当年度当初に入学した人数を記入してください。(途中で退学者がいた場合でも、その退学者数を減らす必要はありません。)
- ・各年度の退学者数については、退学年度ごとに記入してください。また、留学生数欄の人数については、退学者数の内数を記入してください。
- ・留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格(いわゆる「留学ビザ」)により、我が国の大学(大学院を含む。)、短期大学、高等専門学校、専修学校(専門課程)及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記入してください。
- ・短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。
- ・「入学者数に対する退学者数の割合」は、【当該対象年度の入学者のうち、平成28年5月1日現在までに退学した学生数の合計】を、【当該対象年度の入学者数】で除した割合(%)を記入してください。その際、小数点以下第2位を四捨五入し、小数点以下第1位までを記入してください。
- ・「主な退学理由」は、下の項目を参考に記入してください。その際、「就学意欲の低下(○人)」というように、その人数も含めて記入してください。  
(記入項目例)・就学意欲の低下 ・学力不足 ・他の教育機関への入学・転学 ・海外留学  
・就職 ・学生個人の心身に関する事情 ・家庭の事情 ・除籍 ・その他



## 2 授業科目の概要

<創成科学研究科 化学系専攻（博士前期課程）>

### (1) 授業科目表

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					備考	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
研究科共通科目	【研究基盤科目】											
	研究者行動規範特論	1後 1前	1			1					兼2	教育効果充実のため、開講期変更（28）
	知的財産特論	1前									兼1	具体的な担当教員の確定による変更及び教育効果充実のため開講期変更（28）
	サイエンティフィック・ライティング	1後 1前	1	1		1					兼2	具体的な担当教員の確定による変更（28）
	プレゼンテーション特論	1前		1		1					兼3 兼2	具体的な担当教員の確定による変更（28）
	【イノベーション教育科目】											
	研究開発戦略論	1・2前 1・2前	2			1					兼2	具体的な担当教員の確定による変更（28） 教育効果充実のため、開講期変更（28）
	企業経営と財務	1・2後		2		1					兼2	
	【キャリア教育科目】											
	キャリアデザインⅠ	1後		1		1					兼2	具体的な担当教員の確定による変更（28）
学外特別研修Ⅰ	1・2前・後		1~2		1							
長期インターンシップⅠ	1・2前・後		6		1							
専攻基盤科目	専門英語特別演習	1・2通 1・2前・後 1・2前	1			16 1	13	1	7			教育効果充実のため、開講期及び担当教員変更（28）
	化学系特論	1前	2			1						
	化学系ゼミナールⅠ	1通 1前・後	2			16 15	13 15	1 1	7 5			教育効果充実のため、開講期及び担当教員変更（28）
	化学系ゼミナールⅡ	2通 2前・後	2			16 15	13 15	1 1	7 5			教育効果充実のため、開講期及び担当教員変更（28）
	科学・技術英語特論	1・2前 1後		2							兼1	教育効果充実のため、配当年次を変更（28）
	基礎数理解析学特論Ⅰ	1・2前 1・2前		2							兼1	教育効果充実のため、開講期を変更（28）
	基礎数理解析学特論Ⅱ	1・2後 1・2後		2							兼1	教育効果充実のため、開講期を変更（28）
	基礎数理工学特論Ⅰ	1・2前 1・2前		2							兼1	
	基礎数理工学特論Ⅱ	1・2後 1・2後		2							兼1	
	応用数学特論Ⅰ	1・2前 1・2前		2							兼1	
	応用数学特論Ⅱ	1・2後 1・2後		2							兼1	
	高度ものづくり創成演習Ⅰ	1前		2			1				兼1	教育効果充実のため、担当教員を変更（28）
	高度ものづくり創成演習Ⅱ	1後		2			1				兼1	教育効果充実のため、担当教員を変更（28）

専 門 科 目	1・2通								教育効果充実のため、配当年度を変更 (28)
	労働安全衛生特論	1通	2	1					
	物質構造科学特論	1・2後	2		1				
	光・電子機能化学特論	1・2前	2	2					
	結晶工学特論	1・2前	2	1					
	材料分析学特論	1・2前	2		1				
	光機能材料工学特論	1・2前	2		1				
	高分子化学特論	1・2後	2	1					
					1				担当教員の昇任に伴う変更 (28)
	化学分析特論	1・2後	2			1			
	電子化学特論	1・2前	2	1					
	溶液化学特論	1・2後	2			1			
		1・2前			1				担当教員の昇任に伴う変更及び教育効果充実のための開講期変更 (28)
	表面材料化学特論	1・2後	2			1			
	物質化学英語	1・2前	2	2					
		1・2通			7	4		2	教育効果充実のため、配当年度及び担当教員の変更 (28)
	物質化学特別演習 I	1前・1後	2		6	6			
		1・2通			7	4		2	教育効果充実のため、配当年度及び担当教員の変更 (28)
	物質化学特別演習 II	1前・1後	2		6	6			
		1・2通			1				教育効果充実のため、配当年度及び担当教員の変更 (28)
	生命化学特論	1前	2		2	2			
		1・2通			1				教育効果充実のため、配当年度及び担当教員の変更 (28)
	最先端生命化学特別演習	1前・1後	2		4	3		1	
		1・2前						1	教育効果充実のため、配当年度及び担当教員の変更 (28)
	有機化学特論	1前	2	1	1				
		1・2前							教育効果充実のため、配当年度及び担当教員の変更 (28)
	生命化学工学特論	1前	2	1	1			1	
		1・2後							教育効果充実のため、配当年度を変更 (28)
	生命機能化学特論	1前	2	1	1				
		1・2後							教育効果充実のため、配当年度及び担当教員の変更 (28)
	有機化学特別演習	1後	2	1	1			1	
	1・2通						1	教育効果充実のため、配当年度及び担当教員の変更 (28)	
生命化学工学特別演習	1後	2	1	1					
	1・2通							教育効果充実のため、配当年度を変更 (28)	
生命機能化学特別演習	1後	2	1	1					
	1・2通							兼3 教育効果充実のため、配当年度及び担当教員の変更 (28)	
生命医工学特論	1前	2	2						
	1・2前			3				教育効果充実のため、開講期及び担当教員の変更 (28)	
科学計測特論	1・2後	2	5	6	1				
	1・2前							教育効果充実のため、配当年度及び担当教員の変更 (28)	
環境化学特論 I	1前	2	1	2	1				
	1・2前							兼1 教育効果充実のため、配当年度及び担当教員の変更 (28)	
環境材料特論	1前	2	1						
	1・2前			2	1			教育効果充実のため、配当年度及び担当教員の変更 (28)	
化学工学技士特論 I	1前	2	3	4					
								教育退職に伴う担当教員変更 (28)	
環境化学特論 II	1・2後	2	1	2	1				
								教育効果充実のため、担当教員を変更 (28)	
化学工学技士特論 II	1・2後	2	3	4					

化学工学技士特論Ⅲ	2前	2		1	2				教育効果充実のため、担当教員を変更(28)
	1・2後			3	4				教育効果充実のため、開講期及び担当教員変更(28)
化学工業の新展開	1・2前	2		3	6	1			
特別研究Ⅰ	1通	2		16	13		7		教育効果充実のため、担当教員変更(28)
				<del>15</del>	<del>15</del>	1	5		
				16	13		7		教育効果充実のため、担当教員変更(28)
特別研究Ⅱ	2通	4		<del>15</del>	<del>15</del>	1	5		

- (注) ・ 設置計画書の様式第2号(その2の1)に準じて作成してください。
- ・ 設置時の授業科目全て(兼任、兼担教員が担当する科目を含む。)を黒字で記載してください。その上で、前年度報告時(平成28年度に設置された大学等は設置時)より変更されているものは赤字で見え消し修正し、「備考」に赤字で理由・変更年月等を記入してください。
  - ・ なお、昨年度の報告書において赤字で見え消しした部分については、見え消しのまま黒字にしてください。
  - ・ 兼任、兼担の教員が担当する授業科目については、備考欄に担当する教員数を「兼〇」と記入してください。
  - ・ 授業科目を追加又は内容を変更する場合で、専任教員が担当するため教員審査が必要なものについては、「専任教員採用等設置計画変更書」の審査予定年月等を「備考」に記入してください。(今後審査を受ける場合には、「平成〇年〇月 提出予定」と記入してください。)
  - ・ 「配当年次」について、設置計画時に開講時期を記入する必要がなかった学部等(平成19年度設置以前)についても、設置時の状況を黒字で記入してください。また、前年度報告時より修正があれば、赤字で見え消し修正をしてください。
  - ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目についても記入してください。

## (2) 授業科目数

設置時の計画				変更状況				備考
必修	選択	自由	計	必修	選択	自由	計	
科目	科目	科目	科目	科目	科目	科目	科目	
9	46	0	55	9	46	0	55	
				[ ]	[ ]	[ ]	[ ]	

- (注) ・ 未開講科目も含めた教育課程上の授業科目数を記入するとともに、[ ]内に、設置時の計画からの増減を記入してください。(記入例：1科目減の場合：△1)
- ・ 資格に関する課程など、別課程としている授業科目については算入する必要はありません。

(3) 未開講科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	未開講の理由, 代替措置の有無
1	該当なし					
2						
3						

- (注) ・ 設置時の計画にあった授業科目が配当年次に達しているにも関わらず、何らかの理由で未開講となっている授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
- ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目については、記入しないでください。
  - ・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」と修正して記入してください。

(4) 廃止科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	廃止の理由, 代替措置の有無
1	該当無し					
2						
3						

- (注) ・ 設置時の計画にあり、何らかの理由で廃止（教育課程から削除）した授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
- ・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」と修正して記入してください。

(5) 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

該当なし
------

- (注) ・ 授業科目を未開講又は廃止としたことによる学生の履修への影響に関する「大学の所見」及び「学生への周知方法」を記入してください。

(6) 「設置時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

$$\frac{\text{未開講科目と廃止科目の計}}{\text{設置時の計画の授業科目数の計}} = \text{該当なし}$$

- (注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位までを記入してください。

### 3 施設・設備の整備状況, 経費

区分	内容	備考
(1) 校地等	<p>事前伺いのため該当なし</p>	
(2)		
(3)		
(4)		
(5) 図書・設備		
(6)		
(7)		
(8) 経費 積り 維持 の 概 要		
学生納付金以外の維持方法の概要		

- (注) ・ 設置時の計画を, 設置計画書の様式第2号(その1の1)に準じて作成してください。(複数のキャンパスに分かれている場合, 複数の様式に分ける必要はありません。なお, 「(1)校地等」及び「(2)校舎」は大学全体の数字を, その他の項目は AC対象学部等の数値を記入してください。)
- ・ 運動場用地が校舎敷地と別地にある場合は, その旨(所要時間・距離等)を「備考」に記入してください。
  - ・ 「(5)図書・設備」については, 上段に完成年度の予定数値を, 下段には平成28年5月1日現在の数値を記入してください。
  - ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更のあったものについては, 変更部分を赤字で見え消し修正するとともに, その理由及び報告年度「(28)」を「備考」に赤字で記入してください。  
 なお, 昨年度の報告において赤字で見え消した部分については, 見え消しのまま黒字にしてください。
  - ・ 「事前伺い」により設置された学部等については, 本項目を記載する必要はありません。

#### 4 既設大学等の状況

大学の名称	山 口 大 学						備 考		
既設学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学員定員	収容定員	学位又は称号	平均入学定員超過率	開 設 年 度	所 在 地	
	年	人	年次人	人		倍			
人文学部								山口県山口市吉田1677番地 1	
人文学科	4	185	-	740	学士（文学）	1.00	平成28年度		
人文社会科学	4	-	-	-	学士（文学）	-	平成5年度		平成28年度より学生募集停止
言語文化学科	4	-	-	-	学士（文学）	-	平成5年度		平成28年度より学生募集停止
教育学部								山口県山口市吉田1677番地 1	
学校教育教員養成課程	4	180	-	620	学士（教育学）	1.04	平成10年度		
実践臨床教育課程	4	-	-	-	学士（教育学）	-	平成10年度		平成27年度より学生募集停止
情報科学教育課程	4	-	-	-	学士（教育学）	-	平成10年度		平成27年度より学生募集停止
健康科学教育課程	4	-	-	-	学士（教育学）	-	平成10年度		平成27年度より学生募集停止
総合文化教育課程	4	-	-	-	学士（教育学）	-	平成元年度		平成27年度より学生募集停止
経済学部						1.03		山口県山口市吉田1677番地 1	
経済学科	4	130	-	440	学士（経済学）	-	昭和24年度		
経営学科	4	165	-	590	学士（経済学）	-	昭和24年度		
国際経済学科	4	-	-	-	学士（経済学）	-	昭和52年度		平成27年度より学生募集停止
経済法学科	4	-	-	-	学士（法学）	-	昭和55年度		平成27年度より学生募集停止
観光政策学科	4	50	-	160	学士（経済学）	-	平成17年度		
商業教員養成課程	4	-	-	-	学士（経済学）	-	昭和29年度		平成27年度より学生募集停止
理学部								山口県山口市吉田1677番地 1	
数理科学科	4	50	-	200	学士（理学）	1.05	平成7年度		
物理・情報科学科	4	60	-	240	学士（理学）	1.02	平成18年度		
生物・化学科	4	80	-	320	学士（理学）	1.01	平成18年度		
地球圏システム科学科	4	30	-	120	学士（理学）	1.05	平成18年度		
医学部								山口県宇部市南小串1丁目1番1号	
医学科	6	107	2年次 10	692	学士（医学）	1.00	昭和39年度		
保健学科	4	120	3年次 15	510	学士（看護学、保健学）	1.03	平成12年度		
工学部								山口県宇部市常盤台2丁目16番1号	
機械工学科	4	90	3年次 5	370	学士（工学）	1.03	平成2年度		
社会建設工学科	4	80	-	320	学士（工学）	1.03	平成2年度		
応用化学科	4	90	-	360	学士（工学）	1.04	平成19年度		
電気電子工学科	4	80	3年次 5	330	学士（工学）	1.03	平成2年度		
知能情報工学科	4	80	3年次 10	340	学士（工学）	1.03	平成19年度		
感性デザイン工学科	4	55	-	220	学士（工学）	1.05	平成8年度		
循環環境工学科	4	55	-	220	学士（工学）	1.05	平成19年度		
農学部								山口県山口市吉田1677番地 1	
生物資源環境科学科	4	50	-	200	学士（農学）	1.03	平成13年度		
生物機能科学科	4	50	-	200	学士（農学）	1.01	平成13年度		
獣医学科	6	-	-	-	学士（獣医学）	-	昭和24年度		平成24年度より学生募集停止
共同獣医学部								山口県山口市吉田1677番地 1	
獣医学科	6	30	-	150	学士（獣医学）	1.01	平成24年度		
国際総合科学部								山口県山口市吉田1677番地 1	
国際総合科学科	4	100	-	200	学士（学術）	1.04	平成27年度		

人文科学研究科							山口県山口市吉田1677番地 1	
人文科学専攻	2	8	-	8	修士(文学)	0.25	平成28年度	
地域文化専攻	2	-	-	-	修士(文学)	-	昭和60年度	平成28年度より学生募集停止
言語文化専攻	2	-	-	-	修士(文学)	-	昭和60年度	平成28年度より学生募集停止
教育学研究科							山口県山口市吉田1677番地 1	
学校教育専攻	2	10	-	23	修士(教育学)	1.10	平成3年度	
教科教育専攻	2	17	-	45	修士(教育学)	1.05	平成3年度	
教職実践高度化専攻	2	14	-	14	教職修士(専門職)	1.07	平成28年度	
経済学研究科							山口県山口市吉田1677番地 1	
経済学専攻	2	16	-	32	修士(経済学)	0.24	昭和50年度	
企業経営専攻	2	10	-	20	修士(経済学)	0.50	平成7年度	
医学系研究科(医学博士)							山口県宇部市南小串1丁目1番1号	
医学専攻	4	33	-	33	博士(医学)	1.09	平成28年度	
システム統御医学系専攻	4	-	-	-	博士(医学)	-	平成18年度	平成28年度より学生募集停止
情報解析医学系専攻	4	-	-	-	博士(医学)	-	平成18年度	平成28年度より学生募集停止
医学系研究科(博士前期)							山口県宇部市南小串1丁目1番1号	
応用医工学系専攻	2	-	-	-	修士(医工学)	-	平成13年度	平成28年度より学生募集停止
応用分子生命科学系専攻	2	-	-	-	修士(生命科学、学術)	-	平成18年度	平成28年度より学生募集停止
保健学専攻	2	12	-	24	修士(保健学)	1.37	平成17年度	
医学系研究科(博士後期)							山口県宇部市南小串1丁目1番1号	
応用医工学系専攻	3	-	-	-	博士(医工学)	-	平成13年度	平成28年度より学生募集停止
応用分子生命科学系専攻	3	-	-	-	博士(生命科学、学術)	-	平成18年度	平成28年度より学生募集停止
保健学専攻	3	5	-	15	博士(保健学)	0.80	平成19年度	
創成科学研究科(博士前期)							山口県山口市吉田1677番地 1	
基盤科学系専攻	2	38	-	38	修士(理学)	0.92	平成28年度	山口県宇部市常盤台2丁目16番1号
地球圏生物物質科学系専攻	2	42	-	42	修士(理学)	0.80	平成28年度	
化学系専攻	2	83	-	83	修士(工学、学術)	0.87	平成28年度	
電気電子情報系専攻	2	107	-	107	修士(工学)	1.00	平成28年度	
機械工学系専攻	2	60	-	60	修士(工学)	1.01	平成28年度	
建設環境系専攻	2	74	-	74	修士(工学、学術)	0.74	平成28年度	
農学系専攻	2	42	-	42	修士(農学、生命科学)	0.71	平成28年度	
創成科学研究科(博士後期)							山口県山口市吉田1677番地 1	
自然科学系専攻	3	7	-	7	博士(理学、学術)	0.28	平成28年度	山口県宇部市常盤台2丁目16番1号
物質工学系専攻	3	8	-	8	博士(工学、学術)	0.12	平成28年度	
システム・デザイン工学系専攻	3	10	-	10	博士(工学、学術)	0.70	平成28年度	
環境共生系専攻	3	12	-	12	博士(工学、学術)	0.66	平成28年度	
ライフサイエンス系専攻	3	7	-	7	博士(工学、学術)	0.85	平成28年度	
理工学研究科(博士前期)							山口県山口市吉田1677番地 1	平成28年度より学生募集停止
数理科学専攻	2	-	-	-	修士(理学)	-	平成9年度	山口県宇部市常盤台2丁目16番1号
物理・情報科学専攻	2	-	-	-	修士(理学)	-	平成18年度	
地球科学専攻	2	-	-	-	修士(理学)	-	平成18年度	
機械工学専攻	2	-	-	-	修士(工学)	-	昭和41年度	
社会建設工学専攻	2	-	-	-	修士(工学)	-	平成9年度	
物質化学専攻	2	-	-	-	修士(工学)	-	平成18年度	
電子デバイス工学専攻	2	-	-	-	修士(工学)	-	平成18年度	
電子情報システム工学専攻	2	-	-	-	修士(工学)	-	平成18年度	
感性デザイン工学専攻	2	-	-	-	修士(工学)	-	平成12年度	
環境共生系専攻	2	-	-	-	修士(工学、理学)	-	平成18年度	

理工学研究科（博士後期）								山口県山口市吉田1677番地1	平成28年度より学生募集停止
自然科学基盤系専攻	3	-	-	-	博士（理学、工学、学術）	-	平成18年度	山口県宇部市常盤台2丁目16番1号	
システム設計工学系専攻	3	-	-	-	博士（工学、学術）	-	平成18年度		
物質工学系専攻	3	-	-	-	博士（工学、学術）	-	平成18年度		
情報・デザイン工学系専攻	3	-	-	-	博士（工学、学術）	-	平成18年度		
環境共生系専攻	3	-	-	-	博士（工学、理学、学術）	-	平成18年度		
農学研究科								山口県山口市吉田1677番地1	平成28年度より学生募集停止
生物資源科学専攻	2	-	-	-	修士（農学）	-	平成7年度		
東アジア研究科								山口県山口市吉田1677番地1	
東アジア専攻	3	10	-	30	博士（学術）	1.26	平成13年度		
技術経営研究科								山口県宇部市常盤台2丁目16番1号	
技術経営専攻	2	15	-	30	技術経営修士（専門職）	1.10	平成17年度		
連合獣医学研究科								【山口大学】	
獣医学専攻	4	12	-	48	博士（獣医学）	1.56	平成2年度	山口県山口市吉田1677番地1	
								【鳥取大学】	
								鳥取県鳥取市湖山町南4丁目101	
								【鹿児島大学】	
								鹿児島県鹿児島市都元1丁目21番24号	

- (注) ・ 本調査の対象となっている大学等の設置者（国立大学法人）が設置している全ての大学（学部、学科）及び大学院（専攻）（AC対象学部等含む）について、それぞれの学校種ごとに、平成28年5月1日現在の上記項目の情報を記入してください。
- ・ 学部の学科または研究科の専攻等、「入学定員を定めている組織」ごとに記入してください。
  - ※「入学定員を定めている組織ごと」には、課程認定等によりコース・専攻に入学定員を定めている場合を含めず、履修上の区分としてコース・専攻を設けている場合は含めません。
  - ※なお、課程認定等によりコースや専攻に入学定員を定めている場合は、法令上規定されている組織上の最小単位（大学であれば「学科」、短期大学であれば「専攻課程」）でも記載してください。
  - ・ 専攻科に係るものについては、記入する必要はありません。
  - ・ AC対象学部等についても必ず記入してください。
  - ・ 「平均入学定員超過率」には、標準修業年限に相当する期間における入学定員に対する入学者の割合の平均の小数点以下第2位まで（小数点以下第3位を切り捨て）を記入してください。
  - ・ 学生募集を停止している学部等がある場合、入学定員・収容定員・平均入学定員超過率は「-」とし、「備考」に「平成〇〇年より学生募集停止」と記入してください。



5 教員組織の状況

<創成科学研究科 化学系専攻（博士前期課程）>

(1) 担当教員表

<p style="font-size: 24px; font-weight: bold;">事前伺いのため該当なし</p>									
<p>科目を追加 (28)</p>									

- (注) ・ 設置計画書の様式第3号（その2の1）に準じて作成してください。  
 なお、当該設置に係る研究科等に所属しない教員であって、全学共通、学部共通などの授業科目を担当する教員組織に所属している場合は、（〇〇研究科 〇〇専攻（〇〇課程））の箇所を「共通」とし、表を分けて作成してください。  
 ・ 後任が決まっていない場合には、「後任未定」と記入してください。  
 ・ 辞任者は「備考」に退職年月、氏名、理由を記入してください。  
 ・ 年齢は、「**設置時の計画**」には当該学部等の**就任時における満年齢**を、「**変更状況**」には**平成28年5月1日現在の満年齢**を記入してください。  
 ・ 教員を学年進行中に変更した又は変更する予定の場合（「新規採用」、「担当授業科目の変更」又は「昇格」をいう。）は、変更後の状況を記入するとともに、その理由、後任者が決まっていない場合は、「変更状況」の「氏名」に「後任未定」と記入し、及び今後の採用計画を「備考」に記入してください。  
 ・ **意見伺いで設置された学部等の専任教員を変更する場合は**、当該専任教員が授業を開始する前に必ず「専任教員採用等設置計画変更書」を提出し、大学設置・学校法人審議会による教員資格審査（AC教員審査）を受けてください。**AC教員審査を受けずに専任教員として授業等を担当することは出来ません。**  
 ・ 「専任教員採用等変更書（AC）」を提出し「可」の教員判定を受けている場合は「〇年〇月教員審査済」、変更書を提出予定の場合は「〇年〇月変更書提出予定」と記入してください。  
 なお、設置審査時に教員審査省略となっている場合は、「備考」に「（教員審査省略）」及びその変更の理由、変更年度（ ）書き等のみを記入してください。  
 ・ 「**事前伺い**」により**設置された学部等については、本項目を記載する必要はありません。**

(2) 専任教員数等

(2) - ① 専任教員数

設置時の計画					現在（報告書提出時）の状況					現在（報告書提出時）の完成年度時の計画							
教授	准教授	講師	助教	計	教授	准教授	講師	助教	計(A)	教授	准教授	講師	助教	計(B)			
15	15	0	6	36	15	13	1	7	36	15	13	1	7	36			
(15)	(13)	(1)	(7)	(36)						[ 0 ]	[ Δ2 ]	[ 1 ]	[ 1 ]	[ 0 ]			
研究指導教員数		研究指導補助教員数		講義のみ担当の教員数		研究指導教員数		研究指導補助教員数		講義のみ担当の教員数		研究指導教員数		研究指導補助教員数		講義のみ担当の教員数	
30		6		0		29		7		0		29		7		0	
(29)		(7)		(0)				[ Δ1 ]		[ 3 ]		[ 0 ]					

- (注) ・ 「設置時の計画」には、設置時に予定されていた完成年度時の人数を記入するとともに、（ ）内に開設時の状況を記入してください。  
 ・ 「現在（報告書提出時）の状況」には、報告書提出年度の5月1日の教員数（実人数）を記入してください。  
 ・ 「現在（報告書提出時）の完成年度時の計画」には、報告書提出年度の5月1日現在、完成年度時に計画している教員数を記入するとともに、[ ] 内に設置時の計画との増減数を記入してください。（記入例：1名減の場合：Δ1）

(2) - ② 年齢構成

年齢構成		
定年規定の定める定年年齢（歳）	報告書提出時（上記(A)）の教員のうち、定年を延長して採用している教員数	完成年度時（上記(B)）の教員のうち、定年を延長して採用する教員数
65	0	0

- (注) ・ 「年齢構成」には、当該学部における教員の定年に関する規定に基づく定年年齢（特例等による定年年齢ではありません）、および、平成28年5月1日現在、定年に関する規定に基づく特例等により定年を超えて専任教員として採用されている教員数および完成年度時に定年を超えて専任教員として採用する教員数を記入してください。  
 ・ なお、職位等によって定年年齢が異なる場合には、職位ごとの定年年齢を「定年規定の定める定年年齢」に二段書きで記入し、「定年を延長している教員数」には合算した数を記入してください。  
 ・ 専門職大学院の場合は、「研究指導教員」を「研究者教員」と、「研究指導補助教員」を「実務家教員」と修正して記入してください。

## 6 留意事項等に対する履行状況等

区 分	留 意 事 項 等	履 行 状 況	未履行事項について の実施計画
設 計	<p>事前伺いのため該当なし</p>		
設 計			
設 計			

- (注) ・ 「設置時」には、当該大学等の設置時に付された留意事項と、それに対する履行状況等について、具体的に記入し、報告年度を( )書きで付記してください。
- ・ 「設置計画履行状況調査時」には、当該設置計画履行状況調査の結果、付された意見に対する履行状況等について、具体的に記入するとともに、その履行状況等を裏付ける資料があれば、添付してください。
  - ・ 定員管理に係る留意事項への履行状況は、指摘を受けた学科等についてのみ記入してください。
  - ・ 該当がない場合には、「該当なし」と記入してください。
  - ・ 「事前伺い」により設置された学部等については、本項目を記載する必要はありません。

## 7 その他全般的事項

<創成科学研究科 化学系専攻（博士前期課程）>

### (1) 設置計画変更事項等

設置時の計画	変更内容・状況, 今後の見通しなど
<div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <span>記</span> <span>冊</span> </div> <div style="display: flex; align-items: center; justify-content: center;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 20px; width: 80%; text-align: center;"> <p style="font-size: 2em; margin: 0;">事前伺いのため該当なし</p> </div> </div>	

- (注) ・ 1～6の項目に記入した事項以外で、設置時の計画より変更のあったもの（未実施を含む。）及び法令適合性に関して生じた留意すべき事項について記入してください。
- ・ 設置時の「設置の趣旨等を記載した書類」の項目に沿って作成し、それ以外の事柄については適宜項目を設けてください。（記入例参照）
  - ・ 「事前伺い」により設置された学部等については、当該項目を記載する必要はありません。

### (2) 教員の資質の維持向上の方策（FD活動含む）

①	実施体制
<div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <span>記</span> <span>冊</span> </div> <div style="display: flex; align-items: center; justify-content: center;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 20px; width: 80%; text-align: center;"> <p style="font-size: 2em; margin: 0;">事前伺いのため該当なし</p> </div> </div>	

- (注) ・ 「①a 委員会の設置状況」には、関係規程等を転載又は添付すること。
- 「②実施状況」には、実施されている取組を全て記載すること。（記入例参照）
- ・ 「事前伺い」により設置された学部等については、本項目を記載する必要はありません。

(3) 自己点検・評価等に関する事項

① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見

②

事前伺いのため該当なし

③

- (注) ・ 設置時の計画の変更(又は未実施)の有無に関わらず記入してください。  
また、「① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見」については、できるだけ具体的な根拠を含めて記入してください。  
なお、「② 自己点検・評価報告書」については、当該調査対象の組織に関する評価内容を含む報告書について記入してください。  
・ 「事前伺い」により設置された学部等については、本項目を記載する必要はありません。

(4) 情報公表に関する事項

○ 設置計画履行状況報告書

a ホームページに公表の有無 (  有 ・  無 )

b 公表時期(未公表の場合は予定時期) ( 28 年 9 月 1 日 )

## 1 調査対象大学等の概要等

### (1) 設置者

国立大学法人 山口大学

### (2) 大学名

山口大学

### (3) 大学の位置

〒753-8511  
山口県山口市吉田1677-1

〒755-8611  
山口県宇部市常盤台2丁目16番1号

- (注) ・対象学部等の位置が大学本部の位置と異なる場合、本部の位置を( )書きで記入してください。  
・対象学部等が複数のキャンパスに所在する場合には、複数のキャンパスの所在地をそれぞれ記載してください。

### (4) 管理運営組織

職名	設置時	変更状況	備考
事前伺いのため該当なし			

- (注) ・「変更状況」は、変更があった場合に記入し、併せて「備考」に変更の理由と変更年月日、報告年度を( )書きで記入してください。
- (例) 平成26年度に報告済の内容 → (26)  
平成28年度に報告する内容 → (28)
- ・昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更があれば、「変更状況」に赤字にて記載(昨年度までに報告された記載があれば、そこに赤字で見え消し修正)するとともに、上記と同様に、「備考」に変更理由等を記入してください。
  - ・大学院の場合には、「職名」を「研究科長」等と修正して記入してください。
  - ・「事前伺い」により設置された学部等については、本項目を記載する必要はありません。

(5) 調査対象研究科等の名称, 定員, 入学者の状況等

- (注) ・ 当該調査対象の学部の学科または研究科の専攻等, 定員を定めている組織ごとに記入してください。  
 (入試区分ごとではありません)。  
 ・ 様式は, 平成26年度開設の博士後期課程の場合(平成28年度までの3年間)ですが, 開設年度・  
 修業年限に合わせて作成してください。(修業年限が2年以下の場合には欄を削除し, 4年以上の場合  
 には, 欄を設けてください。)

(5) - ① 調査対象研究科等の名称, 定員

調査対象研究科等の 名称(学位)	設置時の計画			備 考
	修業年限	入学定員	収容定員	
創成科学研究科 電気電子情報系専攻 (博士前期課程)  修士(工学)	2 年	107 人	214 人	基礎となる学部等  工学部

- (注) ・ 「備考」に基礎となる学部等の名称を記入してください。  
 ・ 定員を変更した場合は, 「備考」に変更前的人数, 変更年月及び報告年度を( )書きで記入してください。  
 ・ 学生募集停止を予定している場合は, 「備考」にその旨記載してください。

(5) - ② 調査対象研究科等の入学者の状況

区分	報告年度		平成28年度		平成29年度		平均入学定員 超過率	備 考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期		
A 入学定員	107 ( ) [ ]		人 人 ( ) ( ) [ ] [ ]		人 人 ( ) ( ) [ ] [ ]		1.00倍	
志願者数	118 (-) [6]	(-) [-]	( ) ( ) [ ] [ ]	( ) ( ) [ ] [ ]	( ) ( ) [ ] [ ]	( ) ( ) [ ] [ ]		
受験者数	117 (-) [6]	(-) [-]	( ) ( ) [ ] [ ]	( ) ( ) [ ] [ ]	( ) ( ) [ ] [ ]	( ) ( ) [ ] [ ]		
合格者数	110 (-) [5]	(-) [-]	( ) ( ) [ ] [ ]	( ) ( ) [ ] [ ]	( ) ( ) [ ] [ ]	( ) ( ) [ ] [ ]		
B 入学者数	107 (-) [5]		人 人 ( ) ( ) [ ] [ ]		人 人 ( ) ( ) [ ] [ ]			
入学定員超過率 B/A	1.00							

- (注) ・ 数字は, 平成28年5月1日現在の数字を記入してください。  
 ・ ( ) 内には, 社会人の状況について**内数**で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。  
 ・ 「社会人」については, 設置計画書において貴学が定める社会人の定義に従って記入してください。  
 ・ [ ] 内には, 留学生の状況について**内数**で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。  
 ・ 留学生については, 「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格(いわゆる「留学ビザ」)により, 我が国の大学(大学院を含む), 短期大学, 高等専門学校, 専修学校(専門課程)及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。  
 ・ 短期交換留学生など, 定員内に含めていない学生については記入しないでください。  
 ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は, 春季入学とその他の学期(春季入学以外の学期区分を設けている場合)に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は, その他の学期欄は「-」を記入してください。また, その他の学期に入学定員を設けている場合は, 備考欄にその人数を記入してください。  
 ・ 「入学定員超過率」については, **各年度の春季入学とその他を合計した入学定員, 入学者数で算出**してください。なお, 計算の際は小数点以下第3位を切り捨て, 小数点以下第2位まで記入してください。  
 ・ 「平均入学定員超過率」には, 開設年度から提出年度までの入学定員超過率の平均を記入してください。なお, 計算の際は「入学定員超過率」と同様にしてください。

(5) - ③ 調査対象研究科等の在学者の状況

学 年	平成28年度		平成29年度		備 考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	
1年次	[5] ( - ) 107	[ ] ( )	[ ] ( )	[ ] ( )	
2年次	/		[ ] ( )	[ ] ( )	
計	[ 5 ] ( - ) 107	[ ] ( )	[ ] ( )	[ ] ( )	

- (注) ・ 数字は、平成28年5月1日現在の数字を記入してください。
- ・ [ ]内には、留学生の状況について内数で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。
  - ・ 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格（いわゆる「留学ビザ」）により、我が国の大学（大学院を含む。）、短期大学、高等専門学校、専修学校（専門課程）及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
  - ・ 短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。
  - ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期（春季入学以外の学期区分を設けている場合）に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「-」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
  - ・ 「計」については、**各年度の春季入学とその他の学期を合計した在学者数、留学生数**を記入してください。
  - ・ ( )内には、**留年者の状況**について、内数で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。

(5) -④ 調査対象学部等の退学者等の状況

区分 対象年度	入学者数(b)	退学者数(a)	退学者数(内訳)			主な退学理由	入学者数に 対する退学者数 の割合 (a/b)
			退学した年度	退学者数	退学者数の うち留学生数		
平成28年度 入学者	107 人	0 人	平成28年度	人	人		0 %
			平成29年度	人	人		
平成29年度 入学者	人	0 人	平成29年度	人	人		#DIV/0! %
合 計	107 人	0 人					0 %

(注)・数字は、平成28年5月1日現在の数字を記入してください。

- ・各年度の入学者数については、該当年度当初に入学した人数を記入してください。(途中で退学者がいた場合でも、その退学者数を減らす必要はありません。)
- ・各年度の退学者数については、退学年度ごとに記入してください。また、留学生数欄の人数については、退学者数の内数を記入してください。
- ・留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格(いわゆる「留学ビザ」)により、我が国の大学(大学院を含む。)、短期大学、高等専門学校、専修学校(専門課程)及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記入してください。
- ・短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。
- ・「入学者数に対する退学者数の割合」は、【当該対象年度の入学者のうち、平成28年5月1日現在までに退学した学生数の合計】を、【当該対象年度の入学者数】で除した割合(%)を記入してください。その際、小数点以下第2位を四捨五入し、小数点以下第1位までを記入してください。
- ・「主な退学理由」は、下の項目を参考に記入してください。その際、「就学意欲の低下(〇人)」というように、その人数も含めて記入してください。  
 (記入項目例)・就学意欲の低下    ・学力不足    ・他の教育機関への入学・転学    ・海外留学  
                   ・就職    ・学生個人の心身に関する事情    ・家庭の事情    ・除籍    ・その他



## 2 授業科目の概要

＜創成科学研究科 電気電子情報系専攻（博士前期課程）＞

### (1) 授業科目表

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					備 考	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
研究科 共通科目	【研究基盤科目】											
	研究者行動規範特論	1後 1前	1			1						兼2 教育効果充実のため、開講期変更（28）
	知的財産特論	1前 1後	1			1						兼1 具体的な担当教員の確定による変更及び教育効果充実のため開講期変更（28）
	サイエンティフィック・ライティング	1前	1			1						兼2 具体的な担当教員の確定による変更（28）
	プレゼンテーション特論	1後	1			1						兼3 具体的な担当教員の確定による変更（28）
	【イノベーション教育科目】											
	研究開発戦略論	1・2前 1・2前	2			1						兼2 具体的な担当教員の確定による変更（28）
	企業経営と財務	1・2後 1・2後	2			1						兼2 教育効果充実のため、開講期変更（28）
	【キャリア教育科目】											
	キャリアデザイン I	1後 1・2通	1			1						兼2 具体的な担当教員の確定による変更及び教育効果充実のため配当年次変更（28）
学外特別研修 I	1・2前・後	1～2			1							
長期インターンシップ I	1・2前・後	6			1							
専攻 基盤科目	専門英語特別演習	1・2通 1・2前	1			19	28	2	10			教育効果充実のため、開講期及び担当教員を変更（28）
	電気電子情報系特論	1前 1・2前	2			1						兼1 教育効果充実のため、開講期及び担当教員を変更（28）
	科学・技術英語特論	1・2後	2			8	8					オムニバス 教育効果充実のため、開講期を変更（28）
	基礎数理解析学特論 I	1・2前 1・2前	2									兼1 教育効果充実のため、開講期を変更（28）
	基礎数理解析学特論 II	1・2後 1・2後	2									兼1 教育効果充実のため、開講期を変更（28）
	基礎数理工学特論 I	1・2前	2									兼1
	基礎数理工学特論 II	1・2後	2									兼1
	応用数学特論 I	1・2前	2									兼1
	応用数学特論 II	1・2後	2									兼1
	高度ものづくり創成演習 I	1前 1後	2			3	3					兼1 教育効果充実のため、開講期及び担当教員を変更（28）
	高度ものづくり創成演習 II	2前・後	2			3	3					兼1 教育効果充実のため、開講期及び担当教員を変更（28）

I 群	固体物性論特論	1・2前	2		1						担当教員の昇任に伴う変更 (28)	
	電磁気学特論	1・2前	2		1	+						
II 群	半導体物性特論	1・2後	2		2						教育効果充実のため、担当教員を変更 (28) 担当教員の昇任に伴う変更 (28) 教育効果充実のため、開講期を変更 (28) 教育効果充実のため、開講期を変更 (28) 教育効果充実のため、配当年次び担当教員を変更 (28) 教育効果充実のため、配当年次を変更 (28) 教育効果充実のため、担当教員を追加 (28) 教育効果充実のため、開講期を変更 (28) 教育効果充実のため、担当教員を追加 (28) 教育効果充実のため、配当年次を変更 (28) オムニバス	
	磁性工学特論	1・2後	2		1	1						
	メタマテリアル特論	1・2後	2		1							
	超伝導工学特論	1・2後	2		+	1						
	プラズマ理工学特論	1・2後	2		1	+						
専 門 科 目	デバイス工学特論	1・2後 1・2前 1・2前	2		2							
	結晶材料工学特論	1・2後	2			2						
	材料・デバイス工学シミュレーション特論 I	1・2前	2			1						
	材料・デバイス工学シミュレーション特論 II	1・2後	2			1						
	電子デバイス工学特別演習	1・2通 1前-後 2前	1			7 8	8 9			4		
	電子デバイス工学特別講義	1・2前	2								兼1	
	真空工学特論	1・2前	1				1				兼1	
	真空システム演習	1・2後	1				1					
	材料作製技術特論	1・2前	1			1		+			兼1	
	微細加工技術特論	1・2後 1・2前	1					+				
	電子システム工学序論	1前	1		4	3			2	1		
	電力変換工学特論 I	1・2前	2			1						
	電力変換工学特論 II	1・2後	2						1			
	電磁波工学特論 I	1・2前	2				1					
	電磁波工学特論 II	1・2後	2			1						
	電磁波工学特論 III	1・2後	2			1						
	システム計測工学特論 I	1・2前	2						1			
	システム計測工学特論 II	1・2後	2						1			
	システム制御工学特論 I	1・2前	2						1			
	システム制御工学特論 II	1・2後	2			1						
	電子システム工学特別講義	1・2後 1・2前	2				8	17			5	兼1
	情報系ゼミナール I	1・2前	1			7	12				4	
	情報系ゼミナール II	1・2後	1			8	17				5	
	情報ネットワーク特論	1・2前	1				3				1	
	情報ネットワーク実験	1・2前	1				3				1	
	情報セキュリティ特論	1・2後	1				2				2	
	情報セキュリティ実験	1・2後	1				3				1	
ロジカルシンキング特論	1・2前	1		1	1	2						

専 門 科 目	ITプロジェクトマネジメント特論	1・2前	2		2				教育効果充実のため、担当教員を追加 (28)
	アルゴリズム特論	1・2前	1		4				教育効果充実のため、担当教員を追加 (28)
	情報インフラ特論	1・2前	1		1	1			教育効果充実のため、担当教員を追加 (28)
	先端知能情報メディア工学特論 I	1・2前	1		4	9	3		教育効果充実のため、担当教員を追加 (28)
	先端知能情報メディア工学特論 II	1・2前	1		3	5			オムニバス
	先端知能情報メディア工学特論 II	1・2後	1		4	9	3		教育効果充実のため、担当教員を追加 (28)
	知能情報メディア工学特別講義	1・2後	1		3	5			オムニバス
	知能情報メディア工学特別講義	1・2前	1		3	5			教育効果充実のため、開講期を変更 (28)
	ソフトコンピューティング特論	1・2前	1		1		2		兼1
	画像処理特論	1・2前	1		1	4	1		教育効果充実のため、担当教員を追加 (28)
	画像認識特論	1・2前	1	1	1	4			教育効果充実のため、担当教員を追加 (28)
	音響情報工学特論	1・2後	1		1	4	1		教育効果充実のため、担当教員を追加 (28)
	信号処理特論	1・2前	1		2				教育効果充実のため、担当教員を追加 (28)
	パターン認識特論	1・2前	1	1	1	4			教育効果充実のため、担当教員を追加 (28)
	マルチメディア特論	1・2後	1		3				教育効果充実のため、担当教員を追加 (28)
	ユーザーインタフェース特論	1・2前	1		4	4			教育効果充実のため、担当教員を追加 (28)
	先端情報システム工学特論 I	1・2後	1		1	1			教育効果充実のため、担当教員を追加 (28)
	先端情報システム工学特論 I	1・2前	1		4	8	2		教育効果充実のため、担当教員を追加 (28)
	先端情報システム工学特論 II	1・2前	1		3	5			オムニバス
	先端情報システム工学特論 II	1・2後	1		4	8	2		教育効果充実のため、担当教員を追加 (28)
	情報システム工学特別講義	1・2後	1		3	5			オムニバス
	情報システム工学特別講義	1・2後	1		3	5			教育効果充実のため、開講期を変更 (28)
	データベース特論	1・2前	1		2		1		兼1
	大規模データ解析特論	1・2前	1		2		1		教育効果充実のため、担当教員を追加 (28)
	ソフトウェア開発技法特論	1・2後	1		1	4	1		教育効果充実のため、開講期を変更 (28)
	並列分散システム特論	1・2後	1		3				教育効果充実のため、開講期を変更 (28)
	通信工学特論	1・2前	1		4	4			教育効果充実のため、担当教員を追加 (28)
	シミュレーション特論	1・2後	1		1	1	1		教育効果充実のため、担当教員を追加 (28)
計算機工学特論	1・2後	1		1	2			教育効果充実のため、担当教員を追加 (28)	
計算機工学特論	1・2前	1		3				教育効果充実のため、担当教員を変更 (28)	
計算機工学特論	1・2前	1		4	4			教育効果充実のため、担当教員を変更 (28)	
特別研究 I	1通	2		19	28	2	10		教育効果充実のため、担当教員を変更 (28)
特別研究 I	1通	2		20	34	2	9		教育効果充実のため、担当教員を変更 (28)
特別研究 II	2通	4		19	28	2	10		教育効果充実のため、担当教員を変更 (28)
特別研究 II	2通	4		20	34	2	9		教育効果充実のため、担当教員を変更 (28)

- (注) ・ 設置計画書の様式第2号(その2の1)に準じて作成してください。
- ・ 設置時の授業科目全て(兼任、兼任教員が担当する科目を含む。)を黒字で記載してください。その上で、前年度報告時(平成28年度に設置された大学等は設置時)より変更されているものは赤字で見え直し修正し、「備考」に赤字で理由・変更年月等を記入してください。  
なお、昨年度の報告書において赤字で見え消した部分については、見え消しのまま黒字にしてください。
  - ・ 兼任、兼任の教員が担当する授業科目については、備考欄に担当する教員数を「兼〇」と記入してください。
  - ・ 授業科目を追加又は内容を変更する場合で、専任教員が担当するため教員審査が必要なものについては、「専任教員採用等設置計画変更書」の審査予定年月等を「備考」に記入してください。(今後審査を受ける場合には、「平成〇年〇月 提出予定」と記入してください。)
  - ・ 「配当年次」について、設置計画時に開講時期を記入する必要がなかった学部等(平成19年度設置以前)についても、設置時の状況を黒字で記入してください。また、前年度報告時より修正があれば、赤字で見え直し修正をしてください。
  - ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目についても記入してください。

(2) 授業科目数

設置時の計画				変更状況				備考
必修	選択	自由	計	必修	選択	自由	計	
科目 7	科目 74	科目 0	科目 81	科目 [ ]	科目 [ ]	科目 [ ]	科目 [ ]	

- (注) ・ 未開講科目も含めた教育課程上の授業科目数を記入するとともに、[ ]内に、設置時の計画からの増減を記入してください。(記入例：1科目減の場合：△1)
- ・ 資格に関する課程など、別課程としている授業科目については算入する必要はありません。

(3) 未開講科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	未開講の理由, 代替措置の有無
1	該当なし					
2						
3						

- (注) ・ 設置時の計画にあった授業科目が配当年次に達しているにも関わらず、何らかの理由で未開講となっている授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
- ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目については、記入しないでください。
  - ・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」と修正して記入してください。

(4) 廃止科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	廃止の理由, 代替措置の有無
1	該当なし					
2						
3						

- (注) ・ 設置時の計画にあり、何らかの理由で廃止（教育課程から削除）した授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
- ・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」と修正して記入してください。

(5) 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

該当なし
------

- (注) ・ 授業科目を未開講又は廃止としたことによる学生の履修への影響に関する「大学の所見」及び「学生への周知方法」を記入してください。

(6) 「設置時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

$$\frac{\text{未開講科目と廃止科目の計}}{\text{設置時の計画の授業科目数の計}} = \text{該当なし}$$

- (注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位までを記入してください。

### 3 施設・設備の整備状況, 経費

区分	内容	備考
(1) 校地等	<p>事前伺いのため該当なし</p>	
(2)		
(3)		
(4)		
(5) 図書・設備		
(6)		
(7)		
(8) 経費 積り 維持 の 概 要		
	学生納付金以外の維持方法の概要	

- (注) ・ 設置時の計画を, 設置計画書の様式第2号(その1の1)に準じて作成してください。(複数のキャンパスに分かれている場合, 複数の様式に分ける必要はありません。なお, 「(1)校地等」及び「(2)校舎」は大学全体の数字を, その他の項目は AC対象学部等の数値を記入してください。)
- ・ 運動場用地が校舎敷地と別地にある場合は, その旨(所要時間・距離等)を「備考」に記入してください。
  - ・ 「(5)図書・設備」については, 上段に完成年度の予定数値を, 下段には平成28年5月1日現在の数値を記入してください。
  - ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更のあったものについては, 変更部分を赤字で見え消し修正するとともに, その理由及び報告年度「(28)」を「備考」に赤字で記入してください。  
 なお, 昨年度の報告において赤字で見え消した部分については, 見え消しのまま黒字にしてください。
  - ・ 「事前伺い」により設置された学部等については, 本項目を記載する必要はありません。

#### 4 既設大学等の状況

大学の名称	山 口 大 学						備 考		
既設学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学員定員	収容定員	学位又は称号	平均入学定員超過率	開 設 年 度	所 在 地	
	年	人	年次人	人		倍			
人文学部								山口県山口市吉田1677番地 1	
人文学科	4	185	-	740	学士（文学）	1.00	平成28年度		
人文社会科学	4	-	-	-	学士（文学）	-	平成5年度		平成28年度より学生募集停止
言語文化学科	4	-	-	-	学士（文学）	-	平成5年度		平成28年度より学生募集停止
教育学部								山口県山口市吉田1677番地 1	
学校教育教員養成課程	4	180	-	620	学士（教育学）	1.04	平成10年度		
実践臨床教育課程	4	-	-	-	学士（教育学）	-	平成10年度		平成27年度より学生募集停止
情報科学教育課程	4	-	-	-	学士（教育学）	-	平成10年度		平成27年度より学生募集停止
健康科学教育課程	4	-	-	-	学士（教育学）	-	平成10年度		平成27年度より学生募集停止
総合文化教育課程	4	-	-	-	学士（教育学）	-	平成元年度		平成27年度より学生募集停止
経済学部						1.03		山口県山口市吉田1677番地 1	
経済学科	4	130	-	440	学士（経済学）	-	昭和24年度		
経営学科	4	165	-	590	学士（経済学）	-	昭和24年度		
国際経済学科	4	-	-	-	学士（経済学）	-	昭和52年度		平成27年度より学生募集停止
経済法学科	4	-	-	-	学士（法学）	-	昭和55年度		平成27年度より学生募集停止
観光政策学科	4	50	-	160	学士（経済学）	-	平成17年度		
商業教員養成課程	4	-	-	-	学士（経済学）	-	昭和29年度		平成27年度より学生募集停止
理学部								山口県山口市吉田1677番地 1	
数理科学科	4	50	-	200	学士（理学）	1.05	平成7年度		
物理・情報科学科	4	60	-	240	学士（理学）	1.02	平成18年度		
生物・化学科	4	80	-	320	学士（理学）	1.01	平成18年度		
地球圏システム科学科	4	30	-	120	学士（理学）	1.05	平成18年度		
医学部								山口県宇部市南小串1丁目1番1号	
医学科	6	107	2年次 10	692	学士（医学）	1.00	昭和39年度		
保健学科	4	120	3年次 15	510	学士（看護学、保健学）	1.03	平成12年度		
工学部								山口県宇部市常盤台2丁目16番1号	
機械工学科	4	90	3年次 5	370	学士（工学）	1.03	平成2年度		
社会建設工学科	4	80	-	320	学士（工学）	1.03	平成2年度		
応用化学科	4	90	-	360	学士（工学）	1.04	平成19年度		
電気電子工学科	4	80	3年次 5	330	学士（工学）	1.03	平成2年度		
知能情報工学科	4	80	3年次 10	340	学士（工学）	1.03	平成19年度		
感性デザイン工学科	4	55	-	220	学士（工学）	1.05	平成8年度		
循環環境工学科	4	55	-	220	学士（工学）	1.05	平成19年度		
農学部								山口県山口市吉田1677番地 1	
生物資源環境科学科	4	50	-	200	学士（農学）	1.03	平成13年度		
生物機能科学科	4	50	-	200	学士（農学）	1.01	平成13年度		
獣医学科	6	-	-	-	学士（獣医学）	-	昭和24年度		平成24年度より学生募集停止
共同獣医学部								山口県山口市吉田1677番地 1	
獣医学科	6	30	-	150	学士（獣医学）	1.01	平成24年度		
国際総合科学部								山口県山口市吉田1677番地 1	
国際総合科学科	4	100	-	200	学士（学術）	1.04	平成27年度		

人文科学研究科							山口県山口市吉田1677番地 1	
人文科学専攻	2	8	-	8	修士(文学)	0.25	平成28年度	
地域文化専攻	2	-	-	-	修士(文学)	-	昭和60年度	平成28年度より学生募集停止
言語文化専攻	2	-	-	-	修士(文学)	-	昭和60年度	平成28年度より学生募集停止
教育学研究科							山口県山口市吉田1677番地 1	
学校教育専攻	2	10	-	23	修士(教育学)	1.10	平成3年度	
教科教育専攻	2	17	-	45	修士(教育学)	1.05	平成3年度	
教職実践高度化専攻	2	14	-	14	教職修士(専門職)	1.07	平成28年度	
経済学研究科							山口県山口市吉田1677番地 1	
経済学専攻	2	16	-	32	修士(経済学)	0.24	昭和50年度	
企業経営専攻	2	10	-	20	修士(経済学)	0.50	平成7年度	
医学系研究科(医学博士)							山口県宇部市南小串1丁目1番1号	
医学専攻	4	33	-	33	博士(医学)	1.09	平成28年度	
システム統御医学系専攻	4	-	-	-	博士(医学)	-	平成18年度	平成28年度より学生募集停止
情報解析医学系専攻	4	-	-	-	博士(医学)	-	平成18年度	平成28年度より学生募集停止
医学系研究科(博士前期)							山口県宇部市南小串1丁目1番1号	
応用医工学系専攻	2	-	-	-	修士(医工学)	-	平成13年度	平成28年度より学生募集停止
応用分子生命科学系専攻	2	-	-	-	修士(生命科学、学術)	-	平成18年度	平成28年度より学生募集停止
保健学専攻	2	12	-	24	修士(保健学)	1.37	平成17年度	
医学系研究科(博士後期)							山口県宇部市南小串1丁目1番1号	
応用医工学系専攻	3	-	-	-	博士(医工学)	-	平成13年度	平成28年度より学生募集停止
応用分子生命科学系専攻	3	-	-	-	博士(生命科学、学術)	-	平成18年度	平成28年度より学生募集停止
保健学専攻	3	5	-	15	博士(保健学)	0.80	平成19年度	
創成科学研究科(博士前期)							山口県山口市吉田1677番地 1	
基盤科学系専攻	2	38	-	38	修士(理学)	0.92	平成28年度	山口県宇部市常盤台2丁目16番1号
地球圏生物物質科学系専攻	2	42	-	42	修士(理学)	0.80	平成28年度	
化学系専攻	2	83	-	83	修士(工学、学術)	0.87	平成28年度	
電気電子情報系専攻	2	107	-	107	修士(工学)	1.00	平成28年度	
機械工学系専攻	2	60	-	60	修士(工学)	1.01	平成28年度	
建設環境系専攻	2	74	-	74	修士(工学、学術)	0.74	平成28年度	
農学系専攻	2	42	-	42	修士(農学、生命科学)	0.71	平成28年度	
創成科学研究科(博士後期)							山口県山口市吉田1677番地 1	
自然科学系専攻	3	7	-	7	博士(理学、学術)	0.28	平成28年度	山口県宇部市常盤台2丁目16番1号
物質工学系専攻	3	8	-	8	博士(工学、学術)	0.12	平成28年度	
システム・デザイン工学系専攻	3	10	-	10	博士(工学、学術)	0.70	平成28年度	
環境共生系専攻	3	12	-	12	博士(工学、学術)	0.66	平成28年度	
ライフサイエンス系専攻	3	7	-	7	博士(工学、学術)	0.85	平成28年度	
理工学研究科(博士前期)							山口県山口市吉田1677番地 1	平成28年度より学生募集停止
数理科学専攻	2	-	-	-	修士(理学)	-	平成9年度	山口県宇部市常盤台2丁目16番1号
物理・情報科学専攻	2	-	-	-	修士(理学)	-	平成18年度	
地球科学専攻	2	-	-	-	修士(理学)	-	平成18年度	
機械工学専攻	2	-	-	-	修士(工学)	-	昭和41年度	
社会建設工学専攻	2	-	-	-	修士(工学)	-	平成9年度	
物質化学専攻	2	-	-	-	修士(工学)	-	平成18年度	
電子デバイス工学専攻	2	-	-	-	修士(工学)	-	平成18年度	
電子情報システム工学専攻	2	-	-	-	修士(工学)	-	平成18年度	
感性デザイン工学専攻	2	-	-	-	修士(工学)	-	平成12年度	
環境共生系専攻	2	-	-	-	修士(工学、理学)	-	平成18年度	



理工学研究科（博士後期）								山口県山口市吉田1677番地1	平成28年度より学生募集停止
自然科学基盤系専攻	3	-	-	-	博士（理学、工学、学術）	-	平成18年度	山口県宇部市常盤台2丁目16番1号	
システム設計工学系専攻	3	-	-	-	博士（工学、学術）	-	平成18年度		
物質工学系専攻	3	-	-	-	博士（工学、学術）	-	平成18年度		
情報・デザイン工学系専攻	3	-	-	-	博士（工学、学術）	-	平成18年度		
環境共生系専攻	3	-	-	-	博士（工学、理学、学術）	-	平成18年度		
農学研究科								山口県山口市吉田1677番地1	平成28年度より学生募集停止
生物資源科学専攻	2	-	-	-	修士（農学）	-	平成7年度		
東アジア研究科								山口県山口市吉田1677番地1	
東アジア専攻	3	10	-	30	博士（学術）	1.26	平成13年度		
技術経営研究科								山口県宇部市常盤台2丁目16番1号	
技術経営専攻	2	15	-	30	技術経営修士（専門職）	1.10	平成17年度		
連合獣医学研究科								【山口大学】	
獣医学専攻	4	12	-	48	博士（獣医学）	1.56	平成2年度	山口県山口市吉田1677番地1	
								【鳥取大学】	
								鳥取県鳥取市湖山町南4丁目101	
								【鹿児島大学】	
								鹿児島県鹿児島市都元1丁目21番24号	

- (注) ・ 本調査の対象となっている大学等の設置者（国立大学法人）が設置している全ての大学（学部、学科）及び大学院（専攻）（AC対象学部等含む）について、それぞれの学校種ごとに、平成28年5月1日現在の上記項目の情報を記入してください。
- ・ 学部の学科または研究科の専攻等、「入学定員を定めている組織」ごとに記入してください。
  - ※「入学定員を定めている組織ごと」には、課程認定等によりコース・専攻に入学定員を定めている場合を含めず、履修上の区分としてコース・専攻を設けている場合は含めません。
  - ※なお、課程認定等によりコースや専攻に入学定員を定めている場合は、法令上規定されている組織上の最小単位（大学であれば「学科」、短期大学であれば「専攻課程」）でも記載してください。
  - ・ 専攻科に係るものについては、記入する必要はありません。
  - ・ AC対象学部等についても必ず記入してください。
  - ・ 「平均入学定員超過率」には、標準修業年限に相当する期間における入学定員に対する入学者の割合の平均の小数点以下第2位まで（小数点以下第3位を切り捨て）を記入してください。
  - ・ 学生募集を停止している学部等がある場合、入学定員・収容定員・平均入学定員超過率は「-」とし、「備考」に「平成〇〇年より学生募集停止」と記入してください。

5 教員組織の状況

<創成科学研究科 電気電子情報系専攻（博士前期課程）>

(1) 担当教員表

<h2 style="margin: 0;">事前伺いのため該当なし</h2>									
---	--	--	--	--	--	--	--	--	--

- (注) ・ 設置計画書の様式第3号（その2の1）に準じて作成してください。  
 なお、当該設置に係る研究科等に所属しない教員であって、全学共通、学部共通などの授業科目を担当する教員組織に所属している場合は、〈〇〇研究科 〇〇専攻（〇〇課程）〉の箇所を「共通」とし、表を分けて作成してください。  
 ・ 後任が決まっていない場合には、「後任未定」と記入してください。  
 ・ 辞任者は「備考」に退職年月、氏名、理由を記入してください。  
 ・ 年齢は、「**設置時の計画**」には**当該学部等の就任時における満年齢**を、「**変更状況**」には**平成28年5月1日現在の満年齢**を記入してください。  
 ・ 教員を学年進行中に変更した又は変更する予定の場合（「新規採用」、「担当授業科目の変更」又は「昇格」をいう。）は、変更後の状況を記入するとともに、その理由、後任者が決まっていない場合は、「変更状況」の「氏名」に「後任未定」と記入し、及び今後の採用計画を「備考」に記入してください。  
 ・ **意見伺いで設置された学部等の専任教員を変更する場合は**、当該専任教員が授業を開始する前に必ず「専任教員採用等設置計画変更書」を提出し、大学設置・学校法人審議会による教員資格審査（AC教員審査）を受けてください。**AC教員審査を受けずに専任教員として授業等を担当することは出来ません。**  
 ・ 「専任教員採用等変更書（AC）」を提出し「可」の教員判定を受けている場合は「〇年〇月教員審査済」、変更書提出予定の場合は「〇年〇月変更書提出予定」と記入してください。  
 なお、設置審査時に教員審査省略となっている場合は、「備考」に「（教員審査省略）」及びその変更の理由、変更年度（ ）書き等のみを記入してください。  
 ・ 「事前伺い」により設置された学部等については、本項目を記載する必要はありません。

(2) 専任教員数等

(2) - ① 専任教員数

設置時の計画					現在（報告書提出時）の状況					現在（報告書提出時）の完成年度時の計画				
教授	准教授	講師	助教	計	教授	准教授	講師	助教	計(A)	教授	准教授	講師	助教	計(B)
20	31	2	9	62	19	28	2	10	59	19	28	2	10	59
(19)	(28)	(2)	(10)	(59)						[ Δ1 ]	[ Δ3 ]	[ 0 ]	[ 1 ]	[ Δ3 ]
研究指導教員数	研究指導補助教員数	講義のみ担当の教員数			研究指導教員数	研究指導補助教員数	講義のみ担当の教員数			研究指導教員数	研究指導補助教員数	講義のみ担当の教員数		
53	9	0			49	10	0			49	10	0		
(49)	(10)	(0)								[ Δ4 ]	[ 1 ]	[ 0 ]		

- (注) ・ 「設置時の計画」には、設置時に予定されていた完成年度時の人数を記入するとともに、（ ）内に開設時の状況を記入してください。  
 ・ 「現在（報告書提出時）の状況」には、報告書提出年度の5月1日の教員数（実人数）を記入してください。  
 ・ 「現在（報告書提出時）の完成年度時の計画」には、報告書提出年度の5月1日現在、完成年度時に計画している教員数を記入するとともに、[ ]内に設置時の計画との増減数を記入してください。（記入例：1名減の場合：Δ1）

(2) - ② 年齢構成

年齢構成		
定年規定の定める定年年齢（歳）	報告書提出時（上記(A)）の教員のうち、定年を延長して採用している教員数	完成年度時（上記(B)）の教員のうち、定年を延長して採用する教員数
65	0	0

- (注) ・ 「年齢構成」には、当該学部における教員の定年に関する規定に基づく定年年齢（特例等による定年年齢ではありません）、および、平成28年5月1日現在、定年に関する規定に基づく特例等により定年を超えて専任教員として採用されている教員数および完成年度時に定年を超えて専任教員として採用する教員数を記入してください。  
 ・ なお、職位等によって定年年齢が異なる場合には、職位ごとの定年年齢を「定年規定の定める定年年齢」に二段書きで記入し、「定年を延長している教員数」には合算した数を記入してください。  
 ・ 専門職大学院の場合は、「研究指導教員」を「研究者教員」と、「研究指導補助教員」を「実務家教員」と修正して記入してください。

## 6 留意事項等に対する履行状況等

区 分	留 意 事 項 等	履 行 状 況	未履行事項について の実施計画
設 計	<p>事前伺いのため該当なし</p>		
設 計			
設 計			

- (注) ・ 「設置時」には、当該大学等の設置時に付された留意事項と、それに対する履行状況等について、具体的に記入し、報告年度を( )書きで付記してください。
- ・ 「設置計画履行状況調査時」には、当該設置計画履行状況調査の結果、付された意見に対する履行状況等について、具体的に記入するとともに、その履行状況等を裏付ける資料があれば、添付してください。
  - ・ 定員管理に係る留意事項への履行状況は、指摘を受けた学科等についてのみ記入してください。
  - ・ 該当がない場合には、「該当なし」と記入してください。
  - ・ 「事前伺い」により設置された学部等については、本項目を記載する必要はありません。

## 7 その他全般的事項

<創成科学研究科 電気電子情報系専攻（博士前期課程）>

### (1) 設置計画変更事項等

設置時の計画	変更内容・状況, 今後の見通しなど
<div style="border: 2px solid black; padding: 20px; width: 80%; margin: auto;"> <p style="font-size: 2em; margin: 0;">事前伺いのため該当なし</p> </div>	

- (注) ・ 1～6の項目に記入した事項以外で、設置時の計画より変更のあったもの（未実施を含む。）及び法令適合性に関して生じた留意すべき事項について記入してください。
- ・ 設置時の「設置の趣旨等を記載した書類」の項目に沿って作成し、それ以外の事柄については適宜項目を設けてください。（記入例参照）
  - ・ 「事前伺い」により設置された学部等については、当該項目を記載する必要はありません。

### (2) 教員の資質の維持向上の方策（FD活動含む）

①	実施体制
<div style="border: 2px solid black; padding: 20px; width: 80%; margin: auto;"> <p style="font-size: 2em; margin: 0;">事前伺いのため該当なし</p> </div>	

- (注) ・ 「①a 委員会の設置状況」には、関係規程等を転載又は添付すること。
- 「②実施状況」には、実施されている取組を全て記載すること。（記入例参照）
- ・ 「事前伺い」により設置された学部等については、本項目を記載する必要はありません。

(3) 自己点検・評価等に関する事項

① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見

②

事前伺いのため該当なし

③

- (注) ・ 設置時の計画の変更(又は未実施)の有無に関わらず記入してください。  
また、「① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見」については、できるだけ具体的な根拠を含めて記入してください。  
なお、「② 自己点検・評価報告書」については、当該調査対象の組織に関する評価内容を含む報告書について記入してください。  
・ 「事前伺い」により設置された学部等については、本項目を記載する必要はありません。

(4) 情報公表に関する事項

○ 設置計画履行状況報告書

a ホームページに公表の有無 (  有 ・  無 )

b 公表時期(未公表の場合は予定時期) ( 28 年 9 月 1 日 )

## 1 調査対象大学等の概要等

### (1) 設置者

国立大学法人 山口大学

### (2) 大学名

山口大学

### (3) 大学の位置

〒753-8511  
山口県山口市吉田1677-1

〒755-8611  
山口県宇部市常盤台2丁目16番1号

- (注) ・対象学部等の位置が大学本部の位置と異なる場合、本部の位置を( )書きで記入してください。  
・対象学部等が複数のキャンパスに所在する場合には、複数のキャンパスの所在地をそれぞれ記載してください。

### (4) 管理運営組織

職名	設置時	変更状況	備考
事前伺いのため該当なし			

- (注) ・「変更状況」は、変更があった場合に記入し、併せて「備考」に変更の理由と変更年月日、報告年度を( )書きで記入してください。
- (例) 平成26年度に報告済の内容 → (26)  
平成28年度に報告する内容 → (28)
- ・昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更があれば、「変更状況」に赤字にて記載(昨年度までに報告された記載があれば、そこに赤字で見え消し修正)するとともに、上記と同様に、「備考」に変更理由等を記入してください。
  - ・大学院の場合には、「職名」を「研究科長」等と修正して記入してください。
  - ・「事前伺い」により設置された学部等については、本項目を記載する必要はありません。

(5) 調査対象研究科等の名称, 定員, 入学者の状況等

- (注) ・ 当該調査対象の学部の学科または研究科の専攻等, 定員を定めている組織ごとに記入してください。  
 (入試区分ごとではありません)。  
 ・ 様式は, 平成26年度開設の博士後期課程の場合(平成28年度までの3年間)ですが, 開設年度・  
 修業年限に合わせて作成してください。(修業年限が2年以下の場合には欄を削除し, 4年以上の場合  
 には, 欄を設けてください。)

(5) - ① 調査対象研究科等の名称, 定員

調査対象研究科等の 名称(学位)	設置時の計画			備 考
	修業年限	入学定員	収容定員	
創成科学研究科 機械工学系専攻 (博士前期課程)  修士(工学)	2 年	60 人	120 人	基礎となる学部等  工学部

- (注) ・ 「備考」に基礎となる学部等の名称を記入してください。  
 ・ 定員を変更した場合は, 「備考」に変更前的人数, 変更年月及び報告年度を( )書きで記入してください。  
 ・ 学生募集停止を予定している場合は, 「備考」にその旨記載してください。

(5) - ② 調査対象研究科等の入学者の状況

区 分	報告年度		平成28年度		平成29年度		平均入 学定員 超 過 率	備 考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期		
A 入学定員	60 ( ) [ ]		人 人 ( ) ( ) [ ] [ ]		人 人 ( ) ( ) [ ] [ ]		1.01倍	
志願者数	65 (-) [1]	( ) [ ]	( ) [ ]	( ) [ ]	( ) [ ]	( ) [ ]		
受験者数	65 (-) [1]	( ) [ ]	( ) [ ]	( ) [ ]	( ) [ ]	( ) [ ]		
合格者数	62 (-) [-]	( ) [ ]	( ) [ ]	( ) [ ]	( ) [ ]	( ) [ ]		
B 入学者数	61 (-) [-]	( ) [ ]	( ) [ ]	( ) [ ]	( ) [ ]	( ) [ ]		
入学定員超過率 B/A	1.01							

- (注) ・ 数字は, 平成28年5月1日現在の数字を記入してください。  
 ・ ( ) 内には, 社会人の状況について内数で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。  
 ・ 「社会人」については, 設置計画書において貴学が定める社会人の定義に従って記入してください。  
 ・ [ ] 内には, 留学生の状況について内数で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。  
 ・ 留学生については, 「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格(いわゆる「留学ビザ」)により, 我が国の大学(大学院を含む), 短期大学, 高等専門学校, 専修学校(専門課程)及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。  
 ・ 短期交換留学生など, 定員内に含めていない学生については記入しないでください。  
 ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は, 春季入学とその他の学期(春季入学以外の学期区分を設けている場合)に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は, その他の学期欄は「-」を記入してください。また, その他の学期に入学定員を設けている場合は, 備考欄にその人数を記入してください。  
 ・ 「入学定員超過率」については, **各年度の春季入学とその他を合計した入学定員, 入学者数で算出**してください。なお, 計算の際は小数点以下第3位を切り捨て, 小数点以下第2位まで記入してください。  
 ・ 「平均入学定員超過率」には, 開設年度から提出年度までの入学定員超過率の平均を記入してください。なお, 計算の際は「入学定員超過率」と同様にしてください。

(5) - ③ 調査対象研究科等の在学者の状況

学 年	報告年度		平成28年度		平成29年度		備 考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	
1年次	[ - ] ( - ) 61	[ ] ( )	[ ] ( )	[ ] ( )	[ ] ( )	[ ] ( )	
2年次	/		[ ] ( )	[ ] ( )	[ ] ( )	[ ] ( )	
計	[ - ] ( - ) 61	[ ] ( )	[ ] ( )	[ ] ( )	[ ] ( )	[ ] ( )	

- (注) ・ 数字は、平成28年5月1日現在の数字を記入してください。
- ・ [ ]内には、留学生の状況について内数で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。
  - ・ 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格（いわゆる「留学ビザ」）により、我が国の大学（大学院を含む。）、短期大学、高等専門学校、専修学校（専門課程）及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
  - ・ 短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。
  - ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期（春季入学以外の学期区分を設けている場合）に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「-」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
  - ・ 「計」については、**各年度の春季入学とその他の学期を合計した在学者数、留学生数**を記入してください。
  - ・ ( )内には、**留年者の状況**について、内数で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。



(5) -④ 調査対象学部等の退学者等の状況

区分 対象年度	入学者数(b)	退学者数(a)	退学者数(内訳)			主な退学理由	入学者数に 対する退学者数 の割合 (a/b)
			退学した年度	退学者数	退学者数の うち留学生数		
平成28年度 入学者	61 人	0 人	平成28年度	人	人		0 %
			平成29年度	人	人		
平成29年度 入学者	人	0 人	平成29年度	人	人		#DIV/0! %
合 計	61 人	0 人					0 %

(注)・数字は、平成28年5月1日現在の数字を記入してください。

- ・各年度の入学者数については、該当年度当初に入学した人数を記入してください。(途中で退学者がいた場合でも、その退学者数を減らす必要はありません。)
- ・各年度の退学者数については、退学年度ごとに記入してください。また、留学生数欄の人数については、退学者数の内数を記入してください。
- ・留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格(いわゆる「留学ビザ」)により、我が国の大学(大学院を含む。)、短期大学、高等専門学校、専修学校(専門課程)及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記入してください。
- ・短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。
- ・「入学者数に対する退学者数の割合」は、【当該対象年度の入学者のうち、平成28年5月1日現在までに退学した学生数の合計】を、【当該対象年度の入学者数】で除した割合(%)を記入してください。その際、小数点以下第2位を四捨五入し、小数点以下第1位までを記入してください。
- ・「主な退学理由」は、下の項目を参考に記入してください。その際、「就学意欲の低下(○人)」というように、その人数も含めて記入してください。  
 (記入項目例)・就学意欲の低下    ・学力不足    ・他の教育機関への入学・転学    ・海外留学  
                   ・就職    ・学生個人の心身に関する事情    ・家庭の事情    ・除籍    ・その他

## 2 授業科目の概要

<創成科学研究科 機械工学系専攻（博士前期課程）>

### (1) 授業科目表

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					備考	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
研究科共通科目	【研究基盤科目】											
	研究者行動規範特論	1後 1前	1			1					兼2	教育効果充実のため、開講期変更（28）
	知的財産特論	1前 1後	1			1					兼1 兼2	具体的な担当教員の確定による変更及び教育効果充実のため開講期変更（28）
	サイエンティフィック・ライティング	1前		1		1					兼2	具体的な担当教員の確定による変更（28）
	プレゼンテーション特論	1後		1		1					兼3 兼2	具体的な担当教員の確定による変更（28）
	【イノベーション教育科目】											
	研究開発戦略論	1・2前	2			1					兼2	具体的な担当教員の確定による変更（28）
	企業経営と財務	1・2前 1・2後		2		1					兼2	教育効果充実のため、開講期変更（28）
【キャリア教育科目】												
キャリアデザイン I	1後		1		1					兼2	具体的な担当教員の確定による変更（28）	
学外特別研修 I	1・2前・後		1~2		1							
長期インターンシップ I	1・2前・後		6		1							
専攻基盤科目	専門英語特別演習	1・2通 1・2前	1			11 1	10			6		教育効果充実のため、開講期及び教員の変更（28）
	機械工学系特論	1・2後 1前	2			11	10 2			6		オムニバス 教育効果充実のため、開講期及び教員の変更（28）
	科学・技術英語特論	1・2前 1・2前-後		2							兼1	教育効果充実のため、開講期を変更（28）
	基礎数理解析学特論 I	1・2前		2							兼1	
	基礎数理解析学特論 II	1・2前 1・2後		2							兼1	教育効果充実のため、開講期を変更（28）
	基礎数理工学特論 I	1・2後 1・2前		2							兼1	教育効果充実のため、開講期を変更（28）
	基礎数理工学特論 II	1・2後		2							兼1	
	応用数学特論 I	1・2前		2							兼1	
	応用数学特論 II	1・2後		2							兼1	
	I 粘性流体力学特論	1・2前		2		1						
	群 伝熱工学特論	1・2後		2		1						
	多体動力学特論	1・2前		2		1	1					
	II 群 システム計算工学特論	1・2前		2		1						
	制御系設計特論	1・2後		2			1					
	III 群 材料強度学特論	1・2後		2		1	1					教育効果充実のため、担当教員を追加（28）
	数値弾性力学特論	1・2前		2		1						
	機械工学系特別講義	1・2前		2		1					兼2	集中 教育効果充実のため、担当教員を変更（28）
高度ものづくり創成演習	1通		4		2	1			2		教育効果充実のため、担当教員を変更（28）	
医工学基礎科目	1・2前		2		1 6	1				兼6	オムニバス 教育効果充実のため、担当教員及び授業形式を変更（28）	

専 門 科 目	先端医療機器特論	1・2前 1・2 後	2		1	2			兼10	教育効果充実のため、担当教員及び開講期を変更 (28)
	バイオセンシング特論	1・2前	2			1				
	生体材料力学特論	1・2前	2			1				
	最先端ライフサイエンス研究科目	1・2通	1		3 +	2		2		教育効果充実のため、担当教員を追加 (28)
	圧縮性流体力学特論	1・2後	2			1				
	燃烧工学特論	1・2後	2		1	1				
	化学熱流体工学特論	1・2後	2		1	1				
	リモートセンシング特論	1・2前	2		+	1		+	兼2	教育効果充実のため、担当教員を変更 (28)
	航空宇宙エネルギー系演習	1・2後	1		1	2 3		1		オムニバス 教育効果充実のため、担当教員を変更 (28)
	最先端航空宇宙エネルギー研究科目	1・2通	1		4 +	4		1		教育効果充実のため、担当教員を追加 (28)
	微小機械創成学特論	1・2前	2		1					
	メカトロニクス設計工学特論	1・2前	2		1					
	システム同定特論	1・2後	2		1			1		
	機械システム設計工学特論	1・2後	2			1				
	特別講義 (組込みシステム開発PM)	1前	1						兼1	集中
	特別講義 (組込みソフトウェア演習)	1前 1後	1						兼1	集中 教育効果充実のため、開講期を変更 (28)
学外特別実習	1・2前・後	2		1	1		1		集中 教育効果充実のため、担当教員を追加 (28)	
最先端メカノシステムデザイン研究科目	1・2通	1		4 +	4		3		教育効果充実のため、担当教員を追加 (28)	
特別研究 I	1通	2			11	10 8		6 4		教育効果充実のため、担当教員を追加 (28)
特別研究 II	2通	4			11	10 8		6 4		教育効果充実のため、担当教員を追加 (28)

- (注) ・ 設置計画書の様式第2号 (その2の1) に準じて作成してください。
- ・ 設置時の授業科目全て (兼任、兼任教員が担当する科目を含む。) を黒字で記載してください。その上で、前年度報告時 (平成28年度に設置された大学等は設置時) より変更されているものは赤字で見え消し修正し、「備考」に赤字で理由・変更年月等を記入してください。
- なお、昨年度の報告書において赤字で見え消しした部分については、見え消しのまま黒字にしてください。
- ・ 兼任、兼担の教員が担当する授業科目については、備考欄に担当する教員数を「兼〇」と記入してください。
- ・ 授業科目を追加又は内容を変更する場合で、専任教員が担当するため教員審査が必要なものについては、「専任教員採用等設置計画変更書」の審査予定年月等を「備考」に記入してください。(今後審査を受ける場合には、「平成〇年〇月 提出予定」と記入してください。)
- ・ 「配当年次」について、設置計画時に開講時期を記入する必要がなかった学部等 (平成19年度設置以前) についても、設置時の状況を黒字で記入してください。また、前年度報告時より修正があれば、赤字で見え消し修正をしてください。
- ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目についても記入してください。

## (2) 授業科目数

設置時の計画				変更状況				備 考
必修	選択	自由	計	必修	選択	自由	計	
科目	科目	科目	科目	科目	科目	科目	科目	
7	41	0	48	7	41	0	48	
[ ]	[ ]	[ ]	[ ]	[ ]	[ ]	[ ]	[ ]	

- (注) ・ 未開講科目も含めた教育課程上の授業科目数を記入するとともに、[ ] 内に、設置時の計画からの増減を記入してください。(記入例：1科目減の場合：△1)
- ・ 資格に関する課程など、別課程としている授業科目については算入する必要はありません。

(3) 未開講科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	未開講の理由, 代替措置の有無
1	該当なし					
2						
3						

- (注) ・ 設置時の計画にあった授業科目が配当年次に達しているにも関わらず、何らかの理由で未開講となっている授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
- ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目については、記入しないでください。
  - ・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」と修正して記入してください。

(4) 廃止科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	廃止の理由, 代替措置の有無
1	該当なし					
2						
3						

- (注) ・ 設置時の計画にあり、何らかの理由で廃止（教育課程から削除）した授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
- ・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」と修正して記入してください。

(5) 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

該当なし
------

- (注) ・ 授業科目を未開講又は廃止としたことによる学生の履修への影響に関する「大学の所見」及び「学生への周知方法」を記入してください。

(6) 「設置時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

$$\frac{\text{未開講科目と廃止科目の計}}{\text{設置時の計画の授業科目数の計}} = \text{該当なし}$$

- (注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位までを記入してください。

### 3 施設・設備の整備状況, 経費

区分	内容	備考
(1) 校地等	<p>事前伺いのため該当なし</p>	
(2)		
(3)		
(4)		
(5) 図書・設備		
(6)		
(7)		
(8) 経費 積り 維持 の 概 要		
学生納付金以外の維持方法の概要		

- (注) ・ 設置時の計画を, 設置計画書の様式第2号(その1の1)に準じて作成してください。(複数のキャンパスに分かれている場合, 複数の様式に分ける必要はありません。なお, 「(1)校地等」及び「(2)校舎」は大学全体の数字を, その他の項目は AC対象学部等の数値を記入してください。)
- ・ 運動場用地が校舎敷地と別地にある場合は, その旨(所要時間・距離等)を「備考」に記入してください。
  - ・ 「(5)図書・設備」については, 上段に完成年度の予定数値を, 下段には平成28年5月1日現在の数値を記入してください。
  - ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更のあったものについては, 変更部分を赤字で見え消し修正するとともに, その理由及び報告年度「(28)」を「備考」に赤字で記入してください。  
 なお, 昨年度の報告において赤字で見え消した部分については, 見え消しのまま黒字にしてください。
  - ・ 「事前伺い」により設置された学部等については, 本項目を記載する必要はありません。

#### 4 既設大学等の状況

大学の名称	山 口 大 学						備 考		
既設学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学員定員	収容定員	学位又は称号	平均入学定員超過率	開 設 年 度	所 在 地	
	年	人	年次人	人		倍			
人文学部								山口県山口市吉田1677番地 1	
人文学科	4	185	-	740	学士（文学）	1.00	平成28年度		
人文社会学科	4	-	-	-	学士（文学）	-	平成5年度		平成28年度より学生募集停止
言語文化学科	4	-	-	-	学士（文学）	-	平成5年度		平成28年度より学生募集停止
教育学部								山口県山口市吉田1677番地 1	
学校教育教員養成課程	4	180	-	620	学士（教育学）	1.04	平成10年度		
実践臨床教育課程	4	-	-	-	学士（教育学）	-	平成10年度		平成27年度より学生募集停止
情報科学教育課程	4	-	-	-	学士（教育学）	-	平成10年度		平成27年度より学生募集停止
健康科学教育課程	4	-	-	-	学士（教育学）	-	平成10年度		平成27年度より学生募集停止
総合文化教育課程	4	-	-	-	学士（教育学）	-	平成元年度		平成27年度より学生募集停止
経済学部						1.03		山口県山口市吉田1677番地 1	
経済学科	4	130	-	440	学士（経済学）	-	昭和24年度		
経営学科	4	165	-	590	学士（経済学）	-	昭和24年度		
国際経済学科	4	-	-	-	学士（経済学）	-	昭和52年度		平成27年度より学生募集停止
経済法学科	4	-	-	-	学士（法学）	-	昭和55年度		平成27年度より学生募集停止
観光政策学科	4	50	-	160	学士（経済学）	-	平成17年度		
商業教員養成課程	4	-	-	-	学士（経済学）	-	昭和29年度		平成27年度より学生募集停止
理学部								山口県山口市吉田1677番地 1	
数理科学科	4	50	-	200	学士（理学）	1.05	平成7年度		
物理・情報科学科	4	60	-	240	学士（理学）	1.02	平成18年度		
生物・化学科	4	80	-	320	学士（理学）	1.01	平成18年度		
地球圏システム科学科	4	30	-	120	学士（理学）	1.05	平成18年度		
医学部								山口県宇部市南小串1丁目1番1号	
医学科	6	107	2年次 10	692	学士（医学）	1.00	昭和39年度		
保健学科	4	120	3年次 15	510	学士（看護学、保健学）	1.03	平成12年度		
工学部								山口県宇部市常盤台2丁目16番1号	
機械工学科	4	90	3年次 5	370	学士（工学）	1.03	平成2年度		
社会建設工学科	4	80	-	320	学士（工学）	1.03	平成2年度		
応用化学科	4	90	-	360	学士（工学）	1.04	平成19年度		
電気電子工学科	4	80	3年次 5	330	学士（工学）	1.03	平成2年度		
知能情報工学科	4	80	3年次 10	340	学士（工学）	1.03	平成19年度		
感性デザイン工学科	4	55	-	220	学士（工学）	1.05	平成8年度		
循環環境工学科	4	55	-	220	学士（工学）	1.05	平成19年度		
農学部								山口県山口市吉田1677番地 1	
生物資源環境科学科	4	50	-	200	学士（農学）	1.03	平成13年度		
生物機能科学科	4	50	-	200	学士（農学）	1.01	平成13年度		
獣医学科	6	-	-	-	学士（獣医学）	-	昭和24年度		平成24年度より学生募集停止
共同獣医学部								山口県山口市吉田1677番地 1	
獣医学科	6	30	-	150	学士（獣医学）	1.01	平成24年度		
国際総合科学部								山口県山口市吉田1677番地 1	
国際総合科学科	4	100	-	200	学士（学術）	1.04	平成27年度		

人文科学研究科							山口県山口市吉田1677番地 1	
人文科学専攻	2	8	-	8	修士(文学)	0.25	平成28年度	
地域文化専攻	2	-	-	-	修士(文学)	-	昭和60年度	平成28年度より学生募集停止
言語文化専攻	2	-	-	-	修士(文学)	-	昭和60年度	平成28年度より学生募集停止
教育学研究科							山口県山口市吉田1677番地 1	
学校教育専攻	2	10	-	23	修士(教育学)	1.10	平成3年度	
教科教育専攻	2	17	-	45	修士(教育学)	1.05	平成3年度	
教職実践高度化専攻	2	14	-	14	教職修士(専門職)	1.07	平成28年度	
経済学研究科							山口県山口市吉田1677番地 1	
経済学専攻	2	16	-	32	修士(経済学)	0.24	昭和50年度	
企業経営専攻	2	10	-	20	修士(経済学)	0.50	平成7年度	
医学系研究科(医学博士)							山口県宇部市南小串1丁目1番1号	
医学専攻	4	33	-	33	博士(医学)	1.09	平成28年度	
システム統御医学系専攻	4	-	-	-	博士(医学)	-	平成18年度	平成28年度より学生募集停止
情報解析医学系専攻	4	-	-	-	博士(医学)	-	平成18年度	平成28年度より学生募集停止
医学系研究科(博士前期)							山口県宇部市南小串1丁目1番1号	
応用医工学系専攻	2	-	-	-	修士(医工学)	-	平成13年度	平成28年度より学生募集停止
応用分子生命科学系専攻	2	-	-	-	修士(生命科学、学術)	-	平成18年度	平成28年度より学生募集停止
保健学専攻	2	12	-	24	修士(保健学)	1.37	平成17年度	
医学系研究科(博士後期)							山口県宇部市南小串1丁目1番1号	
応用医工学系専攻	3	-	-	-	博士(医工学)	-	平成13年度	平成28年度より学生募集停止
応用分子生命科学系専攻	3	-	-	-	博士(生命科学、学術)	-	平成18年度	平成28年度より学生募集停止
保健学専攻	3	5	-	15	博士(保健学)	0.80	平成19年度	
創成科学研究科(博士前期)							山口県山口市吉田1677番地 1	
基盤科学系専攻	2	38	-	38	修士(理学)	0.92	平成28年度	山口県宇部市常盤台2丁目16番1号
地球圏生物物質科学系専攻	2	42	-	42	修士(理学)	0.80	平成28年度	
化学系専攻	2	83	-	83	修士(工学、学術)	0.87	平成28年度	
電気電子情報系専攻	2	107	-	107	修士(工学)	1.00	平成28年度	
機械工学系専攻	2	60	-	60	修士(工学)	1.01	平成28年度	
建設環境系専攻	2	74	-	74	修士(工学、学術)	0.74	平成28年度	
農学系専攻	2	42	-	42	修士(農学、生命科学)	0.71	平成28年度	
創成科学研究科(博士後期)							山口県山口市吉田1677番地 1	
自然科学系専攻	3	7	-	7	博士(理学、学術)	0.28	平成28年度	山口県宇部市常盤台2丁目16番1号
物質工学系専攻	3	8	-	8	博士(工学、学術)	0.12	平成28年度	
システム・デザイン工学系専攻	3	10	-	10	博士(工学、学術)	0.70	平成28年度	
環境共生系専攻	3	12	-	12	博士(工学、学術)	0.66	平成28年度	
ライフサイエンス系専攻	3	7	-	7	博士(工学、学術)	0.85	平成28年度	
理工学研究科(博士前期)							山口県山口市吉田1677番地 1	平成28年度より学生募集停止
数理科学専攻	2	-	-	-	修士(理学)	-	平成9年度	山口県宇部市常盤台2丁目16番1号
物理・情報科学専攻	2	-	-	-	修士(理学)	-	平成18年度	
地球科学専攻	2	-	-	-	修士(理学)	-	平成18年度	
機械工学専攻	2	-	-	-	修士(工学)	-	昭和41年度	
社会建設工学専攻	2	-	-	-	修士(工学)	-	平成9年度	
物質化学専攻	2	-	-	-	修士(工学)	-	平成18年度	
電子デバイス工学専攻	2	-	-	-	修士(工学)	-	平成18年度	
電子情報システム工学専攻	2	-	-	-	修士(工学)	-	平成18年度	
感性デザイン工学専攻	2	-	-	-	修士(工学)	-	平成12年度	
環境共生系専攻	2	-	-	-	修士(工学、理学)	-	平成18年度	

理工学研究科（博士後期）								山口県山口市吉田1677番地1	平成28年度より学生募集停止
自然科学基盤系専攻	3	-	-	-	博士（理学、工学、学術）	-	平成18年度	山口県宇部市常盤台2丁目16番1号	
システム設計工学系専攻	3	-	-	-	博士（工学、学術）	-	平成18年度		
物質工学系専攻	3	-	-	-	博士（工学、学術）	-	平成18年度		
情報・デザイン工学系専攻	3	-	-	-	博士（工学、学術）	-	平成18年度		
環境共生系専攻	3	-	-	-	博士（工学、理学、学術）	-	平成18年度		
農学研究科								山口県山口市吉田1677番地1	平成28年度より学生募集停止
生物資源科学専攻	2	-	-	-	修士（農学）	-	平成7年度		
東アジア研究科								山口県山口市吉田1677番地1	
東アジア専攻	3	10	-	30	博士（学術）	1.26	平成13年度		
技術経営研究科								山口県宇部市常盤台2丁目16番1号	
技術経営専攻	2	15	-	30	技術経営修士（専門職）	1.10	平成17年度		
連合獣医学研究科								【山口大学】	
獣医学専攻	4	12	-	48	博士（獣医学）	1.56	平成2年度	山口県山口市吉田1677番地1	
								【鳥取大学】	
								鳥取県鳥取市湖山町南4丁目101	
								【鹿児島大学】	
								鹿児島県鹿児島市都元1丁目21番24号	

- (注) ・ 本調査の対象となっている大学等の設置者（国立大学法人）が設置している全ての大学（学部、学科）及び大学院（専攻）（AC対象学部等含む）について、それぞれの学校種ごとに、平成28年5月1日現在の上記項目の情報を記入してください。
- ・ 学部の学科または研究科の専攻等、「入学定員を定めている組織」ごとに記入してください。
  - ※「入学定員を定めている組織ごと」には、課程認定等によりコース・専攻に入学定員を定めている場合を含めず、履修上の区分としてコース・専攻を設けている場合は含めません。
  - ※なお、課程認定等によりコースや専攻に入学定員を定めている場合は、法令上規定されている組織上の最小単位（大学であれば「学科」、短期大学であれば「専攻課程」）でも記載してください。
  - ・ 専攻科に係るものについては、記入する必要はありません。
  - ・ AC対象学部等についても必ず記入してください。
  - ・ 「平均入学定員超過率」には、標準修業年限に相当する期間における入学定員に対する入学者の割合の平均の小数点以下第2位まで（小数点以下第3位を切り捨て）を記入してください。
  - ・ 学生募集を停止している学部等がある場合、入学定員・収容定員・平均入学定員超過率は「-」とし、「備考」に「平成〇〇年より学生募集停止」と記入してください。



5 教員組織の状況

<創成科学研究科 機械工学系専攻（博士前期課程）>

(1) 担当教員表

<p style="font-size: 24px; font-weight: bold;">事前伺いのため該当なし</p>									
(注) 科目を追加 (28)									

- (注) ・ 設置計画書の様式第3号（その2の1）に準じて作成してください。  
 なお、当該設置に係る研究科等に所属しない教員であって、全学共通、学部共通などの授業科目を担当する教員組織に所属している場合は、(〇〇研究科 〇〇専攻 (〇〇課程)) の箇所を「共通」とし、表を分けて作成してください。
- ・ 後任が決まっていない場合には、「後任未定」と記入してください。
  - ・ 辞任者は「備考」に退職年月、氏名、理由を記入してください。
  - ・ 年齢は、「**設置時の計画**」には当該学部等の就任時における満年齢を、「**変更状況**」には平成28年5月1日現在の満年齢を記入してください。
  - ・ 教員を学年進行中に変更した又は変更する予定の場合（「新規採用」、「担当授業科目の変更」又は「昇格」をいう。）は、変更後の状況を記入するとともに、その理由、後任者が決まっていない場合は、「変更状況」の「氏名」に「後任未定」と記入し、及び今後の採用計画を「備考」に記入してください。
  - ・ **意見伺いで設置された学部等の専任教員を変更する場合は、当該専任教員が授業を開始する前に必ず「専任教員採用等設置計画変更書」を提出し、大学設置・学校法人審議会による教員資格審査（AC教員審査）を受けてください。AC教員審査を受けずに専任教員として授業等を担当することは出来ません。**
  - ・ 「専任教員採用等変更書（AC）」を提出し「可」の教員判定を受けている場合は「〇年〇月教員審査済」、変更書を提出予定の場合は「〇年〇月変更書提出予定」と記入してください。  
 なお、設置審査時に教員審査省略となっている場合は、「備考」に「(教員審査省略)」及びその変更の理由、変更年度( )書き等のみを記入してください。
  - ・ **「事前伺い」により設置された学部等については、本項目を記載する必要はありません。**

(2) 専任教員数等

(2)-① 専任教員数

設置時の計画					現在（報告書提出時）の状況					現在（報告書提出時）の完成年度時の計画				
教授	准教授	講師	助教	計	教授	准教授	講師	助教	計(A)	教授	准教授	講師	助教	計(B)
11	8	0	4	23	11	10	0	6	27	11	10	0	6	27
(11)	(10)	(0)	(6)	(27)						[ ]	[ 2 ]	[ ]	[ 2 ]	[ 4 ]
研究指導教員数	研究指導補助教員数	講義のみ担当の教員数			研究指導教員数	研究指導補助教員数	講義のみ担当の教員数			研究指導教員数	研究指導補助教員数	講義のみ担当の教員数		
19	4	0	/		21	6	0	/		21	6	0	/	
(21)	(6)	(0)			[ 2 ]	[ 2 ]	[ 0 ]							

- (注) ・ 「設置時の計画」には、設置時に予定されていた完成年度時の人数を記入するとともに、( ) 内に開設時の状況を記入してください。  
 ・ 「現在（報告書提出時）の状況」には、報告書提出年度の5月1日の教員数（実人数）を記入してください。  
 ・ 「現在（報告書提出時）の完成年度時の計画」には、報告書提出年度の5月1日現在、完成年度時に計画している教員数を記入するとともに、[ ] 内に設置時の計画との増減数を記入してください。（記入例：1名減の場合：△1）

(2)-② 年齢構成

年齢構成		
定年規定の定める定年年齢（歳）	報告書提出時（上記(A)）の教員のうち、定年を延長して採用している教員数	完成年度時（上記(B)）の教員のうち、定年を延長して採用する教員数
65	0	0

- (注) ・ 「年齢構成」には、当該学部における教員の定年に関する規定に基づく定年年齢（特例等による定年年齢ではありません）、および、平成28年5月1日現在、定年に関する規定に基づく特例等により定年を超えて専任教員として採用されている教員数および完成年度時に定年を超えて専任教員として採用する教員数を記入してください。  
 ・ なお、職位等によって定年年齢が異なる場合には、職位ごとの定年年齢を「定年規定の定める定年年齢」に二段書きで記入し、「定年を延長している教員数」には合算した数を記入してください。  
 ・ 専門職大学院の場合は、「研究指導教員」を「研究者教員」と、「研究指導補助教員」を「実務家教員」と修正して記入してください。

## 6 留意事項等に対する履行状況等

区 分	留 意 事 項 等	履 行 状 況	未履行事項について の実施計画
設 計  設 計  設 計	<p>事前伺いのため該当なし</p>		

- (注) ・ 「設置時」には、当該大学等の設置時に付された留意事項と、それに対する履行状況等について、具体的に記入し、報告年度を（ ）書きで付記してください。
- ・ 「設置計画履行状況調査時」には、当該設置計画履行状況調査の結果、付された意見に対する履行状況等について、具体的に記入するとともに、その履行状況等を裏付ける資料があれば、添付してください。
  - ・ 定員管理に係る留意事項への履行状況は、指摘を受けた学科等についてのみ記入してください。
  - ・ 該当がない場合には、「該当なし」と記入してください。
  - ・ 「事前伺い」により設置された学部等については、本項目を記載する必要はありません。

## 7 その他全般的事項

<創成科学研究科 機械工学系専攻（博士前期課程）>

### (1) 設置計画変更事項等

設置時の計画	変更内容・状況, 今後の見通しなど
<p>記</p> <p>①</p> <p>②</p> <h1>事前伺いのため該当なし</h1> <p>冊</p>	

- (注) ・ 1～6の項目に記入した事項以外で、設置時の計画より変更のあったもの（未実施を含む。）及び法令適合性に関して生じた留意すべき事項について記入してください。
- ・ 設置時の「設置の趣旨等を記載した書類」の項目に沿って作成し、それ以外の事柄については適宜項目を設けてください。（記入例参照）
  - ・ 「事前伺い」により設置された学部等については、当該項目を記載する必要はありません。

### (2) 教員の資質の維持向上の方策（FD活動含む）

<p>① 実施体制</p> <p>②</p> <p>③</p> <h1>事前伺いのため該当なし</h1>
--

- (注) ・ 「①a 委員会の設置状況」には、関係規程等を転載又は添付すること。
- 「②実施状況」には、実施されている取組を全て記載すること。（記入例参照）
- ・ 「事前伺い」により設置された学部等については、本項目を記載する必要はありません。

(3) 自己点検・評価等に関する事項

① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見

②

事前伺いのため該当なし

③

- (注) ・ 設置時の計画の変更(又は未実施)の有無に関わらず記入してください。  
また、「① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見」については、できるだけ具体的な根拠を含めて記入してください。  
なお、「② 自己点検・評価報告書」については、当該調査対象の組織に関する評価内容を含む報告書について記入してください。  
・ 「事前伺い」により設置された学部等については、本項目を記載する必要はありません。

(4) 情報公表に関する事項

○ 設置計画履行状況報告書

a ホームページに公表の有無 (  有 ・  無 )

b 公表時期(未公表の場合は予定時期) ( 28 年 9 月 1 日 )

## 1 調査対象大学等の概要等

### (1) 設置者

国立大学法人 山口大学

### (2) 大学名

山口大学

### (3) 大学の位置

〒753-8511  
山口県山口市吉田1677-1

〒755-8611  
山口県宇部市常盤台2丁目16番1号

- (注) ・対象学部等の位置が大学本部の位置と異なる場合、本部の位置を( )書きで記入してください。  
・対象学部等が複数のキャンパスに所在する場合には、複数のキャンパスの所在地をそれぞれ記載してください。

### (4) 管理運営組織

職名	設置時	変更状況	備考
事前伺いのため該当なし			

- (注) ・「変更状況」は、変更があった場合に記入し、併せて「備考」に変更の理由と変更年月日、報告年度を( )書きで記入してください。
- (例) 平成26年度に報告済の内容 → (26)  
平成28年度に報告する内容 → (28)
- ・昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更があれば、「変更状況」に赤字にて記載(昨年度までに報告された記載があれば、そこに赤字で見え消し修正)するとともに、上記と同様に、「備考」に変更理由等を記入してください。
  - ・大学院の場合には、「職名」を「研究科長」等と修正して記入してください。
  - ・「事前伺い」により設置された学部等については、本項目を記載する必要はありません。

(5) 調査対象研究科等の名称, 定員, 入学者の状況等

- (注) ・ 当該調査対象の学部の学科または研究科の専攻等, 定員を定めている組織ごとに記入してください。  
 (入試区分ごとではありません)。  
 ・ 様式は, 平成26年度開設の博士後期課程の場合(平成28年度までの3年間)ですが, 開設年度・  
 修業年限に合わせて作成してください。(修業年限が2年以下の場合には欄を削除し, 4年以上の場合  
 には, 欄を設けてください。)

(5) - ① 調査対象研究科等の名称, 定員

調査対象研究科等の 名称(学位)	設置時の計画			備 考
	修業年限	入学定員	収容定員	
創成科学研究科 建設環境系専攻 (博士前期課程)  修士(工学) 修士(学術)	2年	74人	148人	基礎となる学部等  工学部

- (注) ・ 「備考」に基礎となる学部等の名称を記入してください。  
 ・ 定員を変更した場合は, 「備考」に変更前的人数, 変更年月及び報告年度を( )書きで記入してください。  
 ・ 学生募集停止を予定している場合は, 「備考」にその旨記載してください。

(5) - ② 調査対象研究科等の入学者の状況

区 分	報告年度		平成28年度		平成29年度		平均入 学定員 超 過 率	備 考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期		
A 入学定員	74人		74人		74人		0.74倍	
志願者数	65 (-) [3]	( ) [ ]	( ) [ ]	( ) [ ]	( ) [ ]	( ) [ ]		
受験者数	62 (-) [3]	( ) [ ]	( ) [ ]	( ) [ ]	( ) [ ]	( ) [ ]		
合格者数	56 (-) [2]	( ) [ ]	( ) [ ]	( ) [ ]	( ) [ ]	( ) [ ]		
B 入学者数	55 (-) [2]	( ) [ ]	( ) [ ]	( ) [ ]	( ) [ ]	( ) [ ]		
入学定員超過率 B/A	0.74							

- (注) ・ 数字は, 平成28年5月1日現在の数字を記入してください。  
 ・ ( ) 内には, 社会人の状況について内数で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。  
 ・ 「社会人」については, 設置計画書において貴学が定める社会人の定義に従って記入してください。  
 ・ [ ] 内には, 留学生の状況について内数で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。  
 ・ 留学生については, 「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格(いわゆる「留学ビザ」)により, 我が国の大学(大学院を含む。), 短期大学, 高等専門学校, 専修学校(専門課程)及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。  
 ・ 短期交換留学生など, 定員内に含めていない学生については記入しないでください。  
 ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は, 春季入学とその他の学期(春季入学以外の学期区分を設けている場合)に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は, その他の学期欄は「-」を記入してください。また, その他の学期に入学定員を設けている場合は, 備考欄にその人数を記入してください。  
 ・ 「入学定員超過率」については, **各年度の春季入学とその他を合計した入学定員, 入学者数で算出**してください。なお, 計算の際は小数点以下第3位を切り捨て, 小数点以下第2位まで記入してください。  
 ・ 「平均入学定員超過率」には, 開設年度から提出年度までの入学定員超過率の平均を記入してください。なお, 計算の際は「入学定員超過率」と同様にしてください。

(5) - ③ 調査対象研究科等の在学者の状況

学 年	平成28年度		平成29年度		備 考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	
1年次	[ 2 ] ( - ) 55	[ ] ( )	[ ] ( )	[ ] ( )	
2年次	/		[ ] ( )	[ ] ( )	
計	[ 2 ] ( - ) 55	[ ] ( )	[ ] ( )	[ ] ( )	

- (注) ・ 数字は、平成28年5月1日現在の数字を記入してください。
- ・ [ ]内には、留学生の状況について内数で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。
  - ・ 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格（いわゆる「留学ビザ」）により、我が国の大学（大学院を含む。）、短期大学、高等専門学校、専修学校（専門課程）及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
  - ・ 短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。
  - ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期（春季入学以外の学期区分を設けている場合）に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「-」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
  - ・ 「計」については、**各年度の春季入学とその他の学期を合計した在学者数、留学生数**を記入してください。
  - ・ ( )内には、**留年者の状況**について、内数で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。

(5) -④ 調査対象学部等の退学者等の状況

区分 対象年度	入学者数(b)	退学者数(a)	退学者数(内訳)			主な退学理由	入学者数に 対する退学者数 の割合 (a/b)
			退学した年度	退学者数	退学者数の うち留学生数		
平成28年度 入学者	55 人	0 人	平成28年度	人	人		0 %
			平成29年度	人	人		
平成29年度 入学者	人	0 人	平成29年度	人	人		#DIV/0! %
合 計	55 人	0 人					0 %

(注)・数字は、平成28年5月1日現在の数字を記入してください。

- ・各年度の入学者数については、該当年度当初に入学した人数を記入してください。(途中で退学者がいた場合でも、その退学者数を減らす必要はありません。)
- ・各年度の退学者数については、退学年度ごとに記入してください。また、留学生数欄の人数については、退学者数の内数を記入してください。
- ・留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格(いわゆる「留学ビザ」)により、我が国の大学(大学院を含む。)、短期大学、高等専門学校、専修学校(専門課程)及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記入してください。
- ・短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。
- ・「入学者数に対する退学者数の割合」は、【当該対象年度の入学者のうち、平成28年5月1日現在までに退学した学生数の合計】を、【当該対象年度の入学者数】で除した割合(%)を記入してください。その際、小数点以下第2位を四捨五入し、小数点以下第1位までを記入してください。
- ・「主な退学理由」は、下の項目を参考に記入してください。その際、「就学意欲の低下(○人)」というように、その人数も含めて記入してください。  
 (記入項目例)・就学意欲の低下   ・学力不足   ・他の教育機関への入学・転学   ・海外留学  
                   ・就職   ・学生個人の心身に関する事情   ・家庭の事情   ・除籍   ・その他



## 2 授業科目の概要

<創成科学研究科 建設環境系専攻（博士前期課程）>

### (1) 授業科目表

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					備考			
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手				
研究科共通科目	【研究基盤科目】	1後										教育効果充実のため、開講期変更 (28)		
	研究者行動規範特論	1前	1			1					兼2			
	知的財産特論	1前	1			+					兼1		具体的な担当教員の確定による変更及び教育効果充実のため開講期変更 (28)	
	サイエンティフィック・ライティング	1前		1		+					兼2			
	プレゼンテーション特論	1後		1		+					兼2			
	【イノベーション教育科目】													
	研究開発戦略論	1・2前	2			+					兼2		具体的な担当教員の確定による変更 (28)	
	企業経営と財務	1・2前		2		+					兼2			
	【キャリア教育科目】													
	キャリアデザイン I	1後		1		+		1					教育効果充実のため、担当教員を追加 (28)	
学外特別研修 I	1・2前・後		1~2		1					兼2				
長期インターンシップ I	1・2前・後		6		1									
専攻基盤科目	専門英語特別演習	1・2通	1			3	2	2				教育効果充実のため、開講期及び担当教員を変更 (28)		
		1・2前				+								
	建設環境系特論	1・2前	2			1		2				具体的な担当教員の確定による変更及び教育効果充実のため、配当年次を変更 (28)		
	建設環境系特別演習 I	1通		1~2		9	9	3	9					
	建設環境系特別演習 II	2通		1~2		18	13	3	9			オムニバス 教育効果充実のため、担当教員を追加 (28) 共同		
	科学・技術英語特論	1・2前		2		+								
	基礎数理解析学特論 I	1・2前		2		18	13	3	9			教育効果充実のため、担当教員を追加 (28) 共同		
	基礎数理解析学特論 II	1・2前		2		+								
	基礎数理工学特論 I	1・2後		2								教育効果充実のため、開講期を変更 (28)		
	基礎数理工学特論 II	1・2後		2										
	応用数学特論 I	1・2前		2								教育効果充実のため、開講期を変更 (28)		
	応用数学特論 II	1・2後		2										
	高度ものづくり創成演習 I	1前		2		1						教育効果充実のため、開講期を変更 (28)		
	高度ものづくり創成演習 II	1後		2		1								

専 門 科 目	構造解析学特論	1・2前 1前	2		1	1			教育効果充実のため、配当年次を変更 (28) オムニバス
	地盤工学特論	1・2前	2		2	1	2		教育効果充実のため、担当教員及び授業形式を変更 (28) 共同 オムニバス
	環境保全工学特論	1・2前	2					2	
	社会システム分析特論	1・2後	2				1		
	応用水工学特論	1・2後	2		1				教育効果充実のため、担当教員を追加 (28) オムニバス
	地域情報システム工学	1・2前	2		1				教育効果充実のため、配当年次を変更 (28) オムニバス
	メンテナンス工学	1・2後 1後	2				2		教育効果充実のため、担当教員を追加 (28)
	自然・再生エネルギー	1・2後	2					1	教育効果充実のため、開講期を変更 (28) オムニバス
	防災工学特論	1・2後 1・2前	1		1	1			教育効果充実のため、配当年次、授業形式及び担当教員を変更 (28) オムニバス
	地圏工学特論	1・2後 1後	2		2	1			教育効果充実のため、配当年次を変更 (28) オムニバス
	施設工学特論	1・2前 1前	2		1	1			教育効果充実のため、授業形式及び担当教員を変更 (28) オムニバス
	土質力学特論	1・2後 1・2前	2		1		1		教育効果充実のため、配当年次を変更 (28)
	公共政策学	1・2後 1前	2				2		教育効果充実のため、開講期及び担当教員を変更 (28)
	国際技術協力特論	1・2後 1・2前	2					1	兼1
	Advanced Bio-Giotechnical Engineering	1・2前	2				1		
	Applied Fluid Mechanics	1・2後 1・2後	2		1			2	教育効果充実のため、授業形式及び担当教員を変更 (28) オムニバス
	Water Environment Engineering	1・2後	2				1		
	Advanced Geoinformatics	1・2後	2		2	1			
	環境問題対処手法	1・2後 1・2後	2		1		1		教育効果充実のため、授業形式及び担当教員を変更 (28) オムニバス
	水質浄化学特論	1・2後 1・2前	2		1			1	教育効果充実のため、開講期を変更 (28) 共同
	大気・土壌保全工学特論	1・2前	2		1	1			共同
	資源循環工学特論	1・2後 1・2前	2		1			1	共同
	都市代謝工学特論	1・2後 1・2後	2		1		1		教育効果充実のため、開講期を変更 (28) 共同
	建築構造設計演習	1・2前	2		2			1	教育効果充実のため、担当教員を変更 (28) 共同
建築設備設計演習	1・2前	2		1			1	兼1 教育効果充実のため、担当教員を変更 (28) 共同	

建築企画計画論	1・2前	2	2			1	1		教育効果充実のため、担当教員を追加 (28)
アーバンデザイン論	1・2前	2	1				+		オムニバス 具体的な担当教員の確定による変更 (28)
建築構造ゼミナール	1通	2	2	1	1				オムニバス 具体的な担当教員の確定による変更 (28)
建築環境ゼミナール	1通	2	1		2				オムニバス
建築計画ゼミナール	1通	2	3			1	2		オムニバス 具体的な担当教員の確定による変更 (28)
都市計画学特論	1・2後	2	1				+		具体的な担当教員の確定による変更 (28)
	1・2前					1			教育効果充実のため、開講期、授業形式及び担当教員を変更 (28)
建築構造設計学特論	1・2後	2	+	+					オムニバス
建築耐震工学特論	1・2前	2	1		+				教育効果充実のため、授業形式及び担当教員を変更 (28) オムニバス
建築設計学特論	1・2前	2	1						
建築計画学特論	1・2前	2	1			1	+		オムニバス 具体的な担当教員の確定による変更 (28)
地球環境建築特論	1・2後	2	1						
建築設備設計特論	1・2後	2	1		+				担当教員の退職に伴う担当教員及び授業形式の変更 (28) オムニバス
建築材料・構工法特論	1・2前	2			1				
持続的防災システム特論	1・2前	2			1				
建築・都市設計演習Ⅰ	1・2前	2	3			1	2		共同 教育効果充実のため、授業形式及び担当教員を変更 (28)
					1				
建築・都市設計演習Ⅱ	1・2前	2	3			+	2		共同 教育効果充実のため、授業形式及び担当教員を変更 (28)
					1				
建築・都市設計演習Ⅲ	1・2後	2	3			+	2		共同 教育効果充実のため、担当教員を追加 (28)
特別研究Ⅰ	1通	2			19	13	3	9 8	教育効果充実のため、担当教員を追加 (28)
特別研究Ⅱ	2通	4			19	13	3	9 8	教育効果充実のため、担当教員を追加 (28)

- (注) ・ 設置計画書の様式第2号(その2の1)に準じて作成してください。  
 ・ 設置時の授業科目全て(兼任、兼担教員が担当する科目を含む。)を黒字で記載してください。その上で、前年度報告時(平成28年度に設置された大学等は設置時)より変更されているものは赤字で見え消し修正し、「備考」に赤字で理由・変更年月等を記入してください。  
 なお、昨年度の報告書において赤字で見え消しした部分については、見え消しのまま黒字にしてください。  
 ・ 兼任、兼担の教員が担当する授業科目については、備考欄に担当する教員数を「兼〇」と記入してください。  
 ・ 授業科目を追加又は内容を変更する場合、専任教員が担当するため教員審査が必要なものについては、「専任教員採用等設置計画変更書」の審査予定年月等を「備考」に記入してください。(今後審査を受ける場合には、「平成〇年〇月 提出予定」と記入してください。)  
 ・ 「配当年次」について、設置計画時に開講時期を記入する必要がなかった学部等(平成19年度設置以前)についても、設置時の状況を黒字で記入してください。また、前年度報告時より修正があれば、赤字で見え消し修正をしてください。  
 ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目についても記入してください。

## (2) 授業科目数

設置時の計画				変更状況				備考
必修	選択	自由	計	必修	選択	自由	計	
科目	科目	科目	科目	科目	科目	科目	科目	
7	59	0	66	7	59	0	66	
				[ ]	[ ]	[ ]	[ ]	

- (注) ・ 未開講科目も含めた教育課程上の授業科目数を記入するとともに、[ ]内に、設置時の計画からの増減を記入してください。(記入例：1科目減の場合：△1)  
 ・ 資格に関する課程など、別課程としている授業科目については算入する必要はありません。

(3) 未開講科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	未開講の理由，代替措置の有無
1	該当なし					
2						
3						

- (注) ・ 設置時の計画にあった授業科目が配当年次に達しているにも関わらず，何らかの理由で未開講となっている授業科目について記入してください。なお，理由については可能な限り具体的に記入してください。
- ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目については，記入しないでください。
  - ・ 教職大学院の場合は，「一般・専門」を「共通・実習・その他」と修正して記入してください。

(4) 廃止科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	廃止の理由，代替措置の有無
1	該当なし					
2						
3						

- (注) ・ 設置時の計画にあり，何らかの理由で廃止（教育課程から削除）した授業科目について記入してください。なお，理由については可能な限り具体的に記入してください。
- ・ 教職大学院の場合は，「一般・専門」を「共通・実習・その他」と修正して記入してください。

(5) 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

該当なし
------

- (注) ・ 授業科目を未開講又は廃止としたことによる学生の履修への影響に関する「大学の所見」及び「学生への周知方法」を記入してください。

(6) 「設置時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

$$\frac{\text{未開講科目と廃止科目の計}}{\text{設置時の計画の授業科目数の計}} = \text{該当なし}$$

- (注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て，小数点以下第2位までを記入してください。

### 3 施設・設備の整備状況, 経費

区分	内容	備考
(1) 校地等	<p>事前伺いのため該当なし</p>	
(2)		
(3)		
(4)		
(5) 図書・設備		
(6)		
(7)		
(8) 経費 積り 維持 の 概 要		
学生納付金以外の維持方法の概要		

- (注) ・ 設置時の計画を, 設置計画書の様式第2号(その1の1)に準じて作成してください。(複数のキャンパスに分かれている場合, 複数の様式に分ける必要はありません。なお, 「(1)校地等」及び「(2)校舎」は大学全体の数字を, その他の項目は AC対象学部等の数値を記入してください。)
- ・ 運動場用地が校舎敷地と別地にある場合は, その旨(所要時間・距離等)を「備考」に記入してください。
  - ・ 「(5)図書・設備」については, 上段に完成年度の予定数値を, 下段には平成28年5月1日現在の数値を記入してください。
  - ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更のあったものについては, 変更部分を赤字で見え消し修正するとともに, その理由及び報告年度「(28)」を「備考」に赤字で記入してください。  
 なお, 昨年度の報告において赤字で見え消した部分については, 見え消しのまま黒字にしてください。
  - ・ 「事前伺い」により設置された学部等については, 本項目を記載する必要はありません。

#### 4 既設大学等の状況

大学の名称	山 口 大 学						備 考		
既設学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学員定員	収容定員	学位又は称号	平均入学定員超過率	開 設 年 度	所 在 地	
	年	人	年次人	人		倍			
人文学部								山口県山口市吉田1677番地 1	
人文学科	4	185	-	740	学士（文学）	1.00	平成28年度		
人文社会学科	4	-	-	-	学士（文学）	-	平成5年度		平成28年度より学生募集停止
言語文化学科	4	-	-	-	学士（文学）	-	平成5年度		平成28年度より学生募集停止
教育学部								山口県山口市吉田1677番地 1	
学校教育教員養成課程	4	180	-	620	学士（教育学）	1.04	平成10年度		
実践臨床教育課程	4	-	-	-	学士（教育学）	-	平成10年度		平成27年度より学生募集停止
情報科学教育課程	4	-	-	-	学士（教育学）	-	平成10年度		平成27年度より学生募集停止
健康科学教育課程	4	-	-	-	学士（教育学）	-	平成10年度		平成27年度より学生募集停止
総合文化教育課程	4	-	-	-	学士（教育学）	-	平成元年度		平成27年度より学生募集停止
経済学部						1.03		山口県山口市吉田1677番地 1	
経済学科	4	130	-	440	学士（経済学）	-	昭和24年度		
経営学科	4	165	-	590	学士（経済学）	-	昭和24年度		
国際経済学科	4	-	-	-	学士（経済学）	-	昭和52年度		平成27年度より学生募集停止
経済法学科	4	-	-	-	学士（法学）	-	昭和55年度		平成27年度より学生募集停止
観光政策学科	4	50	-	160	学士（経済学）	-	平成17年度		
商業教員養成課程	4	-	-	-	学士（経済学）	-	昭和29年度		平成27年度より学生募集停止
理学部								山口県山口市吉田1677番地 1	
数理科学科	4	50	-	200	学士（理学）	1.05	平成7年度		
物理・情報科学科	4	60	-	240	学士（理学）	1.02	平成18年度		
生物・化学科	4	80	-	320	学士（理学）	1.01	平成18年度		
地球圏システム科学科	4	30	-	120	学士（理学）	1.05	平成18年度		
医学部								山口県宇部市南小串1丁目1番1号	
医学科	6	107	2年次 10	692	学士（医学）	1.00	昭和39年度		
保健学科	4	120	3年次 15	510	学士（看護学、保健学）	1.03	平成12年度		
工学部								山口県宇部市常盤台2丁目16番1号	
機械工学科	4	90	3年次 5	370	学士（工学）	1.03	平成2年度		
社会建設工学科	4	80	-	320	学士（工学）	1.03	平成2年度		
応用化学科	4	90	-	360	学士（工学）	1.04	平成19年度		
電気電子工学科	4	80	3年次 5	330	学士（工学）	1.03	平成2年度		
知能情報工学科	4	80	3年次 10	340	学士（工学）	1.03	平成19年度		
感性デザイン工学科	4	55	-	220	学士（工学）	1.05	平成8年度		
循環環境工学科	4	55	-	220	学士（工学）	1.05	平成19年度		
農学部								山口県山口市吉田1677番地 1	
生物資源環境科学科	4	50	-	200	学士（農学）	1.03	平成13年度		
生物機能科学科	4	50	-	200	学士（農学）	1.01	平成13年度		
獣医学科	6	-	-	-	学士（獣医学）	-	昭和24年度		平成24年度より学生募集停止
共同獣医学部								山口県山口市吉田1677番地 1	
獣医学科	6	30	-	150	学士（獣医学）	1.01	平成24年度		
国際総合科学部								山口県山口市吉田1677番地 1	
国際総合科学科	4	100	-	200	学士（学術）	1.04	平成27年度		

人文科学研究科							山口県山口市吉田1677番地 1	
人文科学専攻	2	8	-	8	修士(文学)	0.25	平成28年度	
地域文化専攻	2	-	-	-	修士(文学)	-	昭和60年度	平成28年度より学生募集停止
言語文化専攻	2	-	-	-	修士(文学)	-	昭和60年度	平成28年度より学生募集停止
教育学研究科							山口県山口市吉田1677番地 1	
学校教育専攻	2	10	-	23	修士(教育学)	1.10	平成3年度	
教科教育専攻	2	17	-	45	修士(教育学)	1.05	平成3年度	
教職実践高度化専攻	2	14	-	14	教職修士(専門職)	1.07	平成28年度	
経済学研究科							山口県山口市吉田1677番地 1	
経済学専攻	2	16	-	32	修士(経済学)	0.24	昭和50年度	
企業経営専攻	2	10	-	20	修士(経済学)	0.50	平成7年度	
医学系研究科(医学博士)							山口県宇部市南小串1丁目1番1号	
医学専攻	4	33	-	33	博士(医学)	1.09	平成28年度	
システム統御医学系専攻	4	-	-	-	博士(医学)	-	平成18年度	平成28年度より学生募集停止
情報解析医学系専攻	4	-	-	-	博士(医学)	-	平成18年度	平成28年度より学生募集停止
医学系研究科(博士前期)							山口県宇部市南小串1丁目1番1号	
応用医工学系専攻	2	-	-	-	修士(医工学)	-	平成13年度	平成28年度より学生募集停止
応用分子生命科学系専攻	2	-	-	-	修士(生命科学、学術)	-	平成18年度	平成28年度より学生募集停止
保健学専攻	2	12	-	24	修士(保健学)	1.37	平成17年度	
医学系研究科(博士後期)							山口県宇部市南小串1丁目1番1号	
応用医工学系専攻	3	-	-	-	博士(医工学)	-	平成13年度	平成28年度より学生募集停止
応用分子生命科学系専攻	3	-	-	-	博士(生命科学、学術)	-	平成18年度	平成28年度より学生募集停止
保健学専攻	3	5	-	15	博士(保健学)	0.80	平成19年度	
創成科学研究科(博士前期)							山口県山口市吉田1677番地 1	
基盤科学系専攻	2	38	-	38	修士(理学)	0.92	平成28年度	山口県宇部市常盤台2丁目16番1号
地球圏生物物質科学系専攻	2	42	-	42	修士(理学)	0.80	平成28年度	
化学系専攻	2	83	-	83	修士(工学、学術)	0.87	平成28年度	
電気電子情報系専攻	2	107	-	107	修士(工学)	1.00	平成28年度	
機械工学系専攻	2	60	-	60	修士(工学)	1.01	平成28年度	
建設環境系専攻	2	74	-	74	修士(工学、学術)	0.74	平成28年度	
農学系専攻	2	42	-	42	修士(農学、生命科学)	0.71	平成28年度	
創成科学研究科(博士後期)							山口県山口市吉田1677番地 1	
自然科学系専攻	3	7	-	7	博士(理学、学術)	0.28	平成28年度	山口県宇部市常盤台2丁目16番1号
物質工学系専攻	3	8	-	8	博士(工学、学術)	0.12	平成28年度	
システム・デザイン工学系専攻	3	10	-	10	博士(工学、学術)	0.70	平成28年度	
環境共生系専攻	3	12	-	12	博士(工学、学術)	0.66	平成28年度	
ライフサイエンス系専攻	3	7	-	7	博士(工学、学術)	0.85	平成28年度	
理工学研究科(博士前期)							山口県山口市吉田1677番地 1	平成28年度より学生募集停止
数理科学専攻	2	-	-	-	修士(理学)	-	平成9年度	山口県宇部市常盤台2丁目16番1号
物理・情報科学専攻	2	-	-	-	修士(理学)	-	平成18年度	
地球科学専攻	2	-	-	-	修士(理学)	-	平成18年度	
機械工学専攻	2	-	-	-	修士(工学)	-	昭和41年度	
社会建設工学専攻	2	-	-	-	修士(工学)	-	平成9年度	
物質化学専攻	2	-	-	-	修士(工学)	-	平成18年度	
電子デバイス工学専攻	2	-	-	-	修士(工学)	-	平成18年度	
電子情報システム工学専攻	2	-	-	-	修士(工学)	-	平成18年度	
感性デザイン工学専攻	2	-	-	-	修士(工学)	-	平成12年度	
環境共生系専攻	2	-	-	-	修士(工学、理学)	-	平成18年度	

理工学研究科（博士後期）								山口県山口市吉田1677番地1	平成28年度より学生募集停止
自然科学基盤系専攻	3	-	-	-	博士（理学、工学、学術）	-	平成18年度	山口県宇部市常盤台2丁目16番1号	
システム設計工学系専攻	3	-	-	-	博士（工学、学術）	-	平成18年度		
物質工学系専攻	3	-	-	-	博士（工学、学術）	-	平成18年度		
情報・デザイン工学系専攻	3	-	-	-	博士（工学、学術）	-	平成18年度		
環境共生系専攻	3	-	-	-	博士（工学、理学、学術）	-	平成18年度		
農学研究科								山口県山口市吉田1677番地1	平成28年度より学生募集停止
生物資源科学専攻	2	-	-	-	修士（農学）	-	平成7年度		
東アジア研究科								山口県山口市吉田1677番地1	
東アジア専攻	3	10	-	30	博士（学術）	1.26	平成13年度		
技術経営研究科								山口県宇部市常盤台2丁目16番1号	
技術経営専攻	2	15	-	30	技術経営修士（専門職）	1.10	平成17年度		
連合獣医学研究科								【山口大学】	
獣医学専攻	4	12	-	48	博士（獣医学）	1.56	平成2年度	山口県山口市吉田1677番地1	
								【鳥取大学】	
								鳥取県鳥取市湖山町南4丁目101	
								【鹿児島大学】	
								鹿児島県鹿児島市都元1丁目21番24号	

- (注) ・ 本調査の対象となっている大学等の設置者（国立大学法人）が設置している全ての大学（学部、学科）及び大学院（専攻）（AC対象学部等含む）について、それぞれの学校種ごとに、平成28年5月1日現在の上記項目の情報を記入してください。
- ・ 学部の学科または研究科の専攻等、「入学定員を定めている組織」ごとに記入してください。
  - ※「入学定員を定めている組織ごと」には、課程認定等によりコース・専攻に入学定員を定めている場合を含めず、履修上の区分としてコース・専攻を設けている場合は含めません。
  - ※なお、課程認定等によりコースや専攻に入学定員を定めている場合は、法令上規定されている組織上の最小単位（大学であれば「学科」、短期大学であれば「専攻課程」）でも記載してください。
  - ・ 専攻科に係るものについては、記入する必要はありません。
  - ・ AC対象学部等についても必ず記入してください。
  - ・ 「平均入学定員超過率」には、標準修業年限に相当する期間における入学定員に対する入学者の割合の平均の小数点以下第2位まで（小数点以下第3位を切り捨て）を記入してください。
  - ・ 学生募集を停止している学部等がある場合、入学定員・収容定員・平均入学定員超過率は「-」とし、「備考」に「平成〇〇年より学生募集停止」と記入してください。



5 教員組織の状況

<創成科学研究科 建設環境系専攻（博士前期課程）>

(1) 担当教員表

事前伺いのため該当なし									
(注) 科目を追加 (28)									

- (注) ・ 設置計画書の様式第3号（その2の1）に準じて作成してください。  
 なお、当該設置に係る研究科等に所属しない教員であって、全学共通、学部共通などの授業科目を担当する教員組織に所属している場合は、〈〇〇研究科 〇〇専攻（〇〇課程）〉の箇所を「共通」とし、表を分けて作成してください。  
 ・ 後任が決まっていない場合には、「後任未定」と記入してください。  
 ・ 辞任者は「備考」に退職年月、氏名、理由を記入してください。  
 ・ 年齢は、「**設置時の計画**」には**当該学部等の就任時における満年齢**を、「**変更状況**」には**平成28年5月1日現在の満年齢**を記入してください。  
 ・ 教員を学年進行中に変更した又は変更する予定の場合（「新規採用」、「担当授業科目の変更」又は「昇格」をいう。）は、変更後の状況を記入するとともに、その理由、後任者が決まっていない場合は、「変更状況」の「氏名」に「後任未定」と記入し、及び今後の採用計画を「備考」に記入してください。  
 ・ **意見伺いで設置された学部等の専任教員を変更する場合は**、当該専任教員が授業を開始する前に必ず「専任教員採用等設置計画変更書」を提出し、大学設置・学校法人審議会による教員資格審査（AC教員審査）を受けてください。**AC教員審査を受けずに専任教員として授業等を担当することは出来ません。**  
 ・ 「専任教員採用等変更書（AC）」を提出し「可」の教員判定を受けている場合は「〇年〇月教員審査済」、変更書を提出予定の場合は「〇年〇月変更書提出予定」と記入してください。  
 なお、設置審査時に教員審査省略となっている場合は、「備考」に「（教員審査省略）」及びその変更の理由、変更年度（ ）書き等のみを記入してください。  
 ・ 「事前伺い」により**設置された学部等については、本項目を記載する必要はありません。**

(2) 専任教員数等

(2) - ① 専任教員数

設置時の計画					現在（報告書提出時）の状況					現在（報告書提出時）の完成年度時の計画				
教授	准教授	講師	助教	計	教授	准教授	講師	助教	計 (A)	教授	准教授	講師	助教	計 (B)
19	14	2	8	43	17	13	3	10	43	17	13	3	10	43
(17)	(13)	(3)	(10)	(43)						[ Δ2 ]	[ Δ1 ]	[ 1 ]	[ 2 ]	[ 0 ]
研究指導教員数	研究指導補助教員数	講義のみ担当の教員数			研究指導教員数	研究指導補助教員数	講義のみ担当の教員数			研究指導教員数	研究指導補助教員数	講義のみ担当の教員数		
35	8	0			33	10	0			33	10	0		
(33)	(10)	(0)								[ Δ2 ]	[ 2 ]	[ ]		

- (注) ・ 「設置時の計画」には、設置時に予定されていた完成年度時の人数を記入するとともに、（ ）内に開設時の状況を記入してください。  
 ・ 「現在（報告書提出時）の状況」には、報告書提出年度の5月1日の教員数（実人数）を記入してください。  
 ・ 「現在（報告書提出時）の完成年度時の計画」には、報告書提出年度の5月1日現在、完成年度時に計画している教員数を記入するとともに、[ ]内に設置時の計画との増減数を記入してください。（記入例：1名減の場合：Δ1）

(2) - ② 年齢構成

年齢構成		
定年規定の定める定年年齢（歳）	報告書提出時（上記(A)）の教員のうち、定年を延長して採用している教員数	完成年度時（上記(B)）の教員のうち、定年を延長して採用する教員数
65	0	0

- (注) ・ 「年齢構成」には、当該学部における教員の定年に関する規定に基づく定年年齢（特例等による定年年齢ではありません）、および、平成28年5月1日現在、定年に関する規定に基づく特例等により定年を超えて専任教員として採用されている教員数および完成年度時に定年を超えて専任教員として採用する教員数を記入してください。  
 ・ なお、職位等によって定年年齢が異なる場合には、職位ごとの定年年齢を「定年規定の定める定年年齢」に二段書きで記入し、「定年を延長している教員数」には合算した数を記入してください。  
 ・ 専門職大学院の場合は、「研究指導教員」を「研究者教員」と、「研究指導補助教員」を「実務家教員」と修正して記入してください。

## 6 留意事項等に対する履行状況等

区 分	留 意 事 項 等	履 行 状 況	未履行事項について の実施計画
設 計	<p>事前伺いのため該当なし</p>		
設 計			
設 計			

- (注) ・ 「設置時」には、当該大学等の設置時に付された留意事項と、それに対する履行状況等について、具体的に記入し、報告年度を（ ）書きで付記してください。
- ・ 「設置計画履行状況調査時」には、当該設置計画履行状況調査の結果、付された意見に対する履行状況等について、具体的に記入するとともに、その履行状況等を裏付ける資料があれば、添付してください。
  - ・ 定員管理に係る留意事項への履行状況は、指摘を受けた学科等についてのみ記入してください。
  - ・ 該当がない場合には、「該当なし」と記入してください。
  - ・ 「事前伺い」により設置された学部等については、本項目を記載する必要はありません。

## 7 その他全般的事項

<創成科学研究科 建設環境系専攻（博士前期課程）>

### (1) 設置計画変更事項等

設置時の計画	変更内容・状況, 今後の見通しなど
<div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <div style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">記 ①</div> <div style="text-align: center; font-size: 2em; font-weight: bold;">事前伺いのため該当なし</div> <div style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">②</div> </div>	

- (注) ・ 1～6の項目に記入した事項以外で、設置時の計画より変更のあったもの（未実施を含む。）及び法令適合性に関して生じた留意すべき事項について記入してください。
- ・ 設置時の「設置の趣旨等を記載した書類」の項目に沿って作成し、それ以外の事柄については適宜項目を設けてください。（記入例参照）
  - ・ 「事前伺い」により設置された学部等については、当該項目を記載する必要はありません。

### (2) 教員の資質の維持向上の方策（FD活動含む）

①	実施体制
<div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <div style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">②</div> <div style="text-align: center; font-size: 2em; font-weight: bold;">事前伺いのため該当なし</div> <div style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">③</div> </div>	

- (注) ・ 「①a 委員会の設置状況」には、関係規程等を転載又は添付すること。
- 「②実施状況」には、実施されている取組を全て記載すること。（記入例参照）
- ・ 「事前伺い」により設置された学部等については、本項目を記載する必要はありません。

(3) 自己点検・評価等に関する事項

① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見

②

事前伺いのため該当なし

③

- (注) ・ 設置時の計画の変更(又は未実施)の有無に関わらず記入してください。  
また、「① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見」については、できるだけ具体的な根拠を含めて記入してください。  
なお、「② 自己点検・評価報告書」については、当該調査対象の組織に関する評価内容を含む報告書について記入してください。  
・ 「事前伺い」により設置された学部等については、本項目を記載する必要はありません。

(4) 情報公表に関する事項

○ 設置計画履行状況報告書

a ホームページに公表の有無 (  有 ・  無 )

b 公表時期(未公表の場合は予定時期) ( 28 年 9 月 1 日 )

## 1 調査対象大学等の概要等

### (1) 設置者

国立大学法人 山口大学

### (2) 大学名

山口大学

### (3) 大学の位置

〒753-8511  
山口県山口市吉田1677-1

〒755-8611  
山口県宇部市常盤台2丁目16番1号

- (注) ・対象学部等の位置が大学本部の位置と異なる場合、本部の位置を( )書きで記入してください。  
・対象学部等が複数のキャンパスに所在する場合には、複数のキャンパスの所在地をそれぞれ記載してください。

### (4) 管理運営組織

職名	設置時	変更状況	備考
事前伺いのため該当なし			

- (注) ・「変更状況」は、変更があった場合に記入し、併せて「備考」に変更の理由と変更年月日、報告年度を( )書きで記入してください。
- (例) 平成26年度に報告済の内容 → (26)  
平成28年度に報告する内容 → (28)
- ・昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更があれば、「変更状況」に赤字にて記載(昨年度までに報告された記載があれば、そこに赤字で見え消し修正)するとともに、上記と同様に、「備考」に変更理由等を記入してください。
  - ・大学院の場合には、「職名」を「研究科長」等と修正して記入してください。
  - ・「事前伺い」により設置された学部等については、本項目を記載する必要はありません。

(5) 調査対象研究科等の名称, 定員, 入学者の状況等

- (注) ・ 当該調査対象の学部の学科または研究科の専攻等, 定員を定めている組織ごとに記入してください。  
 (入試区分ごとではありません)。  
 ・ 様式は, 平成26年度開設の博士後期課程の場合(平成28年度までの3年間)ですが, 開設年度・  
 修業年限に合わせて作成してください。(修業年限が2年以下の場合には欄を削除し, 4年以上の場合  
 には, 欄を設けてください。)

(5) - ① 調査対象研究科等の名称, 定員

調査対象研究科等の名称(学位)	設置時の計画			備考
	修業年限	入学定員	収容定員	
創成科学研究科 農学系専攻 (博士前期課程)  修士(農学) 修士(生命科学)	2年	42人	84人	基礎となる学部等  農学部

- (注) ・ 「備考」に基礎となる学部等の名称を記入してください。  
 ・ 定員を変更した場合は, 「備考」に変更前的人数, 変更年月及び報告年度を( )書きで記入してください。  
 ・ 学生募集停止を予定している場合は, 「備考」にその旨記載してください。

(5) - ② 調査対象研究科等の入学者の状況

区分	報告年度		平成28年度		平成29年度		平均入学定員超過率	備考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期		
A 入学定員	42人	人	人	人			0.71倍	
	(-)		( )	( )				
	[1]		[ ]	[ ]				
志願者数	34		( )	( )	( )	( )		
	(-)	( )	( )	( )	( )	( )		
	[ ]	[ ]	[ ]	[ ]	[ ]	[ ]		
受験者数	34		( )	( )	( )	( )		
	(-)	( )	( )	( )	( )	( )		
	[ ]	[ ]	[ ]	[ ]	[ ]	[ ]		
合格者数	33		( )	( )	( )	( )		
	(-)	( )	( )	( )	( )	( )		
	[1]	[ ]	[ ]	[ ]	[ ]	[ ]		
B 入学者数	30		( )	( )	( )	( )		
	(-)	( )	( )	( )	( )	( )		
	[1]	[ ]	[ ]	[ ]	[ ]	[ ]		
入学定員超過率 B/A	0.71							

- (注) ・ 数字は, 平成28年5月1日現在の数字を記入してください。  
 ・ ( ) 内には, 社会人の状況について内数で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。  
 ・ 「社会人」については, 設置計画書において貴学が定める社会人の定義に従って記入してください。  
 ・ [ ] 内には, 留学生の状況について内数で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。  
 ・ 留学生については, 「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格(いわゆる「留学ビザ」)により, 我が国の大学(大学院を含む), 短期大学, 高等専門学校, 専修学校(専門課程)及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。  
 ・ 短期交換留学生など, 定員内に含めていない学生については記入しないでください。  
 ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は, 春季入学とその他の学期(春季入学以外の学期区分を設けている場合)に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は, その他の学期欄は「-」を記入してください。また, その他の学期に入学定員を設けている場合は, 備考欄にその人数を記入してください。  
 ・ 「入学定員超過率」については, 各年度の春季入学とその他を合計した入学定員, 入学者数で算出してください。なお, 計算の際は小数点以下第3位を切り捨て, 小数点以下第2位まで記入してください。  
 ・ 「平均入学定員超過率」には, 開設年度から提出年度までの入学定員超過率の平均を記入してください。なお, 計算の際は「入学定員超過率」と同様にしてください。

(5) - ③ 調査対象研究科等の在学者の状況

学 年	平成28年度		平成29年度		備 考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	
1年次	[1] (-) 30	[-] (-)	[ ] ( )	[ ] ( )	
2年次	/		[ ] ( )	[ ] ( )	
計	[ 1 ] ( - ) 30		[ ] ( )		

- (注) ・ 数字は、平成28年5月1日現在の数字を記入してください。
- ・ [ ]内には、留学生の状況について内数で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。
  - ・ 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格（いわゆる「留学ビザ」）により、我が国の大学（大学院を含む。）、短期大学、高等専門学校、専修学校（専門課程）及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
  - ・ 短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。
  - ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期（春季入学以外の学期区分を設けている場合）に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「-」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
  - ・ 「計」については、**各年度の春季入学とその他の学期を合計した在学者数、留学生数**を記入してください。
  - ・ ( )内には、**留年者の状況**について、内数で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。

(5) -④ 調査対象学部等の退学者等の状況

区分 対象年度	入学者数(b)	退学者数(a)	退学者数(内訳)			主な退学理由	入学者数に 対する退学者数 の割合 (a/b)
			退学した年度	退学者数	退学者数の うち留学生数		
平成28年度 入学者	30 人	0 人	平成28年度	人	人		0 %
			平成29年度	人	人		
平成29年度 入学者	0 人	0 人	平成29年度	人	人		#DIV/0! %
合 計	30 人	0 人					0 %

(注)・数字は、平成28年5月1日現在の数字を記入してください。

- ・各年度の入学者数については、該当年度当初に入学した人数を記入してください。(途中で退学者がいた場合でも、その退学者数を減らす必要はありません。)
- ・各年度の退学者数については、退学年度ごとに記入してください。また、留学生数欄の人数については、退学者数の内数を記入してください。
- ・留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格(いわゆる「留学ビザ」)により、我が国の大学(大学院を含む。)、短期大学、高等専門学校、専修学校(専門課程)及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記入してください。
- ・短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。
- ・「入学者数に対する退学者数の割合」は、【当該対象年度の入学者のうち、平成28年5月1日現在までに退学した学生数の合計】を、【当該対象年度の入学者数】で除した割合(%)を記入してください。その際、小数点以下第2位を四捨五入し、小数点以下第1位までを記入してください。
- ・「主な退学理由」は、下の項目を参考に記入してください。その際、「就学意欲の低下(○人)」というように、その人数も含めて記入してください。  
 (記入項目例)・就学意欲の低下    ・学力不足    ・他の教育機関への入学・転学    ・海外留学  
                   ・就職    ・学生個人の心身に関する事情    ・家庭の事情    ・除籍    ・その他



## 2 授業科目の概要

<創成科学研究科 農学系専攻（博士前期課程）>

### (1) 授業科目表

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					備考	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
研究科共通科目	【研究基盤科目】											
	研究者行動規範特論	1前	1			1						兼2
	知的財産特論	1後	1			1						兼2
	サイエンティフィック・ライティング	1前		1		1						兼2
	プレゼンテーション特論	1後		1		1						兼2
	【イノベーション教育科目】											
	研究開発戦略論	1・2前	2			1						兼2
企業経営と財務	1・2後		2		1						兼2	
【キャリア教育科目】												
キャリアデザイン I	1後		1		1						兼2	
学外特別研修 I	1・2前・後		1~2		1							
長期インターンシップ I	1・2前・後		6		1							
専攻基盤科目	専門英語特別演習	1・2前・後	1			16	9		9			具体的な担当教員の確定による変更 (28)
	農学系特論	1前	2			15	8		10			オムニバス
	Agricultural Sciences	1前	2			8						オムニバス 留学生用の授業科目（英語授業）の追加 (28)
	生物資源環境科学特別セミナー	1~2通		1		7	5		6			具体的な担当教員の確定による変更 (28)
	生物機能科学特別セミナー	1~2通		1		9	4		3			具体的な担当教員の確定による変更 (28)
Special Seminar of Biological Chemistry	1~2通	1~2			9	4		3			留学生用の授業科目（英語授業）の追加 (28)	
専門科目	園芸学特論	1前		2		1			1			オムニバス
	園芸学特別講義	1・2前		1		1						兼1 集中
	植物病理学特論	1前		2		1			1			オムニバス
	植物病理学特別講義	1・2前		1		1						兼1 集中
	応用昆虫学特論	1後		2		2						オムニバス
	応用昆虫学特別講義	1・2前		1		1						兼1 集中
	環境植物学特論	1後		2		2			1			オムニバス
	環境植物学特別講義	1・2前		1		1						兼1 集中
	農業経済学特論	1後		2			1					兼1 集中
	農業経済学特別講義	1・2前		1			1					兼1 集中
	フィールド科学特論	1・2前・後		2		1	4		3			オムニバス
	フィールド科学特別講義	1・2前		1		1						兼1 集中
	生物資源環境科学特別演習	1~2通		4		7	5		6			オムニバス
	微生物機能科学特論	1前		2		1	2		1			オムニバス
	Microbial Biochemistry	1前		2		1	1					留学生用の授業科目（英語授業）の追加 (28)
	微生物機能科学特別講義	1・2前		1		1						兼1 集中
	分子細胞機能科学特論	1前		2		3	1		1			オムニバス
	Genetic Engineering	1前		2		3	1					留学生用の授業科目（英語授業）の追加 (28)
	分子細胞機能科学特別講義	1・2前		1		1						兼1 集中
	植物生態科学特論	1後		2		3			1			オムニバス
	植物生態科学特別講義	1・2前		1		1						兼1 集中
	応用生命科学特論	1後		2		2	1		1			オムニバス 具体的な担当教員の確定による変更 (28)
	応用生命科学特別講義	1・2前		1		1						兼1 集中
生物機能科学総合演習 I	1通		2		9	4		3			具体的な担当教員の確定による変更 (28)	
生物機能科学総合演習 II	2通		2		9	3		4			具体的な担当教員の確定による変更 (28)	
生物機能科学特別演習	1~2通		4		9	3		4			具体的な担当教員の確定による変更 (28)	
Special Laboratory of Biological Chemistry	1~2通	4			9	4		3			留学生用の授業科目（英語授業）の追加 (28)	
生物資源科学実践	1・2前・後		1~4		16	8		10			具体的な担当教員の確定による変更 (28)	
アグリ・バイオイノベーション特別演習	2前		1		8							
農学・生命科学と知的財産	2前		1								兼2	
特別研究	1~2通	6			16	8		9			具体的な担当教員の確定による変更 (28)	
Thesis Research	1~2通	6			16	9		9			留学生用の授業科目（英語授業）の追加 (28)	

- (注) ・ 設置計画書の様式第2号(その2の1)に準じて作成してください。
- ・ 設置時の授業科目全て(兼任、兼任教員が担当する科目を含む。)を黒字で記載してください。その上で、前年度報告時(平成28年度に設置された大学等は設置時)より変更されているものは赤字で見え直し修正し、「備考」に赤字で理由・変更年月等を記入してください。
  - ・ なお、昨年度の報告書において赤字で見え消した部分については、見え消しのまま黒字にしてください。
  - ・ 兼任、兼任の教員が担当する授業科目については、備考欄に担当する教員数を「兼〇」と記入してください。
  - ・ 授業科目を追加又は内容を変更する場合で、専任教員が担当するため教員審査が必要なものについては、「専任教員採用等設置計画変更書」の審査予定年月等を「備考」に記入してください。(今後審査を受ける場合には、「平成〇年〇月 提出予定」と記入してください。)
  - ・ 「配当年次」について、設置計画時に開講時期を記入する必要がなかった学部等(平成19年度設置以前)についても、設置時の状況を黒字で記入してください。また、前年度報告時より修正があれば、赤字で見え直し修正をしてください。
  - ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目についても記入してください。

(2) 授業科目数

設置時の計画				変更状況				備考
必修	選択	自由	計	必修	選択	自由	計	
科目 6	科目 35	科目	科目 41	科目 10	科目 37	科目	科目 47	
				[ 4 ]	[ 2 ]	[ ]	[ 6 ]	

- (注) ・ 未開講科目も含めた教育課程上の授業科目数を記入するとともに、[ ]内に、設置時の計画からの増減を記入してください。(記入例：1科目減の場合：△1)
- ・ 資格に関する課程など、別課程としている授業科目については算入する必要はありません。

(3) 未開講科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	未開講の理由, 代替措置の有無
1	該当なし					
2						
3						

- (注) ・ 設置時の計画にあった授業科目が配当年次に達しているにも関わらず、何らかの理由で未開講となっている授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
- ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目については、記入しないでください。
  - ・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」と修正して記入してください。

(4) 廃止科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	廃止の理由, 代替措置の有無
1	該当なし					
2						
3						

- (注) ・ 設置時の計画にあり、何らかの理由で廃止（教育課程から削除）した授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
- ・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」と修正して記入してください。

(5) 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

該当なし
------

- (注) ・ 授業科目を未開講又は廃止としたことによる学生の履修への影響に関する「大学の所見」及び「学生への周知方法」を記入してください。

(6) 「設置時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

$$\frac{\text{未開講科目と廃止科目の計}}{\text{設置時の計画の授業科目数の計}} = \text{該当なし}$$

- (注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位までを記入してください。

### 3 施設・設備の整備状況, 経費

区分	内容	備考
(1) 校地等	<p>事前伺いのため該当なし</p>	
(2)		
(3)		
(4)		
(5) 図書・設備		
(6)		
(7)		
(8) 経費 積り 維持 の 概 要		
	学生納付金以外の維持方法の概要	

- (注) ・ 設置時の計画を, 設置計画書の様式第2号(その1の1)に準じて作成してください。(複数のキャンパスに分かれている場合, 複数の様式に分ける必要はありません。なお, 「(1)校地等」及び「(2)校舎」は大学全体の数字を, その他の項目は AC対象学部等の数値を記入してください。)
- ・ 運動場用地が校舎敷地と別地にある場合は, その旨(所要時間・距離等)を「備考」に記入してください。
  - ・ 「(5)図書・設備」については, 上段に完成年度の予定数値を, 下段には平成28年5月1日現在の数値を記入してください。
  - ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更のあったものについては, 変更部分を赤字で見え消し修正するとともに, その理由及び報告年度「(28)」を「備考」に赤字で記入してください。  
 なお, 昨年度の報告において赤字で見え消した部分については, 見え消しのまま黒字にしてください。
  - ・ 「事前伺い」により設置された学部等については, 本項目を記載する必要はありません。

#### 4 既設大学等の状況

大学の名称	山 口 大 学						備 考		
既設学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学員定員	収容定員	学位又は称号	平均入学定員超過率	開 設 年 度	所 在 地	
	年	人	年次人	人		倍			
人文学部								山口県山口市吉田1677番地 1	
人文学科	4	185	-	740	学士（文学）	1.00	平成28年度		
人文社会学科	4	-	-	-	学士（文学）	-	平成5年度		平成28年度より学生募集停止
言語文化学科	4	-	-	-	学士（文学）	-	平成5年度		平成28年度より学生募集停止
教育学部								山口県山口市吉田1677番地 1	
学校教育教員養成課程	4	180	-	620	学士（教育学）	1.04	平成10年度		
実践臨床教育課程	4	-	-	-	学士（教育学）	-	平成10年度		平成27年度より学生募集停止
情報科学教育課程	4	-	-	-	学士（教育学）	-	平成10年度		平成27年度より学生募集停止
健康科学教育課程	4	-	-	-	学士（教育学）	-	平成10年度		平成27年度より学生募集停止
総合文化教育課程	4	-	-	-	学士（教育学）	-	平成元年度		平成27年度より学生募集停止
経済学部						1.03		山口県山口市吉田1677番地 1	
経済学科	4	130	-	440	学士（経済学）	-	昭和24年度		
経営学科	4	165	-	590	学士（経済学）	-	昭和24年度		
国際経済学科	4	-	-	-	学士（経済学）	-	昭和52年度		平成27年度より学生募集停止
経済法学科	4	-	-	-	学士（法学）	-	昭和55年度		平成27年度より学生募集停止
観光政策学科	4	50	-	160	学士（経済学）	-	平成17年度		
商業教員養成課程	4	-	-	-	学士（経済学）	-	昭和29年度		平成27年度より学生募集停止
理学部								山口県山口市吉田1677番地 1	
数理科学科	4	50	-	200	学士（理学）	1.05	平成7年度		
物理・情報科学科	4	60	-	240	学士（理学）	1.02	平成18年度		
生物・化学科	4	80	-	320	学士（理学）	1.01	平成18年度		
地球圏システム科学科	4	30	-	120	学士（理学）	1.05	平成18年度		
医学部								山口県宇部市南小串1丁目1番1号	
医学科	6	107	2年次 10	692	学士（医学）	1.00	昭和39年度		
保健学科	4	120	3年次 15	510	学士（看護学、保健学）	1.03	平成12年度		
工学部								山口県宇部市常盤台2丁目16番1号	
機械工学科	4	90	3年次 5	370	学士（工学）	1.03	平成2年度		
社会建設工学科	4	80	-	320	学士（工学）	1.03	平成2年度		
応用化学科	4	90	-	360	学士（工学）	1.04	平成19年度		
電気電子工学科	4	80	3年次 5	330	学士（工学）	1.03	平成2年度		
知能情報工学科	4	80	3年次 10	340	学士（工学）	1.03	平成19年度		
感性デザイン工学科	4	55	-	220	学士（工学）	1.05	平成8年度		
循環環境工学科	4	55	-	220	学士（工学）	1.05	平成19年度		
農学部								山口県山口市吉田1677番地 1	
生物資源環境科学科	4	50	-	200	学士（農学）	1.03	平成13年度		
生物機能科学科	4	50	-	200	学士（農学）	1.01	平成13年度		
獣医学科	6	-	-	-	学士（獣医学）	-	昭和24年度		平成24年度より学生募集停止
共同獣医学部								山口県山口市吉田1677番地 1	
獣医学科	6	30	-	150	学士（獣医学）	1.01	平成24年度		
国際総合科学部								山口県山口市吉田1677番地 1	
国際総合科学科	4	100	-	200	学士（学術）	1.04	平成27年度		

人文科学研究科							山口県山口市吉田1677番地 1	
人文科学専攻	2	8	-	8	修士(文学)	0.25	平成28年度	
地域文化専攻	2	-	-	-	修士(文学)	-	昭和60年度	平成28年度より学生募集停止
言語文化専攻	2	-	-	-	修士(文学)	-	昭和60年度	平成28年度より学生募集停止
教育学研究科							山口県山口市吉田1677番地 1	
学校教育専攻	2	10	-	23	修士(教育学)	1.10	平成3年度	
教科教育専攻	2	17	-	45	修士(教育学)	1.05	平成3年度	
教職実践高度化専攻	2	14	-	14	教職修士(専門職)	1.07	平成28年度	
経済学研究科							山口県山口市吉田1677番地 1	
経済学専攻	2	16	-	32	修士(経済学)	0.24	昭和50年度	
企業経営専攻	2	10	-	20	修士(経済学)	0.50	平成7年度	
医学系研究科(医学博士)							山口県宇部市南小串1丁目1番1号	
医学専攻	4	33	-	33	博士(医学)	1.09	平成28年度	
システム統御医学系専攻	4	-	-	-	博士(医学)	-	平成18年度	平成28年度より学生募集停止
情報解析医学系専攻	4	-	-	-	博士(医学)	-	平成18年度	平成28年度より学生募集停止
医学系研究科(博士前期)							山口県宇部市南小串1丁目1番1号	
応用医工学系専攻	2	-	-	-	修士(医工学)	-	平成13年度	平成28年度より学生募集停止
応用分子生命科学系専攻	2	-	-	-	修士(生命科学、学術)	-	平成18年度	平成28年度より学生募集停止
保健学専攻	2	12	-	24	修士(保健学)	1.37	平成17年度	
医学系研究科(博士後期)							山口県宇部市南小串1丁目1番1号	
応用医工学系専攻	3	-	-	-	博士(医工学)	-	平成13年度	平成28年度より学生募集停止
応用分子生命科学系専攻	3	-	-	-	博士(生命科学、学術)	-	平成18年度	平成28年度より学生募集停止
保健学専攻	3	5	-	15	博士(保健学)	0.80	平成19年度	
創成科学研究科(博士前期)							山口県山口市吉田1677番地 1	
基盤科学系専攻	2	38	-	38	修士(理学)	0.92	平成28年度	山口県宇部市常盤台2丁目16番1号
地球圏生物物質科学系専攻	2	42	-	42	修士(理学)	0.80	平成28年度	
化学系専攻	2	83	-	83	修士(工学、学術)	0.87	平成28年度	
電気電子情報系専攻	2	107	-	107	修士(工学)	1.00	平成28年度	
機械工学系専攻	2	60	-	60	修士(工学)	1.01	平成28年度	
建設環境系専攻	2	74	-	74	修士(工学、学術)	0.74	平成28年度	
農学系専攻	2	42	-	42	修士(農学、生命科学)	0.71	平成28年度	
創成科学研究科(博士後期)							山口県山口市吉田1677番地 1	
自然科学系専攻	3	7	-	7	博士(理学、学術)	0.28	平成28年度	山口県宇部市常盤台2丁目16番1号
物質工学系専攻	3	8	-	8	博士(工学、学術)	0.12	平成28年度	
システム・デザイン工学系専攻	3	10	-	10	博士(工学、学術)	0.70	平成28年度	
環境共生系専攻	3	12	-	12	博士(工学、学術)	0.66	平成28年度	
ライフサイエンス系専攻	3	7	-	7	博士(工学、学術)	0.85	平成28年度	
理工学研究科(博士前期)							山口県山口市吉田1677番地 1	平成28年度より学生募集停止
数理科学専攻	2	-	-	-	修士(理学)	-	平成9年度	山口県宇部市常盤台2丁目16番1号
物理・情報科学専攻	2	-	-	-	修士(理学)	-	平成18年度	
地球科学専攻	2	-	-	-	修士(理学)	-	平成18年度	
機械工学専攻	2	-	-	-	修士(工学)	-	昭和41年度	
社会建設工学専攻	2	-	-	-	修士(工学)	-	平成9年度	
物質化学専攻	2	-	-	-	修士(工学)	-	平成18年度	
電子デバイス工学専攻	2	-	-	-	修士(工学)	-	平成18年度	
電子情報システム工学専攻	2	-	-	-	修士(工学)	-	平成18年度	
感性デザイン工学専攻	2	-	-	-	修士(工学)	-	平成12年度	
環境共生系専攻	2	-	-	-	修士(工学、理学)	-	平成18年度	

理工学研究科（博士後期）								山口県山口市吉田1677番地1	平成28年度より学生募集停止
自然科学基盤系専攻	3	-	-	-	博士（理学、工学、学術）	-	平成18年度	山口県宇部市常盤台2丁目16番1号	
システム設計工学系専攻	3	-	-	-	博士（工学、学術）	-	平成18年度		
物質工学系専攻	3	-	-	-	博士（工学、学術）	-	平成18年度		
情報・デザイン工学系専攻	3	-	-	-	博士（工学、学術）	-	平成18年度		
環境共生系専攻	3	-	-	-	博士（工学、理学、学術）	-	平成18年度		
農学研究科								山口県山口市吉田1677番地1	平成28年度より学生募集停止
生物資源科学専攻	2	-	-	-	修士（農学）	-	平成7年度		
東アジア研究科								山口県山口市吉田1677番地1	
東アジア専攻	3	10	-	30	博士（学術）	1.26	平成13年度		
技術経営研究科								山口県宇部市常盤台2丁目16番1号	
技術経営専攻	2	15	-	30	技術経営修士（専門職）	1.10	平成17年度		
連合獣医学研究科								【山口大学】	
獣医学専攻	4	12	-	48	博士（獣医学）	1.56	平成2年度	山口県山口市吉田1677番地1	
								【鳥取大学】	
								鳥取県鳥取市湖山町南4丁目101	
								【鹿児島大学】	
								鹿児島県鹿児島市都元1丁目21番24号	

- (注) ・ 本調査の対象となっている大学等の設置者（国立大学法人）が設置している全ての大学（学部、学科）及び大学院（専攻）（AC対象学部等含む）について、それぞれの学校種ごとに、平成28年5月1日現在の上記項目の情報を記入してください。
- ・ 学部の学科または研究科の専攻等、「入学定員を定めている組織」ごとに記入してください。
  - ※「入学定員を定めている組織ごと」には、課程認定等によりコース・専攻に入学定員を定めている場合を含めず、履修上の区分としてコース・専攻を設けている場合は含めません。
  - ※なお、課程認定等によりコースや専攻に入学定員を定めている場合は、法令上規定されている組織上の最小単位（大学であれば「学科」、短期大学であれば「専攻課程」）でも記載してください。
  - ・ 専攻科に係るものについては、記入する必要はありません。
  - ・ AC対象学部等についても必ず記入してください。
  - ・ 「平均入学定員超過率」には、標準修業年限に相当する期間における入学定員に対する入学者の割合の平均の小数点以下第2位まで（小数点以下第3位を切り捨て）を記入してください。
  - ・ 学生募集を停止している学部等がある場合、入学定員・収容定員・平均入学定員超過率は「-」とし、「備考」に「平成〇〇年より学生募集停止」と記入してください。

5 教員組織の状況

<創成科学研究科 農学系専攻（博士前期課程）>

(1) 担当教員表

事前伺いのため該当なし														
-------------	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--

- (注) ・ 設置計画書の様式第3号（その2の1）に準じて作成してください。  
 なお、当該設置に係る研究科等に所属しない教員であって、全学共通、学部共通などの授業科目を担当する教員組織に所属している場合は、〈〇〇研究科 〇〇専攻（〇〇課程）〉の箇所を「共通」とし、表を分けて作成してください。  
 ・ 後任が決まっていない場合には、「後任未定」と記入してください。  
 ・ 辞任者は「備考」に退職年月、氏名、理由を記入してください。  
 ・ 年齢は、「**設置時の計画**」には**当該学部等の就任時における満年齢**を、「**変更状況**」には**平成28年5月1日現在の満年齢**を記入してください。  
 ・ 教員を学年進行中に変更した又は変更する予定の場合（「新規採用」、「担当授業科目の変更」又は「昇格」をいう。）は、変更後の状況を記入するとともに、その理由、後任者が決まっていない場合は、「変更状況」の「氏名」に「後任未定」と記入し、及び今後の採用計画を「備考」に記入してください。  
 ・ **意見伺いで設置された学部等の専任教員を変更する場合は**、当該専任教員が授業を開始する前に必ず「専任教員採用等設置計画変更書」を提出し、大学設置・学校法人審議会による教員資格審査（AC教員審査）を受けてください。**AC教員審査を受けずに専任教員として授業等を担当することは出来ません。**  
 ・ 「専任教員採用等変更書（AC）」を提出し「可」の教員判定を受けている場合は「〇年〇月教員審査済」、変更書を提出予定の場合は「〇年〇月変更書提出予定」と記入してください。  
 なお、設置審査時に教員審査省略となっている場合は、「備考」に「（教員審査省略）」及びその変更の理由、変更年度（ ）書き等のみを記入してください。  
 ・ 「事前伺い」により**設置された学部等については、本項目を記載する必要はありません。**

(2) 専任教員数等

(2) - ① 専任教員数

設置時の計画					現在（報告書提出時）の状況					現在（報告書提出時）の完成年度時の計画				
教授	准教授	講師	助教	計	教授	准教授	講師	助教	計(A)	教授	准教授	講師	助教	計(B)
16	8	0	10	34	16	9	0	9	34	16	9	0	9	34
(16)	(9)	(0)	(9)	(34)						[ 0 ]	[ 1 ]	[ 0 ]	[ Δ1 ]	[ 0 ]
研究指導教員数	研究指導補助教員数	講義のみ担当の教員数			研究指導教員数	研究指導補助教員数	講義のみ担当の教員数			研究指導教員数	研究指導補助教員数	講義のみ担当の教員数		
34	0	0			34	0	0			34	0	0		
(34)	(0)	(0)								[ 0 ]	[ 0 ]	[ 0 ]		

- (注) ・ 「設置時の計画」には、設置時に予定されていた完成年度時の人数を記入するとともに、（ ）内に開設時の状況を記入してください。  
 ・ 「現在（報告書提出時）の状況」には、報告書提出年度の5月1日の教員数（実人数）を記入してください。  
 ・ 「現在（報告書提出時）の完成年度時の計画」には、報告書提出年度の5月1日現在、完成年度時に計画している教員数を記入するとともに、[ ]内に設置時の計画との増減数を記入してください。（記入例：1名減の場合：Δ1）

(2) - ② 年齢構成

年齢構成		
定年規定の定める定年年齢（歳）	報告書提出時（上記(A)）の教員のうち、定年を延長して採用している教員数	完成年度時（上記(B)）の教員のうち、定年を延長して採用する教員数
65	0	0

- (注) ・ 「年齢構成」には、当該学部における教員の定年に関する規定に基づく定年年齢（特例等による定年年齢ではありません）、および、平成28年5月1日現在、定年に関する規定に基づく特例等により定年を超えて専任教員として採用されている教員数および完成年度時に定年を超えて専任教員として採用する教員数を記入してください。  
 ・ なお、職位等によって定年年齢が異なる場合には、職位ごとの定年年齢を「定年規定の定める定年年齢」に二重書きで記入し、「定年を延長している教員数」には合算した数を記入してください。  
 ・ 専門職大学院の場合は、「研究指導教員」を「研究者教員」と、「研究指導補助教員」を「実務家教員」と修正して記入してください。



## 6 留意事項等に対する履行状況等

区 分	留 意 事 項 等	履 行 状 況	未履行事項について の実施計画
設 計	<p>事前伺いのため該当なし</p>		
設 計			
設 計			

- (注) ・ 「設置時」には、当該大学等の設置時に付された留意事項と、それに対する履行状況等について、具体的に記入し、報告年度を( )書きで付記してください。
- ・ 「設置計画履行状況調査時」には、当該設置計画履行状況調査の結果、付された意見に対する履行状況等について、具体的に記入するとともに、その履行状況等を裏付ける資料があれば、添付してください。
  - ・ 定員管理に係る留意事項への履行状況は、指摘を受けた学科等についてのみ記入してください。
  - ・ 該当がない場合には、「該当なし」と記入してください。
  - ・ 「事前伺い」により設置された学部等については、本項目を記載する必要はありません。

## 7 その他全般的事項

<創成科学研究科 農学系専攻（博士前期課程）>

### (1) 設置計画変更事項等

設置時の計画	変更内容・状況, 今後の見通しなど
<p>記 ①</p> <p>②</p> <p>事前伺いのため該当なし</p> <p>冊</p>	

- (注) ・ 1～6の項目に記入した事項以外で、設置時の計画より変更のあったもの（未実施を含む。）及び法令適合性に関して生じた留意すべき事項について記入してください。
- ・ 設置時の「設置の趣旨等を記載した書類」の項目に沿って作成し、それ以外の事柄については適宜項目を設けてください。（記入例参照）
  - ・ 「事前伺い」により設置された学部等については、当該項目を記載する必要はありません。

### (2) 教員の資質の維持向上の方策（FD活動含む）

<p>① 実施体制</p> <p>②</p> <p>③</p> <p style="text-align: center; vertical-align: middle;">事前伺いのため該当なし</p>
--

- (注) ・ 「①a 委員会の設置状況」には、関係規程等を転載又は添付すること。
- 「②実施状況」には、実施されている取組を全て記載すること。（記入例参照）
- ・ 「事前伺い」により設置された学部等については、本項目を記載する必要はありません。

(3) 自己点検・評価等に関する事項

① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見

②

事前伺いのため該当なし

③

- (注) ・ 設置時の計画の変更(又は未実施)の有無に関わらず記入してください。  
また、「① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見」については、できるだけ具体的な根拠を含めて記入してください。  
なお、「② 自己点検・評価報告書」については、当該調査対象の組織に関する評価内容を含む報告書について記入してください。  
・ 「事前伺い」により設置された学部等については、本項目を記載する必要はありません。

(4) 情報公表に関する事項

○ 設置計画履行状況報告書

a ホームページに公表の有無 (  有  無 )

b 公表時期(未公表の場合は予定時期) ( 28 年 9 月 1 日 )

## 1 調査対象大学等の概要等

### (1) 設置者

国立大学法人 山口大学

### (2) 大学名

山口大学

### (3) 大学の位置

〒753-8511  
山口県山口市吉田1677-1

〒755-8611  
山口県宇部市常盤台2丁目16番1号

- (注) ・対象学部等の位置が大学本部の位置と異なる場合、本部の位置を( )書きで記入してください。  
・対象学部等が複数のキャンパスに所在する場合には、複数のキャンパスの所在地をそれぞれ記載してください。

### (4) 管理運営組織

職名	設置時	変更状況	備考
事前伺いのため該当なし			

- (注) ・「変更状況」は、変更があった場合に記入し、併せて「備考」に変更の理由と変更年月日、報告年度を( )書きで記入してください。
- (例) 平成26年度に報告済の内容 → (26)  
平成28年度に報告する内容 → (28)
- ・昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更があれば、「変更状況」に赤字にて記載(昨年度までに報告された記載があれば、そこに赤字で見え消し修正)するとともに、上記と同様に、「備考」に変更理由等を記入してください。
  - ・大学院の場合には、「職名」を「研究科長」等と修正して記入してください。
  - ・「事前伺い」により設置された学部等については、本項目を記載する必要はありません。

(5) 調査対象研究科等の名称, 定員, 入学者の状況等

- (注) ・ 当該調査対象の学部の学科または研究科の専攻等, 定員を定めている組織ごとに記入してください。  
 (入試区分ごとではありません)。  
 ・ 様式は, 平成26年度開設の博士後期課程の場合(平成28年度までの3年間)ですが, 開設年度・  
 修業年限に合わせて作成してください。(修業年限が2年以下の場合には欄を削除し, 4年以上の場合  
 には, 欄を設けてください。)

(5) - ① 調査対象研究科等の名称, 定員

調査対象研究科等の 名称(学位)	設置時の計画			備 考
	修業年限	入学定員	収容定員	
創成科学研究科 自然科学系専攻 (博士後期課程)  博士(理学) 博士(学術)	3年	7人	21人	基礎となる学部等  理学部

- (注) ・ 「備考」に基礎となる学部等の名称を記入してください。  
 ・ 定員を変更した場合は, 「備考」に変更前の人数, 変更年月及び報告年度を( )書きで記入してください。  
 ・ 学生募集停止を予定している場合は, 「備考」にその旨記載してください。

(5) - ② 調査対象研究科等の入学者の状況

区分	報告年度		平成28年度		平成29年度		平成30年度		平均入学定員 超過率	備 考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期		
A 入学定員	7人 ( ) [ ]	人	人	人	人	人	人	人	0.28倍	
志願者数	2 ( ) [ ]	( ) [ ]	( ) [ ]	( ) [ ]	( ) [ ]	( ) [ ]	( ) [ ]	( ) [ ]		
受験者数	2 ( ) [ ]	( ) [ ]	( ) [ ]	( ) [ ]	( ) [ ]	( ) [ ]	( ) [ ]	( ) [ ]		
合格者数	2 ( ) [ ]	( ) [ ]	( ) [ ]	( ) [ ]	( ) [ ]	( ) [ ]	( ) [ ]	( ) [ ]		
B 入学者数	2 ( ) [ ]	( ) [ ]	( ) [ ]	( ) [ ]	( ) [ ]	( ) [ ]	( ) [ ]	( ) [ ]		
入学定員超過率 B/A	0.28									

- (注) ・ 数字は, 平成28年5月1日現在の数字を記入してください。  
 ・ ( )内には, 社会人の状況について**内数**で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。  
 ・ 「社会人」については, 設置計画書において貴学が定める社会人の定義に従って記入してください。  
 ・ [ ]内には, 留学生の状況について**内数**で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。  
 ・ 留学生については, 「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格(いわゆる「留学ビザ」)により, 我が国の大学(大学院を含む), 短期大学, 高等専門学校, 専修学校(専門課程)及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。  
 ・ 短期交換留学生など, 定員内に含めていない学生については記入しないでください。  
 ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は, 春季入学とその他の学期(春季入学以外の学期区分を設けている場合)に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は, その他の学期欄は「-」を記入してください。また, その他の学期に入学定員を設けている場合は, 備考欄にその人数を記入してください。  
 ・ 「入学定員超過率」については, **各年度の春季入学とその他を合計した入学定員, 入学者数で算出**してください。なお, 計算の際は小数点以下第3位を切り捨て, 小数点以下第2位まで記入してください。  
 ・ 「平均入学定員超過率」には, 開設年度から提出年度までの入学定員超過率の平均を記入してください。なお, 計算の際は「入学定員超過率」と同様にしてください。

(5) - ③ 調査対象研究科等の在学者の状況

学 年	報告年度		平成28年度		平成29年度		平成30年度		備 考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	
1年次	[ ] ( ) 2	[ ] ( )	[ ] ( )	[ ] ( )	[ ] ( )	[ ] ( )	[ ] ( )	[ ] ( )	
2年次	/		[ ] ( )	[ ] ( )	[ ] ( )	[ ] ( )	[ ] ( )	[ ] ( )	
3年次			/		[ ] ( )	[ ] ( )	[ ] ( )	[ ] ( )	[ ] ( )
計	[ ] ( ) 2	[ ] ( )			[ ] ( )	[ ] ( )	[ ] ( )	[ ] ( )	[ ] ( )

- (注) ・ 数字は、平成28年5月1日現在の数字を記入してください。
- ・ [ ]内には、留学生の状況について内数で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。
  - ・ 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格（いわゆる「留学ビザ」）により、我が国の大学（大学院を含む。）、短期大学、高等専門学校、専修学校（専門課程）及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
  - ・ 短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。
  - ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期（春季入学以外の学期区分を設けている場合）に分けて数値を記入してください。春季入学の実施の場合は、その他の学期欄は「-」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
  - ・ 「計」については、**各年度の春季入学とその他の学期を合計した在学者数、留学生数**を記入してください。
  - ・ ( )内には、**留年者の状況**について、内数で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。

(5) -④ 調査対象学部等の退学者等の状況

区分 対象年度	入学者数(b)	退学者数(a)	退学者数(内訳)			主な退学理由	入学者数に 対する退学者数 の割合 (a/b)
			退学した年度	退学者数	退学者数の うち留学生数		
平成28年度 入学者	2人	0人	平成28年度	人	人		0%
			平成29年度	人	人		
			平成30年度	人	人		
平成29年度 入学者	人	0人	平成29年度	人	人		#DIV/0!%
			平成30年度	人	人		
平成30年度 入学者	人	0人	平成30年度	人	人		#DIV/0!%
合計	2人	0人					0%

(注)・数字は、平成28年5月1日現在の数字を記入してください。

- ・各年度の入学者数については、該当年度当初に入学した人数を記入してください。(途中で退学者がいた場合でも、その退学者数を減らす必要はありません。)
- ・各年度の退学者数については、退学年度ごとに記入してください。また、留学生数欄の人数については、退学者数の内数を記入してください。
- ・留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格(いわゆる「留学ビザ」)により、我が国の大学(大学院を含む。)、短期大学、高等専門学校、専修学校(専門課程)及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記入してください。
- ・短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。
- ・「入学者数に対する退学者数の割合」は、【当該対象年度の入学者のうち、平成28年5月1日現在までに退学した学生数の合計】を、【当該対象年度の入学者数】で除した割合(%)を記入してください。その際、小数点以下第2位を四捨五入し、小数点以下第1位までを記入してください。
- ・「主な退学理由」は、下の項目を参考に記入してください。その際、「就学意欲の低下(○人)」というように、その人数も含めて記入してください。  
 (記入項目例)・就学意欲の低下    ・学力不足    ・他の教育機関への入学・転学    ・海外留学  
                   ・就職    ・学生個人の心身に関する事情    ・家庭の事情    ・除籍    ・その他

## 2 授業科目の概要

<創成科学研究科 自然科学系専攻（博士後期課程）>

### (1) 授業科目表

科目区分	授業科目の名称	配当 年次	単位数			専任教員等の配置					備 考	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
研究科 共通科目	【研究基盤科目】											
	研究者行動規範特論	1前	1			1						兼 2
	知的財産特論	1後	1			1						兼 2
	サイエンティフィック・ライティング	1前		1		1						兼 2
	プレゼンテーション特論	1後		1		1						兼 2
	【イノベーション教育科目】											
	リサーチメソドロジー特論	1・2前		2		1						兼 1
	イノベーション特論	1・2前		2		1						兼 1
	技術ロードマッピング特論	1・2後		2		1						兼 1
	製品開発特論	1・2後		2		1						兼 1
【キャリア教育科目】												
キャリアデザインⅡ	1前		2		1						兼 2	
学外特別研修Ⅱ	1・2・3 前・後		1～4		1							
長期インターンシップⅡ	1・2・3 前・後		6		1							
専攻 基盤科目	最先端自然科学研究科目	1～ 3通	2			28	22	5	4			担当教員の退職、昇任及び具体的な担当教員の確定による変更 (28)
		1・2後				26	24	7	5		兼 4	教育効果充実のため、開講期変更。具体的な担当教員の確定による変更 (28)
	教理複雑系科学特論	1・2前		2		16	14	5	3		兼 2	オムニバス
						6						具体的な担当教員の確定による変更 (28)
	自然システム科学特論	1・2前		2		10	10	2	2		兼 2	オムニバス
	自然科学特別講義Ⅰ	1・2・3通		2		28	22	5	4		兼 4	担当教員の退職、昇任及び具体的な担当教員の確定による変更 (28)
	自然科学特別講義Ⅱ	1・2・3通		2		26	24	7	5		兼 4	担当教員の退職、昇任及び具体的な担当教員の確定による変更 (28)
	自然科学セミナー	1・2・3通		2		28	22	5	4		兼 4	担当教員の退職、昇任及び具体的な担当教員の確定による変更 (28)
	学外特別実習	2・3通		2		28	22	5	4		兼 4	担当教員の退職、昇任及び具体的な担当教員の確定による変更 (28)
	サイエンス特別実習Ⅰ	1・2・3通		2		26	24	7	5		兼 4	担当教員の退職、昇任及び具体的な担当教員の確定による変更 (28)
	サイエンス特別実習Ⅱ	1・2・3通		2		28	22	5	4		兼 4	担当教員の退職、昇任及び具体的な担当教員の確定による変更 (28)
	サイエンス特別実習Ⅱ	1・2・3通		2		26	24	7	5		兼 4	担当教員の退職、昇任及び具体的な担当教員の確定による変更 (28)
専門 科目	複雑系数理学特論Ⅰ	1・2前		2		2						教育効果充実のため、担当教員を変更 (28)
	複雑系数理学特論Ⅱ	1・2後		2		1	1					
	代数系特論Ⅰ	1・2前		2		1	1					担当教員昇任に伴う変更 (28)
	代数系特論Ⅱ	1・2後		2		1		1	2			具体的な担当教員の確定による変更 (28)
	空間構造特論Ⅰ	1・2前		2		2	1					
	空間構造特論Ⅱ	1・2後		2		1	1	1	1			担当教員昇任に伴う変更 (28)
	応用数理学特論	1・2前		2		1	1	1				担当教員の退職、採用に伴う変更 (28)
	教理工学特論	1・2後		2		1	1					



専 門 科 目	応用解析学特論	1・2前	2	1	2	1			担当教員の退職、採用に伴う変更 (28)		
				2					教育効果充実のため、担当教員を追加 (28)		
	相転移科学特論	1・2前	2	2	4						
	量子相関系特論	1・2後	2	2	1						
	宇宙論特論	1・2前	2	3				兼 1	教育効果充実のため、担当教員を追加 (28)		
	結晶物性学特論	1・2前	2	2	1				教育効果充実のため、担当教員を変更 (28)		
	電波天文学特論	1・2後	2	4				兼 1			
	ソフトマター科学特論	1・2後	2	2	4		1		教育効果充実のため、担当教員を変更 (28)		
				2					教育効果充実のため、担当教員を変更 (28)		
	システム情報科学特論	1・2前	2	4	4						
	数理モデリング特論	1・2後	2	1	1				2	教育効果充実のため、担当教員を追加 (28)	
	ネットワーク科学特論	1・2前	2	1					4		
	溶液反応化学特論	1・2前	2		1			兼 1			
	分子集合体化学特論	1・2後	2	1	1					2	担当教員昇任に伴う変更 (28)
				2							
	固体物性化学特論	1・2前	2	1	4		4				
	電子物理化学特論	1・2後	2	1	1		4			兼 1	担当教員昇任に伴う変更 (28)
	反応有機化学特論	1・2前	2	1				兼 1			
	有機合成化学特論	1・2後	2	1	1						
	鉱物鉱床学特論	1・2前	2		2						
			2							教育効果充実のため、担当教員を変更 (28)	
地殻・マントル構成物質学特論	1・2後	2	4	4							
			1	1						教育効果充実のため、担当教員を変更 (28)	
地球物質循環学特論	1・2前	2	2								
地球変動学特論	1・2後	2	4	1		1				教育効果充実のため、担当教員を変更 (28)	
			2							教育効果充実のため、担当教員を変更 (28)	
地球環境学特論	1・2前	2	4	4							
応用地球科学特論	1・2後	2	1								

- (注) ・ 設置計画書の様式第2号(その2の1)に準じて作成してください。
- ・ 設置時の授業科目全て(兼任、兼任教員が担当する科目を含む。)を黒字で記載してください。その上で、前年度報告時(平成28年度に設置された大学等は設置時)より変更されているものは赤字で見え消し修正し、「備考」に赤字で理由・変更年月等を記入してください。
  - ・ なお、昨年度の報告書において赤字で見え消しした部分については、見え消しのまま黒字にしてください。
  - ・ 兼任、兼任の教員が担当する授業科目については、備考欄に担当する教員数を「兼〇」と記入してください。
  - ・ 授業科目を追加又は内容を変更する場合で、専任教員が担当するため教員審査が必要なものについては、「専任教員採用等設置計画変更書」の審査予定年月等を「備考」に記入してください。(今後審査を受ける場合には、「平成〇年〇月 提出予定」と記入してください。)
  - ・ 「配当年次」について、設置計画時に開講時期を記入する必要がなかった学部等(平成19年度設置以前)についても、設置時の状況を黒字で記入してください。また、前年度報告時より修正があれば、赤字で見え消し修正をしてください。
  - ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目についても記入してください。

## (2) 授業科目数

設置時の計画				変更状況				備 考
必修	選択	自由	計	必修	選択	自由	計	
科目	科目	科目	科目	科目	科目	科目	科目	
3	47		50	3	47		50	
				[ ]	[ ]	[ ]	[ ]	

- (注) ・ 未開講科目も含めた教育課程上の授業科目数を記入するとともに、[ ]内に、設置時の計画からの増減を記入してください。(記入例：1科目減の場合：△1)
- ・ 資格に関する課程など、別課程としている授業科目については算入する必要はありません。

(3) 未開講科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	未開講の理由, 代替措置の有無
1	該当なし					
2						
3						

- (注) ・ 設置時の計画にあった授業科目が配当年次に達しているにも関わらず、何らかの理由で未開講となっている授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
- ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目については、記入しないでください。
  - ・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」と修正して記入してください。

(4) 廃止科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	廃止の理由, 代替措置の有無
1	該当なし					
2						
3						

- (注) ・ 設置時の計画にあり、何らかの理由で廃止（教育課程から削除）した授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
- ・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」と修正して記入してください。

(5) 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

該当なし
------

- (注) ・ 授業科目を未開講又は廃止としたことによる学生の履修への影響に関する「大学の所見」及び「学生への周知方法」を記入してください。

(6) 「設置時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

$$\frac{\text{未開講科目と廃止科目の計}}{\text{設置時の計画の授業科目数の計}} = \text{該当なし}$$

- (注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位までを記入してください。

### 3 施設・設備の整備状況, 経費

区分	内容	備考
(1) 校地等	<p>事前伺いのため該当なし</p>	
(2)		
(3)		
(4)		
(5) 図書・設備		
(6)		
(7)		
(8) 経費 積り 維持 の 概 要		
学生納付金以外の維持方法の概要		

- (注) ・ 設置時の計画を, 設置計画書の様式第2号(その1の1)に準じて作成してください。(複数のキャンパスに分かれている場合, 複数の様式に分ける必要はありません。なお, 「(1)校地等」及び「(2)校舎」は大学全体の数字を, その他の項目は AC対象学部等の数値を記入してください。)
- ・ 運動場用地が校舎敷地と別地にある場合は, その旨(所要時間・距離等)を「備考」に記入してください。
  - ・ 「(5)図書・設備」については, 上段に完成年度の予定数値を, 下段には平成28年5月1日現在の数値を記入してください。
  - ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更のあったものについては, 変更部分を赤字で見え消し修正するとともに, その理由及び報告年度「(28)」を「備考」に赤字で記入してください。  
 なお, 昨年度の報告において赤字で見え消した部分については, 見え消しのまま黒字にしてください。
  - ・ 「事前伺い」により設置された学部等については, 本項目を記載する必要はありません。

#### 4 既設大学等の状況

大学の名称	山 口 大 学						備 考		
既設学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学員定員	収容定員	学位又は称号	平均入学定員超過率	開 設 年 度	所 在 地	
	年	人	年次人	人		倍			
人文学部								山口県山口市吉田1677番地 1	
人文学科	4	185	-	740	学士（文学）	1.00	平成28年度		
人文社会学科	4	-	-	-	学士（文学）	-	平成5年度		平成28年度より学生募集停止
言語文化学科	4	-	-	-	学士（文学）	-	平成5年度		平成28年度より学生募集停止
教育学部								山口県山口市吉田1677番地 1	
学校教育教員養成課程	4	180	-	620	学士（教育学）	1.04	平成10年度		
実践臨床教育課程	4	-	-	-	学士（教育学）	-	平成10年度		平成27年度より学生募集停止
情報科学教育課程	4	-	-	-	学士（教育学）	-	平成10年度		平成27年度より学生募集停止
健康科学教育課程	4	-	-	-	学士（教育学）	-	平成10年度		平成27年度より学生募集停止
総合文化教育課程	4	-	-	-	学士（教育学）	-	平成元年度		平成27年度より学生募集停止
経済学部						1.03		山口県山口市吉田1677番地 1	
経済学科	4	130	-	440	学士（経済学）	-	昭和24年度		
経営学科	4	165	-	590	学士（経済学）	-	昭和24年度		
国際経済学科	4	-	-	-	学士（経済学）	-	昭和52年度		平成27年度より学生募集停止
経済法学科	4	-	-	-	学士（法学）	-	昭和55年度		平成27年度より学生募集停止
観光政策学科	4	50	-	160	学士（経済学）	-	平成17年度		
商業教員養成課程	4	-	-	-	学士（経済学）	-	昭和29年度		平成27年度より学生募集停止
理学部								山口県山口市吉田1677番地 1	
数理科学科	4	50	-	200	学士（理学）	1.05	平成7年度		
物理・情報科学科	4	60	-	240	学士（理学）	1.02	平成18年度		
生物・化学科	4	80	-	320	学士（理学）	1.01	平成18年度		
地球圏システム科学科	4	30	-	120	学士（理学）	1.05	平成18年度		
医学部								山口県宇部市南小串1丁目1番1号	
医学科	6	107	2年次 10	692	学士（医学）	1.00	昭和39年度		
保健学科	4	120	3年次 15	510	学士（看護学、保健学）	1.03	平成12年度		
工学部								山口県宇部市常盤台2丁目16番1号	
機械工学科	4	90	3年次 5	370	学士（工学）	1.03	平成2年度		
社会建設工学科	4	80	-	320	学士（工学）	1.03	平成2年度		
応用化学科	4	90	-	360	学士（工学）	1.04	平成19年度		
電気電子工学科	4	80	3年次 5	330	学士（工学）	1.03	平成2年度		
知能情報工学科	4	80	3年次 10	340	学士（工学）	1.03	平成19年度		
感性デザイン工学科	4	55	-	220	学士（工学）	1.05	平成8年度		
循環環境工学科	4	55	-	220	学士（工学）	1.05	平成19年度		
農学部								山口県山口市吉田1677番地 1	
生物資源環境科学科	4	50	-	200	学士（農学）	1.03	平成13年度		
生物機能科学科	4	50	-	200	学士（農学）	1.01	平成13年度		
獣医学科	6	-	-	-	学士（獣医学）	-	昭和24年度		平成24年度より学生募集停止
共同獣医学部								山口県山口市吉田1677番地 1	
獣医学科	6	30	-	150	学士（獣医学）	1.01	平成24年度		
国際総合科学部								山口県山口市吉田1677番地 1	
国際総合科学科	4	100	-	200	学士（学術）	1.04	平成27年度		

人文科学研究科							山口県山口市吉田1677番地 1	
人文科学専攻	2	8	-	8	修士(文学)	0.25	平成28年度	
地域文化専攻	2	-	-	-	修士(文学)	-	昭和60年度	平成28年度より学生募集停止
言語文化専攻	2	-	-	-	修士(文学)	-	昭和60年度	平成28年度より学生募集停止
教育学研究科							山口県山口市吉田1677番地 1	
学校教育専攻	2	10	-	23	修士(教育学)	1.10	平成3年度	
教科教育専攻	2	17	-	45	修士(教育学)	1.05	平成3年度	
教職実践高度化専攻	2	14	-	14	教職修士(専門職)	1.07	平成28年度	
経済学研究科							山口県山口市吉田1677番地 1	
経済学専攻	2	16	-	32	修士(経済学)	0.24	昭和50年度	
企業経営専攻	2	10	-	20	修士(経済学)	0.50	平成7年度	
医学系研究科(医学博士)							山口県宇部市南小串1丁目1番1号	
医学専攻	4	33	-	33	博士(医学)	1.09	平成28年度	
システム統御医学系専攻	4	-	-	-	博士(医学)	-	平成18年度	平成28年度より学生募集停止
情報解析医学系専攻	4	-	-	-	博士(医学)	-	平成18年度	平成28年度より学生募集停止
医学系研究科(博士前期)							山口県宇部市南小串1丁目1番1号	
応用医工学系専攻	2	-	-	-	修士(医工学)	-	平成13年度	平成28年度より学生募集停止
応用分子生命科学系専攻	2	-	-	-	修士(生命科学、学術)	-	平成18年度	平成28年度より学生募集停止
保健学専攻	2	12	-	24	修士(保健学)	1.37	平成17年度	
医学系研究科(博士後期)							山口県宇部市南小串1丁目1番1号	
応用医工学系専攻	3	-	-	-	博士(医工学)	-	平成13年度	平成28年度より学生募集停止
応用分子生命科学系専攻	3	-	-	-	博士(生命科学、学術)	-	平成18年度	平成28年度より学生募集停止
保健学専攻	3	5	-	15	博士(保健学)	0.80	平成19年度	
創成科学研究科(博士前期)							山口県山口市吉田1677番地 1	
基盤科学系専攻	2	38	-	38	修士(理学)	0.92	平成28年度	山口県宇部市常盤台2丁目16番1号
地球圏生物物質科学系専攻	2	42	-	42	修士(理学)	0.80	平成28年度	
化学系専攻	2	83	-	83	修士(工学、学術)	0.87	平成28年度	
電気電子情報系専攻	2	107	-	107	修士(工学)	1.00	平成28年度	
機械工学系専攻	2	60	-	60	修士(工学)	1.01	平成28年度	
建設環境系専攻	2	74	-	74	修士(工学、学術)	0.74	平成28年度	
農学系専攻	2	42	-	42	修士(農学、生命科学)	0.71	平成28年度	
創成科学研究科(博士後期)							山口県山口市吉田1677番地 1	
自然科学系専攻	3	7	-	7	博士(理学、学術)	0.28	平成28年度	山口県宇部市常盤台2丁目16番1号
物質工学系専攻	3	8	-	8	博士(工学、学術)	0.12	平成28年度	
システム・デザイン工学系専攻	3	10	-	10	博士(工学、学術)	0.70	平成28年度	
環境共生系専攻	3	12	-	12	博士(工学、学術)	0.66	平成28年度	
ライフサイエンス系専攻	3	7	-	7	博士(工学、学術)	0.85	平成28年度	
理工学研究科(博士前期)							山口県山口市吉田1677番地 1	平成28年度より学生募集停止
数理科学専攻	2	-	-	-	修士(理学)	-	平成9年度	山口県宇部市常盤台2丁目16番1号
物理・情報科学専攻	2	-	-	-	修士(理学)	-	平成18年度	
地球科学専攻	2	-	-	-	修士(理学)	-	平成18年度	
機械工学専攻	2	-	-	-	修士(工学)	-	昭和41年度	
社会建設工学専攻	2	-	-	-	修士(工学)	-	平成9年度	
物質化学専攻	2	-	-	-	修士(工学)	-	平成18年度	
電子デバイス工学専攻	2	-	-	-	修士(工学)	-	平成18年度	
電子情報システム工学専攻	2	-	-	-	修士(工学)	-	平成18年度	
感性デザイン工学専攻	2	-	-	-	修士(工学)	-	平成12年度	
環境共生系専攻	2	-	-	-	修士(工学、理学)	-	平成18年度	

理工学研究科（博士後期）								山口県山口市吉田1677番地1	平成28年度より学生募集停止
自然科学基盤系専攻	3	-	-	-	博士（理学、工学、学術）	-	平成18年度	山口県宇部市常盤台2丁目16番1号	
システム設計工学系専攻	3	-	-	-	博士（工学、学術）	-	平成18年度		
物質工学系専攻	3	-	-	-	博士（工学、学術）	-	平成18年度		
情報・デザイン工学系専攻	3	-	-	-	博士（工学、学術）	-	平成18年度		
環境共生系専攻	3	-	-	-	博士（工学、理学、学術）	-	平成18年度		
農学研究科								山口県山口市吉田1677番地1	平成28年度より学生募集停止
生物資源科学専攻	2	-	-	-	修士（農学）	-	平成7年度		
東アジア研究科								山口県山口市吉田1677番地1	
東アジア専攻	3	10	-	30	博士（学術）	1.26	平成13年度		
技術経営研究科								山口県宇部市常盤台2丁目16番1号	
技術経営専攻	2	15	-	30	技術経営修士（専門職）	1.10	平成17年度		
連合獣医学研究科								【山口大学】	
獣医学専攻	4	12	-	48	博士（獣医学）	1.56	平成2年度	山口県山口市吉田1677番地1	
								【鳥取大学】	
								鳥取県鳥取市湖山町南4丁目101	
								【鹿児島大学】	
								鹿児島県鹿児島市都元1丁目21番24号	

- (注) ・ 本調査の対象となっている大学等の設置者（国立大学法人）が設置している全ての大学（学部、学科）及び大学院（専攻）（AC対象学部等含む）について、それぞれの学校種ごとに、平成28年5月1日現在の上記項目の情報を記入してください。
- ・ 学部の学科または研究科の専攻等、「入学定員を定めている組織」ごとに記入してください。
  - ※「入学定員を定めている組織ごと」には、課程認定等によりコース・専攻に入学定員を定めている場合を含めず、履修上の区分としてコース・専攻を設けている場合は含めません。
  - ※なお、課程認定等によりコースや専攻に入学定員を定めている場合は、法令上規定されている組織上の最小単位（大学であれば「学科」、短期大学であれば「専攻課程」）でも記載してください。
  - ・ 専攻科に係るものについては、記入する必要はありません。
  - ・ AC対象学部等についても必ず記入してください。
  - ・ 「平均入学定員超過率」には、標準修業年限に相当する期間における入学定員に対する入学者の割合の平均の小数点以下第2位まで（小数点以下第3位を切り捨て）を記入してください。
  - ・ 学生募集を停止している学部等がある場合、入学定員・収容定員・平均入学定員超過率は「-」とし、「備考」に「平成〇〇年より学生募集停止」と記入してください。

5 教員組織の状況

<創成科学研究科 自然科学系専攻（博士後期課程）>

(1) 担当教員表

<p style="font-size: 24px; font-weight: bold;">事前伺いのため該当なし</p>									
(注) 科目を追加 (28)									

- (注) ・ 設置計画書の様式第3号（その2の1）に準じて作成してください。  
 なお、当該設置に係る研究科等に所属しない教員であって、全学共通、学部共通などの授業科目を担当する教員組織に所属している場合は、〈〇〇研究科 〇〇専攻（〇〇課程）〉の箇所を「共通」とし、表を分けて作成してください。  
 ・ 後任が決まっていない場合には、「後任未定」と記入してください。  
 ・ 辞任者は「備考」に退職年月、氏名、理由を記入してください。  
 ・ 年齢は、「**設置時の計画**」には当該学部等の就任時における満年齢を、「**変更状況**」には平成28年5月1日現在の満年齢を記入してください。  
 ・ 教員を学年進行中に変更した又は変更する予定の場合（「新規採用」、「担当授業科目の変更」又は「昇格」をいう。）は、変更後の状況を記入するとともに、その理由、後任者が決まっていない場合は、「変更状況」の「氏名」に「後任未定」と記入し、及び今後の採用計画を「備考」に記入してください。  
 ・ **意見伺いで設置された学部等の専任教員を変更する場合は**、当該専任教員が授業を開始する前に必ず「専任教員採用等設置計画変更書」を提出し、大学設置・学校法人審議会による教員資格審査（AC教員審査）を受けてください。**AC教員審査を受けずに専任教員として授業等を担当することは出来ません。**  
 ・ 「専任教員採用等変更書（AC）」を提出し「可」の教員判定を受けている場合は「〇年〇月教員審査済」、変更書を提出予定の場合は「〇年〇月変更書提出予定」と記入してください。  
 なお、設置審査時に教員審査省略となっている場合は、「備考」に「（教員審査省略）」及びその変更の理由、変更年度（ ）書き等のみを記入してください。  
 ・ **「事前伺い」により設置された学部等については、本項目を記載する必要はありません。**

(2) 専任教員数等

(2) - ① 専任教員数

設置時の計画					現在（報告書提出時）の状況					現在（報告書提出時）の完成年度時の計画				
教授	准教授	講師	助教	計	教授	准教授	講師	助教	計 (A)	教授	准教授	講師	助教	計 (B)
26	23	7	6	62	28	22	5	5	60	28	22	5	5	60
(28)	(22)	(5)	(5)	(60)						[2]	[Δ1]	[Δ2]	[Δ1]	[Δ2]
研究指導教員数	研究指導補助教員数	講義のみ担当の教員数	/		研究指導教員数	研究指導補助教員数	講義のみ担当の教員数	/		研究指導教員数	研究指導補助教員数	講義のみ担当の教員数	/	
32	29	1			32	27	1			32	27	1		
(32)	(27)	(1)			[0]	[Δ2]	[0]							

- (注) ・ 「設置時の計画」には、設置時に予定されていた完成年度時の人数を記入するとともに、（ ）内に開設時の状況を記入してください。  
 ・ 「現在（報告書提出時）の状況」には、報告書提出年度の5月1日の教員数（実人数）を記入してください。  
 ・ 「現在（報告書提出時）の完成年度時の計画」には、報告書提出年度の5月1日現在、完成年度時に計画している教員数を記入するとともに、[ ]内に設置時の計画との増減数を記入してください。（記入例：1名減の場合：Δ1）

(2) - ② 年齢構成

年齢構成		
定年規定の定める定年年齢（歳）	報告書提出時（上記(A)）の教員のうち、定年を延長して採用している教員数	完成年度時（上記(B)）の教員のうち、定年を延長して採用する教員数
65	0	0

- (注) ・ 「年齢構成」には、当該学部における教員の定年に関する規定に基づく定年年齢（特例等による定年年齢ではありません）、および、平成28年5月1日現在、定年に関する規定に基づく特例等により定年を超えて専任教員として採用されている教員数および完成年度時に定年を超えて専任教員として採用する教員数を記入してください。  
 ・ なお、職位等によって定年年齢が異なる場合には、職位ごとの定年年齢を「定年規定の定める定年年齢」に二段書きで記入し、「定年を延長している教員数」には合算した数を記入してください。  
 ・ 専門職大学院の場合は、「研究指導教員」を「研究者教員」と、「研究指導補助教員」を「実務家教員」と修正して記入してください。

## 6 留意事項等に対する履行状況等

区 分	留 意 事 項 等	履 行 状 況	未履行事項について の実施計画
設 計	<p>事前伺いのため該当なし</p>		
設 計			
設 計			

- (注) ・ 「設置時」には、当該大学等の設置時に付された留意事項と、それに対する履行状況等について、具体的に記入し、報告年度を( )書きで付記してください。
- ・ 「設置計画履行状況調査時」には、当該設置計画履行状況調査の結果、付された意見に対する履行状況等について、具体的に記入するとともに、その履行状況等を裏付ける資料があれば、添付してください。
  - ・ 定員管理に係る留意事項への履行状況は、指摘を受けた学科等についてのみ記入してください。
  - ・ 該当がない場合には、「該当なし」と記入してください。
  - ・ 「事前伺い」により設置された学部等については、本項目を記載する必要はありません。



## 7 その他全般的事項

<創成科学研究科 自然科学系専攻（博士後期課程）>

### (1) 設置計画変更事項等

設置時の計画	変更内容・状況, 今後の見通しなど
<div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <span>記</span> <span>冊</span> </div> <div style="display: flex; align-items: center; justify-content: center;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 20px; width: 80%; text-align: center;"> <p style="font-size: 2em; margin: 0;">事前伺いのため該当なし</p> </div> </div>	

- (注) ・ 1～6の項目に記入した事項以外で、設置時の計画より変更のあったもの（未実施を含む。）及び法令適合性に関して生じた留意すべき事項について記入してください。
- ・ 設置時の「設置の趣旨等を記載した書類」の項目に沿って作成し、それ以外の事柄については適宜項目を設けてください。（記入例参照）
  - ・ 「事前伺い」により設置された学部等については、当該項目を記載する必要はありません。

### (2) 教員の資質の維持向上の方策（FD活動含む）

①	実施体制
<div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <span>記</span> <span>冊</span> </div> <div style="display: flex; align-items: center; justify-content: center;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 20px; width: 80%; text-align: center;"> <p style="font-size: 2em; margin: 0;">事前伺いのため該当なし</p> </div> </div>	
②	
③	

- (注) ・ 「①a 委員会の設置状況」には、関係規程等を転載又は添付すること。
- 「②実施状況」には、実施されている取組を全て記載すること。（記入例参照）
- ・ 「事前伺い」により設置された学部等については、本項目を記載する必要はありません。

### (3) 自己点検・評価等に関する事項

#### ① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見

②

事前伺いのため該当なし

③

- (注) ・ 設置時の計画の変更(又は未実施)の有無に関わらず記入してください。  
また、「① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見」については、できるだけ具体的な根拠を含めて記入してください。  
なお、「② 自己点検・評価報告書」については、当該調査対象の組織に関する評価内容を含む報告書について記入してください。  
・ 「事前伺い」により設置された学部等については、本項目を記載する必要はありません。

### (4) 情報公表に関する事項

#### ○ 設置計画履行状況報告書

a ホームページに公表の有無 (  有 ・  無 )

b 公表時期(未公表の場合は予定時期) ( 28 年 9 月 1 日 )

## 1 調査対象大学等の概要等

### (1) 設置者

国立大学法人 山口大学

### (2) 大学名

山口大学

### (3) 大学の位置

〒753-8511  
山口県山口市吉田1677-1

〒755-8611  
山口県宇部市常盤台2丁目16番1号

- (注) ・対象学部等の位置が大学本部の位置と異なる場合、本部の位置を( )書きで記入してください。  
・対象学部等が複数のキャンパスに所在する場合には、複数のキャンパスの所在地をそれぞれ記載してください。

### (4) 管理運営組織

職名	設置時	変更状況	備考
事前伺いのため該当なし			

- (注) ・「変更状況」は、変更があった場合に記入し、併せて「備考」に変更の理由と変更年月日、報告年度を( )書きで記入してください。
- (例) 平成26年度に報告済の内容 → (26)  
平成28年度に報告する内容 → (28)
- ・昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更があれば、「変更状況」に赤字にて記載(昨年度までに報告された記載があれば、そこに赤字で見え消し修正)するとともに、上記と同様に、「備考」に変更理由等を記入してください。
  - ・大学院の場合には、「職名」を「研究科長」等と修正して記入してください。
  - ・「事前伺い」により設置された学部等については、本項目を記載する必要はありません。

(5) 調査対象研究科等の名称, 定員, 入学者の状況等

- (注) ・ 当該調査対象の学部の学科または研究科の専攻等, 定員を定めている組織ごとに記入してください。  
 (入試区分ごとではありません)。  
 ・ 様式は, 平成26年度開設の博士後期課程の場合(平成28年度までの3年間)ですが, 開設年度・  
 修業年限に合わせて作成してください。(修業年限が2年以下の場合には欄を削除し, 4年以上の場合  
 には, 欄を設けてください。)

(5) - ① 調査対象研究科等の名称, 定員

調査対象研究科等の名称(学位)	設置時の計画			備考
	修業年限	入学定員	収容定員	
創成科学研究科 物質工学系専攻 (博士後期課程)  博士(工学) 博士(学術)	3年	8人	24人	基礎となる学部等  工学部

- (注) ・ 「備考」に基礎となる学部等の名称を記入してください。  
 ・ 定員を変更した場合は, 「備考」に変更前の人数, 変更年月及び報告年度を( )書きで記入してください。  
 ・ 学生募集停止を予定している場合は, 「備考」にその旨記載してください。

(5) - ② 調査対象研究科等の入学者の状況

区分	報告年度		平成28年度		平成29年度		平成30年度		平均入学定員 超過率	備考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期		
A 入学定員	8 (-) [ ]								0.12倍	
志願者数	1 (-) [ ]									
受験者数	1 (-) [ ]									
合格者数	1 (-) [ ]									
B 入学者数	1 (-) [ ]									
入学定員超過率 B/A	0.12									

- (注) ・ 数字は, 平成28年5月1日現在の数字を記入してください。  
 ・ ( ) 内には, 社会人の状況について内数で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。  
 ・ 「社会人」については, 設置計画書において貴学が定める社会人の定義に従って記入してください。  
 ・ [ ] 内には, 留学生の状況について内数で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。  
 ・ 留学生については, 「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格(いわゆる「留学ビザ」)により, 我が国の大学(大学院を含む), 短期大学, 高等専門学校, 専修学校(専門課程)及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。  
 ・ 短期交換留学生など, 定員内に含めていない学生については記入しないでください。  
 ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は, 春季入学とその他の学期(春季入学以外の学期区分を設けている場合)に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は, その他の学期欄は「-」を記入してください。また, その他の学期に入学定員を設けている場合は, 備考欄にその人数を記入してください。  
 ・ 「入学定員超過率」については, 各年度の春季入学とその他を合計した入学定員, 入学者数で算出してください。なお, 計算の際は小数点以下第3位を切り捨て, 小数点以下第2位まで記入してください。  
 ・ 「平均入学定員超過率」には, 開設年度から提出年度までの入学定員超過率の平均を記入してください。なお, 計算の際は「入学定員超過率」と同様にしてください。

(5) - ③ 調査対象研究科等の在学者の状況

学 年	報告年度		平成28年度		平成29年度		平成30年度		備 考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	
1年次	[ - ] ( - ) 1	[ ] ( )	[ ] ( )	[ ] ( )	[ ] ( )	[ ] ( )	[ ] ( )	[ ] ( )	
2年次	/		[ ] ( )	[ ] ( )	[ ] ( )	[ ] ( )	[ ] ( )	[ ] ( )	
3年次			/		[ ] ( )	[ ] ( )	[ ] ( )	[ ] ( )	[ ] ( )
計	[ ] ( - ) 1	[ ] ( )			[ ] ( )	[ ] ( )	[ ] ( )	[ ] ( )	[ ] ( )

- (注) ・ 数字は、平成28年5月1日現在の数字を記入してください。
- ・ [ ]内には、留学生の状況について内数で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。
  - ・ 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格（いわゆる「留学ビザ」）により、我が国の大学（大学院を含む。）、短期大学、高等専門学校、専修学校（専門課程）及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
  - ・ 短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。
  - ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期（春季入学以外の学期区分を設けている場合）に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「-」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
  - ・ 「計」については、**各年度の春季入学とその他の学期を合計した在学者数、留学生数**を記入してください。
  - ・ ( )内には、**留年者の状況**について、内数で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。

(5) -④ 調査対象学部等の退学者等の状況

区分 対象年度	入学者数(b)	退学者数(a)	退学者数(内訳)			主な退学理由	入学者数に 対する退学者数 の割合 (a/b)
			退学した年度	退学者数	退学者数の うち留学生数		
平成28年度 入学者	1人	0人	平成28年度	人	人		0%
			平成29年度	人	人		
			平成30年度	人	人		
平成29年度 入学者	人	0人	平成29年度	人	人		#DIV/0!%
			平成30年度	人	人		
平成30年度 入学者	人	0人	平成30年度	人	人		#DIV/0!%
合計	1人	0人					0%

(注)・数字は、平成28年5月1日現在の数字を記入してください。

- ・各年度の入学者数については、該当年度当初に入学した人数を記入してください。(途中で退学者がいた場合でも、その退学者数を減らす必要はありません。)
- ・各年度の退学者数については、退学年度ごとに記入してください。また、留学生数欄の人数については、退学者数の内数を記入してください。
- ・留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格(いわゆる「留学ビザ」)により、我が国の大学(大学院を含む。)、短期大学、高等専門学校、専修学校(専門課程)及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記入してください。
- ・短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。
- ・「入学者数に対する退学者数の割合」は、【当該対象年度の入学者のうち、平成28年5月1日現在までに退学した学生数の合計】を、【当該対象年度の入学者数】で除した割合(%)を記入してください。その際、小数点以下第2位を四捨五入し、小数点以下第1位までを記入してください。
- ・「主な退学理由」は、下の項目を参考に記入してください。その際、「就学意欲の低下(○人)」というように、その人数も含めて記入してください。  
 (記入項目例)・就学意欲の低下    ・学力不足    ・他の教育機関への入学・転学    ・海外留学  
                   ・就職    ・学生個人の心身に関する事情    ・家庭の事情    ・除籍    ・その他

## 2 授業科目の概要

<創成科学研究科 物質工学系専攻（博士後期課程）>

### (1) 授業科目表

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					備考	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
研究科共通科目	【研究基盤科目】											
	研究者行動規範特論	1前	1			1						兼2
	知的財産特論	1後	1			1						兼2
	サイエンティフィック・ライティング	1前		1		1						兼2
	プレゼンテーション特論	1後		1		1						兼2
	【イノベーション教育科目】											
	リサーチメソドロジー特論	1・2前		2		1						兼1
	イノベーション特論	1・2前		2		1						兼1
	技術ロードマッピング特論	1・2後		2		1						兼1
	製品開発特論	1・2後		2		1						兼1
【キャリア教育科目】												
キャリアデザインⅡ	1前		2		+						兼14	
学外特別研修Ⅱ	1・2・3前・後		1~4		1						兼2	
長期インターンシップⅡ	1・2・3前・後		6		1							
専攻基盤科目	最先端自然科学研究科目	1~3通	2			1						
	物質工学特別講義	1前		2		8	7					オムニバス
	科学・技術英語特論S	1後		2								兼1
	応用解析学特論	1・2前・後		2								兼2
	数理工学特論	1・2前・後		2								兼2
	応用数理科学特論	1・2前・後		2								兼2
	システム・デザイン工学ゼミナールⅠ	1・2前		2		17	17	1	6			
システム・デザイン工学ゼミナールⅡ	1・2後		2		17	17	1	6				
専門科目	励起子工学特論	1・2前		2		1						
	発光デバイス工学特論	1・2後		2		1			1			オムニバス
	グリーン・イノベーション特論	1・2前		2		1						
	磁気共鳴特論	1・2後		2			1					
	超伝導デバイス工学特論	1・2前		2		1						
	超伝導物性特論	1・2後		2			1					
	セラミックスデバイス工学特論	1・2前		2		1						
	物性工学特論	1・2後		2			1					
	電子構造物性特論	1・2前		2			1					
	固体物性シミュレーション特論	1・2後		2		1						
	量子物性学特論	1・2前		2			1					
	計算科学特論	1・2後		2			1					
	メタマテリアル特論	1・2前		2		1						
	プラズマ材料工学特論	1・2後		2			1					
	イオン性プラズマ物性特論	1・2前		2		1	+					担当教員昇任に伴う変更(28)
	プラズマシミュレーション学特論	1・2後		2		1						
	エネルギー変換材料工学特論	1・2前		2		1						
	電子機能材料工学特論	1・2後		2			1					
	結晶合成工学特論	1・2前		2		1						
	結晶物性工学特論	1・2後		2			1					
有機電子・光材料化学特論	1・2前		2		1	1					オムニバス	
セラミックス工学特論	1・2後		2			1						

触媒反応特論	1・2前	2	1	+					教育効果充実のため、担当教員及び授業形式を変更(28) オムニバス
精密重合特論	1・2後	2	1						
電子化学反応特論	1・2前	2	1						
電解質溶液化学特論	1・2後	2			1				
合成経路設計特論	1・2前	2	+	1					担当教員の退職による担当教員及び授業形式の変更(28) オムニバス
有機合成化学特論	1・2後	2			1				
物質反応化学特論	1・2前	2	1						
物質構造化学特論	1・2後	2	1	+					担当教員の昇任に伴う変更(28)
機能性ソフトマテリアル工学特論	1・2前	2	1						

- (注) ・ 設置計画書の様式第2号(その2の1)に準じて作成してください。
- ・ 設置時の授業科目全て(兼任、兼担教員が担当する科目を含む。)を黒字で記載してください。その上で、前年度報告時(平成28年度に設置された大学等は設置時)より変更されているものは赤字で見え消し修正し、「備考」に赤字で理由・変更年月等を記入してください。
  - ・ なお、昨年度の報告書において赤字で見え消しした部分については、見え消しのまま黒字にしてください。
  - ・ 兼任、兼担の教員が担当する授業科目については、備考欄に担当する教員数を「兼○」と記入してください。
  - ・ 授業科目を追加又は内容を変更する場合で、専任教員が担当するため教員審査が必要なものについては、「専任教員採用等設置計画変更書」の審査予定年月等を「備考」に記入してください。(今後審査を受ける場合には、「平成○年○月 提出予定」と記入してください。)
  - ・ 「配当年次」について、設置計画時に開講時期を記入する必要がなかった学部等(平成19年度設置以前)についても、設置時の状況を黒字で記入してください。また、前年度報告時より修正があれば、赤字で見え消し修正をしてください。
  - ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目についても記入してください。

## (2) 授業科目数

設置時の計画				変更状況				備考
必修	選択	自由	計	必修	選択	自由	計	
科目	科目	科目	科目	科目	科目	科目	科目	
3	47		50	3	47		50	
				[ ]	[ ]	[ ]	[ ]	

- (注) ・ 未開講科目も含めた教育課程上の授業科目数を記入するとともに、[ ]内に、設置時の計画からの増減を記入してください。(記入例：1科目減の場合：△1)
- ・ 資格に関する課程など、別課程としている授業科目については算入する必要はありません。



(3) 未開講科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	未開講の理由, 代替措置の有無
1	該当なし					
2						
3						

- (注) ・ 設置時の計画にあった授業科目が配当年次に達しているにも関わらず、何らかの理由で未開講となっている授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
- ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目については、記入しないでください。
  - ・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」と修正して記入してください。

(4) 廃止科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	廃止の理由, 代替措置の有無
1	該当なし					
2						
3						

- (注) ・ 設置時の計画にあり、何らかの理由で廃止（教育課程から削除）した授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
- ・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」と修正して記入してください。

(5) 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

該当なし
------

- (注) ・ 授業科目を未開講又は廃止としたことによる学生の履修への影響に関する「大学の所見」及び「学生への周知方法」を記入してください。

(6) 「設置時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

$$\frac{\text{未開講科目と廃止科目の計}}{\text{設置時の計画の授業科目数の計}} = \text{該当なし}$$

- (注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位までを記入してください。

### 3 施設・設備の整備状況, 経費

区分	内容	備考
(1) 校地等	<p>事前伺いのため該当なし</p>	
(2)		
(3)		
(4)		
(5) 図書・設備		
(6)		
(7)		
(8) 経費 積り 維持 の 概 要		
学生納付金以外の維持方法の概要		

- (注) ・ 設置時の計画を, 設置計画書の様式第2号(その1の1)に準じて作成してください。(複数のキャンパスに分かれている場合, 複数の様式に分ける必要はありません。なお, 「(1)校地等」及び「(2)校舎」は大学全体の数字を, その他の項目は AC対象学部等の数値を記入してください。)
- ・ 運動場用地が校舎敷地と別地にある場合は, その旨(所要時間・距離等)を「備考」に記入してください。
  - ・ 「(5)図書・設備」については, 上段に完成年度の予定数値を, 下段には平成28年5月1日現在の数値を記入してください。
  - ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更のあったものについては, 変更部分を赤字で見え消し修正するとともに, その理由及び報告年度「(28)」を「備考」に赤字で記入してください。  
 なお, 昨年度の報告において赤字で見え消した部分については, 見え消しのまま黒字にしてください。
  - ・ 「事前伺い」により設置された学部等については, 本項目を記載する必要はありません。

#### 4 既設大学等の状況

大学の名称	山 口 大 学						備 考		
既設学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学員定員	収容定員	学位又は称号	平均入学定員超過率	開 設 年 度	所 在 地	
	年	人	年次人	人		倍			
人文学部								山口県山口市吉田1677番地 1	
人文学科	4	185	-	740	学士（文学）	1.00	平成28年度		
人文社会学科	4	-	-	-	学士（文学）	-	平成5年度		平成28年度より学生募集停止
言語文化学科	4	-	-	-	学士（文学）	-	平成5年度		平成28年度より学生募集停止
教育学部								山口県山口市吉田1677番地 1	
学校教育教員養成課程	4	180	-	620	学士（教育学）	1.04	平成10年度		
実践臨床教育課程	4	-	-	-	学士（教育学）	-	平成10年度		平成27年度より学生募集停止
情報科学教育課程	4	-	-	-	学士（教育学）	-	平成10年度		平成27年度より学生募集停止
健康科学教育課程	4	-	-	-	学士（教育学）	-	平成10年度		平成27年度より学生募集停止
総合文化教育課程	4	-	-	-	学士（教育学）	-	平成元年度		平成27年度より学生募集停止
経済学部						1.03		山口県山口市吉田1677番地 1	
経済学科	4	130	-	440	学士（経済学）	-	昭和24年度		
経営学科	4	165	-	590	学士（経済学）	-	昭和24年度		
国際経済学科	4	-	-	-	学士（経済学）	-	昭和52年度		平成27年度より学生募集停止
経済法学科	4	-	-	-	学士（法学）	-	昭和55年度		平成27年度より学生募集停止
観光政策学科	4	50	-	160	学士（経済学）	-	平成17年度		
商業教員養成課程	4	-	-	-	学士（経済学）	-	昭和29年度		平成27年度より学生募集停止
理学部								山口県山口市吉田1677番地 1	
数理科学科	4	50	-	200	学士（理学）	1.05	平成7年度		
物理・情報科学科	4	60	-	240	学士（理学）	1.02	平成18年度		
生物・化学科	4	80	-	320	学士（理学）	1.01	平成18年度		
地球圏システム科学科	4	30	-	120	学士（理学）	1.05	平成18年度		
医学部								山口県宇部市南小串1丁目1番1号	
医学科	6	107	2年次 10	692	学士（医学）	1.00	昭和39年度		
保健学科	4	120	3年次 15	510	学士（看護学、保健学）	1.03	平成12年度		
工学部								山口県宇部市常盤台2丁目16番1号	
機械工学科	4	90	3年次 5	370	学士（工学）	1.03	平成2年度		
社会建設工学科	4	80	-	320	学士（工学）	1.03	平成2年度		
応用化学科	4	90	-	360	学士（工学）	1.04	平成19年度		
電気電子工学科	4	80	3年次 5	330	学士（工学）	1.03	平成2年度		
知能情報工学科	4	80	3年次 10	340	学士（工学）	1.03	平成19年度		
感性デザイン工学科	4	55	-	220	学士（工学）	1.05	平成8年度		
循環環境工学科	4	55	-	220	学士（工学）	1.05	平成19年度		
農学部								山口県山口市吉田1677番地 1	
生物資源環境科学科	4	50	-	200	学士（農学）	1.03	平成13年度		
生物機能科学科	4	50	-	200	学士（農学）	1.01	平成13年度		
獣医学科	6	-	-	-	学士（獣医学）	-	昭和24年度		平成24年度より学生募集停止
共同獣医学部								山口県山口市吉田1677番地 1	
獣医学科	6	30	-	150	学士（獣医学）	1.01	平成24年度		
国際総合科学部								山口県山口市吉田1677番地 1	
国際総合科学科	4	100	-	200	学士（学術）	1.04	平成27年度		

人文科学研究科							山口県山口市吉田1677番地 1	
人文科学専攻	2	8	-	8	修士(文学)	0.25	平成28年度	
地域文化専攻	2	-	-	-	修士(文学)	-	昭和60年度	平成28年度より学生募集停止
言語文化専攻	2	-	-	-	修士(文学)	-	昭和60年度	平成28年度より学生募集停止
教育学研究科							山口県山口市吉田1677番地 1	
学校教育専攻	2	10	-	23	修士(教育学)	1.10	平成3年度	
教科教育専攻	2	17	-	45	修士(教育学)	1.05	平成3年度	
教職実践高度化専攻	2	14	-	14	教職修士(専門職)	1.07	平成28年度	
経済学研究科							山口県山口市吉田1677番地 1	
経済学専攻	2	16	-	32	修士(経済学)	0.24	昭和50年度	
企業経営専攻	2	10	-	20	修士(経済学)	0.50	平成7年度	
医学系研究科(医学博士)							山口県宇部市南小串1丁目1番1号	
医学専攻	4	33	-	33	博士(医学)	1.09	平成28年度	
システム統御医学系専攻	4	-	-	-	博士(医学)	-	平成18年度	平成28年度より学生募集停止
情報解析医学系専攻	4	-	-	-	博士(医学)	-	平成18年度	平成28年度より学生募集停止
医学系研究科(博士前期)							山口県宇部市南小串1丁目1番1号	
応用医工学系専攻	2	-	-	-	修士(医工学)	-	平成13年度	平成28年度より学生募集停止
応用分子生命科学系専攻	2	-	-	-	修士(生命科学、学術)	-	平成18年度	平成28年度より学生募集停止
保健学専攻	2	12	-	24	修士(保健学)	1.37	平成17年度	
医学系研究科(博士後期)							山口県宇部市南小串1丁目1番1号	
応用医工学系専攻	3	-	-	-	博士(医工学)	-	平成13年度	平成28年度より学生募集停止
応用分子生命科学系専攻	3	-	-	-	博士(生命科学、学術)	-	平成18年度	平成28年度より学生募集停止
保健学専攻	3	5	-	15	博士(保健学)	0.80	平成19年度	
創成科学研究科(博士前期)							山口県山口市吉田1677番地 1	
基盤科学系専攻	2	38	-	38	修士(理学)	0.92	平成28年度	山口県宇部市常盤台2丁目16番1号
地球圏生物物質科学系専攻	2	42	-	42	修士(理学)	0.80	平成28年度	
化学系専攻	2	83	-	83	修士(工学、学術)	0.87	平成28年度	
電気電子情報系専攻	2	107	-	107	修士(工学)	1.00	平成28年度	
機械工学系専攻	2	60	-	60	修士(工学)	1.01	平成28年度	
建設環境系専攻	2	74	-	74	修士(工学、学術)	0.74	平成28年度	
農学系専攻	2	42	-	42	修士(農学、生命科学)	0.71	平成28年度	
創成科学研究科(博士後期)							山口県山口市吉田1677番地 1	
自然科学系専攻	3	7	-	7	博士(理学、学術)	0.28	平成28年度	山口県宇部市常盤台2丁目16番1号
物質工学系専攻	3	8	-	8	博士(工学、学術)	0.12	平成28年度	
システム・デザイン工学系専攻	3	10	-	10	博士(工学、学術)	0.70	平成28年度	
環境共生系専攻	3	12	-	12	博士(工学、学術)	0.66	平成28年度	
ライフサイエンス系専攻	3	7	-	7	博士(工学、学術)	0.85	平成28年度	
理工学研究科(博士前期)							山口県山口市吉田1677番地 1	平成28年度より学生募集停止
数理科学専攻	2	-	-	-	修士(理学)	-	平成9年度	山口県宇部市常盤台2丁目16番1号
物理・情報科学専攻	2	-	-	-	修士(理学)	-	平成18年度	
地球科学専攻	2	-	-	-	修士(理学)	-	平成18年度	
機械工学専攻	2	-	-	-	修士(工学)	-	昭和41年度	
社会建設工学専攻	2	-	-	-	修士(工学)	-	平成9年度	
物質化学専攻	2	-	-	-	修士(工学)	-	平成18年度	
電子デバイス工学専攻	2	-	-	-	修士(工学)	-	平成18年度	
電子情報システム工学専攻	2	-	-	-	修士(工学)	-	平成18年度	
感性デザイン工学専攻	2	-	-	-	修士(工学)	-	平成12年度	
環境共生系専攻	2	-	-	-	修士(工学、理学)	-	平成18年度	

理工学研究科（博士後期）								山口県山口市吉田1677番地1	平成28年度より学生募集停止
自然科学基盤系専攻	3	-	-	-	博士（理学、工学、学術）	-	平成18年度	山口県宇部市常盤台2丁目16番1号	
システム設計工学系専攻	3	-	-	-	博士（工学、学術）	-	平成18年度		
物質工学系専攻	3	-	-	-	博士（工学、学術）	-	平成18年度		
情報・デザイン工学系専攻	3	-	-	-	博士（工学、学術）	-	平成18年度		
環境共生系専攻	3	-	-	-	博士（工学、理学、学術）	-	平成18年度		
農学研究科								山口県山口市吉田1677番地1	平成28年度より学生募集停止
生物資源科学専攻	2	-	-	-	修士（農学）	-	平成7年度		
東アジア研究科								山口県山口市吉田1677番地1	
東アジア専攻	3	10	-	30	博士（学術）	1.26	平成13年度		
技術経営研究科								山口県宇部市常盤台2丁目16番1号	
技術経営専攻	2	15	-	30	技術経営修士（専門職）	1.10	平成17年度		
連合獣医学研究科								【山口大学】	
獣医学専攻	4	12	-	48	博士（獣医学）	1.56	平成2年度	山口県山口市吉田1677番地1	
								【鳥取大学】	
								鳥取県鳥取市湖山町南4丁目101	
								【鹿児島大学】	
								鹿児島県鹿児島市都元1丁目21番24号	

- (注) ・ 本調査の対象となっている大学等の設置者（国立大学法人）が設置している全ての大学（学部、学科）及び大学院（専攻）（AC対象学部等含む）について、それぞれの学校種ごとに、平成28年5月1日現在の上記項目の情報を記入してください。
- ・ 学部の学科または研究科の専攻等、「入学定員を定めている組織」ごとに記入してください。
  - ※「入学定員を定めている組織ごと」には、課程認定等によりコース・専攻に入学定員を定めている場合を含めず、履修上の区分としてコース・専攻を設けている場合は含めません。
  - ※なお、課程認定等によりコースや専攻に入学定員を定めている場合は、法令上規定されている組織上の最小単位（大学であれば「学科」、短期大学であれば「専攻課程」）でも記載してください。
  - ・ 専攻科に係るものについては、記入する必要はありません。
  - ・ AC対象学部等についても必ず記入してください。
  - ・ 「平均入学定員超過率」には、標準修業年限に相当する期間における入学定員に対する入学者の割合の平均の小数点以下第2位まで（小数点以下第3位を切り捨て）を記入してください。
  - ・ 学生募集を停止している学部等がある場合、入学定員・収容定員・平均入学定員超過率は「-」とし、「備考」に「平成〇〇年より学生募集停止」と記入してください。

5 教員組織の状況

<創成科学研究科 物質工学系専攻（博士後期課程）>

(1) 担当教員表

事前伺いのため該当なし									
-------------	--	--	--	--	--	--	--	--	--

- (注) ・ 設置計画書の様式第3号（その2の1）に準じて作成してください。  
 なお、当該設置に係る研究科等に所属しない教員であって、全学共通、学部共通などの授業科目を担当する教員組織に所属している場合は、（〇〇研究科 〇〇専攻（〇〇課程））の箇所を「共通」とし、表を分けて作成してください。
- ・ 後任が決まっていない場合には、「後任未定」と記入してください。
  - ・ 辞任者は「備考」に退職年月、氏名、理由を記入してください。
  - ・ 年齢は、「**設置時の計画**」には**当該学部等の就任時における満年齢**を、「**変更状況**」には**平成28年5月1日現在の満年齢**を記入してください。
  - ・ 教員を学年進行中に変更した又は変更する予定の場合（「新規採用」、「担当授業科目の変更」又は「昇格」をいう。）は、変更後の状況を記入するとともに、その理由、後任者が決まっていない場合は、「変更状況」の「氏名」に「後任未定」と記入し、及び今後の採用計画を「備考」に記入してください。
  - ・ **意見伺いで設置された学部等の専任教員を変更する場合は**、当該専任教員が授業を開始する前に必ず「専任教員採用等設置計画変更書」を提出し、大学設置・学校法人審議会による教員資格審査（AC教員審査）を受けてください。**AC教員審査を受けずに専任教員として授業等を担当することは出来ません。**
  - ・ 「専任教員採用等変更書（AC）」を提出し「可」の教員判定を受けている場合は「〇年〇月教員審査済」、変更書を提出予定の場合は「〇年〇月変更書提出予定」と記入してください。  
 なお、設置審査時に教員審査省略となっている場合は、「備考」に「（教員審査省略）」及びその変更の理由、変更年度（ ）書き等のみを記入してください。
  - ・ **「事前伺い」により設置された学部等については、本項目を記載する必要はありません。**

(2) 専任教員数等

(2)-① 専任教員数

設置時の計画					現在（報告書提出時）の状況					現在（報告書提出時）の完成年度時の計画				
教授	准教授	講師	助教	計	教授	准教授	講師	助教	計(A)	教授	准教授	講師	助教	計(B)
17	17	0	6	40	17	14	1	6	38	17	14	1	6	38
(17)	(14)	(1)	(6)	(38)						[ 0 ]	[ Δ3 ]	[ 1 ]	[ 0 ]	[ Δ2 ]
研究指導教員数	研究指導補助教員数	講義のみ担当の教員数			研究指導教員数	研究指導補助教員数	講義のみ担当の教員数			研究指導教員数	研究指導補助教員数	講義のみ担当の教員数		
34	6	0			32	6	0			32	6	0		
(32)	(6)	(0)								[ Δ2 ]	[ 0 ]	[ 0 ]		

- (注) ・ 「設置時の計画」には、設置時に予定されていた完成年度時の人数を記入するとともに、（ ）内に開設時の状況を記入してください。  
 ・ 「現在（報告書提出時）の状況」には、報告書提出年度の5月1日の教員数（実人数）を記入してください。  
 ・ 「現在（報告書提出時）の完成年度時の計画」には、報告書提出年度の5月1日現在、完成年度時に計画している教員数を記入するとともに、[ ]内に設置時の計画との増減数を記入してください。（記入例：1名減の場合：Δ1）

(2)-② 年齢構成

年齢構成		
定年規定の定める定年年齢（歳）	報告書提出時（上記(A)）の教員のうち、定年を延長して採用している教員数	完成年度時（上記(B)）の教員のうち、定年を延長して採用する教員数
65	0	0

- (注) ・ 「年齢構成」には、当該学部における教員の定年に関する規定に基づく定年年齢（特例等による定年年齢ではありません）、および、平成28年5月1日現在、定年に関する規定に基づく特例等により定年を超えて専任教員として採用されている教員数および完成年度時に定年を超えて専任教員として採用する教員数を記入してください。  
 ・ なお、職位等によって定年年齢が異なる場合には、職位ごとの定年年齢を「定年規定の定める定年年齢」に二段書きで記入し、「定年を延長している教員数」には合算した数を記入してください。  
 ・ 専門職大学院の場合は、「研究指導教員」を「研究者教員」と、「研究指導補助教員」を「実務家教員」と修正して記入してください。

## 6 留意事項等に対する履行状況等

区 分	留 意 事 項 等	履 行 状 況	未履行事項について の実施計画
設 計	<p>事前伺いのため該当なし</p>		
設 計			
設 計			

- (注) ・ 「設置時」には、当該大学等の設置時に付された留意事項と、それに対する履行状況等について、具体的に記入し、報告年度を（ ）書きで付記してください。
- ・ 「設置計画履行状況調査時」には、当該設置計画履行状況調査の結果、付された意見に対する履行状況等について、具体的に記入するとともに、その履行状況等を裏付ける資料があれば、添付してください。
  - ・ 定員管理に係る留意事項への履行状況は、指摘を受けた学科等についてのみ記入してください。
  - ・ 該当がない場合には、「該当なし」と記入してください。
  - ・ 「事前伺い」により設置された学部等については、本項目を記載する必要はありません。

## 7 その他全般的事項

<創成科学研究科 物質工学系専攻（博士後期課程）>

### (1) 設置計画変更事項等

設置時の計画	変更内容・状況, 今後の見通しなど
<p>記 ①</p> <p>②</p> <h1>事前伺いのため該当なし</h1> <p>冊</p>	

- (注) ・ 1～6の項目に記入した事項以外で、設置時の計画より変更のあったもの（未実施を含む。）及び法令適合性に関して生じた留意すべき事項について記入してください。
- ・ 設置時の「設置の趣旨等を記載した書類」の項目に沿って作成し、それ以外の事柄については適宜項目を設けてください。（記入例参照）
  - ・ 「事前伺い」により設置された学部等については、当該項目を記載する必要はありません。

### (2) 教員の資質の維持向上の方策（FD活動含む）

<p>① 実施体制</p> <p>②</p> <p>③</p> <h1>事前伺いのため該当なし</h1>
--

- (注) ・ 「①a 委員会の設置状況」には、関係規程等を転載又は添付すること。
- 「②実施状況」には、実施されている取組を全て記載すること。（記入例参照）
- ・ 「事前伺い」により設置された学部等については、本項目を記載する必要はありません。



(3) 自己点検・評価等に関する事項

① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見

②

事前伺いのため該当なし

③

- (注) ・ 設置時の計画の変更（又は未実施）の有無に関わらず記入してください。  
また、「① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見」については、できるだけ具体的な根拠を含めて記入してください。  
なお、「② 自己点検・評価報告書」については、当該調査対象の組織に関する評価内容を含む報告書について記入してください。  
・ 「事前伺い」により設置された学部等については、本項目を記載する必要はありません。

(4) 情報公表に関する事項

○ 設置計画履行状況報告書

a ホームページに公表の有無 (  有 ・  無 )

b 公表時期（未公表の場合は予定時期） ( 28 年 9 月 1 日 )

## 1 調査対象大学等の概要等

### (1) 設置者

国立大学法人 山口大学

### (2) 大学名

山口大学

### (3) 大学の位置

〒753-8511  
山口県山口市吉田1677-1

〒755-8611  
山口県宇部市常盤台2丁目16番1号

- (注) ・対象学部等の位置が大学本部の位置と異なる場合、本部の位置を( )書きで記入してください。  
・対象学部等が複数のキャンパスに所在する場合には、複数のキャンパスの所在地をそれぞれ記載してください。

### (4) 管理運営組織

職名	設置時	変更状況	備考
事前伺いのため該当なし			

- (注) ・「変更状況」は、変更があった場合に記入し、併せて「備考」に変更の理由と変更年月日、報告年度を( )書きで記入してください。
- (例) 平成26年度に報告済の内容 → (26)  
平成28年度に報告する内容 → (28)
- ・昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更があれば、「変更状況」に赤字にて記載(昨年度までに報告された記載があれば、そこに赤字で見え消し修正)するとともに、上記と同様に、「備考」に変更理由等を記入してください。
  - ・大学院の場合には、「職名」を「研究科長」等と修正して記入してください。
  - ・「事前伺い」により設置された学部等については、本項目を記載する必要はありません。

(5) 調査対象研究科等の名称, 定員, 入学者の状況等

- (注) ・ 当該調査対象の学部の学科または研究科の専攻等, 定員を定めている組織ごとに記入してください。  
 (入試区分ごとではありません)。  
 ・ 様式は, 平成26年度開設の博士後期課程の場合(平成28年度までの3年間)ですが, 開設年度・  
 修業年限に合わせて作成してください。(修業年限が2年以下の場合には欄を削除し, 4年以上の場合  
 には, 欄を設けてください。)

(5) - ① 調査対象研究科等の名称, 定員

調査対象研究科等の 名称(学位)	設置時の計画			備 考
	修業年限	入学定員	収容定員	
創成科学研究科 システム・デザイン工学系専攻 (博士後期課程)  博士(工学) 博士(学術)	3 年	10 人	30 人	基礎となる学部等  工学部

- (注) ・ 「備考」に基礎となる学部等の名称を記入してください。  
 ・ 定員を変更した場合は, 「備考」に変更前の人数, 変更年月及び報告年度を( )書きで記入してください。  
 ・ 学生募集停止を予定している場合は, 「備考」にその旨記載してください。

(5) - ② 調査対象研究科等の入学者の状況

報告年度 区分	平成28年度		平成29年度		平成30年度		平均入学定員 超過率	備 考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期		
A 入学定員	10 ( - ) [ ]						0.70倍	
志願者数	8 (4) [-]	( ) [ ]	( ) [ ]	( ) [ ]	( ) [ ]	( ) [ ]		
受験者数	7 (4) [-]	( ) [ ]	( ) [ ]	( ) [ ]	( ) [ ]	( ) [ ]		
合格者数	7 (4) [-]	( ) [ ]	( ) [ ]	( ) [ ]	( ) [ ]	( ) [ ]		
B 入学者数	7 (4) [-]	( ) [ ]	( ) [ ]	( ) [ ]	( ) [ ]	( ) [ ]		
入学定員超過率 B/A	0.70							

- (注) ・ 数字は, 平成28年5月1日現在の数字を記入してください。  
 ・ ( ) 内には, 社会人の状況について**内数**で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。  
 ・ 「社会人」については, 設置計画書において貴学が定める社会人の定義に従って記入してください。  
 ・ [ ] 内には, 留学生の状況について**内数**で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。  
 ・ 留学生については, 「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格(いわゆる「留学ビザ」)により, 我が国の大学(大学院を含む), 短期大学, 高等専門学校, 専修学校(専門課程)及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。  
 ・ 短期交換留学生など, 定員内に含めていない学生については記入しないでください。  
 ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は, 春季入学とその他の学期(春季入学以外の学期区分を設けている場合)に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は, その他の学期欄は「-」を記入してください。また, その他の学期に入学定員を設けている場合は, 備考欄にその人数を記入してください。  
 ・ 「入学定員超過率」については, **各年度の春季入学とその他を合計した入学定員, 入学者数で算出**してください。なお, 計算の際は小数点以下第3位を切り捨て, 小数点以下第2位まで記入してください。  
 ・ 「平均入学定員超過率」には, 開設年度から提出年度までの入学定員超過率の平均を記入してください。なお, 計算の際は「入学定員超過率」と同様にしてください。

(5) - ③ 調査対象研究科等の在学者の状況

学 年	報告年度		平成28年度		平成29年度		平成30年度		備 考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	
1年次	[4] (-) 7	[ ] ( )	[ ] ( )	[ ] ( )	[ ] ( )	[ ] ( )	[ ] ( )	[ ] ( )	
2年次	/		[ ] ( )	[ ] ( )	[ ] ( )	[ ] ( )	[ ] ( )	[ ] ( )	
3年次			/		[ ] ( )	[ ] ( )	[ ] ( )	[ ] ( )	[ ] ( )
計	[ 4 ] ( - ) 7	[ ] ( )			[ ] ( )	[ ] ( )	[ ] ( )	[ ] ( )	[ ] ( )

- (注) ・ 数字は、平成28年5月1日現在の数字を記入してください。
- ・ [ ]内には、留学生の状況について内数で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。
  - ・ 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格（いわゆる「留学ビザ」）により、我が国の大学（大学院を含む。）、短期大学、高等専門学校、専修学校（専門課程）及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
  - ・ 短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。
  - ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期（春季入学以外の学期区分を設けている場合）に分けて数値を記入してください。春季入学の実施の場合は、その他の学期欄は「-」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
  - ・ 「計」については、**各年度の春季入学とその他の学期を合計した在学者数、留学生数**を記入してください。
  - ・ ( )内には、**留年者の状況**について、内数で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。

(5) -④ 調査対象学部等の退学者等の状況

区分 対象年度	入学者数(b)	退学者数(a)	退学者数(内訳)			主な退学理由	入学者数に 対する退学者数 の割合 (a/b)
			退学した年度	退学者数	退学者数の うち留学生数		
平成28年度 入学者	7人	0人	平成28年度	人	人		0%
			平成29年度	人	人		
			平成30年度	人	人		
平成29年度 入学者	人	0人	平成29年度	人	人		#DIV/0!%
			平成30年度	人	人		
平成30年度 入学者	人	0人	平成30年度	人	人		#DIV/0!%
合計	7人	0人					0%

(注)・数字は、平成28年5月1日現在の数字を記入してください。

- ・各年度の入学者数については、該当年度当初に入学した人数を記入してください。(途中で退学者がいた場合でも、その退学者数を減らす必要はありません。)
- ・各年度の退学者数については、退学年度ごとに記入してください。また、留学生数欄の人数については、退学者数の内数を記入してください。
- ・留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格(いわゆる「留学ビザ」)により、我が国の大学(大学院を含む。)、短期大学、高等専門学校、専修学校(専門課程)及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記入してください。
- ・短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。
- ・「入学者数に対する退学者数の割合」は、【当該対象年度の入学者のうち、平成28年5月1日現在までに退学した学生数の合計】を、【当該対象年度の入学者数】で除した割合(%)を記入してください。その際、小数点以下第2位を四捨五入し、小数点以下第1位までを記入してください。
- ・「主な退学理由」は、下の項目を参考に記入してください。その際、「就学意欲の低下(○人)」というように、その人数も含めて記入してください。  
 (記入項目例)・就学意欲の低下    ・学力不足    ・他の教育機関への入学・転学    ・海外留学  
                   ・就職    ・学生個人の心身に関する事情    ・家庭の事情    ・除籍    ・その他

## 2 授業科目の概要

<創成科学研究科 システム・デザイン工学系専攻（博士後期課程）>

### (1) 授業科目表

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					備考	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
研究科共通科目	【研究基盤科目】											
	研究者行動規範特論	1前	1			1						兼2
	知的財産特論	1後	1			1						兼2
	サイエンティフィック・ライティング	1前		1		1						兼2
	プレゼンテーション特論	1後		1		1						兼2
	【イノベーション教育科目】											
	リサーチメソドロジー特論	1・2前		2		1						兼1
	イノベーション特論	1・2前		2		1						兼1
	技術ロードマッピング特論	1・2後		2		1						兼1
	製品開発特論	1・2後		2		1						兼1
【キャリア教育科目】												
キャリアデザインⅡ	1前		2		1						兼14	
学外特別研修Ⅱ	1・2・3前・後		1~4		1						兼2	
長期インターンシップⅡ	1・2・3前・後		6		1						具体的な担当教員の確定による変更 (28)	
専攻基盤科目	最先端自然科学研究科目	1~3通	2			1						
	科学・技術英語特論S	1後		2								兼1
	応用解析学特論	1・2前・後		2								兼2
	数理工学特論	1・2前・後		2								兼2
	応用数理学特論	1・2前・後		2								兼2
	システム・デザイン工学ゼミナールⅠ	1・2前		2		14	25	2	8			
	システム・デザイン工学ゼミナールⅡ	1・2後		2		14	25	2	8			
システム・デザイン工学特別講義	1前		2		6	8					オムニバス	
専門科目	動的システム信号処理論	1・2前		2			1					
	電子制御特論	1・2前		2		1		1				教育効果充実のため、担当教員を追加 (28)
	システム最適化特論	1・2前		2			1					
	電磁システム工学特論	1・2前		2		1						
	電磁波動工学特論	1・2後		2			1					
	導波型デバイス特論	1・2後		2		1						
	電力品質論	1・2後		2		1	1	1				教育効果充実のため、担当教員を変更 (28)
	分布システム制御特論	1・2後		2		1				3		教育効果充実のため、担当教員を追加 (28)
	複雑混沌系工学特論	1・2前		2		1				1		オムニバス
	情報通信符号論	1・2前		2		1	1			1		オムニバス
	オートマトン特論	1・2前		2			1					
	メディア情報工学特論	1・2前		2			2					教育効果充実のため、担当教員を追加 (28)
	ソフトウェア高度信頼化特論	1・2前		2			1					
	並列アルゴリズム特論	1・2前		2			1					
	ネット理論特論	1・2後		2			1					
	ビジュアルコンピューティング特論	1・2後		2			1					教育効果充実のため、担当教員を追加 (28)
	応用画像処理特論	1・2後		2			2					教育効果充実のため、担当教員を追加 (28)
映像デザイン特論	1・2後		2			2					オムニバス	
統計的パターン認識	1・2後		2		1	1					教育効果充実のため、担当教員を追加 (28)	

						2				教育効果充実のため、担当教員を追加(28)
応用情報工学特論	1・2後	2				4				
マイクロ知能システム工学特論	1・2前	2	1					1		オムニバス
材料信頼性工学特論	1・2前	2	1		1					教育効果充実のため、担当教員を追加(28)
微小生体機械学特論	1・2後	2	1							
					1	2				教育効果充実のため、担当教員を追加(28)
機械システム制御特論	1・2後	2				4				
大規模機械システム開発特論	1・2後	2				1				

- (注) ・ 設置計画書の様式第2号(その2の1)に準じて作成してください。
- ・ 設置時の授業科目全て(兼任、兼担教員が担当する科目を含む。)を黒字で記載してください。その上で、前年度報告時(平成28年度に設置された大学等は設置時)より変更されているものは赤字で見え直し修正し、「備考」に赤字で理由・変更年月等を記入してください。  
 なお、昨年度の報告書において赤字で見え消しした部分については、見え消しのまま黒字にしてください。
  - ・ 兼任、兼担の教員が担当する授業科目については、備考欄に担当する教員数を「兼〇」と記入してください。
  - ・ 授業科目を追加又は内容を変更する場合で、専任教員が担当するため教員審査が必要なものについては、「専任教員採用等設置計画変更書」の審査予定年月等を「備考」に記入してください。(今後審査を受ける場合には、「平成〇年〇月 提出予定」と記入してください。)
  - ・ 「配当年次」について、設置計画時に開講時期を記入する必要がなかった学部等(平成19年度設置以前)についても、設置時の状況を黒字で記入してください。また、前年度報告時より修正があれば、赤字で見え直し修正をしてください。
  - ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目についても記入してください。

(2) 授業科目数

設置時の計画				変更状況				備考
必修	選択	自由	計	必修	選択	自由	計	
科目	科目	科目	科目	科目	科目	科目	科目	
3	41		44	3	41		44	
				[ ]	[ ]	[ ]	[ ]	

- (注) ・ 未開講科目も含めた教育課程上の授業科目数を記入するとともに、[ ]内に、設置時の計画からの増減を記入してください。(記入例：1科目減の場合：△1)
- ・ 資格に関する課程など、別課程としている授業科目については算入する必要はありません。

(3) 未開講科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	未開講の理由, 代替措置の有無
1	該当なし					
2						
3						

- (注) ・ 設置時の計画にあった授業科目が配当年次に達しているにも関わらず、何らかの理由で未開講となっている授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
- ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目については、記入しないでください。
  - ・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」と修正して記入してください。

(4) 廃止科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	廃止の理由, 代替措置の有無
1	該当なし					
2						
3						

- (注) ・ 設置時の計画にあり、何らかの理由で廃止（教育課程から削除）した授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
- ・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」と修正して記入してください。

(5) 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

該当なし
------

- (注) ・ 授業科目を未開講又は廃止としたことによる学生の履修への影響に関する「大学の所見」及び「学生への周知方法」を記入してください。

(6) 「設置時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

$$\frac{\text{未開講科目と廃止科目の計}}{\text{設置時の計画の授業科目数の計}} = \text{該当なし}$$

- (注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位までを記入してください。



### 3 施設・設備の整備状況, 経費

区分	内容	備考
(1) 校地等	<p>事前伺いのため該当なし</p>	
(2)		
(3)		
(4)		
(5) 図書・設備		
(6)		
(7)		
(8) 経費 積り 維持 の 概 要		
学生納付金以外の維持方法の概要		

- (注) ・ 設置時の計画を, 設置計画書の様式第2号(その1の1)に準じて作成してください。(複数のキャンパスに分かれている場合, 複数の様式に分ける必要はありません。なお, 「(1)校地等」及び「(2)校舎」は大学全体の数字を, その他の項目は AC対象学部等の数値を記入してください。)
- ・ 運動場用地が校舎敷地と別地にある場合は, その旨(所要時間・距離等)を「備考」に記入してください。
  - ・ 「(5)図書・設備」については, 上段に完成年度の予定数値を, 下段には平成28年5月1日現在の数値を記入してください。
  - ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更のあったものについては, 変更部分を赤字で見え消し修正するとともに, その理由及び報告年度「(28)」を「備考」に赤字で記入してください。  
 なお, 昨年度の報告において赤字で見え消した部分については, 見え消しのまま黒字にしてください。
  - ・ 「事前伺い」により設置された学部等については, 本項目を記載する必要はありません。

#### 4 既設大学等の状況

大学の名称	山 口 大 学						備 考		
既設学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学員定員	収容定員	学位又は称号	平均入学定員超過率	開 設 年 度	所 在 地	
	年	人	年次人	人		倍			
人文学部								山口県山口市吉田1677番地 1	
人文学科	4	185	-	740	学士（文学）	1.00	平成28年度		
人文社会科学	4	-	-	-	学士（文学）	-	平成5年度		平成28年度より学生募集停止
言語文化学科	4	-	-	-	学士（文学）	-	平成5年度		平成28年度より学生募集停止
教育学部								山口県山口市吉田1677番地 1	
学校教育教員養成課程	4	180	-	620	学士（教育学）	1.04	平成10年度		
実践臨床教育課程	4	-	-	-	学士（教育学）	-	平成10年度		平成27年度より学生募集停止
情報科学教育課程	4	-	-	-	学士（教育学）	-	平成10年度		平成27年度より学生募集停止
健康科学教育課程	4	-	-	-	学士（教育学）	-	平成10年度		平成27年度より学生募集停止
総合文化教育課程	4	-	-	-	学士（教育学）	-	平成元年度		平成27年度より学生募集停止
経済学部						1.03		山口県山口市吉田1677番地 1	
経済学科	4	130	-	440	学士（経済学）	-	昭和24年度		
経営学科	4	165	-	590	学士（経済学）	-	昭和24年度		
国際経済学科	4	-	-	-	学士（経済学）	-	昭和52年度		平成27年度より学生募集停止
経済法学科	4	-	-	-	学士（法学）	-	昭和55年度		平成27年度より学生募集停止
観光政策学科	4	50	-	160	学士（経済学）	-	平成17年度		
商業教員養成課程	4	-	-	-	学士（経済学）	-	昭和29年度		平成27年度より学生募集停止
理学部								山口県山口市吉田1677番地 1	
数理科学科	4	50	-	200	学士（理学）	1.05	平成7年度		
物理・情報科学科	4	60	-	240	学士（理学）	1.02	平成18年度		
生物・化学科	4	80	-	320	学士（理学）	1.01	平成18年度		
地球圏システム科学科	4	30	-	120	学士（理学）	1.05	平成18年度		
医学部								山口県宇部市南小串1丁目1番1号	
医学科	6	107	2年次 10	692	学士（医学）	1.00	昭和39年度		
保健学科	4	120	3年次 15	510	学士（看護学、保健学）	1.03	平成12年度		
工学部								山口県宇部市常盤台2丁目16番1号	
機械工学科	4	90	3年次 5	370	学士（工学）	1.03	平成2年度		
社会建設工学科	4	80	-	320	学士（工学）	1.03	平成2年度		
応用化学科	4	90	-	360	学士（工学）	1.04	平成19年度		
電気電子工学科	4	80	3年次 5	330	学士（工学）	1.03	平成2年度		
知能情報工学科	4	80	3年次 10	340	学士（工学）	1.03	平成19年度		
感性デザイン工学科	4	55	-	220	学士（工学）	1.05	平成8年度		
循環環境工学科	4	55	-	220	学士（工学）	1.05	平成19年度		
農学部								山口県山口市吉田1677番地 1	
生物資源環境科学科	4	50	-	200	学士（農学）	1.03	平成13年度		
生物機能科学科	4	50	-	200	学士（農学）	1.01	平成13年度		
獣医学科	6	-	-	-	学士（獣医学）	-	昭和24年度		平成24年度より学生募集停止
共同獣医学部								山口県山口市吉田1677番地 1	
獣医学科	6	30	-	150	学士（獣医学）	1.01	平成24年度		
国際総合科学部								山口県山口市吉田1677番地 1	
国際総合科学科	4	100	-	200	学士（学術）	1.04	平成27年度		

人文科学研究科							山口県山口市吉田1677番地 1	
人文科学専攻	2	8	-	8	修士(文学)	0.25	平成28年度	
地域文化専攻	2	-	-	-	修士(文学)	-	昭和60年度	平成28年度より学生募集停止
言語文化専攻	2	-	-	-	修士(文学)	-	昭和60年度	平成28年度より学生募集停止
教育学研究科							山口県山口市吉田1677番地 1	
学校教育専攻	2	10	-	23	修士(教育学)	1.10	平成3年度	
教科教育専攻	2	17	-	45	修士(教育学)	1.05	平成3年度	
教職実践高度化専攻	2	14	-	14	教職修士(専門職)	1.07	平成28年度	
経済学研究科							山口県山口市吉田1677番地 1	
経済学専攻	2	16	-	32	修士(経済学)	0.24	昭和50年度	
企業経営専攻	2	10	-	20	修士(経済学)	0.50	平成7年度	
医学系研究科(医学博士)							山口県宇部市南小串1丁目1番1号	
医学専攻	4	33	-	33	博士(医学)	1.09	平成28年度	
システム統御医学系専攻	4	-	-	-	博士(医学)	-	平成18年度	平成28年度より学生募集停止
情報解析医学系専攻	4	-	-	-	博士(医学)	-	平成18年度	平成28年度より学生募集停止
医学系研究科(博士前期)							山口県宇部市南小串1丁目1番1号	
応用医工学系専攻	2	-	-	-	修士(医工学)	-	平成13年度	平成28年度より学生募集停止
応用分子生命科学系専攻	2	-	-	-	修士(生命科学、学術)	-	平成18年度	平成28年度より学生募集停止
保健学専攻	2	12	-	24	修士(保健学)	1.37	平成17年度	
医学系研究科(博士後期)							山口県宇部市南小串1丁目1番1号	
応用医工学系専攻	3	-	-	-	博士(医工学)	-	平成13年度	平成28年度より学生募集停止
応用分子生命科学系専攻	3	-	-	-	博士(生命科学、学術)	-	平成18年度	平成28年度より学生募集停止
保健学専攻	3	5	-	15	博士(保健学)	0.80	平成19年度	
創成科学研究科(博士前期)							山口県山口市吉田1677番地 1	
基盤科学系専攻	2	38	-	38	修士(理学)	0.92	平成28年度	山口県宇部市常盤台2丁目16番1号
地球圏生物物質科学系専攻	2	42	-	42	修士(理学)	0.80	平成28年度	
化学系専攻	2	83	-	83	修士(工学、学術)	0.87	平成28年度	
電気電子情報系専攻	2	107	-	107	修士(工学)	1.00	平成28年度	
機械工学系専攻	2	60	-	60	修士(工学)	1.01	平成28年度	
建設環境系専攻	2	74	-	74	修士(工学、学術)	0.74	平成28年度	
農学系専攻	2	42	-	42	修士(農学、生命科学)	0.71	平成28年度	
創成科学研究科(博士後期)							山口県山口市吉田1677番地 1	
自然科学系専攻	3	7	-	7	博士(理学、学術)	0.28	平成28年度	山口県宇部市常盤台2丁目16番1号
物質工学系専攻	3	8	-	8	博士(工学、学術)	0.12	平成28年度	
システム・デザイン工学系専攻	3	10	-	10	博士(工学、学術)	0.70	平成28年度	
環境共生系専攻	3	12	-	12	博士(工学、学術)	0.66	平成28年度	
ライフサイエンス系専攻	3	7	-	7	博士(工学、学術)	0.85	平成28年度	
理工学研究科(博士前期)							山口県山口市吉田1677番地 1	平成28年度より学生募集停止
数理科学専攻	2	-	-	-	修士(理学)	-	平成9年度	山口県宇部市常盤台2丁目16番1号
物理・情報科学専攻	2	-	-	-	修士(理学)	-	平成18年度	
地球科学専攻	2	-	-	-	修士(理学)	-	平成18年度	
機械工学専攻	2	-	-	-	修士(工学)	-	昭和41年度	
社会建設工学専攻	2	-	-	-	修士(工学)	-	平成9年度	
物質化学専攻	2	-	-	-	修士(工学)	-	平成18年度	
電子デバイス工学専攻	2	-	-	-	修士(工学)	-	平成18年度	
電子情報システム工学専攻	2	-	-	-	修士(工学)	-	平成18年度	
感性デザイン工学専攻	2	-	-	-	修士(工学)	-	平成12年度	
環境共生系専攻	2	-	-	-	修士(工学、理学)	-	平成18年度	

理工学研究科（博士後期）								山口県山口市吉田1677番地1	平成28年度より学生募集停止
自然科学基盤系専攻	3	-	-	-	博士（理学、工学、学術）	-	平成18年度	山口県宇部市常盤台2丁目16番1号	
システム設計工学系専攻	3	-	-	-	博士（工学、学術）	-	平成18年度		
物質工学系専攻	3	-	-	-	博士（工学、学術）	-	平成18年度		
情報・デザイン工学系専攻	3	-	-	-	博士（工学、学術）	-	平成18年度		
環境共生系専攻	3	-	-	-	博士（工学、理学、学術）	-	平成18年度		
農学研究科								山口県山口市吉田1677番地1	平成28年度より学生募集停止
生物資源科学専攻	2	-	-	-	修士（農学）	-	平成7年度		
東アジア研究科								山口県山口市吉田1677番地1	
東アジア専攻	3	10	-	30	博士（学術）	1.26	平成13年度		
技術経営研究科								山口県宇部市常盤台2丁目16番1号	
技術経営専攻	2	15	-	30	技術経営修士（専門職）	1.10	平成17年度		
連合獣医学研究科								【山口大学】	
獣医学専攻	4	12	-	48	博士（獣医学）	1.56	平成2年度	山口県山口市吉田1677番地1	
								【鳥取大学】	
								鳥取県鳥取市湖山町南4丁目101	
								【鹿児島大学】	
								鹿児島県鹿児島市都元1丁目21番24号	

- (注) ・ 本調査の対象となっている大学等の設置者（国立大学法人）が設置している全ての大学（学部、学科）及び大学院（専攻）（AC対象学部等含む）について、それぞれの学校種ごとに、平成28年5月1日現在の上記項目の情報を記入してください。
- ・ 学部の学科または研究科の専攻等、「入学定員を定めている組織」ごとに記入してください。
  - ※「入学定員を定めている組織ごと」には、課程認定等によりコース・専攻に入学定員を定めている場合を含めず、履修上の区分としてコース・専攻を設けている場合は含めません。
  - ※なお、課程認定等によりコースや専攻に入学定員を定めている場合は、法令上規定されている組織上の最小単位（大学であれば「学科」、短期大学であれば「専攻課程」）でも記載してください。
  - ・ 専攻科に係るものについては、記入する必要はありません。
  - ・ AC対象学部等についても必ず記入してください。
  - ・ 「平均入学定員超過率」には、標準修業年限に相当する期間における入学定員に対する入学者の割合の平均の小数点以下第2位まで（小数点以下第3位を切り捨て）を記入してください。
  - ・ 学生募集を停止している学部等がある場合、入学定員・収容定員・平均入学定員超過率は「-」とし、「備考」に「平成〇〇年より学生募集停止」と記入してください。

5 教員組織の状況

<創成科学研究科 システム・デザイン工学系専攻（博士後期課程）>

(1) 担当教員表

<p style="font-size: 24px; font-weight: bold;">事前伺いのため該当なし</p>									
<p>(注) 科目を追加 (28)</p>									

- (注) ・ 設置計画書の様式第3号（その2の1）に準じて作成してください。  
 なお、当該設置に係る研究科等に所属しない教員であって、全学共通、学部共通などの授業科目を担当する教員組織に所属している場合は、〈〇〇研究科 〇〇専攻（〇〇課程）〉の箇所を「共通」とし、表を分けて作成してください。
- ・ 後任が決まっていない場合には、「後任未定」と記入してください。
  - ・ 辞任者は「備考」に退職年月、氏名、理由を記入してください。
  - ・ 年齢は、「**設置時の計画**」には当該学部等の就任時における満年齢を、「**変更状況**」には平成28年5月1日現在の満年齢を記入してください。
  - ・ 教員を学年進行中に変更した又は変更する予定の場合（「新規採用」、「担当授業科目の変更」又は「昇格」をいう。）は、変更後の状況を記入するとともに、その理由、後任者が決まっていない場合は、「変更状況」の「氏名」に「後任未定」と記入し、及び今後の採用計画を「備考」に記入してください。
  - ・ **意見伺いで設置された学部等の専任教員を変更する場合は**、当該専任教員が授業を開始する前に必ず「専任教員採用等設置計画変更書」を提出し、大学設置・学校法人審議会による教員資格審査（AC教員審査）を受けてください。**AC教員審査を受けずに専任教員として授業等を担当することは出来ません。**
  - ・ 「専任教員採用等変更書（AC）」を提出し「可」の教員判定を受けている場合は「〇年〇月教員審査済」、変更書を提出予定の場合は「〇年〇月変更書提出予定」と記入してください。  
 なお、設置審査時に教員審査省略となっている場合は、「備考」に「（教員審査省略）」及びその変更の理由、変更年度（ ）書き等のみを記入してください。
  - ・ **「事前伺い」により設置された学部等については、本項目を記載する必要はありません。**

(2) 専任教員数等

(2) - ① 専任教員数

設置時の計画					現在（報告書提出時）の状況					現在（報告書提出時）の完成年度時の計画				
教授	准教授	講師	助教	計	教授	准教授	講師	助教	計（A）	教授	准教授	講師	助教	計（B）
14	25	2	8	49	15	25	2	8	50	15	25	2	8	50
(15)	(25)	(2)	(8)	(50)						[ 1 ]	[ 0 ]	[ 0 ]	[ 0 ]	[ 1 ]
研究指導教員数		研究指導補助教員数		講義のみ担当の教員数	研究指導教員数		研究指導補助教員数		講義のみ担当の教員数	研究指導教員数		研究指導補助教員数		講義のみ担当の教員数
41		8		0	41		8		0	41		8		0
(42)		(8)		(0)						[ 1 ]		[ 0 ]		[ 0 ]

- (注) ・ 「設置時の計画」には、設置時に予定されていた完成年度時の人数を記入するとともに、（ ）内に開設時の状況を記入してください。  
 ・ 「現在（報告書提出時）の状況」には、報告書提出年度の5月1日の教員数（実人数）を記入してください。  
 ・ 「現在（報告書提出時）の完成年度時の計画」には、報告書提出年度の5月1日現在、完成年度時に計画している教員数を記入するとともに、[ ]内に設置時の計画との増減数を記入してください。（記入例：1名減の場合：△1）

(2) - ② 年齢構成

年齢構成		
定年規定の定める定年年齢（歳）	報告書提出時（上記（A））の教員のうち、定年を延長して採用している教員数	完成年度時（上記（B））の教員のうち、定年を延長して採用する教員数
65	0	0

- (注) ・ 「年齢構成」には、当該学部における教員の定年に関する規定に基づく定年年齢（特例等による定年年齢ではありません）、および、平成28年5月1日現在、定年に関する規定に基づく特例等により定年を超えて専任教員として採用されている教員数および完成年度時に定年を超えて専任教員として採用する教員数を記入してください。  
 ・ なお、職位等によって定年年齢が異なる場合には、職位ごとの定年年齢を「定年規定の定める定年年齢」に二段書きで記入し、「定年を延長している教員数」には合算した数を記入してください。  
 ・ 専門職大学院の場合は、「研究指導教員」を「研究者教員」と、「研究指導補助教員」を「実務家教員」と修正して記入してください。

## 6 留意事項等に対する履行状況等

区 分	留 意 事 項 等	履 行 状 況	未履行事項について の実施計画
設 計 課	<p>事前伺いのため該当なし</p>		

- (注) ・ 「設置時」には、当該大学等の設置時に付された留意事項と、それに対する履行状況等について、具体的に記入し、報告年度を（ ）書きで付記してください。
- ・ 「設置計画履行状況調査時」には、当該設置計画履行状況調査の結果、付された意見に対する履行状況等について、具体的に記入するとともに、その履行状況等を裏付ける資料があれば、添付してください。
  - ・ 定員管理に係る留意事項への履行状況は、指摘を受けた学科等についてのみ記入してください。
  - ・ 該当がない場合には、「該当なし」と記入してください。
  - ・ 「事前伺い」により設置された学部等については、本項目を記載する必要はありません。

## 7 その他全般的事項

<創成科学研究科 システム・デザイン工学系専攻（博士後期課程）>

### (1) 設置計画変更事項等

設置時の計画	変更内容・状況, 今後の見通しなど
<div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <span>記</span> <span>冊</span> </div> <div style="border: 2px solid black; padding: 20px; margin: 10px auto; width: 80%;"> <p style="font-size: 24px; text-align: center;">事前伺いのため該当なし</p> </div>	

- (注) ・ 1～6の項目に記入した事項以外で、設置時の計画より変更のあったもの（未実施を含む。）及び法令適合性に関して生じた留意すべき事項について記入してください。
- ・ 設置時の「設置の趣旨等を記載した書類」の項目に沿って作成し、それ以外の事柄については適宜項目を設けてください。（記入例参照）
  - ・ 「事前伺い」により設置された学部等については、当該項目を記載する必要はありません。

### (2) 教員の資質の維持向上の方策（FD活動含む）

①	実施体制
<div style="border: 2px solid black; padding: 20px; margin: 10px auto; width: 80%;"> <p style="font-size: 24px; text-align: center;">事前伺いのため該当なし</p> </div>	

- (注) ・ 「①a 委員会の設置状況」には、関係規程等を転載又は添付すること。
- 「②実施状況」には、実施されている取組を全て記載すること。（記入例参照）
- ・ 「事前伺い」により設置された学部等については、本項目を記載する必要はありません。

(3) 自己点検・評価等に関する事項

① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見

②

事前伺いのため該当なし

③

- (注) ・ 設置時の計画の変更（又は未実施）の有無に関わらず記入してください。  
また、「① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見」については、できるだけ具体的な根拠を含めて記入してください。  
なお、「② 自己点検・評価報告書」については、当該調査対象の組織に関する評価内容を含む報告書について記入してください。  
・ 「事前伺い」により設置された学部等については、本項目を記載する必要はありません。

(4) 情報公表に関する事項

○ 設置計画履行状況報告書

a ホームページに公表の有無 (  有 ・  無 )

b 公表時期（未公表の場合は予定時期） ( 28 年 9 月 1 日 )



## 1 調査対象大学等の概要等

### (1) 設置者

国立大学法人 山口大学

### (2) 大学名

山口大学

### (3) 大学の位置

〒753-8511  
山口県山口市吉田1677-1

〒755-8611  
山口県宇部市常盤台2丁目16番1号

- (注) ・対象学部等の位置が大学本部の位置と異なる場合、本部の位置を( )書きで記入してください。  
・対象学部等が複数のキャンパスに所在する場合には、複数のキャンパスの所在地をそれぞれ記載してください。

### (4) 管理運営組織

職名	設置時	変更状況	備考
事前伺いのため該当なし			

- (注) ・「変更状況」は、変更があった場合に記入し、併せて「備考」に変更の理由と変更年月日、報告年度を( )書きで記入してください。
- (例) 平成26年度に報告済の内容 → (26)  
平成28年度に報告する内容 → (28)
- ・昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更があれば、「変更状況」に赤字にて記載(昨年度までに報告された記載があれば、そこに赤字で見え消し修正)するとともに、上記と同様に、「備考」に変更理由等を記入してください。
  - ・大学院の場合には、「職名」を「研究科長」等と修正して記入してください。
  - ・「事前伺い」により設置された学部等については、本項目を記載する必要はありません。

(5) 調査対象研究科等の名称, 定員, 入学者の状況等

- (注) ・ 当該調査対象の学部の学科または研究科の専攻等, 定員を定めている組織ごとに記入してください。  
 (入試区分ごとではありません)。  
 ・ 様式は, 平成26年度開設の博士後期課程の場合(平成28年度までの3年間)ですが, 開設年度・  
 修業年限に合わせて作成してください。(修業年限が2年以下の場合には欄を削除し, 4年以上の場合  
 には, 欄を設けてください。)

(5) - ① 調査対象研究科等の名称, 定員

調査対象研究科等の 名称(学位)	設置時の計画			備 考
	修業年限	入学定員	収容定員	
創成科学研究科 環境共生系専攻 (博士後期課程)  博士(工学) 博士(学術)	3 年	12 人	36 人	基礎となる学部等  工学部

- (注) ・ 「備考」に基礎となる学部等の名称を記入してください。  
 ・ 定員を変更した場合は, 「備考」に変更前の人数, 変更年月及び報告年度を( )書きで記入してください。  
 ・ 学生募集停止を予定している場合は, 「備考」にその旨記載してください。

(5) - ② 調査対象研究科等の入学者の状況

区分	報告年度		平成28年度		平成29年度		平成30年度		平均入学定員 超過率	備 考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期		
A 入学定員	12 (-) [ ]		( ) [ ]	( ) [ ]	( ) [ ]	( ) [ ]	( ) [ ]	( ) [ ]	0.66倍	
志願者数	9 (6) [2]	( ) [ ]	( ) [ ]	( ) [ ]	( ) [ ]	( ) [ ]	( ) [ ]	( ) [ ]		
受験者数	8 (6) [2]	( ) [ ]	( ) [ ]	( ) [ ]	( ) [ ]	( ) [ ]	( ) [ ]	( ) [ ]		
合格者数	8 (6) [2]	( ) [ ]	( ) [ ]	( ) [ ]	( ) [ ]	( ) [ ]	( ) [ ]	( ) [ ]		
B 入学者数	8 (6) [2]	( ) [ ]	( ) [ ]	( ) [ ]	( ) [ ]	( ) [ ]	( ) [ ]	( ) [ ]		
入学定員超過率 B/A	0.66									

- (注) ・ 数字は, 平成28年5月1日現在の数字を記入してください。  
 ・ ( )内には, 社会人の状況について**内数**で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。  
 ・ 「社会人」については, 設置計画書において貴学が定める社会人の定義に従って記入してください。  
 ・ [ ]内には, 留学生の状況について**内数**で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。  
 ・ 留学生については, 「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格(いわゆる「留学ビザ」)により, 我が国の大学(大学院を含む), 短期大学, 高等専門学校, 専修学校(専門課程)及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。  
 ・ 短期交換留学生など, 定員内に含めていない学生については記入しないでください。  
 ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は, 春季入学とその他の学期(春季入学以外の学期区分を設けている場合)に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は, その他の学期欄は「-」を記入してください。また, その他の学期に入学定員を設けている場合は, 備考欄にその人数を記入してください。  
 ・ 「入学定員超過率」については, **各年度の春季入学とその他を合計した入学定員, 入学者数で算出**してください。なお, 計算の際は小数点以下第3位を切り捨て, 小数点以下第2位まで記入してください。  
 ・ 「平均入学定員超過率」には, 開設年度から提出年度までの入学定員超過率の平均を記入してください。なお, 計算の際は「入学定員超過率」と同様にしてください。

(5) - ③ 調査対象研究科等の在学者の状況

学 年	報告年度		平成28年度		平成29年度		平成30年度		備 考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	
1年次	[2] (-) 8	[ ] ( )	[ ] ( )	[ ] ( )	[ ] ( )	[ ] ( )	[ ] ( )	[ ] ( )	
2年次	/		[ ] ( )	[ ] ( )	[ ] ( )	[ ] ( )	[ ] ( )	[ ] ( )	
3年次			/		[ ] ( )	[ ] ( )	[ ] ( )	[ ] ( )	[ ] ( )
計	[ 2 ] ( - ) 8	[ ] ( )			[ ] ( )	[ ] ( )	[ ] ( )	[ ] ( )	[ ] ( )

- (注) ・ 数字は、平成28年5月1日現在の数字を記入してください。
- ・ [ ]内には、留学生の状況について内数で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。
  - ・ 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格（いわゆる「留学ビザ」）により、我が国の大学（大学院を含む。）、短期大学、高等専門学校、専修学校（専門課程）及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
  - ・ 短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。
  - ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期（春季入学以外の学期区分を設けている場合）に分けて数値を記入してください。春季入学の実施の場合は、その他の学期欄は「-」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
  - ・ 「計」については、**各年度の春季入学とその他の学期を合計した在学者数、留学生数**を記入してください。
  - ・ ( )内には、**留年者の状況**について、内数で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。

(5) -④ 調査対象学部等の退学者等の状況

区分 対象年度	入学者数(b)	退学者数(a)	退学者数(内訳)			主な退学理由	入学者数に 対する退学者数 の割合 (a/b)
			退学した年度	退学者数	退学者数の うち留学生数		
平成28年度 入学者	8人	0人	平成28年度	人	人		0%
			平成29年度	人	人		
			平成30年度	人	人		
平成29年度 入学者	人	0人	平成29年度	人	人		#DIV/0! %
			平成30年度	人	人		
平成30年度 入学者	人	0人	平成30年度	人	人		#DIV/0! %
合計	8人	0人					0%

(注)・数字は、平成28年5月1日現在の数字を記入してください。

- ・各年度の入学者数については、該当年度当初に入学した人数を記入してください。(途中で退学者がいた場合でも、その退学者数を減らす必要はありません。)
- ・各年度の退学者数については、退学年度ごとに記入してください。また、留学生数欄の人数については、退学者数の内数を記入してください。
- ・留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格(いわゆる「留学ビザ」)により、我が国の大学(大学院を含む。)、短期大学、高等専門学校、専修学校(専門課程)及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記入してください。
- ・短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。
- ・「入学者数に対する退学者数の割合」は、【当該対象年度の入学者のうち、平成28年5月1日現在までに退学した学生数の合計】を、【当該対象年度の入学者数】で除した割合(%)を記入してください。その際、小数点以下第2位を四捨五入し、小数点以下第1位までを記入してください。
- ・「主な退学理由」は、下の項目を参考に記入してください。その際、「就学意欲の低下(○人)」というように、その人数も含めて記入してください。  
 (記入項目例)・就学意欲の低下    ・学力不足    ・他の教育機関への入学・転学    ・海外留学  
                   ・就職    ・学生個人の心身に関する事情    ・家庭の事情    ・除籍    ・その他

## 2 授業科目の概要

<創成科学研究科 環境共生系専攻（博士後期課程）>

### (1) 授業科目表

科目区分	授業科目の名称	配当 年次	単位数			専任教員等の配置					備 考	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
研究科 共通科目	【研究基盤科目】											
	研究者行動規範特論	1前	1			1						兼2
	知的財産特論	1後	1			1						兼2
	サイエンティフィック・ライティング	1前		1		1						兼2
	プレゼンテーション特論	1後		1		1						兼2
	【イノベーション教育科目】											
	リサーチメソドロジー特論	1・2前		2		1						兼1
	イノベーション特論	1・2前		2		1						兼1
	技術ロードマッピング特論	1・2後		2		1						兼1
	製品開発特論	1・2後		2		1						兼1
【キャリア教育科目】												
キャリアデザインⅡ	1前		2		+						兼14	
学外特別研修Ⅱ	1・2・3前・後		1~4		1						兼2	
長期インターンシップⅡ	1・2・3前・後		6		1						兼14	
											具体的な担当教員の確定による変更 (28)	
専攻 基盤科目	最先端自然科学研究科目	1~3通	2			1						
	環境社会基盤特論	1・2・3前・後		2		6	4		3			オムニバス
	環境熱流体輸送工学特論	1・2・3前・後		2		4	3					オムニバス
	環境プロセス特論	1・2・3前・後		2		1						
	環境共生学原論	1・2・3前・後		2		5	6					
	環境共生総合演習	1・2・3前・後		2		28	20	3	8			
	環境共生ゼミナールⅠ	1・2・3前・後		2		28	20	3	8			
	環境共生ゼミナールⅡ	1・2・3前・後		2		28	20	3	8			
	科学・技術英語特論S	1後		2								兼1
	応用解析学特論	1・2前・後		2								兼2
	数理工学特論	1・2前・後		2								兼2
応用数理科学特論	1・2前・後		2								兼2	
	環境地盤工学特論	1・2・3前・後		2		+	2		+			教育効果充実のため、担当教員を変更 (28)
	土質力学特論	1・2・3前・後		2		1						
	岩盤システム工学特論	1・2・3前・後		2		1			+			教育効果充実のため、担当教員を変更 (28)
	社会基盤情報工学特論	1・2・3前・後		2		1						
	構造振動解析学特論	1・2・3前・後		2		1						
	地盤材料工学特論	1・2・3前・後		2		1						
	構造工学特論	1・2・3前・後		2			1					
	耐震地盤工学特論	1・2・3前・後		2		1	+					担当教員の昇任による変更 (28)
	建設材料工学特論	1・2・3前・後		2			1					
	構造設計特論	1・2・3前・後		2			1					
	応用水理学特論	1・2・3前・後		2		1						
	環境影響評価特論	1・2・3前・後		2		1				1		
							1					教育効果充実のため、担当教員を変更 (28)
	都市基盤システム工学特論	1・2・3前・後		2		2						
	数値流体力学特論	1・2・3前・後		2		1	+					教育効果充実のため、担当教員を変更 (28)
								2				教育効果充実のため、担当教員を追加 (28)
社会的意思決定論	1・2・3前・後		2			+						
流域圏土砂動態特論	1・2・3前・後		2			1						
河川・流域環境特論	1・2・3前・後		2			1						

専門 科目	情報社会基盤工学特論	1・2・3前・後	2		1														教育効果充実のため、担当教員を追加 (28)
	地域防災計画学特論	1・2・3前・後	2				2												
	持続的リスクマネジメント特論	1・2・3前・後	2				1												
	都市設計学特論	1・2・3前・後	2		1														
	建築構造工学特論	1・2・3前・後	2		1				1										教育効果充実のため、担当教員を追加 (28)
	空間システム計画学特論	1・2・3前・後	2		1				1										教育効果充実のため、担当教員を追加 (28)
	建築構造システム化特論	1・2・3前・後	2		1														
	人間環境工学特論	1・2・3前・後	2		1		1												教育効果充実のため、担当教員を変更 (28)
	建築材料工学特論	1・2・3前・後	2				1												
	グリーンケミカルプロセス特論	1・2・3前・後	2		1		1												教育効果充実のため、担当教員を変更 (28)
	分離設計工学特論	1・2・3前・後	2		1		1												
	資源環境システム工学特論	1・2・3前・後	2		1					1									教育効果充実のため、担当教員を追加 (28)
	水質保全工学特論	1・2・3前・後	2		1														
	大気環境工学特論	1・2・3前・後	2				1												
	レオロジー工学特論	1・2・3前・後	2		1		1												担当教員の昇任による変更 (28)
	高効率分離工学特論	1・2・3前・後	2				1												
	生化学変換プロセス特論	1・2・3前・後	2				1												
	複雑熱移動工学特論	1・2・3前・後	2		1		1												教育効果充実のため、担当教員を追加 (28)
	環境熱流体工学特論	1・2・3前・後	2		1		1												
	推進工学特論	1・2・3前・後	2		1		1												
統計流体力学特論	1・2・3前・後	2		1															

- (注) ・ 設置計画書の様式第2号(その2の1)に準じて作成してください。  
・ 設置時の授業科目全て(兼任、兼任教員が担当する科目を含む。)を黒字で記載してください。その上で、前年度報告時(平成28年度に設置された大学等は設置時)より変更されているものは赤字で見え消し修正し、「備考」に赤字で理由・変更年月等を記入してください。  
なお、昨年度の報告書において赤字で見え消しした部分については、見え消しのまま黒字にしてください。  
・ 兼任、兼任の教員が担当する授業科目については、備考欄に担当する教員数を「兼○」と記入してください。  
・ 授業科目を追加又は内容を変更する場合で、専任教員が担当するため教員審査が必要なものについては、「専任教員採用等設置計画変更書」の審査予定年月等を「備考」に記入してください。(今後審査を受ける場合には、「平成○年○月 提出予定」と記入してください。)  
・ 「配当年次」について、設置計画時に開講時期を記入する必要がなかった学部等(平成19年度設置以前)についても、設置時の状況を黒字で記入してください。また、前年度報告時より修正があれば、赤字で見え消し修正をしてください。  
・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目についても記入してください。

## (2) 授業科目数

設置時の計画				変更状況				備考
必修	選択	自由	計	必修	選択	自由	計	
科目	科目	科目	科目	科目	科目	科目	科目	
3	58		61	3	58		61	
[ ]	[ ]	[ ]	[ ]	[ ]	[ ]	[ ]	[ ]	

- (注) ・ 未開講科目も含めた教育課程上の授業科目数を記入するとともに、[ ]内に、設置時の計画からの増減を記入してください。(記入例：1科目減の場合：△1)  
・ 資格に関する課程など、別課程としている授業科目については算入する必要はありません。

(3) 未開講科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	未開講の理由, 代替措置の有無
1	該当なし					
2						
3						

- (注) ・ 設置時の計画にあった授業科目が配当年次に達しているにも関わらず、何らかの理由で未開講となっている授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
- ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目については、記入しないでください。
  - ・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」と修正して記入してください。

(4) 廃止科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	廃止の理由, 代替措置の有無
1	該当なし					
2						
3						

- (注) ・ 設置時の計画にあり、何らかの理由で廃止（教育課程から削除）した授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
- ・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」と修正して記入してください。

(5) 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

該当なし
------

- (注) ・ 授業科目を未開講又は廃止としたことによる学生の履修への影響に関する「大学の所見」及び「学生への周知方法」を記入してください。

(6) 「設置時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

$$\frac{\text{未開講科目と廃止科目の計}}{\text{設置時の計画の授業科目数の計}} = \text{該当なし}$$

- (注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位までを記入してください。

### 3 施設・設備の整備状況, 経費

区分	内容	備考
(1) 校地等	<p>事前伺いのため該当なし</p>	
(2)		
(3)		
(4)		
(5) 図書・設備		
(6)		
(7)		
(8) 経費 積り 維持 の 概 要		
学生納付金以外の維持方法の概要		

- (注) ・ 設置時の計画を, 設置計画書の様式第2号(その1の1)に準じて作成してください。(複数のキャンパスに分かれている場合, 複数の様式に分ける必要はありません。なお, 「(1)校地等」及び「(2)校舎」は大学全体の数字を, その他の項目は AC対象学部等の数値を記入してください。)
- ・ 運動場用地が校舎敷地と別地にある場合は, その旨(所要時間・距離等)を「備考」に記入してください。
  - ・ 「(5)図書・設備」については, 上段に完成年度の予定数値を, 下段には平成28年5月1日現在の数値を記入してください。
  - ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更のあったものについては, 変更部分を赤字で見え消し修正するとともに, その理由及び報告年度「(28)」を「備考」に赤字で記入してください。  
 なお, 昨年度の報告において赤字で見え消した部分については, 見え消しのまま黒字にしてください。
  - ・ 「事前伺い」により設置された学部等については, 本項目を記載する必要はありません。



#### 4 既設大学等の状況

大学の名称	山 口 大 学						備 考		
既設学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学員定員	収容定員	学位又は称号	平均入学定員超過率	開 設 年 度	所 在 地	
	年	人	年次人	人		倍			
人文学部								山口県山口市吉田1677番地 1	
人文学科	4	185	-	740	学士（文学）	1.00	平成28年度		
人文社会学科	4	-	-	-	学士（文学）	-	平成5年度		平成28年度より学生募集停止
言語文化学科	4	-	-	-	学士（文学）	-	平成5年度		平成28年度より学生募集停止
教育学部								山口県山口市吉田1677番地 1	
学校教育教員養成課程	4	180	-	620	学士（教育学）	1.04	平成10年度		
実践臨床教育課程	4	-	-	-	学士（教育学）	-	平成10年度		平成27年度より学生募集停止
情報科学教育課程	4	-	-	-	学士（教育学）	-	平成10年度		平成27年度より学生募集停止
健康科学教育課程	4	-	-	-	学士（教育学）	-	平成10年度		平成27年度より学生募集停止
総合文化教育課程	4	-	-	-	学士（教育学）	-	平成元年度		平成27年度より学生募集停止
経済学部						1.03		山口県山口市吉田1677番地 1	
経済学科	4	130	-	440	学士（経済学）	-	昭和24年度		
経営学科	4	165	-	590	学士（経済学）	-	昭和24年度		
国際経済学科	4	-	-	-	学士（経済学）	-	昭和52年度		平成27年度より学生募集停止
経済法学科	4	-	-	-	学士（法学）	-	昭和55年度		平成27年度より学生募集停止
観光政策学科	4	50	-	160	学士（経済学）	-	平成17年度		
商業教員養成課程	4	-	-	-	学士（経済学）	-	昭和29年度		平成27年度より学生募集停止
理学部								山口県山口市吉田1677番地 1	
数理科学科	4	50	-	200	学士（理学）	1.05	平成7年度		
物理・情報科学科	4	60	-	240	学士（理学）	1.02	平成18年度		
生物・化学科	4	80	-	320	学士（理学）	1.01	平成18年度		
地球圏システム科学科	4	30	-	120	学士（理学）	1.05	平成18年度		
医学部								山口県宇部市南小串1丁目1番1号	
医学科	6	107	2年次 10	692	学士（医学）	1.00	昭和39年度		
保健学科	4	120	3年次 15	510	学士（看護学、保健学）	1.03	平成12年度		
工学部								山口県宇部市常盤台2丁目16番1号	
機械工学科	4	90	3年次 5	370	学士（工学）	1.03	平成2年度		
社会建設工学科	4	80	-	320	学士（工学）	1.03	平成2年度		
応用化学科	4	90	-	360	学士（工学）	1.04	平成19年度		
電気電子工学科	4	80	3年次 5	330	学士（工学）	1.03	平成2年度		
知能情報工学科	4	80	3年次 10	340	学士（工学）	1.03	平成19年度		
感性デザイン工学科	4	55	-	220	学士（工学）	1.05	平成8年度		
循環環境工学科	4	55	-	220	学士（工学）	1.05	平成19年度		
農学部								山口県山口市吉田1677番地 1	
生物資源環境科学科	4	50	-	200	学士（農学）	1.03	平成13年度		
生物機能科学科	4	50	-	200	学士（農学）	1.01	平成13年度		
獣医学科	6	-	-	-	学士（獣医学）	-	昭和24年度		平成24年度より学生募集停止
共同獣医学部								山口県山口市吉田1677番地 1	
獣医学科	6	30	-	150	学士（獣医学）	1.01	平成24年度		
国際総合科学部								山口県山口市吉田1677番地 1	
国際総合科学科	4	100	-	200	学士（学術）	1.04	平成27年度		

人文科学研究科							山口県山口市吉田1677番地 1	
人文科学専攻	2	8	-	8	修士(文学)	0.25	平成28年度	
地域文化専攻	2	-	-	-	修士(文学)	-	昭和60年度	平成28年度より学生募集停止
言語文化専攻	2	-	-	-	修士(文学)	-	昭和60年度	平成28年度より学生募集停止
教育学研究科							山口県山口市吉田1677番地 1	
学校教育専攻	2	10	-	23	修士(教育学)	1.10	平成3年度	
教科教育専攻	2	17	-	45	修士(教育学)	1.05	平成3年度	
教職実践高度化専攻	2	14	-	14	教職修士(専門職)	1.07	平成28年度	
経済学研究科							山口県山口市吉田1677番地 1	
経済学専攻	2	16	-	32	修士(経済学)	0.24	昭和50年度	
企業経営専攻	2	10	-	20	修士(経済学)	0.50	平成7年度	
医学系研究科(医学博士)							山口県宇部市南小串1丁目1番1号	
医学専攻	4	33	-	33	博士(医学)	1.09	平成28年度	
システム統御医学系専攻	4	-	-	-	博士(医学)	-	平成18年度	平成28年度より学生募集停止
情報解析医学系専攻	4	-	-	-	博士(医学)	-	平成18年度	平成28年度より学生募集停止
医学系研究科(博士前期)							山口県宇部市南小串1丁目1番1号	
応用医工学系専攻	2	-	-	-	修士(医工学)	-	平成13年度	平成28年度より学生募集停止
応用分子生命科学系専攻	2	-	-	-	修士(生命科学、学術)	-	平成18年度	平成28年度より学生募集停止
保健学専攻	2	12	-	24	修士(保健学)	1.37	平成17年度	
医学系研究科(博士後期)							山口県宇部市南小串1丁目1番1号	
応用医工学系専攻	3	-	-	-	博士(医工学)	-	平成13年度	平成28年度より学生募集停止
応用分子生命科学系専攻	3	-	-	-	博士(生命科学、学術)	-	平成18年度	平成28年度より学生募集停止
保健学専攻	3	5	-	15	博士(保健学)	0.80	平成19年度	
創成科学研究科(博士前期)							山口県山口市吉田1677番地 1	
基盤科学系専攻	2	38	-	38	修士(理学)	0.92	平成28年度	山口県宇部市常盤台2丁目16番1号
地球圏生物物質科学系専攻	2	42	-	42	修士(理学)	0.80	平成28年度	
化学系専攻	2	83	-	83	修士(工学、学術)	0.87	平成28年度	
電気電子情報系専攻	2	107	-	107	修士(工学)	1.00	平成28年度	
機械工学系専攻	2	60	-	60	修士(工学)	1.01	平成28年度	
建設環境系専攻	2	74	-	74	修士(工学、学術)	0.74	平成28年度	
農学系専攻	2	42	-	42	修士(農学、生命科学)	0.71	平成28年度	
創成科学研究科(博士後期)							山口県山口市吉田1677番地 1	
自然科学系専攻	3	7	-	7	博士(理学、学術)	0.28	平成28年度	山口県宇部市常盤台2丁目16番1号
物質工学系専攻	3	8	-	8	博士(工学、学術)	0.12	平成28年度	
システム・デザイン工学系専攻	3	10	-	10	博士(工学、学術)	0.70	平成28年度	
環境共生系専攻	3	12	-	12	博士(工学、学術)	0.66	平成28年度	
ライフサイエンス系専攻	3	7	-	7	博士(工学、学術)	0.85	平成28年度	
理工学研究科(博士前期)							山口県山口市吉田1677番地 1	平成28年度より学生募集停止
数理科学専攻	2	-	-	-	修士(理学)	-	平成9年度	山口県宇部市常盤台2丁目16番1号
物理・情報科学専攻	2	-	-	-	修士(理学)	-	平成18年度	
地球科学専攻	2	-	-	-	修士(理学)	-	平成18年度	
機械工学専攻	2	-	-	-	修士(工学)	-	昭和41年度	
社会建設工学専攻	2	-	-	-	修士(工学)	-	平成9年度	
物質化学専攻	2	-	-	-	修士(工学)	-	平成18年度	
電子デバイス工学専攻	2	-	-	-	修士(工学)	-	平成18年度	
電子情報システム工学専攻	2	-	-	-	修士(工学)	-	平成18年度	
感性デザイン工学専攻	2	-	-	-	修士(工学)	-	平成12年度	
環境共生系専攻	2	-	-	-	修士(工学、理学)	-	平成18年度	

理工学研究科（博士後期）								山口県山口市吉田1677番地1	平成28年度より学生募集停止
自然科学基盤系専攻	3	-	-	-	博士（理学、工学、学術）	-	平成18年度	山口県宇部市常盤台2丁目16番1号	
システム設計工学系専攻	3	-	-	-	博士（工学、学術）	-	平成18年度		
物質工学系専攻	3	-	-	-	博士（工学、学術）	-	平成18年度		
情報・デザイン工学系専攻	3	-	-	-	博士（工学、学術）	-	平成18年度		
環境共生系専攻	3	-	-	-	博士（工学、理学、学術）	-	平成18年度		
農学研究科								山口県山口市吉田1677番地1	平成28年度より学生募集停止
生物資源科学専攻	2	-	-	-	修士（農学）	-	平成7年度		
東アジア研究科								山口県山口市吉田1677番地1	
東アジア専攻	3	10	-	30	博士（学術）	1.26	平成13年度		
技術経営研究科								山口県宇部市常盤台2丁目16番1号	
技術経営専攻	2	15	-	30	技術経営修士（専門職）	1.10	平成17年度		
連合獣医学研究科								【山口大学】	
獣医学専攻	4	12	-	48	博士（獣医学）	1.56	平成2年度	山口県山口市吉田1677番地1	
								【鳥取大学】	
								鳥取県鳥取市湖山町南4丁目101	
								【鹿児島大学】	
								鹿児島県鹿児島市都元1丁目21番24号	

- (注) ・ 本調査の対象となっている大学等の設置者（国立大学法人）が設置している全ての大学（学部、学科）及び大学院（専攻）（AC対象学部等含む）について、それぞれの学校種ごとに、平成28年5月1日現在の上記項目の情報を記入してください。
- ・ 学部の学科または研究科の専攻等、「入学定員を定めている組織」ごとに記入してください。
  - ※「入学定員を定めている組織ごと」には、課程認定等によりコース・専攻に入学定員を定めている場合を含めず、履修上の区分としてコース・専攻を設けている場合は含めません。
  - ※なお、課程認定等によりコースや専攻に入学定員を定めている場合は、法令上規定されている組織上の最小単位（大学であれば「学科」、短期大学であれば「専攻課程」）でも記載してください。
  - ・ 専攻科に係るものについては、記入する必要はありません。
  - ・ AC対象学部等についても必ず記入してください。
  - ・ 「平均入学定員超過率」には、標準修業年限に相当する期間における入学定員に対する入学者の割合の平均の小数点以下第2位まで（小数点以下第3位を切り捨て）を記入してください。
  - ・ 学生募集を停止している学部等がある場合、入学定員・収容定員・平均入学定員超過率は「-」とし、「備考」に「平成〇〇年より学生募集停止」と記入してください。

## 5 教員組織の状況

＜創成科学研究科 環境共生系専攻（博士後期課程）＞

### (1) 担当教員表

事前伺いのため該当なし														
科目を追加(26)														

- (注) ・ 設置計画書の様式第3号(その2の1)に準じて作成してください。  
 なお、当該設置に係る研究科等に所属しない教員であって、全学共通、学部共通などの授業科目を担当する教員組織に所属している場合は、〈〇〇研究科 〇〇専攻(〇〇課程)〉の箇所を「共通」とし、表を分けて作成してください。  
 ・ 後任が決まっていない場合には、「後任未定」と記入してください。  
 ・ 辞任者は「備考」に退職年月、氏名、理由を記入してください。  
 ・ 年齢は、「**設置時の計画**」には**当該学部等の就任時における満年齢**を、「**変更状況**」には**平成28年5月1日現在の満年齢**を記入してください。  
 ・ 教員を学年進行中に変更した又は変更する予定の場合(「新規採用」、「担当授業科目の変更」又は「昇格」をいう。)は、変更後の状況を記入するとともに、その理由、後任者が決まっていない場合は、「変更状況」の「氏名」に「後任未定」と記入し、及び今後の採用計画を「備考」に記入してください。  
 ・ **意見伺いで設置された学部等の専任教員を変更する場合は**、当該専任教員が授業を開始する前に必ず「専任教員採用等設置計画変更書」を提出し、大学設置・学校法人審議会による教員資格審査(AC教員審査)を受けてください。**AC教員審査を受けずに専任教員として授業等を担当することは出来ません。**  
 ・ 「専任教員採用等変更書(AC)」を提出し「可」の教員判定を受けている場合は「〇年〇月教員審査済」、変更書を提出予定の場合は「〇年〇月変更書提出予定」と記入してください。  
 なお、設置審査時に教員審査省略となっている場合は、「備考」に「(教員審査省略)」及びその変更の理由、変更年度( )書き等のみを記入してください。  
 ・ **「事前伺い」により設置された学部等については、本項目を記載する必要はありません。**

### (2) 専任教員数等

#### (2) - ① 専任教員数

設置時の計画					現在(報告書提出時)の状況					現在(報告書提出時)の完成年度時の計画				
教授	准教授	講師	助教	計	教授	准教授	講師	助教	計(A)	教授	准教授	講師	助教	計(B)
28	21	2	9	60	25	20	3	10	58	25	20	3	10	58
(25)	(20)	(3)	(10)	(58)						[ Δ3 ]	[ Δ1 ]	[ 1 ]	[ 1 ]	[ 1 ]
研究指導教員数	研究指導補助教員数	講義のみ担当の教員数			研究指導教員数	研究指導補助教員数	講義のみ担当の教員数			研究指導教員数	研究指導補助教員数	講義のみ担当の教員数		
50	9	0			46	8	0			46	8	0		
(46)	(8)	(0)								[ Δ4 ]	[ Δ1 ]	[ 0 ]		

- (注) ・ 「設置時の計画」には、設置時に予定されていた完成年度時の人数を記入するとともに、( ) 内に開設時の状況を記入してください。  
 ・ 「現在(報告書提出時)の状況」には、報告書提出年度の5月1日の教員数(実人数)を記入してください。  
 ・ 「現在(報告書提出時)の完成年度時の計画」には、報告書提出年度の5月1日現在、完成年度時に計画している教員数を記入するとともに、[ ] 内に設置時の計画との増減数を記入してください。(記入例：1名減の場合：Δ1)

#### (2) - ② 年齢構成

年齢構成		
定年規定の定める定年年齢(歳)	報告書提出時(上記(A))の教員のうち、定年を延長して採用している教員数	完成年度時(上記(B))の教員のうち、定年を延長して採用する教員数
65	0	0

- (注) ・ 「年齢構成」には、当該学部における教員の定年に関する規定に基づく定年年齢(特例等による定年年齢ではありません)、および、平成28年5月1日現在、定年に関する規定に基づく特例等により定年を超えて専任教員として採用されている教員数および完成年度時に定年を超えて専任教員として採用する教員数を記入してください。  
 ・ なお、職位等によって定年年齢が異なる場合には、職位ごとの定年年齢を「定年規定の定める定年年齢」に二段階まで記入し、「定年を延長している教員数」には合算した数を記入してください。  
 ・ 専門職大学院の場合は、「研究指導教員」を「研究者教員」と、「研究指導補助教員」を「実務家教員」と修正して記入してください。

## 6 留意事項等に対する履行状況等

区 分	留 意 事 項 等	履 行 状 況	未履行事項について の実施計画
設 計	<p>事前伺いのため該当なし</p>		
設 計			
設 計			

- (注) ・ 「設置時」には、当該大学等の設置時に付された留意事項と、それに対する履行状況等について、具体的に記入し、報告年度を（ ）書きで付記してください。
- ・ 「設置計画履行状況調査時」には、当該設置計画履行状況調査の結果、付された意見に対する履行状況等について、具体的に記入するとともに、その履行状況等を裏付ける資料があれば、添付してください。
  - ・ 定員管理に係る留意事項への履行状況は、指摘を受けた学科等についてのみ記入してください。
  - ・ 該当がない場合には、「該当なし」と記入してください。
  - ・ 「事前伺い」により設置された学部等については、本項目を記載する必要はありません。

## 7 その他全般的事項

<創成科学研究科 環境共生系専攻（博士後期課程）>

### (1) 設置計画変更事項等

設置時の計画	変更内容・状況, 今後の見通しなど
<div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <span data-bbox="137 465 165 524">記 ①</span> <div data-bbox="165 430 1353 784" style="border: 2px solid black; padding: 20px;"> <h1 style="text-align: center;">事前伺いのため該当なし</h1> </div> <span data-bbox="1353 654 1369 676">冊</span> </div> <div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <span data-bbox="137 609 165 667">②</span> </div>	

- (注) ・ 1～6の項目に記入した事項以外で、設置時の計画より変更のあったもの（未実施を含む。）及び法令適合性に関して生じた留意すべき事項について記入してください。
- ・ 設置時の「設置の趣旨等を記載した書類」の項目に沿って作成し、それ以外の事柄については適宜項目を設けてください。（記入例参照）
  - ・ 「事前伺い」により設置された学部等については、当該項目を記載する必要はありません。

### (2) 教員の資質の維持向上の方策（FD活動含む）

①	実施体制
<div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <span data-bbox="137 1339 165 1397">②</span> <div data-bbox="165 1137 1305 1944" style="border: 2px solid black; padding: 20px;"> <h1 style="text-align: center;">事前伺いのため該当なし</h1> </div> </div> <div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <span data-bbox="137 1796 165 1854">③</span> </div>	

- (注) ・ 「①a 委員会の設置状況」には、関係規程等を転載又は添付すること。
- 「②実施状況」には、実施されている取組を全て記載すること。（記入例参照）
- ・ 「事前伺い」により設置された学部等については、本項目を記載する必要はありません。

(3) 自己点検・評価等に関する事項

① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見

②

事前伺いのため該当なし

③

- (注) ・ 設置時の計画の変更(又は未実施)の有無に関わらず記入してください。  
また、「① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見」については、できるだけ具体的な根拠を含めて記入してください。  
なお、「② 自己点検・評価報告書」については、当該調査対象の組織に関する評価内容を含む報告書について記入してください。  
・ 「事前伺い」により設置された学部等については、本項目を記載する必要はありません。

(4) 情報公表に関する事項

○ 設置計画履行状況報告書

a ホームページに公表の有無 (  有  無 )

b 公表時期(未公表の場合は予定時期) ( 28 年 9 月 1 日 )

## 1 調査対象大学等の概要等

### (1) 設置者

国立大学法人 山口大学

### (2) 大学名

山口大学

### (3) 大学の位置

〒753-8511  
山口県山口市吉田1677-1

〒755-8611  
山口県宇部市常盤台2丁目16番1号

- (注) ・対象学部等の位置が大学本部の位置と異なる場合、本部の位置を( )書きで記入してください。  
・対象学部等が複数のキャンパスに所在する場合には、複数のキャンパスの所在地をそれぞれ記載してください。

### (4) 管理運営組織

職名	設置時	変更状況	備考
事前伺いのため該当なし			

- (注) ・「変更状況」は、変更があった場合に記入し、併せて「備考」に変更の理由と変更年月日、報告年度を( )書きで記入してください。
- (例) 平成26年度に報告済の内容 → (26)  
平成28年度に報告する内容 → (28)
- ・昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更があれば、「変更状況」に赤字にて記載(昨年度までに報告された記載があれば、そこに赤字で見え消し修正)するとともに、上記と同様に、「備考」に変更理由等を記入してください。
  - ・大学院の場合には、「職名」を「研究科長」等と修正して記入してください。
  - ・「事前伺い」により設置された学部等については、本項目を記載する必要はありません。



(5) 調査対象研究科等の名称, 定員, 入学者の状況等

- (注) ・ 当該調査対象の学部の学科または研究科の専攻等, 定員を定めている組織ごとに記入してください。  
 (入試区分ごとではありません)。  
 ・ 様式は, 平成26年度開設の博士後期課程の場合(平成28年度までの3年間)ですが, 開設年度・  
 修業年限に合わせて作成してください。(修業年限が2年以下の場合には欄を削除し, 4年以上の場合  
 には, 欄を設けてください。)

(5) - ① 調査対象研究科等の名称, 定員

調査対象研究科等の名称(学位)	設置時の計画			備考
	修業年限	入学定員	収容定員	
創成科学研究科 ライフサイエンス系専攻 (博士後期課程) 博士(医工学) 博士(生命科学) 博士(学術)	3年	7人	21人	基礎となる学部等  理学部, 工学部, 農学部, 医学部

- (注) ・ 「備考」に基礎となる学部等の名称を記入してください。  
 ・ 定員を変更した場合は, 「備考」に変更前の人数, 変更年月及び報告年度を( )書きで記入してください。  
 ・ 学生募集停止を予定している場合は, 「備考」にその旨記載してください。

(5) - ② 調査対象研究科等の入学者の状況

区分	平成28年度		平成29年度		平成30年度		平均入学定員 超過率	備考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期		
A 入学定員	7 (-) [ ]		( ) [ ]		( ) [ ]		0.85倍	
志願者数	6 (3) [-]	(-) [-]	( ) [ ]	( ) [ ]	( ) [ ]	( ) [ ]		
受験者数	6 (3) [-]	(-) [-]	( ) [ ]	( ) [ ]	( ) [ ]	( ) [ ]		
合格者数	6 (3) [-]	(-) [-]	( ) [ ]	( ) [ ]	( ) [ ]	( ) [ ]		
B 入学者数	6 (3) [-]	(-) [-]	( ) [ ]	( ) [ ]	( ) [ ]	( ) [ ]		
入学定員超過率 B/A	0.85							

- (注) ・ 数字は, 平成28年5月1日現在の数字を記入してください。  
 ・ ( ) 内には, 社会人の状況について**内数**で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。  
 ・ 「社会人」については, 設置計画書において貴学が定める社会人の定義に従って記入してください。  
 ・ [ ] 内には, 留学生の状況について**内数**で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。  
 ・ 留学生については, 「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格(いわゆる「留学ビザ」)により, 我が国の大学(大学院を含む), 短期大学, 高等専門学校, 専修学校(専門課程)及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。  
 ・ 短期交換留学生など, 定員内に含めていない学生については記入しないでください。  
 ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は, 春季入学とその他の学期(春季入学以外の学期区分を設けている場合)に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は, その他の学期欄は「-」を記入してください。また, その他の学期に入学定員を設けている場合は, 備考欄にその人数を記入してください。  
 ・ 「入学定員超過率」については, **各年度の春季入学とその他を合計した入学定員, 入学者数で算出**してください。なお, 計算の際は小数点以下第3位を切り捨て, 小数点以下第2位まで記入してください。  
 ・ 「平均入学定員超過率」には, 開設年度から提出年度までの入学定員超過率の平均を記入してください。なお, 計算の際は「入学定員超過率」と同様にしてください。

(5) - ③ 調査対象研究科等の在学者の状況

学 年	報告年度		平成28年度		平成29年度		平成30年度		備 考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	
1年次	[ - ] ( - ) 6	[ - ] ( - )	[ ] ( )	[ ] ( )	[ ] ( )	[ ] ( )	[ ] ( )	[ ] ( )	
2年次	/		[ ] ( )	[ ] ( )	[ ] ( )	[ ] ( )	[ ] ( )	[ ] ( )	
3年次			/		[ ] ( )	[ ] ( )	[ ] ( )	[ ] ( )	[ ] ( )
計	[ - ] ( - ) 6	[ ] ( )			[ ] ( )	[ ] ( )	[ ] ( )	[ ] ( )	[ ] ( )

- (注) ・ 数字は、平成28年5月1日現在の数字を記入してください。
- ・ [ ]内には、留学生の状況について内数で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。
  - ・ 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格（いわゆる「留学ビザ」）により、我が国の大学（大学院を含む。）、短期大学、高等専門学校、専修学校（専門課程）及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
  - ・ 短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。
  - ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期（春季入学以外の学期区分を設けている場合）に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「-」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
  - ・ 「計」については、**各年度の春季入学とその他の学期を合計した在学者数、留学生数**を記入してください。
  - ・ ( )内には、**留年者の状況**について、内数で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。

(5) -④ 調査対象学部等の退学者等の状況

区分 対象年度	入学者数(b)	退学者数(a)	退学者数(内訳)			主な退学理由	入学者数に 対する退学者数 の割合 (a/b)
			退学した年度	退学者数	退学者数の うち留学生数		
平成28年度 入学者	6人	0人	平成28年度	人	人		0%
			平成29年度	人	人		
			平成30年度	人	人		
平成29年度 入学者	人	0人	平成29年度	人	人		#DIV/0!%
			平成30年度	人	人		
平成30年度 入学者	人	0人	平成30年度	人	人		#DIV/0!%
合計	6人	0人					0%

(注)・数字は、平成28年5月1日現在の数字を記入してください。

- ・各年度の入学者数については、該当年度当初に入学した人数を記入してください。(途中で退学者がいた場合でも、その退学者数を減らす必要はありません。)
- ・各年度の退学者数については、退学年度ごとに記入してください。また、留学生数欄の人数については、退学者数の内数を記入してください。
- ・留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格(いわゆる「留学ビザ」)により、我が国の大学(大学院を含む。)、短期大学、高等専門学校、専修学校(専門課程)及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記入してください。
- ・短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。
- ・「入学者数に対する退学者数の割合」は、【当該対象年度の入学者のうち、平成28年5月1日現在までに退学した学生数の合計】を、【当該対象年度の入学者数】で除した割合(%)を記入してください。その際、小数点以下第2位を四捨五入し、小数点以下第1位までを記入してください。
- ・「主な退学理由」は、下の項目を参考に記入してください。その際、「就学意欲の低下(○人)」というように、その人数も含めて記入してください。  
 (記入項目例)・就学意欲の低下    ・学力不足    ・他の教育機関への入学・転学    ・海外留学  
                   ・就職    ・学生個人の心身に関する事情    ・家庭の事情    ・除籍    ・その他

## 2 授業科目の概要

<創成科学研究科 ライフサイエンス系専攻（博士後期課程）>

### (1) 授業科目表

科目区分	授業科目の名称	配当 年次	単位数				専任教員等の配置					備考
			必修	選択	自由	計	教授	准教授	講師	助教	助手	
研究科共通科目	【研究基盤科目】											
	研究者行動規範特論	1前	1				1					兼2
	知的財産特論	1後	1				1					兼2
	サイエンスライティング・ライティング	1前	1				1					兼2
	プレゼンテーション特論	1後	1				1					兼2
	【イノベーション教育科目】											
	リサーチメソッドロジー特論	1・2前	2				1					兼1
	イノベーション特論	1・2前	2				1					兼1
	技術ロードマップ特論	1・2後	2				1					兼1
	製品開発特論	1・2後	2				1					兼1
【キャリア教育科目】												
キャリアデザインⅡ	1前	2				1					兼2	
学外特別研修Ⅱ	1・2・3前・後	1	1			1						
長期インターンシップⅡ	1・2・3前・後	6				1						
専攻基盤科目	最先端自然科学研究科	1～3通	2				1					
	ライフサイエンス展開科目Ⅰ	1・2前	2				6					兼2
	ライフサイエンス展開科目Ⅱ	1・2後	2				6					兼2
	ライフサイエンスゼミナールⅠ	1・2前	2				22	16		9		オムニバス オムニバス 具体的な担当教員の確定による変更 (28)
	ライフサイエンスゼミナールⅡ	1・2後	2				21	19		6		具体的な担当教員の確定による変更 (28)
専門科目	【医工科学科目群】											
	バイオメカニクス特論	1・2前・後	2				2					
	微小生体機械学特論	1・2前・後	2				1			1		
	先端医用材料特論	1・2前・後	2					1				
	非侵襲診断工学特論	1・2前・後	2					1				
	計算援用医用診断工学特論	1・2前・後	2				1	1				教育効果充実のため担当教員を追加 (28)
	【生命科学科目群（応用分子）】											
	分子発生生物学特論	1・2前・後 1・2前・後	2				2	1				教育効果充実のため開講期を変更 (28) オムニバス 教育効果充実のため開講期を変更 (28)
	分子発生生物学演習	1・2前・後 1・2前・後	2				2	1				教育効果充実のため開講期及び担当教員を変更 (28)
	環境適応生物学特論	1・2前・後 1・2前・後	2				1	3				兼1 オムニバス
	環境適応生物学演習	1・2前・後 1・2前・後	2				1	3				兼1 教育効果充実のため開講期及び担当教員を変更 (28)
	分子細胞生物学特論	1・2前・後 1・2前・後	2				2	2				教育効果充実のため開講期を変更 (28) オムニバス
	分子細胞生物学演習	1・2前・後 1・2前・後	2				2	2				教育効果充実のため開講期を変更 (28)
	生物機能工学特論	1・2前・後	2				1	1				
	生物機能工学演習	1・2前・後	2				1	1				
有機合成化学特論	1・2前・後	2				1	1					
有機合成化学演習	1・2前・後	2				1	1					
バイオプロセス工学特論	1・2前・後	2				1	1		1			
バイオプロセス工学演習	1・2前・後	2				1	1		1			
生物機能開発科学特論	2通	2				3	1		2		オムニバス	
生物機能開発科学演習	1・2・3通	2				3	1		2			
【生命科学科目群（農学）】												
生物機能科学特論	2通	2				3	2		2		教育効果充実のため担当教員を変更 (28) オムニバス 教育効果充実のため担当教員を変更 (28)	
生物機能科学演習	1・2・3通	2				3	2		2		教育効果充実のため担当教員を追加 (28)	
生物資源環境科学特論	1・2・3前	2				2	1		1		オムニバス	
生物資源環境科学演習	1・2・3後	2				2	1		1		教育効果充実のため担当教員を追加 (28)	
ライフサイエンス戦略と知的財産	2前	1									兼2	

- (注) ・ 設置計画書の様式第2号（その2の1）に準じて作成してください。  
 ・ 設置時の授業科目全て（兼任、兼任教員が担当する科目を含む。）を黒字で記載してください。その上で、前年度報告時（平成28年度に設置された大学等は設置時）より変更されているものは赤字で見え消し修正し、「備考」に赤字で理由・変更年月等を記入してください。  
 ・ なお、昨年度の報告書において赤字で見え消しした部分については、見え消しのまま黒字にしてください。  
 ・ 兼任、兼担の教員が担当する授業科目については、備考欄に担当する教員数を「兼○」と記入してください。  
 ・ 授業科目を追加又は内容を変更する場合、専任教員が担当するため教員審査が必要なものについては、「専任教員採用等設置計画変更書」の審査予定年月等を「備考」に記入してください。（今後審査を受ける場合には、「平成○年○月 提出予定」と記入してください。）  
 ・ 「配当年次」について、設置計画時に開講時期を記入しなかった学部等（平成19年度設置以前）についても、設置時の状況を黒字で記入してください。また、前年度報告時より修正があれば、赤字で見え消し修正をしてください。  
 ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目についても記入してください。

### (2) 授業科目数

設置時の計画				変更状況				備考
必修	選択	自由	計	必修	選択	自由	計	
科目 3	科目 37	科目 科目	科目 40	科目 3	科目 37	科目 科目	科目 40	
[ ]	[ ]	[ ]	[ ]	[ ]	[ ]	[ ]	[ ]	

- (注) ・ 未開講科目も含めた教育課程上の授業科目数を記入するとともに、[ ] 内に、設置時の計画からの増減を記入してください。（記入例：1科目減の場合：△1）  
 ・ 資格に関する課程など、別課程としている授業科目については算入する必要はありません。

(3) 未開講科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	未開講の理由, 代替措置の有無
1	該当なし					
2						
3						

- (注) ・ 設置時の計画にあった授業科目が配当年次に達しているにも関わらず、何らかの理由で未開講となっている授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
- ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目については、記入しないでください。
  - ・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」と修正して記入してください。

(4) 廃止科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	廃止の理由, 代替措置の有無
1	該当なし					
2						
3						

- (注) ・ 設置時の計画にあり、何らかの理由で廃止（教育課程から削除）した授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
- ・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」と修正して記入してください。

(5) 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

該当なし
------

- (注) ・ 授業科目を未開講又は廃止としたことによる学生の履修への影響に関する「大学の所見」及び「学生への周知方法」を記入してください。

(6) 「設置時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

$$\frac{\text{未開講科目と廃止科目の計}}{\text{設置時の計画の授業科目数の計}} = \text{該当なし}$$

- (注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位までを記入してください。

### 3 施設・設備の整備状況, 経費

区分	内容	備考
(1) 校地等	<p>事前伺いのため該当なし</p>	
(2)		
(3)		
(4)		
(5) 図書・設備		
(6)		
(7)		
(8) 経費 積り 維持 の 概 要		
	学生納付金以外の維持方法の概要	

- (注) ・ 設置時の計画を, 設置計画書の様式第2号(その1の1)に準じて作成してください。(複数のキャンパスに分かれている場合, 複数の様式に分ける必要はありません。なお, 「(1)校地等」及び「(2)校舎」は大学全体の数字を, その他の項目は AC対象学部等の数値を記入してください。)
- ・ 運動場用地が校舎敷地と別地にある場合は, その旨(所要時間・距離等)を「備考」に記入してください。
  - ・ 「(5)図書・設備」については, 上段に完成年度の予定数値を, 下段には平成28年5月1日現在の数値を記入してください。
  - ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更のあったものについては, 変更部分を赤字で見え消し修正するとともに, その理由及び報告年度「(28)」を「備考」に赤字で記入してください。  
 なお, 昨年度の報告において赤字で見え消した部分については, 見え消しのまま黒字にしてください。
  - ・ 「事前伺い」により設置された学部等については, 本項目を記載する必要はありません。

#### 4 既設大学等の状況

大学の名称	山 口 大 学						備 考		
既設学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学員定員	収容定員	学位又は称号	平均入学定員超過率	開 設 年 度	所 在 地	
	年	人	年次人	人		倍			
人文学部								山口県山口市吉田1677番地 1	
人文学科	4	185	-	740	学士（文学）	1.00	平成28年度		
人文社会学科	4	-	-	-	学士（文学）	-	平成5年度		平成28年度より学生募集停止
言語文化学科	4	-	-	-	学士（文学）	-	平成5年度		平成28年度より学生募集停止
教育学部								山口県山口市吉田1677番地 1	
学校教育教員養成課程	4	180	-	620	学士（教育学）	1.04	平成10年度		
実践臨床教育課程	4	-	-	-	学士（教育学）	-	平成10年度		平成27年度より学生募集停止
情報科学教育課程	4	-	-	-	学士（教育学）	-	平成10年度		平成27年度より学生募集停止
健康科学教育課程	4	-	-	-	学士（教育学）	-	平成10年度		平成27年度より学生募集停止
総合文化教育課程	4	-	-	-	学士（教育学）	-	平成元年度		平成27年度より学生募集停止
経済学部						1.03		山口県山口市吉田1677番地 1	
経済学科	4	130	-	440	学士（経済学）	-	昭和24年度		
経営学科	4	165	-	590	学士（経済学）	-	昭和24年度		
国際経済学科	4	-	-	-	学士（経済学）	-	昭和52年度		平成27年度より学生募集停止
経済法学科	4	-	-	-	学士（法学）	-	昭和55年度		平成27年度より学生募集停止
観光政策学科	4	50	-	160	学士（経済学）	-	平成17年度		
商業教員養成課程	4	-	-	-	学士（経済学）	-	昭和29年度		平成27年度より学生募集停止
理学部								山口県山口市吉田1677番地 1	
数理学科	4	50	-	200	学士（理学）	1.05	平成7年度		
物理・情報科学科	4	60	-	240	学士（理学）	1.02	平成18年度		
生物・化学科	4	80	-	320	学士（理学）	1.01	平成18年度		
地球圏システム科学科	4	30	-	120	学士（理学）	1.05	平成18年度		
医学部								山口県宇部市南小串1丁目1番1号	
医学科	6	107	2年次 10	692	学士（医学）	1.00	昭和39年度		
保健学科	4	120	3年次 15	510	学士（看護学、保健学）	1.03	平成12年度		
工学部								山口県宇部市常盤台2丁目16番1号	
機械工学科	4	90	3年次 5	370	学士（工学）	1.03	平成2年度		
社会建設工学科	4	80	-	320	学士（工学）	1.03	平成2年度		
応用化学科	4	90	-	360	学士（工学）	1.04	平成19年度		
電気電子工学科	4	80	3年次 5	330	学士（工学）	1.03	平成2年度		
知能情報工学科	4	80	3年次 10	340	学士（工学）	1.03	平成19年度		
感性デザイン工学科	4	55	-	220	学士（工学）	1.05	平成8年度		
循環環境工学科	4	55	-	220	学士（工学）	1.05	平成19年度		
農学部								山口県山口市吉田1677番地 1	
生物資源環境科学科	4	50	-	200	学士（農学）	1.03	平成13年度		
生物機能科学科	4	50	-	200	学士（農学）	1.01	平成13年度		
獣医学科	6	-	-	-	学士（獣医学）	-	昭和24年度		平成24年度より学生募集停止
共同獣医学部								山口県山口市吉田1677番地 1	
獣医学科	6	30	-	150	学士（獣医学）	1.01	平成24年度		
国際総合科学部								山口県山口市吉田1677番地 1	
国際総合科学科	4	100	-	200	学士（学術）	1.04	平成27年度		

人文科学研究科							山口県山口市吉田1677番地 1	
人文科学専攻	2	8	-	8	修士(文学)	0.25	平成28年度	
地域文化専攻	2	-	-	-	修士(文学)	-	昭和60年度	平成28年度より学生募集停止
言語文化専攻	2	-	-	-	修士(文学)	-	昭和60年度	平成28年度より学生募集停止
教育学研究科							山口県山口市吉田1677番地 1	
学校教育専攻	2	10	-	23	修士(教育学)	1.10	平成3年度	
教科教育専攻	2	17	-	45	修士(教育学)	1.05	平成3年度	
教職実践高度化専攻	2	14	-	14	教職修士(専門職)	1.07	平成28年度	
経済学研究科							山口県山口市吉田1677番地 1	
経済学専攻	2	16	-	32	修士(経済学)	0.24	昭和50年度	
企業経営専攻	2	10	-	20	修士(経済学)	0.50	平成7年度	
医学系研究科(医学博士)							山口県宇部市南小串1丁目1番1号	
医学専攻	4	33	-	33	博士(医学)	1.09	平成28年度	
システム統御医学系専攻	4	-	-	-	博士(医学)	-	平成18年度	平成28年度より学生募集停止
情報解析医学系専攻	4	-	-	-	博士(医学)	-	平成18年度	平成28年度より学生募集停止
医学系研究科(博士前期)							山口県宇部市南小串1丁目1番1号	
応用医工学系専攻	2	-	-	-	修士(医工学)	-	平成13年度	平成28年度より学生募集停止
応用分子生命科学系専攻	2	-	-	-	修士(生命科学、学術)	-	平成18年度	平成28年度より学生募集停止
保健学専攻	2	12	-	24	修士(保健学)	1.37	平成17年度	
医学系研究科(博士後期)							山口県宇部市南小串1丁目1番1号	
応用医工学系専攻	3	-	-	-	博士(医工学)	-	平成13年度	平成28年度より学生募集停止
応用分子生命科学系専攻	3	-	-	-	博士(生命科学、学術)	-	平成18年度	平成28年度より学生募集停止
保健学専攻	3	5	-	15	博士(保健学)	0.80	平成19年度	
創成科学研究科(博士前期)							山口県山口市吉田1677番地 1	
基盤科学系専攻	2	38	-	38	修士(理学)	0.92	平成28年度	山口県宇部市常盤台2丁目16番1号
地球圏生物物質科学系専攻	2	42	-	42	修士(理学)	0.80	平成28年度	
化学系専攻	2	83	-	83	修士(工学、学術)	0.87	平成28年度	
電気電子情報系専攻	2	107	-	107	修士(工学)	1.00	平成28年度	
機械工学系専攻	2	60	-	60	修士(工学)	1.01	平成28年度	
建設環境系専攻	2	74	-	74	修士(工学、学術)	0.74	平成28年度	
農学系専攻	2	42	-	42	修士(農学、生命科学)	0.71	平成28年度	
創成科学研究科(博士後期)							山口県山口市吉田1677番地 1	
自然科学系専攻	3	7	-	7	博士(理学、学術)	0.28	平成28年度	山口県宇部市常盤台2丁目16番1号
物質工学系専攻	3	8	-	8	博士(工学、学術)	0.12	平成28年度	
システム・デザイン工学系専攻	3	10	-	10	博士(工学、学術)	0.70	平成28年度	
環境共生系専攻	3	12	-	12	博士(工学、学術)	0.66	平成28年度	
ライフサイエンス系専攻	3	7	-	7	博士(工学、学術)	0.85	平成28年度	
理工学研究科(博士前期)							山口県山口市吉田1677番地 1	平成28年度より学生募集停止
数理科学専攻	2	-	-	-	修士(理学)	-	平成9年度	山口県宇部市常盤台2丁目16番1号
物理・情報科学専攻	2	-	-	-	修士(理学)	-	平成18年度	
地球科学専攻	2	-	-	-	修士(理学)	-	平成18年度	
機械工学専攻	2	-	-	-	修士(工学)	-	昭和41年度	
社会建設工学専攻	2	-	-	-	修士(工学)	-	平成9年度	
物質化学専攻	2	-	-	-	修士(工学)	-	平成18年度	
電子デバイス工学専攻	2	-	-	-	修士(工学)	-	平成18年度	
電子情報システム工学専攻	2	-	-	-	修士(工学)	-	平成18年度	
感性デザイン工学専攻	2	-	-	-	修士(工学)	-	平成12年度	
環境共生系専攻	2	-	-	-	修士(工学、理学)	-	平成18年度	



理工学研究科（博士後期）								山口県山口市吉田1677番地1	平成28年度より学生募集停止
自然科学基盤系専攻	3	-	-	-	博士（理学、工学、学術）	-	平成18年度	山口県宇部市常盤台2丁目16番1号	
システム設計工学系専攻	3	-	-	-	博士（工学、学術）	-	平成18年度		
物質工学系専攻	3	-	-	-	博士（工学、学術）	-	平成18年度		
情報・デザイン工学系専攻	3	-	-	-	博士（工学、学術）	-	平成18年度		
環境共生系専攻	3	-	-	-	博士（工学、理学、学術）	-	平成18年度		
農学研究科								山口県山口市吉田1677番地1	平成28年度より学生募集停止
生物資源科学専攻	2	-	-	-	修士（農学）	-	平成7年度		
東アジア研究科								山口県山口市吉田1677番地1	
東アジア専攻	3	10	-	30	博士（学術）	1.26	平成13年度		
技術経営研究科								山口県宇部市常盤台2丁目16番1号	
技術経営専攻	2	15	-	30	技術経営修士（専門職）	1.10	平成17年度		
連合獣医学研究科								【山口大学】	
獣医学専攻	4	12	-	48	博士（獣医学）	1.56	平成2年度	山口県山口市吉田1677番地1	
								【鳥取大学】	
								鳥取県鳥取市湖山町南4丁目101	
								【鹿児島大学】	
								鹿児島県鹿児島市都元1丁目21番24号	

- (注) ・ 本調査の対象となっている大学等の設置者（国立大学法人）が設置している全ての大学（学部、学科）及び大学院（専攻）（AC対象学部等含む）について、それぞれの学校種ごとに、平成28年5月1日現在の上記項目の情報を記入してください。
- ・ 学部の学科または研究科の専攻等、「入学定員を定めている組織」ごとに記入してください。
  - ※「入学定員を定めている組織ごと」には、課程認定等によりコース・専攻に入学定員を定めている場合を含めず、履修上の区分としてコース・専攻を設けている場合は含めません。
  - ※なお、課程認定等によりコースや専攻に入学定員を定めている場合は、法令上規定されている組織上の最小単位（大学であれば「学科」、短期大学であれば「専攻課程」）でも記載してください。
  - ・ 専攻科に係るものについては、記入する必要はありません。
  - ・ AC対象学部等についても必ず記入してください。
  - ・ 「平均入学定員超過率」には、標準修業年限に相当する期間における入学定員に対する入学者の割合の平均の小数点以下第2位まで（小数点以下第3位を切り捨て）を記入してください。
  - ・ 学生募集を停止している学部等がある場合、入学定員・収容定員・平均入学定員超過率は「-」とし、「備考」に「平成〇〇年より学生募集停止」と記入してください。

## 5 教員組織の状況

＜創成科学研究科 ライフサイエンス系専攻（博士後期課程）＞

### (1) 担当教員表

事前伺いのため該当なし														
-------------	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--

- (注) ・ 設置計画書の様式第3号（その2の1）に準じて作成してください。  
 なお、当該設置に係る研究科等に所属しない教員であって、全学共通、学部共通などの授業科目を担当する教員組織に所属している場合は、〈〇〇研究科 〇〇専攻（〇〇課程）〉の箇所を「共通」とし、表を分けて作成してください。  
 ・ 後任が決まっていない場合には、「後任未定」と記入してください。  
 ・ 辞任者は「備考」に退職年月、氏名、理由を記入してください。  
 ・ 年齢は、「**設置時の計画**」には**当該学部等の就任時における満年齢**を、「**変更状況**」には**平成28年5月1日現在の満年齢**を記入してください。  
 ・ 教員を学年進行中に変更した又は変更する予定の場合（「新規採用」、「担当授業科目の変更」又は「昇格」をいう。）は、変更後の状況を記入するとともに、その理由、後任者が決まっていない場合は、「変更状況」の「氏名」に「後任未定」と記入し、及び今後の採用計画を「備考」に記入してください。  
 ・ **意見伺いで設置された学部等の専任教員を変更する場合は**、当該専任教員が授業を開始する前に必ず「専任教員採用等設置計画変更書」を提出し、大学設置・学校法人審議会による教員資格審査（AC教員審査）を受けてください。**AC教員審査を受けずに専任教員として授業等を担当することは出来ません。**  
 ・ 「専任教員採用等変更書（AC）」を提出し「可」の教員判定を受けている場合は「〇年〇月教員審査済」、変更書を提出予定の場合は「〇年〇月変更書提出予定」と記入してください。  
 なお、設置審査時に教員審査省略となっている場合は、「備考」に「（教員審査省略）」及びその変更の理由、変更年度（ ）書き等のみを記入してください。  
 ・ **「事前伺い」により設置された学部等については、本項目を記載する必要はありません。**

### (2) 専任教員数等

#### (2) - ① 専任教員数

設置時の計画					現在（報告書提出時）の状況					現在（報告書提出時）の完成年度時の計画				
教授	准教授	講師	助教	計	教授	准教授	講師	助教	計(A)	教授	准教授	講師	助教	計(B)
21	16	0	9	46	22	16	0	9	47	22	16	0	9	47
(22)	(16)	(0)	(9)	(47)						[ 1 ]	[ 0 ]	[ 0 ]	[ 0 ]	[ 1 ]
研究指導教員数	研究指導補助教員数	講義のみ担当の教員数			研究指導教員数	研究指導補助教員数	講義のみ担当の教員数			研究指導教員数	研究指導補助教員数	講義のみ担当の教員数		
26	20	0			28	19	0			28	19	0		
(28)	(19)	(0)								[ 2 ]	[ Δ1 ]	[ 0 ]		

- (注) ・ 「設置時の計画」には、設置時に予定されていた完成年度時の人数を記入するとともに、（ ）内に開設時の状況を記入してください。  
 ・ 「現在（報告書提出時）の状況」には、報告書提出年度の5月1日の教員数（実人数）を記入してください。  
 ・ 「現在（報告書提出時）の完成年度時の計画」には、報告書提出年度の5月1日現在、完成年度時に計画している教員数を記入するとともに、[ ]内に設置時の計画との増減数を記入してください。（記入例：1名減の場合：Δ1）

#### (2) - ② 年齢構成

年齢構成		
定年規定の定める定年年齢（歳）	報告書提出時（上記(A)）の教員のうち、定年を延長して採用している教員数	完成年度時（上記(B)）の教員うち、定年を延長して採用する教員数
65	0	0

- (注) ・ 「年齢構成」には、当該学部における教員の定年に関する規定に基づく定年年齢（特例等による定年年齢ではありません）、および、平成28年5月1日現在、定年に関する規定に基づく特例等により定年を超えて専任教員として採用されている教員数および完成年度時に定年を超えて専任教員として採用する教員数を記入してください。  
 ・ なお、職位等によって定年年齢が異なる場合には、職位ごとの定年年齢を「定年規定の定める定年年齢」に二段書きで記入し、「定年を延長している教員数」には合算した数を記入してください。  
 ・ 専門職大学院の場合は、「研究指導教員」を「研究者教員」と、「研究指導補助教員」を「実務家教員」と修正して記入してください。

## 6 留意事項等に対する履行状況等

区 分	留 意 事 項 等	履 行 状 況	未履行事項について の実施計画
設 計	<p>事前伺いのため該当なし</p>		
設 計			
設 計			

- (注) ・ 「設置時」には、当該大学等の設置時に付された留意事項と、それに対する履行状況等について、具体的に記入し、報告年度を( )書きで付記してください。
- ・ 「設置計画履行状況調査時」には、当該設置計画履行状況調査の結果、付された意見に対する履行状況等について、具体的に記入するとともに、その履行状況等を裏付ける資料があれば、添付してください。
  - ・ 定員管理に係る留意事項への履行状況は、指摘を受けた学科等についてのみ記入してください。
  - ・ 該当がない場合には、「該当なし」と記入してください。
  - ・ 「事前伺い」により設置された学部等については、本項目を記載する必要はありません。

## 7 その他全般的事項

<創成科学研究科 ライフサイエンス系専攻（博士後期課程）>

### (1) 設置計画変更事項等

設置時の計画	変更内容・状況, 今後の見通しなど
<div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <div style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">記 ①</div> <div style="text-align: center; font-size: 2em; font-weight: bold;">事前伺いのため該当なし</div> <div style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">②</div> </div>	

- (注) ・ 1～6の項目に記入した事項以外で、設置時の計画より変更のあったもの（未実施を含む。）及び法令適合性に関して生じた留意すべき事項について記入してください。
- ・ 設置時の「設置の趣旨等を記載した書類」の項目に沿って作成し、それ以外の事柄については適宜項目を設けてください。（記入例参照）
  - ・ 「事前伺い」により設置された学部等については、当該項目を記載する必要はありません。

### (2) 教員の資質の維持向上の方策（FD活動含む）

①	実施体制
<div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <div style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">②</div> <div style="text-align: center; font-size: 2em; font-weight: bold;">事前伺いのため該当なし</div> <div style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">③</div> </div>	

- (注) ・ 「①a 委員会の設置状況」には、関係規程等を転載又は添付すること。
- 「②実施状況」には、実施されている取組を全て記載すること。（記入例参照）
- ・ 「事前伺い」により設置された学部等については、本項目を記載する必要はありません。

(3) 自己点検・評価等に関する事項

① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見

②

事前伺いのため該当なし

③

- (注) ・ 設置時の計画の変更(又は未実施)の有無に関わらず記入してください。  
また、「① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見」については、できるだけ具体的な根拠を含めて記入してください。  
なお、「② 自己点検・評価報告書」については、当該調査対象の組織に関する評価内容を含む報告書について記入してください。  
・ 「事前伺い」により設置された学部等については、本項目を記載する必要はありません。

(4) 情報公表に関する事項

○ 設置計画履行状況報告書

a ホームページに公表の有無 (  有 ・  無 )

b 公表時期(未公表の場合は予定時期) ( 28 年 9 月 1 日 )